

中国地域環境関連マップ 2008 ガイドブック

平成 20 年 3 月

経済産業省 中国経済産業局

【 資料編 目次 】

1 . 県別の廃棄物資源化状況	1-1
2 . 環境産業関連施策	
2 - 1 . 各県の環境関連施策	2-1
2 - 2 . 主要都市の環境関連施策	2-8
3 . 地域の取組み	
3 - 1 . 国 , 自治体等	3-1
3 - 2 . 環境NPO法人	3-11
3 - 3 . 環境任意団体等	3-25
4 . インフラ	
4 - 1 . 再資源化関連施設 : 各種リサイクル法関連	
4-1-1 . 容器包装リサイクル関係【民間の再生処理事業者】	4-1
4-1-2 . 容器包装リサイクル関係【公共のリサイクルセンター・プラザ】	4-3
4-1-3 . エコタウン中核施設	4-10
4-1-4 . 自動車・家電リサイクル関連施設・リサイクルポート	4-16
4 - 2 . 再資源化関連施設	
4-2-1 . RDF 製造施設	4-17
4-2-2 . RPF 製造施設	4-21
4-2-3 . バイオマス発電施設	4-24
4-2-4 . 廃棄物発電施設	4-30
4 - 3 . 教育・研究機関	
4-3-1 . 教育・研究機関の概要	4-35
4-3-2 . 教育機関等における研究者一覧	4-37
4-3-3 . 研究機関における研究内容一覧	4-48
5 . 情報交換システム (マッチングシステム) 制度	5-1
6 . 環境関連企業	
6 - 1 . 廃棄物リサイクル分野	6-1
6 - 2 . バイオマスリサイクル分野	6-19
6 - 3 . 環境関連機器製造分野	6-31
6 - 4 . 環境調和型製品製造分野	6-53
7 . 行政の主な支援制度一覧	
7 - 1 . 国の支援制度	7-1
7 - 2 . 各県の支援制度	7-24

1 . 県別の廃棄物資源化状況

1. 県別の廃棄物資源化状況

項 目		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	中国地域	
一 般 廃 棄 物	収集ごみ量 (万t)		20.4	20.5	64.1	95.8	50.4	251.1
	直接搬入量 (万t)		2.0	5.1	7.6	10.8	14.2	39.8
	集団回収量 (万t)		0.9	0.2	6.3	2.9	1.9	12.2
	ごみ総排出量 ¹⁾ (万t)		23.3	25.8	78.0	109.5	66.5	303.2
	資源化量 ²⁾ (万t)		3.2	5.1	13.8	21.4	16.3	59.7
	リサイクル率 ³⁾ (%)		17.5%	20.6%	25.8%	22.2%	27.3%	-
	最終処分量 (万t)		2.6	4.6	7.8	15.9	9.1	40.1
	発電 施設	施設数	1	1	5	7	4	18
		発電能力 (kw)	4,000	3,690	17,858	46,500	12,780	84,828
	資源 化 施設	施設数	3	4	7	11	6	31
処理能力 (t/日)		161.0	165.0	144.0	490.0	248.0	1,208.0	
産 業 廃 棄 物	排出量 〔発生量〕 (万t)		58.9 -	158.8 〔162.4〕	697.1 〔1223.9〕	860.0 〔1356.9〕	875.2 -	2,650.0 -
	再生利用量 〔資源化量〕 (万t)		40.8 -	84.7 〔88.3〕	266.0 〔792.8〕	427.3 〔924.2〕	396.4 -	1,215.2 -
	リサイクル率 (%)		69.2% -	53.3% 〔54.4%〕	38.2% 〔64.8%〕	49.7% 〔68.1%〕	45.3% -	-
	最終処分量 (万t)		2.4	30.8	50.1	60.4	76.6	220.3

1) ごみ総排出量 = 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 集団回収量

2) 資源化量 = 市町村資源化量(集団回収量を含まない)

3) リサイクル率 = (資源化量合計 + 集団回収量) / (ごみ処理量 + 集団回収量) = (資源化量合計 + 集団回収量) / ごみ総排出量

発電施設に関する詳細は、「4-2-4. 廃棄物発電施設」を参照。

資源化施設に関する詳細は、「4-1-2. 容器包装リサイクル関係〔公共のリサイクルセンター・プラザ〕」を参照。

調査年度

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
一般廃棄物	H17年度				
産業廃棄物	H18年度	H16年度	H17年度	H17年度	H15年度

参考資料

【一般廃棄物】

- 1) 環境省 廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理実態調査結果（平成17年度実績）

: 全県 / 環境省ホームページ

/ http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/h17/index.html

【産業廃棄物】

各県の産業廃棄物実態調査結果 / 各県の環境・廃棄物関連部局

○ 鳥取県

- 2) 「産業廃棄物実態調査」（平成18年度実績）の結果について

/ <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=30487>

○ 島根県

- 3) しまね循環型社会推進計画

/ <http://www.pref.shimane.lg.jp/haikibutsu/junkankeikaku.html>

○ 岡山県

- 4) 岡山県環境白書2007 第6章，資料編

/ <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kansei/whitepaper/19hakusyo/06/frame.html>

○ 広島県

- 5) 平成18年度広島県産業廃棄物実態調査（平成17年度実績）

/ http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/i/i2/jittacyousa/jittacyousa_18.htm

○ 山口県

- 6) 平成19年（2007年）度版山口県環境白書

/ http://eco.pref.yamaguchi.jp/policy/whitepaper/kankyo_ymg2007.htm

2 . 環境産業関連施策（各県，主要都市）

2 - 1 . 環境産業関連施策（各県）

2-1.各県の環境関連施策(平成20年度)

(1)鳥取県

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	環境教育推進事業	2,475	生活環境部 環境立県 推進課	環境教育に関する支援拠点の整備や環境学習に関する情報及び機会の場の提供を実施。 ・環境教育推進等に係る専門担当者の配置 ・身近な環境体験学習事業の実施 ・とっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運用
	次世代プログラム実証モデルタウン設置事業	2,550	生活環境部 環境立県 推進課	平成19年度に策定した「環境先進県に向けた次世代プログラム」に盛り込まれた各プログラムに対して、実際に県民の取り組みを推進する市町村を「次世代プログラム実証モデルタウン」として指定して、次世代プログラムの取り組み概要やその成果などを検証。 ・モデルタウンの指定 ・「環境先進県に向けた次世代プログラム」の実施 ・次世代プログラムの修正、改善 ・次世代プログラムの一層の普及及び実践促進
	こどもエコクラブ活動支援事業	3,870	生活環境部 環境立県 推進課	次世代を担う幼児から高校生を対象に、様々な環境学習・活動を通じて、環境を大切にする心と行動力の育成を図ることにより、以下のような効果が期待される。 ・幼少期における環境活動意識の醸成 ・地域における環境活動の活性化への広がり
	とっとりの環境を守る若武者育成事業	1,730	生活環境部 環境立県 推進課	・県内の高校生が、環境問題に取り組む機会を設けるとともに、若い感覚で各種環境問題の取組手法などを発信し、県民の環境活動への取組を推進 ・環境に特化した鳥取環境大学の各種環境活動や研究成果を通じた地域貢献により、県内の環境意識の向上を図る。
	鳥取県版環境管理システム(TEAS)普及事業	8,933	生活環境部 環境立県 推進課	県内の事業者等に対し、県が独自に設けている鳥取県版環境管理システム審査登録制度(TEAS)を普及することにより、県内事業者等の環境配慮活動を促進し、地球環境及び地域環境の保全に寄与する。
	地球温暖化防止啓発事業	15,973	生活環境部 環境立県 推進課	地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素排出量削減のため、省エネ・省資源など新しいライフスタイルへの転換や具体的取組みの手法について、県民の皆さんへわかりやすい情報提供を行う。
	自然エネルギー導入促進事業	17,438	生活環境部 環境立県推進課	自然エネルギー推進に関する情報収集、企画立案を行うとともに、県有施設への率先導入及び普及啓発を行うことにより、県内の自然エネルギー導入を促進し、地球温暖化防止に貢献する。 また、個人等が住宅用太陽光発電等の自然エネルギーの導入を行う場合に支援を行う市町村に対し、市町村交付金による支援を行い、導入促進を図る。
	太陽光発電導入(民間事業者)モデル事業	15,080	生活環境部 環境立県 推進課	民間事業者におけるCO ₂ 削減の取組を推進するため、環境管理システムの認証取得企業がCO ₂ 削減のために太陽光発電を導入するモデル的な取組を支援し、今後そうした取組を県内の他の民間事業者に広げていくことを目指す。
	県立学校への太陽光発電導入事業	2,050	生活環境部 環境立県 推進課	県立学校における自然エネルギー導入は、環境教育の面からも普及が大いに期待されるところであり、鳥取県版環境管理システム(TEAS)を取得した学校に太陽光発電の導入を行い、TEASや環境教育との相乗効果によるCO ₂ 削減を図る。
	とっとり環境ネットワーク支援事業	2,250	生活環境部 環境立県 推進課	とっとり環境ネットワークでは、環境先進県に向けた活動の輪を一層拡げていく取組を行っている。 このネットワークが「環境先進県」を目指して実施する各種の普及啓発事業などを支援する。
	環境にやさしい県庁推進事業	1,642	生活環境部 環境立県 推進課	県庁組織自らが環境配慮活動を推進し、地球環境や地域環境の保全に寄与するとともに、県内の事業所や県民等の環境配慮活動を推進する上での率先垂範とする。

鳥取県（つづき）

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	バイオ燃料地域導入・利用 検討事業	1,231	生活環境部 環境立県 推進課	循環型社会の形成及び地球温暖化の防止の観点から、バイオ ディーゼル燃料(BDF)の活用システムを地域内に導入・普及す る活動を支援し、そうした取組を県内の他の地域へと広げてい く。
	大型風力発電設置市町村 支援事業	19,192	生活環境部 環境立県 推進課	大型風力発電を設置する市町村を支援することで、風力発電 の導入促進や地域活性化・地球温暖化防止を図る。
	環境立県協働促進事業	8,460	生活環境部 環境立県 推進課	自然環境の保全、環境問題の普及啓発などの環境立県に資す る活動を実施する地域住民団体等を支援することにより、県民と の協働による環境立県の実現を推進する。
	「NOレジ袋！」県民運動定 着事業	657	生活環境部 循環型社会 推進課	ごみの発生抑制の象徴的取組であるレジ袋辞退について、県 民運動としての機運づくりのため、県民大会を開催するほか、小 売店と消費者等とのレジ袋削減に関する協定締結の支援を行 う。
	4R推進市町村トップセミナー 開催事業	554	生活環境部 循環型社会 推進課	県内市町村長を対象としたセミナーを開催し、先進自治体の首 長から取組状況等を講演いただくとともに、参加者全員の意見交 換を通じて、トップレベルのごみ・リサイクル問題への関心を高め る。
	一般廃棄物リサイクル等 推進支援事業	1,500	生活環境部 循環型社会 推進課	市町村が新たに取り組む一般廃棄物の減量化・リサイクルのた めの事業立ち上げ経費を補助する。
	リサイクル技術等開発促進 事業	23,050	生活環境部 循環型社会 推進課	県内におけるリサイクル関連の新技术・新商品の開発を促進す るため、技術開発の研究等を行う企業等に助成するほか、大学 等研究機関とリサイクル産業との連携を図る。また、新ビジネスを 創出するため、両者を結び付ける会議開催等を行う。
	リサイクル製品普及・販売促 進事業	5,088	生活環境部 循環型社会 推進課	持続可能な循環型社会の構築に必要な「リサイクル推進」の課 題の一つである「リサイクル製品の需要」(出口)を確保するため、 グリーン商品の認定やリサイクル製品のPRを充実するなどして販 売を促進する。 ・リサイクル製品販売促進事業 ・県認定グリーン商品普及促進事業 ・溶融スラグ利用促進事業
	リサイクル産業クラスター形 成支援事業	5,024	生活環境部 循環型社会 推進課	リサイクル産業クラスターを形成するため、(財)鳥取県産業振興 機構におけるリサイクル産業クラスターコーディネーターの設置を 支援し、新たなリサイクルビジネスの創出を促進する。
㉑	みんなで取り組む「4つのR」 推進事業	4,640	生活環境部 循環型社会 推進課	循環型社会の構築を図るため、キーワードとなる「4つのR」 (Refuse(不要なものを断る)、Reduce(ごみを減らす)、Reuse(再 利用)、Recycle(再資源化))の定着に関する普及啓発を行う。
㉒	産学官連携強化推進事 業	4,428	商工労働部	県内の産官学連携を促進し、新製品の開発・新事業の創出を 促進することを目的に、産官学連携の取組件数増加及び連携の 円滑化を図る事業を実施する。

(2) 島根県

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	しまねものづくり産業活性化プロジェクト	107,782	商工労働部	- 県内製造業の競争力強化を図るため、経営管理面の強化や技術力の底上げなどものづくり企業を支援。 - 戦略的取引先確保推進事業 - しまね産学官連携促進支援事業
	新産業創出プロジェクト	304,161	商工労働部	- 競争力ある技術や新製品を有した新事業展開を促進するため、研究開発プロジェクトを推進。 - 新産業創出戦略構築事業 - 熱制御システム開発プロジェクト - 新エネルギー応用製品開発プロジェクト - 機能性食品産業化プロジェクト - ICT技術開発プロジェクト
	水と緑の森づくり事業	356,362	農林水産部	- 水と緑の森づくり税を財源とし、県民と協働して荒廃森林の「水を育む緑豊かな森」への再生を促進。 - 森づくり推進事業 - 資源活用実践事業 - 県民再生の森“モデル”事業
	省エネ・3Rの県民行動促進事業 (しまねCO ₂ ダイエット作戦)	6,000	環境生活部	省エネルギー・3Rなどの環境に配慮した行動を、企業・団体・行政等県全体で応援し、地球温暖化防止と循環型社会づくりに向けた気運を醸成。
	キラリと光る島根 「環境農業」対策事業	12,303	農林水産部	- 環境を守る農業への取組みにより、島根県の農業・農産物のイメージアップを図り、付加価値の高い売れる農産物作りを推進。 「環境を守る米作り」推進事業 - 環境農業を支援する流通販売対策事業 「環境を守る農業宣言」推進事業
	農林水産業・省エネルギー-対策事業	17,000	農林水産部	- 燃油価格の高騰下でも安定した事業経営が継続可能な農林産業を構築するため、省エネルギー効果のある資材や、機器の導入を支援。 - ハウス被覆資材等の高機能化支援 - ハウス加温用暖房機の更新支援 - 魚業用4サイクル船外機導入支援

(3) 岡山県

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	グリーンバイオプロジェクト 推進事業	72,173	新産業推進課	バイオマス由来の資源・エネルギーの活用を促進するため、バイオマスプラスチックを活用した新製品の開発やバイオエタノールの事業化を促進するとともに、バイオマスエネルギー等次世代エネルギーの研究を進める。
	ストップ温暖化！推進事業	21,815	環境政策課 環境管理課	「新岡山県環境基本計画」を受けて、引き続き地球温暖化防止対策に取り組む中で、省エネルギー対策を重点的に推進するため、新たに、中小事業所の省エネ診断や温室効果ガス排出量の算定・報告公表制度の創設などの取り組みを行う。
	環境学習協働推進事業	12,292	環境政策課 循環型社会 推進課	「新岡山県環境基本計画」を受けて、新たに「環境学習推進プログラム(仮称)」を策定し、NPO等との協働などにより、環境学習を効果的、総合的に推進する体制を整備する。
	循環型産業クラスター形成 促進事業	158,947	新産業推進課	県内産業廃棄物排出企業の循環型産業への参入を促進するため、民間主導による取組を支援する。 ・循環型産業の技術開発等への支援 ・3R関連企業等を集めたメッセ開催
	おかやまグリーン・ツーリズム 応援事業	1,978	農村振興課	ゆとりのある生活や自然を求める動きが強まっているため、グリーン・ツーリズムの実践者と参加者からなるネットワークを構築し、実践指導者の育成や会員相互の交流や情報交換等を図る。
	環境教育推進事業	12,984	環境政策課	小中学生等に対し、循環型社会に向けた具体的な消費行動及び意識改革を促すため、総合的な環境教育・学習を行う。
	おかやま・もったいない運動 推進事業	9,709	循環型社会 推進課	循環型社会の形成に向けた「3R推進」や「温暖化防止」について、県民の意識改革と実践行動を促すため、推進大会などの各種取り組みを行う。
	ごみゼロ社会推進事業	13,987	循環型社会 推進課	岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議の開催等を通じて、ごみの減量化やリサイクル等についての意識高揚や再生品の使用促進を図る。
	循環資源情報提供システム 整備事業	9,982	循環型社会 推進課	循環資源のマッチングシステムや「リサイクル・もってーネット」により、事業者間等における廃棄物の再利用や不用品の交換を促進する。
	全国都市緑化フェア開催事 業	513,204	交通規制課	第26回全国都市緑化おかやまフェアを県民との協働で開催することにより、県民の緑化意識・環境保全意識の向上や県民とのパートナーシップの構築を図るとともに、緑豊かな岡山の魅力を全国に発信する。

一部概算要求の内容を含む。

(4) 広島県

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	環境基本計画等推進事業	6,000	環境部 環境政策室	市町の環境基本計画等の策定を誘導し、市町による環境施策の総合化を図る。 ・市町別のCO ₂ 排出量、廃棄物処理状況、野生生物生息状況等の算定・整理を行う ・市町への情報提供及び環境基本計画等の策定支援 (環境行政総合調整会議等を活用)
	県民エコ運動支援事業	11,200	環境部 環境政策室 環境調整室	・地球温暖化や廃棄物問題をテーマにしたシンポジウムの開催 ・県の環境・廃棄物に関する情報や県民の家庭での取り組み事例を掲載したエコカレンダーの作成、配布、取組結果報告の取りまとめ ・企業、学校、地域での環境学習への省エネ、環境分野の講師派遣 ・地域での地球温暖化問題、ごみ問題、環境保全活動に取り組む地球温暖化対策地域協議会の新規設立促進
	エコ事業所支援事業	9,000	環境部 環境調整室	中小企業が行う二酸化炭素や廃棄物の削減等の環境への取組みを支援するため、エコアクション21の審査・認証・登録に要する費用の一部を助成する。
	地球温暖化適応策検討事業	1,000	環境部 環境政策室	地球温暖化の進行に伴う影響の顕在化の中で、新たな課題となっている「温暖化適応策」について、国の検討成果等も踏まえながら、地域に対する影響を把握・軽減するための取組を開始する。
	リサイクル施設等整備費 助成事業	401,124	環境部 循環型社会 推進室	廃棄物の排出抑制、リサイクル等を推進するため、県内におけるモデル的なリサイクル施設整備の一層の推進を図るため、補助要件の一部を緩和する。
	循環型社会形成推進機能 強化事業	100,230	環境部 循環型社会 推進室	産学連携の研究開発推進母体(NPO法人広島循環型社会推進機構)に対して、リサイクル技術の研究開発経費に加え、リサイクル技術の実証に必要な経費を助成する。
	びんごエコタウン推進事業	397,000	環境部 循環型社会 推進室	びんごエコタウン構想の実現に向けて、福山市箕沖地区に整備する「びんごエコ団地」にリサイクル施設群の集積を促進するための立地支援を行う。
	廃棄物排出者責任強化 対策事業	45,000	環境部 産業廃棄物 対策室	・事業者責務や自己管理の徹底のための講習会開催 ・周知・啓発のための広報番組やイベント開催など ・排出事業者責任を推進するための新たな制度の検討 ・マニフェスト交付状況報告義務化に伴う事務処理・管理指導体制の構築 ・産業廃棄物排出事業者の指導のための専任職員の配置
	地域廃棄物対策支援事業	84,409	環境部 循環型社会 推進室	市長(一部事務組合)が地区不法投棄防止連絡協議会の構成員として実施する廃棄物の不法投棄対策を支援することにより、地域レベルで不法投棄を未然に防止するための取組を促進し、全体的に不法投棄させない地域環境づくりを推進する。
	環境学習モデルタウン事業	17,000	環境部 環境調整室	環境学習に積極的に取り組む自治体を「環境学習モデルタウン」に指定し、地域住民等と連携・協働して先進的な取組を推進することにより、環境学習の効果的な展開を図る。
	ひろしま産業創生補助金	116,280	商工労働部 新産業振興室	中小企業者等の行う新規性を有する技術・商品開発を支援する「ベンチャー枠」と、企業グループによる即効性が高いと見込まれる技術・商品開発を支援する「連携枠」により、企業の成長段階に応じた研究開発を支援する。
	環境ビジネス促進事業	2,185	商工労働部 新産業振興室	産学官で構成する広島県環境関連産業創出推進会議を通じ、環境分野の研究テーマについて企業等によるグループ研究会を開催し、環境関連製品・技術開発を支援する。 ・環境関連製品・技術の研究開発活動を支援 ・環境関連分野の製品化支援
	先端バイオシーズ事業化 推進事業	10,467	商工労働部 新産業振興室	知的クラスター創生事業の研究成果を活用した、県内企業が取り組む事業家に向けた研究開発に対し支援する。
	中小企業・ベンチャー販路 拡大促進事業	14,916	商工労働部 新産業振興室	・県内において新製品・新技術発表・商談の場を提供 ・県外大都市圏において新製品・新技術発表・商談の場を提供 ・東京広島県人会の人的ネットワークを活用し、商談先の首都圏企業を発掘して商談を支援

(5) 山口県

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	環境学習推進パワーアップ事業	2,000	環境生活部 環境政策課 ほか	多様な自然とふれあいを通じて、将来の山口県を担う子供たちへの環境への関心upのため、県セミナーパークを中心に魅力ある体験型環境学習講座を開設。 ・小学生宿泊型体験活動支援プロジェクト ・小学生1日体験活動支援プロジェクト ・ピクトブ手作り講座
	知的クラスター創成推進事業	30,000	商工労働部 新産業振興課	宇部地域における「知的クラスター創成事業」の円滑な推進に併せ、研究成果の事業化に向けた県内中小企業の取組みへの支援等を行う。 ・産学公連携による推進体制の整備 ・研究成果の事業家促進
	環境産業マルチパーク構想推進事業	4,000	商工労働部 新産業振興課	今後の有力な成長産業である次世代型環境産業について、本件の特性を生かした新規事業化や企業立地等を推進し、新たな産業活力の創出を図る。
	水素フロンティア山口実証事例	7,020	環境生活部 環境政策課	周南地域のソーダ工場で副生する水素を利用した燃料電池を一般家庭に設置し実証実験等を行う。
	循環型社会形成推進事業	72,263	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	山口県循環型社会形成推進基本法に基づき、リサイクル産業創出の支援や、事業者等の3R活動(ごみ減量、再利用、再生利用)の促進に取り組む。 ・地域循環型プロジェクト支援事業 ・やまぐちエコ市場形成事業 ・資源循環事例等認定普及事業
	山口県産業廃棄物管理システム導入促進事業	11,000	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	県外産業廃棄物の搬入に係る迅速な情報収集と監視体制を整備するため、民間において構築される「山口県産業廃棄物管理システム」を活用するための調査等を行う。 ・システム稼動に伴う適合性調査 ・産業廃棄物処理情報整備 ・普及啓発講習会
	周南地域広域最終処分場整備促進対策事業	5,000	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	広域最終処分場を整備する第三セクターへの建設経費等の融資
	宇部・小野田地域広域最終処分場整備促進対策事業	188,000	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	広域最終処分場を整備する第三セクターへの建設経費等の融資
	地域循環型プロジェクト支援事業	61,000	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	資源循環や廃棄物の減量化に著しい効果がある施設整備への助成
	やまぐちエコ市場形成事業	10,000	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	「やまぐちエコ市場」に参加する事業者の先進的なリサイクル等の事業化調査に対する助成
	資源循環事例等認定普及事業	1,100	環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	廃棄物の減量化や再資源化に取り組んでいる事業所等の認定
	CO2削減県民運動促進事業	8,527	環境生活部 環境政策課	民生部門のCO2排出量の削減対策を促進するため、各市町の地球温暖化対策地域協議会と連携し、温暖化対策に係る県民運動の強化を図る。
	地球温暖化対策推進事業	7,303	環境生活部 環境政策課	地球温暖化の原因とされるCO2などの温室効果ガスの排出量を削減するため、山口県地球温暖化防止活動推進センターと連携し普及啓発等を実施する。

山口県（つづき）

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
	新エネルギー研究開発事業	12,123	商工労働部 新産業振興課	産業技術センターの技術と大学、企業における技術シーズの組合せにより、新エネルギー（太陽光・水素・風力・バイオマス）利活用技術の開発を行い、脱炭素社会の到来を見据えた県内企業の技術力向上と新産業の創出を目指す。
	森林バイオマスエネルギー活用推進事業	246,973	農林水産部 森林企画課	森林バイオマスエネルギープランに基づくエネルギー利用システムのことで、これらのシステムに未利用森林資源（間伐材等）を低コストで供給するシステムを確立し、森林バイオマスエネルギー利用の推進と、森林資源の利活用を促進。 ・低コスト収集運搬システム ・中山間地域電熱供給システム ・ペレット燃料製造流通システム ・小規模分散型熱供給システム ・集中型冷暖房システム ・公共施設冷暖房システム ・石炭混燃システム ・森林バイオマスエネルギー供給施設設備事業 ・システム化実験事業評価委員会等

平成20年度に実施される予定の事業について記載

参考資料

- 1) 鳥取県：平成20年度当初予算における重点事業一覧 / 鳥取県庁ホームページ（総務部財政課）
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx>
- 2) 島根県：平成20年度当初予算主要事業の概要 / 島根県庁ホームページ（総務部財政課）
<http://www.pref.shimane.lg.jp/>
- 3) 岡山県：平成20年度主要施策別予算の概要 / 岡山県庁ホームページ（総務部財政課）
<http://www.pref.okayama.jp/>
<http://www.pref.okayama.jp/somu/zaisei/zaiseiy.htm>
- 4) 広島県：平成20年度当初予算の概要、当初予算関係資料 / 広島県庁ホームページ（総務部財政室）
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>
- 5) 山口県：平成20年度当初予算の概要 / 山口県庁ホームページ（総務部財政課）
<http://www.pref.yamaguchi.jp/>

2 - 2 . 環境産業関連施策（主要都市）

2-2. 主要都市の環境関連施策(平成20年度)

鳥取市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	市民活動促進事業補助金	1,500	企画推進部 協働推進課	市民活動団体が自主的に企画・運営する研修会等を助成することにより、活動団体構成員の活動への取組みを活性化させるとともに、広く市民が参加することで市民活動意識の増幅を図るもの。 市民活動団体が自主的に企画・運営する研修等へ助成する。 ・補助率: 4/5以内 ・補助限度額: 10万円, 20万円/団体
2)	新商品開発 販路開拓支援事業費	4,055	経済観光部 産業振興課	鳥取のオリジナルブランド商品を開発し、かつ三大都市圏等において、展示会・商談会・見本市等に参加・出展する者に対し支援をすることにより、地域経済の活性化を図る。 ・補助対象者: 市内に事業所を有する者 ・補助限度額: 100万円(補助率2/3)
3)	新技術研究開発事業費	6,060	経済観光部 産業振興課	産学官連携による新技術・新製品の開発を実施するため、大学等と連携した共同研究を積極的に支援することにより企業の自立強化と地場産業の活性化を図る。 ・対象者: 産学官連携により、本市での起業化及び新たな事業設立(大学発ベンチャーを含む)を目指す中小企業者・個人等 に対して、その取組みを支援 ・補助限度額: 100万円 ・補助率: 2/3
4)	産学官連携推進事業費	278	経済観光部 産業振興課	産学官の連携を強化することにより、大学のシーズと企業のニーズを整理し、それを調整することにより地域経済の活性化の推進を図る。 ・産学官の連携を強化するための研修会、連絡調整会議等への参加等 ・企業ニーズの把握(企業訪問調査、アンケート調査)
5)	ごみの減量化及び 再資源化対策費	24,222	環境下水道部 生活環境課	再資源化等推進事業を実施する団体に対し、回収料に応じて、奨励金を交付することによりごみの減量化・再資源化を推進することを目的とする。 ・奨励金単価: 古紙類6円/kg, 割り箸10円/kg, その他再資源化対象物4円/kg・本
6)	家庭用自然エネルギー 導入促進事業	5,000	環境下水道部 環境政策課	自然エネルギーの有効利用と化石燃料に替わるエネルギー普及により二酸化炭素の排出量を削減するとともに、地球温暖化の防止と環境保全意識の高揚を図る。
7)	生ごみ減量化推進事業 費補助金	6,000	環境下水道部 生活環境課	ごみの減量化及び再資源化の促進を目的とした生ごみ処理機の購入補助事業。可燃ごみのさらなる減量化によりごみ処理経費を削減するとともに、現有清掃工場の延命化を図る。 ・購入金額の1/3を補助(2万円が上限)。
8)	緑の基本計画策定費	4,000	都市整備部 都市計画課	人と自然にやさしい緑景観のまちづくりの推進及び、都市の緑地や防災に有効な公園・緑地を整備するために「鳥取市緑の基本計画」を策定し、緑地の保全や緑化を総合的に推進する。 ・緑地の配置方針並びに整備目標の設定 ・重点整備地区の方針 ・パブリックコメントの実施並びに地域別意見交換会の開催

松江市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	新ごみ処理施設建設事業	6,808,180	環境保全部 環境施設建設課	平成19年度～平成21年度までの継続事業である新ごみ処理施設の建設工事の2年目。全体事業の48.3%の進捗率を見込む。また、共有開始後の運営方法について検討を行う。
2)	未来へつなぐリサイクル推進事業	2,211	環境保全部 リサイクル都市推進課	事業所ごみの家庭並分別を目指し、資源ごみの分別を促進する。 ・「商工会議所」、「環境を創る企業の会」などと連携した研修会及び会議の実施 ・事業所用回収容器の設置 ・搬入受入品目 ・古紙、缶、びん、ペットボトル等
3)	ラムサール条約登録湿地の懸命な利用推進事業	1,242	政策企画課	ラムサール条約湿地である宍道湖・中海の貴重な自然環境を保全・活用し、条約の目的である「賢明な利用(ワイズユース)」を推進するため、地域住民・関係団体等と協働した各種取り組みを進める。 ・八束・花と緑の島づくり活動支援事業 ・普及啓発事業
4)	環境情報発信基地運営事業	26,806	環境保全部 環境保全課	環境保全への市民意識の高揚を図り、循環型社会構築のための情報発信を行うもの。 ・環境情報紙「エコタウンまつえ」の発刊 ・環境問題に関する教育・研修の場としての「くりんぴーす」「エコショップまつえ」の運営
5)	家庭用生ごみ処理機搬入補助金	15,105	環境保全部 リサイクル都市推進課	家庭用生ごみ処理機の一般家庭への普及を促し、生ごみの減量化及びリサイクルの推進を図る。
6)	業務用生ごみ処理機設置補助金	4,130	リサイクル都市推進	ホテル・旅館等の事業所を対象に生ごみの減量化を推進するため、処理機購入の一部を補助する。
7)	生ごみ堆肥化モデルプラント運営事業	3,412	環境保全部 リサイクル都市推進課	忌部地域に建設した堆肥化モデルプラントを運営し、生産した堆肥で農作物を栽培、消費することで、身近な循環システムの構築を図る。
8)	廃食油リサイクル推進事業	5,255	環境保全部 リサイクル都市推進課	使用済みてんぷら油を回収し、軽油に比べて環境にやさしいバイオディーゼル燃料を精製して利用することを通して、水質保護や環境保全全般に対する啓発及びごみの減量化を図る。

岡山市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	環境対策事業費	25,749	環境局	環境対策事業として以下のような事業を行う。 ・美しく快適な街づくり事業 ・3R推進事業(エコフェア) ・環境パートナーシップ事業 ほか
2)	バイオ燃料地域利用事業	2,700	環境局	各家庭や事業所等から排出される廃食用油を原料として、市民及び民間事業者との協働により、バイオディーゼル燃料(BDF)を製造、活用する。
3)	西部リサイクルプラザ(仮名)施設整備事業	7,500	環境局	西部リサイクルプラザ(仮名)設備 H20～24 整備手法の検討 (一般廃棄物処理施設整備基金活用事業)
4)	家庭系ごみ処理有料化事業	421,800	環境局	排出抑制及び再生利用の推進等を図るため、家庭系ごみ処理の有料化を平成20年12月から実施予定。
5)	全国都市緑化おかやまフェア開催事業費	2,163,762	都市整備局	平成21年春の全国都市緑化おかやまフェア開催に向けてカネボウ跡地の整備等を実施。 ・(仮称)西大寺南ふれあい公園整備事業 ・体験学習施設(テーマ館)整備 ・区画道路及び周辺道路整備事業 ・フェア開催事業負担金 ・都市計画道路幸町松崎線整備事業
6)	自然エネルギー普及事業	1,083	環境局	環境と経済の好循環によるまちづくりを目指し、市民等の協働により自然エネルギーの普及を図る。 自然エネルギー啓発、講座の開催、備前みどりのまほろば協議会負担金等。
7)	省エネルギービジョン策定事業	9,000	環境局	地域全体の総合的かつ長期的な省エネルギーの推進施策を具現化し計画的に推進するため「岡山県地域省エネルギービジョン」を策定。

倉敷市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	ごみ減量化対策事業	152,849	環境部	ごみの減量化及びリサイクルの推進活動等を行った町内会・子供会等に対する補助金。 ・ごみ減量化協力団体報奨金(1kg当り6円) ・生ごみの処理容器購入費補助金 ほか (堆肥化容器 補助率1/2 限度額3千円) (生ごみ処理機 補助率1/2 限度額10千円)
2)	ペットボトル拠点回収事業	52,430	環境部	使用済みペットボトルを市内のスーパー等のリサイクル協力店の店頭回収容器を設置して回収及び選別・圧縮を行う経費。 ・拠点回収収集・運搬委託料 23,039円 ・拠点回収選別・圧縮委託料 28,930円 ほか
3)	循環型社会推進事業	29,908	環境部	循環型社会形成の推進のため、先進的なリサイクル事業を支援するための経費。 ・循環型社会形成推進モデル事業補助金 先進的なリサイクル事業に対して補助を行う (補助率1/4 限度額25,000千円) ・岡山エコタウン関係施設巡回見学受入事業費補助金 ・新ごみ処理事業契約管理委託料
4)	資源循環型廃棄物処理施設運営事業	1,974,375	環境部	PFI手法に基づき一般廃棄物等を処理する経費。 ・ごみ処理業務委託料 1,970,176円 ・ごみ処理事業契約管理委託料 2,293円 ・ごみ質分析手数料等 1,906円
5)	新エネルギー推進事業	20,351	環境部	住宅用太陽光発電システム設置費補助金など。 (補助額:15千円/kW,限度額:60千円)
6)	堆肥利用促進事業	210	農林水産部	畜産農家がつくる堆肥を耕種農家がほ場へ散布する経費に対する補助金。 負担割合:県1/2 事業主体1/2
7)	児島リサイクル推進センター管理運営事業	18,569	環境部	木製家具・古着・古本のリユース事業やリサイクルに関する各種講座の開催を行う運営経費。

広島市

平成20年度予算重点施策より環境関連事業を抜粋(各事業の内容に関する記載はない)

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	ごみの減量化・リサイクル推進啓発等事業	9,097	-	-
2)	ゼロエミッションシティ推進協議会運営	2,349	-	-
3)	レジ袋削減等の取り組み事業	946	-	-
4)	焼却灰等リサイクル事業	209,915	-	-
5)	容器包装プラスチックのリサイクル事業	828,973	-	-
6)	リサイクル施設整備	1,532,544	-	-
7)	「水の都ひろしま」の推進	5,445	-	-
8)	緑の基本計画の改定	5,368	-	-
9)	環境保全資金融資制度を活用した中小企業等による低公害車導入の促進	35,000	-	-
10)	低公害バス車両購入補助	5,000	-	-
11)	低公害車の公用車への導入	20,897	-	-
12)	未来エネルギーに関する研究開発の促進	5,181	-	-
13)	インターネットを活用したエコライフ推進事業	2,288	-	-
14)	事業者が排出する温室効果ガス削減施策の検討	9,280	-	-
15)	環境関連製品・技術開発補助	10,000	-	-

呉市

平成20年3月の時点で予算の概要が公表されていないため、平成19年度事業の掲載

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	ごみの減量化の推進	-	-	呉市内全域でのごみ出しルールの統一化に向けた取組みを推進。
2)	新エネルギービジョン活用プロジェクトの推進	-	-	新エネルギービジョンに基づき、今後の新エネルギーの推進のための環境づくりを行う。
3)	一般廃棄物最終処分場の整備	-	-	次期一般廃棄物最終処分場の適地選定に向け、審査会の設定、自然環境調査などを行う。
4)	新産業の振興育成	-	-	地域の中小企業が挑戦する新技術の研究を産学官で共同して行い、革新的な技術の発展を目指す。

福山市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	環境基本計画査定事業	6,575	経済環境局 環境部 環境保全課	人と自然が共生し、環境への負荷が少ない持続的発展が可能な都市を目指すため、環境保全施策に関する基本的な事項を定めた「福山市環境基本条例」に基づき、施策を総合的、計画的に推進するため「福山市環境基本計画」を推進する。 「第四次福山市総合計画」との整合性を図る中で、環境基本条例やその理念に基づき、中長期的な目的及び施策の方向性を示した計画を2年で策定。
2)	太陽光発電設置費補助事業	17,600	経済環境局 環境部 環境保全課	住宅用太陽電池システムを設置した者に設置費の一部を補助。 ・補助対象者： 自ら居住する住宅に、太陽光発電システムを設置したもの ・補助金額： システム出力1kwあたり2万円 4kw上限
3)	ごみの減量化・リサイクルの推進	96,982	経済環境局 環境部 環境管理課	・地域の各種団体で実施している資源回収の取組みについて、自治会等の地域の団体と連携を深める中で、引き続き充実・拡大に努める ・生ごみの減量化のため「生ごみ処理器補助金制度」を引き続き実施 ・事業系紙ごみの市の拠点回収について、環境部各事業所での受入れを実施するとともに、イベント・行事などで市民への啓発活動に取り組む
4)	汚泥再生処理施設建設事業	15,000	経済環境局 環境部 環境管理課	老朽化したし尿施設について、経済性や効率性を考慮し、し尿及び浄化槽汚泥を広域的に安定かつ適正に処理できる施設を整備。
5)	温暖化対策事業	13,612	経済環境局 環境部 環境管理課 環境保全課	地球温暖化防止に寄与するため、市民や事業者が行うCO2や廃棄物削減への取組を支援するとともに、本庁舎以外の市の施設へのISO14001の認証の拡大に取組み、一層の温暖化防止対策を推進する。 ・ふくやま環境賞を創設し、事業者、団体等を対象に表彰。 ・「エコファミリー」の認定 ・マイバッグ運動「エコでえ〜ことキャンペーン」の継続実施。 ・ISO14001, エコアクション21について、取得経費の一部を補助。
6)	産学官連携・新事業創出支援事業	10,000	経済環境局 環境部 商工課	市内の中小企業者が大学と契約を締結し、大学の有する知識や研究機器を活用して、大学の研究成果の実用化などを進める産学共同研究事業や、新事業創出に向けた新たな製品・技術・サービス提供の企画事業・開発事業について支援する。 【補助事業】 ・産学共同研究事業： 大学と契約を締結して実施する研究開発事業 ・新事業創出支援事業： 新たな製品・技術・サービス提供の企画事業・開発事業
7)	企業間連携促進事業	1,500	経済環境局 環境部 商工課	平成18年度から企業OB等で構成する産業支援NPOと協働して、福山地域の企業の独自技術等をデータベース化し、「福山市産業技術マップ」として、市ホームページ等で広く公開する。 マップの活用による企業間連携を促進し、高度な、ものづくり地域の構築を目指す。

山口市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	地球温暖化対策推進事業	478	環境部	地球温暖化対策として、市民等への啓発・情報提供を目的としたチラシ等の配布を行うとともに、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく組織づくりを進め、効果的な対策等を協議、検討、実施する。
2)	ISO14001認証取得事業	8,018	環境部	市役所自らが率先して環境問題に取り組む姿勢を明確にし、環境負荷低減の取組みを進めるとともに、市域の環境保全に関する取組みを推進するため、ISO14001の認証を取得する。
3)	事業系ごみ削減対策推進事業	2,520	環境部	事業系ごみの排出量抑制と資源化への誘導のため、事業所を対象に啓発指導等を行う。
4)	資源物拠点回収施設設置事業	11,800	環境部	市内に24時間いつでも資源物を排出できる資源物ステーションを新たに設置し、排出機会を拡大することで、ごみの更なる資源化を推進する。
5)	給食残さくくる事業	2,009	環境部	市立小・中学校の給食残渣の資源化を行うことにより、一般廃棄物の減量化を図るとともに、実施区域についても拡大する。
6)	じん芥収集運搬事業	161,664	環境部	山口地域と小郡地域のじん芥収集業務の効率化を図るとともに、リサイクルの促進と埋立ごみの減容化のため、新たに金属・小型家電製品の収集を開始するほか、市民サービス向上の観点から新たに粗大ごみの戸別収集を開始。

下関市

事業名		H20予算(案) (千円)	担当部局	事業概要など
1)	ごみ処理施設再編整備事業	250,800	自然環境 生活環境	クリーンセンター響の中継基地化及びそれに伴いごみの受入量が増加する全施設で一体的に大規模改修等を実施。
2)	緑のリサイクル推進事業	35,000	都市整備部	公園・街路樹の選定、刈り込み等により生じた枝葉等をチップ化し再利用することでごみを減量化し、CO2の削減や有機物のリサイクルの促進を図る。
3)	次世代リーディング産業創出戦略事業	1,590	産業振興	地元企業等からなる会議を立ち上げ、本市の次世代を見据えた産業集積分野の設定や誘致誘導体制の構築などについて検討し、本市企業誘致施策に反映。

平成20年度に実施される予定の事業について記載

参考文献

- 1) 鳥取市：平成20年度当初予算案事業別概要 / 鳥取市ホームページ（総務部行財政改革課）
<http://www.city.tottori.tottori.jp/www/contents/1204267144915/index.html>
- 2) 松江市：平成20年度当初予算の概要 / 松江市財政課資料
<http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/gyouseizaisei/zaisei/index.htm>
- 3) 岡山市：平成20年度当初予算（案）について / 岡山市ホームページ（財政課）
<http://www.city.okayama.okayama.jp/zaisei/zaisei/H20tousyo/H20tousyomokuji.htm>
- 4) 倉敷市：平成20年度当初予算（案）の概要，資料編 / 倉敷市ホームページ（企画財政部財政課）
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/zaisei/yosanjoukyou.html>
- 5) 広島市：平成20年度当初予算・当初予算説明資料 / 広島市ホームページ・報道発表資料（財政局財政課）
<http://www.city.hiroshima.jp/icity/browser?ActionCode=genlist&GenreID=1202890093074>
- 6) 呉市：平成19年度主要施策案 / 呉市資料
（平成20年3月時点で予算の概要が公表されていないため，平成19年度事業を掲載）
http://www.city.kure.hiroshima.jp/kureinfo/info_gyousei_kikaku.html
- 7) 福山市：平成20年度主要事業説明資料，2007年度重点政策 / 福山市ホームページ（財政課，企画課）
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdnKey=3002>
- 8) 山口市：平成20年度当初予算について / 山口市ホームページ（総合政策部財政課）
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/dannai/soshiki/sogoseisaku/zaisei/yosan/H20yosan.htm>
- 9) 下関市：平成20年度当初予算の概要 / 下関市ホームページ（財政部財政課）
<http://www2.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1162465900965&SiteID=0>

3 . 地域の取組み

3 - 1 . 地域の取組み（国，自治体等）

3-1.地域の取組(国,自治体等)

(1)中国地方全般

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
-	中国経済産業局	中国地域全体	産業クラスター計画	産業クラスター計画とは、地域の中堅中小企業・ベンチャー企業等が大学、研究機関等のシーズを活用して、IT、バイオ、環境、ものづくり等の産業クラスター(新事業が次々と生み出されるような事業環境を整備することにより、競争優位を持つ産業が核となって広域的な産業集積が進む状態)を形成し、国の競争力向上を図ることを目指す計画。
-	中国経済産業局	中国地域全体	総合的なエネルギー環境対策の推進	「中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議」などを活用し、関係省庁や地方自治体と連携のもと、地域を取り巻くエネルギー・環境制約に対応した総合的なエネルギー環境対策を推進するとともに、関係者の意識高揚を図る。 ○ 需要対策 ・産業部門: コンビナートにおける省エネルギー対策を重点的に支援していく ・民生・運輸部門: 関係省庁と連携し、低公害車の促進や公共交通機関の利用促進など省エネルギー対策を推進していく ○ 供給対策 ・中山間地域の豊富な木質系資源を活かしたバイオマス発電、風力、太陽光など新エネルギー発電施設の導入支援、将来の水素社会に向けた取組み、石炭火力発電所における木質バイオマスの混焼など環境に配慮した取組みを支援 ○ エネルギー環境対策に資する省エネルギー推進や新エネルギー導入のプロジェクトに取り組む自治体に対し、事業実施に向けた支援を行う
-	中国経済産業局	中国地域全体	環境負荷の低減に向けた資源の有効利用対策の推進	自然に恵まれた中国地域のポテンシャルを活用し、産学官連携の推進や広域連携などによるリサイクルの推進を図り、地域は先進的なモデルとなる循環・環境型社会の構築を図る。 ・新連携事業等の活用により関連製品の販路開拓や事業家のための資金供給の確保などを支援 ・コンビナートの副生ガスや水素関連技術のポテンシャルを活用した地域エネルギー利用システム構築の取組を支援 ・瀬戸内地域における県域を越えたエコタウン事業の広域連携によるリサイクルシステム構築の取組を支援 など
-	中国経済産業局	中国地域全体	産学官連携による新産業・新事業の創出への支援	中国地域が強みを有するモノづくり分野や、地域の大学等のポテンシャルが高い分野などを対象として、関係機関と連携してシーズの掘り起こしから事業化に至るまでの一環支援を行うことで、産業クラスターの形成など次世代を担う国際競争力ある企業の育成を図る。 ・ネットワーク強化や技術開発・事業家支援を行い、「産業クラスターフォーラム」と連携し、新産業・新事業の創出と育成を図る。
-	中国経済産業局	中国地域全体	がんばる中小企業への支援	ベンチャー企業の育成、中小企業の経営革新、異分野の中小企業の連携による新事業・新分野への挑戦等を支援。 また、中小企業に対する経営支援の推進に加えて中小企業再生支援協議会の活用も通じて、雇用の安定と地域経済の活力の維持を図る。
-	農林水産省 中国四国農政局	中国地方全体	バイオマス・ニッポン総合戦略の推進	バイオマスの総合的な利活用を普及啓発するため、以下の取組みを実施。 バイオマス関連情報を広く提供するため、メールマガジンの内容の充実、定期的な発行 バイオマスタウン構想策定の推進 バイオマスの環づくり交付金等の円滑な実施

(中国地域全般 つづき)

-	農林水産省 中国四国農政局	中国地方全体	畜産環境対策の 推進	耕種農家のニーズを踏まえた良質たい肥の製造等について畜産サイドに普及啓発を行うとともに、地域資源の循環、化学肥料の代替資材としての利用促進等の観点から耕種サイド、普及サイドに対し家畜排せつ物由来たい肥に関する理解促進を図る。 ・家畜排せつ物とたい肥の利活用を推進 ・家畜排せつ物処理施設の管理運用状況及び法対応状況を把握 など
-	農林水産省 中国四国農政局	真庭市	真庭市木質バイオマス活用地域エネルギー循環システム化実験事業	本事業では、真庭地域で利活用されていない樹皮、林地残材、間伐材をエネルギー源として地域内で有効に活用し既存燃料の高度化を推進するとともに、地域内で試験的に利用されている木質ペレットを効率よく低コストで供給するシステムの実験を平成17～21年度の5年間をかけて実施。原油換算で年間1,289klのエネルギー利用規模のトータルシステムが成立することを目指す。
-	国土交通省 中国地方整備局	中国地方全体	河川等の水質浄化及び公共用水域の保全 【中海・宍道湖浄化事業】	自然の豊かさを生かし、環境学習の場など自然とのふれあいや交流の場を創出。また、閉鎖性水域や河川等の水質保全を図り健全な水環境を創出。 【中海・宍道湖浄化事業】 河川や湖沼等の公共用水域の水質保全を図ることにより、生物の多様性ならびに自然とのふれあいの場を確保し、良好な水辺、沿岸域の環境を創出する。 平成18年度は、ラムサール条約に登録された斐伊川の中海・宍道湖において藻場、湖岸植生等の整備を実施。
-	環境省 中国四国地方環境事務所	中国地域全体	循環型社会地域支援事業	環境省では、地域において循環型社会の形成に向けた取組でNGO・NPO・研究機関・事業者が地方公共団体等と連携して行う、他の地域に波及していく、先駆的なモデルとなるような事業を公募により、採択し支援する。
-	環境省 中国四国地方環境事務所	中国地域全体	循環型社会の形成に向けたエコ・コミュニティ事業	NGO・NPOや事業者が地方公共団体と連携して行うリデュース、リユース、リサイクルやグリーン購入などの循環型社会の形成に向けた取組で、他の地域のモデルとなるような創意工夫に優れた事業を公募し、実証事業として実施する。
-	環境省 中国四国地方環境事務所	瀬戸内沿岸	瀬戸内海海ごみ対策の推進	瀬戸内海の高ごみの発生抑制及び適正処理の推進を図るため、関係機関が海ごみ問題に関する共通認識を持って、共同して対策を検討することにより瀬戸内海の環境を維持及び保全することを目的としている。また、瀬戸内海海ごみ対策検討会を設置し、以下の活動を実施している。 ・海ごみの現状把握に関する活動 ・海ごみの回収に関する活動 ・回収した海ごみの適正処理に関する活動 ・海ごみの発生抑制に関する活動等

(2) 鳥取県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
1	鳥取県 西部総合事務所	鳥取県西部	木質ペレットを燃料	平成19年6月から木質ペレットを燃料とするペレットボイラー(冷暖房施設)の新設工事を行い、平成20年2月20日に竣工する。地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量削減の取組みとして、環境にやさしい木質ペレットを燃料とする冷暖房設備を導入。 このボイラーはペレットボイラーとしては、全国最大級。重油式ボイラーに更新した場合と比較すると二酸化炭素排出量を約1/3に抑えられる。
2	鳥取県 循環型社会推進課	県内全域	鳥取県エコショップ 制度	簡易包装の推進や資源ごみの回収、再生品の販売など、ごみの減量化・リサイクルの推進に積極的に取り組んでいるお店を「エコショップ」として県が認定するもの。
3-1	鳥取県 環境立県推進課	県内全域	ペレットストーブの 推進	県内では昨年12月に工場が完成、本格的なペレットの生産が始まる。県内で生産されるペレットの原料は全て県内の土木工事や松くい虫被害で伐採された木、製材後に出る端材など、これまでほとんど廃棄されていたものである。
3-2	鳥取県 環境立県推進課	県内全域	環境立県アクションプ ログラム	『自然エネルギーの導入』に関する中長期的な目標を定め、産業界・個人に対して働きかけを行うとともに、「県庁率先行動」を定めて各種の取り組みを行っている。 ○平成19年度の数値目標...3年間(平成17～19年度)で自然エネルギーを5万kW導入する。 ○長期的目標(平成22年度まで) ・電力自給率を平成15年度の14%から20%にする。 ・住宅用太陽光発電の普及率を平成15年度の0.4%から1.2%(平成15年度全国第1位の佐賀県の1.11%を上回る)を目指す。 ・木質ボイラーやストーブなどの普及により、間伐材や木材廃材の利用率を100%にする。
4	鳥取県 農業試験場	鳥取市	バイオディーゼル燃料 を使用した農業用トラ クターの試運転	鳥取県では、地球温暖化防止に向けてバイオディーゼル燃料(BDF)の利用・導入を進めている。試験場では、「環境負荷軽減への取組み」として、二酸化炭素を排出しないBDFを農業用トラクターの燃料とする試みWGを県内で初めて行った。 循環型社会として水環境の保全、地球温暖化防止に向けて、BDFの利用・導入を検討。県としても取組みを進めるため、関係課によるWGを設け、BDF利用に関するデータの収集、課題の整理等を行っている。まず、県庁公用バスにおける試験運行を行い、引き続き道路維持作業車、トラクター等農業用機械等への利用・導入を検討する。
5	大山町	大山町	木質バイオマスを 燃料活用	【大山町バイオマスタウン構想/農林水産省】 同町の構想では、木質バイオマスをペレットストーブやボイラーの燃料として活用していくことを通じた林業の再生等、大山町独自の恵まれた環境を絶やすことなく継承し、発展させていく取組みの一つとして、同町一体となってバイオマス資源の有効活用について取り組む。 木質ペレット製造施設を今年中に町内に建設する予定で、製材工場残材、株地残材、松くい虫被害木等の未利用資源を木質ペレット生産に利用する。
6	境港市 下水道センター	境港市	下水道汚泥を セメント原料利用に転 換	市の下水道センターで脱水した汚泥をJRのコンテナで山口県内にあるセメント工場に搬送し、同工場で、セメント原料となる粘土の代替として有効利用することを2005年度に検討。

(3) 島根県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
1	出雲市 (旧平田市)	出雲市	廃食油からBDF燃料 を精製し燃料利用	【平成16年度 バイオマス利活用優良表彰事業/農林水産省】 平成13年10月から本格的に市内の公民館および公共施設に 廃食油の回収拠点を設けてバイオディーゼル燃料を精製し、市 営生活バスの燃料として使用。市町村合併後は市広報誌等を活 用し、同市全世帯を対象に廃食用油回収を呼びかけ、市民は市 役所本庁・支所及び各コミュニティーセンター等の市内46拠点に 設置された大型の回収容器に移し、同市が月に2回収収してい る。 平成18年度で回収した廃食用油(天ぷら油)は、約3万7千リッ トルで約3万3,800リットルの燃油を精製した。 18年度は、原油高の影響で軽油の値上がりが続いていたた め、軽油利用のバス燃料と比較すると、年間約200万円の経費が 削減できた。
2	島根県 地域振興部 土地資源対策課	県内全域	地域新エネルギー導 入の取組み	エネルギー問題や地球環境問題の取組みとして、島根県で は「島根県地域新エネルギー導入促進計画」(平成11年3月策 定)に基づき、地域新エネルギーの導入に向けた調査や普及・ 啓発に取り組んでいる。
3	島根県 商工労働部 産業振興課	県内全域	産業競争力強化 プロジェクト	本県の産業を担う中核的な企業の技術力・経営力・販売力など を強化するため、個別企業への提案型の支援、産学官連携促進 や首都圏販路強化などにより、重点的・集中的に支援する。
4	松江市	松江市	廃食油リサイクル 推進事業	家庭で天ぷらや揚げ物などに利用した天ぷら油を回収し、精製 プラントで処理を行なうことで、バイオディーゼル燃料を生成。こ の燃料をごみ収集車への代替燃料として使用することで、宍道 湖・中海・日本海とその流域河川への油流出を防ぎ、環境保全 (CO ₂ の削減、水質・大気保護)とごみの減量を進める。
5	国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所	仁多郡 奥出雲町	「廃プラスチックを利用 したアスファルト混合 物添加材」を使用した 舗装の試験施工実施	中国技術事務所では、民間で構想及び開発中の公共工事に とって有望な技術を開発し、普及を図ることを目的として、民間か らの技術開発要望があった同技術について試験施工を実施す る。
6	島根県 農林水産部	県内全域	間伐の推進と間伐材 の利用促進	県では間伐の推進を林業の最重点課題と位置づけ、平成11年 4月に「島根県間伐推進基本方針」を策定し、間伐実施(間伐実 施率の目標50%)と間伐材利用(間伐材利用率の目標43%)を 市町村及び関係団体の協力を得て実施
7	斐川町	斐川町	ひまわりプロジェクト (BDF精製・利用)	廃食用油を回収し、BDFを精製。公用バス3台の軽油代替燃 料として100%で利活用。
8	出雲市	出雲市	廃食油のBDF精製・利 用	コミュニティーセンター等を拠点として廃食用油を回収し、バイ オディーゼル燃料として精製し、市営生活バス4台に使用。
9	JA雲南	飯石郡飯南町	家畜排せつ物から堆 肥ペレットを製造	JA雲南では、堆肥ペレット製造技術を開発。製紙工場から発生 するパルプかすを家畜排せつ物と混練し、堆肥のペレット化を実 現。
10	島根県 廃棄物対策課	県内全域	マイバッグキャンペ ーンの実施	3R(スリーアール:ごみの発生抑制、再使用、再生利用)推進 の一環として、県下のしまねエコショップで実施した「しまねマイ バッグキャンペーン」は、多くの県民の参加もあり、目標の20万枚 を大幅に上回る250,362枚の応募(対前年度比163.7%)があり、 約175万枚のレジ袋を節約することができた。
11	島根県 農林水産部	県内全域	総合的なバイオマス 利活用の推進	【平成15年度 島根県バイオマス総合利活用計画】 畜産排せつ物や製材工場残材、下水汚泥など、バイオマス資 源の有効活用が課題となっており、その利活用を積極的に 推進するため、平成15年度に2010年を目標とする県の基本計 画「島根県バイオマス総合利活用計画」を策定。
12	益田市	益田市	益田市役所地球温暖 化対策実行計画	アイドリングストップやBDF(バイオディーゼル)燃料の使用、 灯油・重油・電気の使用削減を行い、平成23年度までに平成17 年度に比べ、温室効果ガスを6%削減することを目指す。

(4) 岡山県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
1	美作市	美作市	バイオディーゼル燃料の生産事業	美作市は、環境に配慮したまちづくりを目指し、バイオディーゼル燃料の生産事業を開始。 今まで焼却処分されていた廃食用油を再生利用するプラントを、平成18年に同市勝田総合支所の敷地内に建設。精製プラントは、平成19年4月に廃食用油の精製プラントとして稼働したものであり、美作市及び隣接する西粟倉村の一般家庭をはじめ、事業所、公共施設から収集した廃食用油とメタノール、水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)を化学反応させてバイオディーゼル燃料を製造している。
2	真庭市	真庭市	バイオマスツアー真庭	平成18年12月から財団法人地域総合整備財団の助成(地域再生マネージャー事業)を受けてバイオマスツアー真庭を開始。同市と観光連盟では地元バス会社の協力を得て、バイオマスの利活用の意義と、それが育まれた「真庭の地」をより深く理解してもらうために、市役所や事業所が独自に受け入れていた視察をまとめ同ツアーを開始。このツアーはバイオマスを活用している事業所等を巡り、市内のバイオマスの活用と地域内循環の現状を総合的に学ぶことができる。 あわせて、同市と観光連盟では同ツアーが観光振興に発展することを目指している。
3	新見市	新見市	使用済み食用油をバイオディーゼル燃料に精製	新見市(旧大佐町)では、地球温暖化問題や石油資源の枯渇等の様々な問題に対処するため「新エネルギービジョン」を策定し、可能なものから取り組んでいる。その一環として、公共用水等の汚染防止と資源の有効利用を目的に、学校給食や家庭等から出る使用済み食用油をバイオディーゼル燃料に精製することを始めた。精製した燃料は、同地区の公用車4台に利用しており、そのほとんどを補っている。
4	岡山県生活環境部	県内全域	「岡山エコタウンプラン」の推進	岡山エコタウンプランは、岡山県が制定した全国初の「岡山県循環型社会形成推進条例」の実行計画となるものであり、環境ビジネスを地域産業の基軸とし、先進的な「環境と調和したまちづくり」を推進すべく以下の取組を実施。 地域の産業インフラである水島コンビナートで培われてきた高度な環境技術を利用し、地域の処理課題となっている木質系廃棄物等の循環資源を原料とした新しい環境ビジネスを展開 民間企業主導による環境教育の推進 本プランのハード事業で製造されるリサイクル品等を学校や企業で積極的に利用するなど、県民一人一人を「環境県民」として育成
5	玉野市廃食用油燃料化装置	玉野市	学校給食センターの廃食油からBDF燃料製造	平成15年3月から廃食用油をバイオディーゼル燃料に転換する「廃食用油燃料化装置」が稼働しており、市内の2つの学校給食センターから廃食用油を回収、19年3月までの4年間で約5,700リットルのバイオディーゼル燃料を精製している。 現在、パッカー車(ゴミ収集車)2台とトラック1台をこの燃料が使用できる車として、車検証の記載変更を行った。
6	植木の里エコセンター金光	浅口市(旧金光町)	植木せん定枝のセラミック炭化	【平成14年度 フロンティア21地域活力創出支援事業/岡山県】 平成14年11月から今まで焼却したり野積みしていた植木のせん定枝をセラミック炭に加工する施設「植木の里エコセンター金光」が稼働。 セラミック炭は、長さ数mmのチップにしたせん定くずとセラミックパウダーを混合し約1,000℃で焼成する。表面がセラミックで覆われるため灰にならず炭化し、保水性・透水性・通気性があり水に溶けたり微生物によって分解されないのが特徴で、土壌改良のほか環境改善への用途も見込まれている。
7	真庭市	真庭市	廃棄物系バイオマスの利活用推進	【真庭市バイオマスタウン構想/農林水産省】 木質系廃材、家畜排泄物及び食品廃棄物の廃棄物系バイオマスと未利用木材の未利用バイオマスを主たる対象とし、個々のバイオマスの「収集～変換～利用」の仕組みを体系的に整備し、利用率を高めている。廃棄物系バイオマスの目標利用率90%以上を目指している。

(岡山県 つづき)

8	岡山県 商工労働部	県内全域 (主に岡山市, 倉敷市, 真庭市)	バイオマスプラスチック製品, バイオエタノールの製造・普及によるグリーンバイオ産業群の形成	【岡山グリーンバイオプロジェクト/岡山県】 地球温暖化防止等の観点からバイオマスプラスチックやバイオエタノールは今後の有望分野として期待されているが, 原料供給体制や製造コスト等の課題がある。 岡山県は中四国一の農林業県であるとともに工業県として優れたものづくりの伝統を有し, バイオマスプラスチックの製造工程技術を備えた企業があるなど, 植物由来の製品生産等を行う上で大きなポテンシャルがあることから, 需給両面で地域を挙げた一体的・集中的な取組を行い, グリーンバイオ産業群を形成して, 地域経済の活性化と地域雇用の創出を図るとともに, 資源循環型社会の実現に繋げていく。
9	岡山市	岡山市	バイオ燃料でゴミ収集	岡山市は, 家庭や飲食店などの廃食用油を再利用して, バイオディーゼル燃料(BDF)を製造し, ごみ収集車などで軽油の代替燃料として使う事業を2008年度から開始。 市が一般家庭や学校などから出される廃油を集め, パートナー企業は飲食店やホテルなどの事業系廃油を回収する。企業側が製造したBDFは, ごみ収集車など109台分の代替燃料に使うという。残ったBDFは企業が自由に販売, 使用できる。 市は2003年から学術レベルでBDF事業の検討を始め, 2006年以降は採算性なども調査していた。施設建設後, 2009年度からの稼働を目指す。
10	岡山県 生活環境部	岡山市 玉野市	児島湖浄化へヨシ炭化	水質悪化が深刻な児島湖(岡山, 玉野市)の浄化対策に, 炭化した植物を活用する実験を平成18年度から開始。 児島湖一帯に自生するヨシやヒシなどの水生植物を炭にして活用。ヨシやヒシは窒素やリンなどの汚水の原因となる栄養分を多く吸収する一方, 刈り取りが不十分だと, 枯れて腐敗し, 逆に汚染原因になる。このため, 適当な時期に刈り取って炭にし, 水質浄化の武器にしようという狙いがある。
11	岡山県	岡山市郡地区	菜の花プロジェクト	岡山市郡地区では, 平成18年から菜の花プロジェクトに取り組み, 6月13日に収穫を行い, ナタネ約50kgの収量を得た。このナタネは, バイオディーゼル燃料(BDF)化を目指して, 岡山市農業委員会が郡の生産組合に栽培を委託していたものである。 収穫したナタネは, 搾油して, 光南台公民館などが, 家庭に食用油として配布し, 他の使用済み油などとともに廃食油を回収し, BDFを精製する予定である。
12	倉敷商工会議所	倉敷市	バイオマス, 水環境, 食生活等をテーマに事業化可能性を検討	【吉備の国クラスター構想/倉敷商工会議所】 当地域は, 医療・福祉・環境・学術研究・文化機能等が集積し, 130万人の都市圏人口を有し, 温暖な気候風土に恵まれている。 この優れた地域資源を活用し, 地方の産業を活性化し, 再生するために, 平成14年度11月に「吉備の国クラスター協議会」を設立し, その推進組織として「吉備の国クラスター推進委員会」を設立。 現在, 「エコ・環境」, 「医療・福祉」, 「文化・街づくり」の3グループがバイオマス, 水環境, ユニバーサル用品, 食生活をテーマに定例会を開催し, 事業化の可能性を検討している。
13	岡山県 総合畜産センター	美咲町	家畜ふん尿, 生ごみの堆肥化・バイオガス発電	【平成17年度 バイオマス利活用優良表彰事業/農林水産省】 平成13年度より, 家畜ふん尿と家庭生ごみの堆肥化を実施しており, 平成16年度からこれらをメタン発酵しバイオガスを製造, 発電・熱利用の実証試験を実施している。
14	美咲町 廃食油リサイクルプラント	美咲町 (旧旭町)	町内の使用済み食用油をBDF化しごみ収集車燃料に利用	【平成15年度 地域生活排水対策支援事業/岡山県】 町内の使用済み食用油を回収し, 近隣の町(旧落合町, 旧北房町)と共に設立した岡山県中部環境施設組合の「廃食油リサイクルプラント」でバイオディーゼル燃料に処理した後, ごみ収集車などの燃料として再利用。
15	真庭市	真庭市	バイオマスの収集, 運搬技術から下流の変換エネルギー利用技術までを通した一貫した地産地消・地域循環型エネルギーシステムの実証検証	【バイオマスエネルギー地域システム化実験事業】 真庭地域で利活用されていない樹皮, 林地残材, 間伐材をエネルギー源として地域内で有効に活用し既存燃料の高度化を推進するとともに, 地域内で試験的に利用されている木質ペレットを効率よく低コストで供給するシステム実験を平成17～21年度の5年間をかけて実施し, 原油換算で年間1,289klのエネルギー利用規模のトータルシステムが成立することを目的としている。

(5) 広島県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
1-1	広島県環境部	県内全域	「びんごエコタウン構想」の推進	資源循環型の地域社会の構築に向けた先進的なモデルケースとして、広島県の備後地域に循環型経済システムの一大拠点を形成し、地域ぐるみで「ゼロエミッション」の理念を実践するためのマスタープランとして、平成12年3月に策定。 備後地域の大きなポテンシャルを生かして、新たな先進的リサイクル施設の集積を図るとともに、これら施設間や地域産業の有機的な連携を促進し、あるリサイクル施設の不要物を別の施設で、さらにリサイクルを行うなど、地域内の徹底したゼロエミッション化や、圏域を越えた広域的なリサイクル拠点機能として充実させることにより、「資源循環」の一大経済拠点の形成を目指すものである。
1-2	広島県環境部	県内全域	「エコひろしま」広島県の環境情報サイトの運営	広島県のより良い環境創りをめざし、県民の皆様に環境情報を分かりやすく伝えるために、広島県の環境情報の発信拠点として、2003年4月に開設。 ・環境情報を体系的に整理し、わかりやすく情報提供を行う ・利用者別の入り口により、利用者のニーズに応じた情報発信を行う ・パブリックコメント、要件募集により、皆様からの意見を収集
2-1	広島市	広島市	ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム	広島市は、ゼロエミッションシティの実現に向け、ごみ減量、リサイクルに取り組むための3つの目標と具体的な行動計画(8つのチャレンジ)を示す「減量プログラム」を策定し、これに取り組んでいる。 ・排出総量を20%減 ・リサイクル量を倍増 ・埋立処分量を50%減
2-2	広島市	広島市	「マイカー乗るまっデー」の推進	車を利用してはだめというものではなく、車に過度に依存するライフスタイルを見直し、市民一人一人が上手な車の使い方を考え、実践・体験することを通じて地球温暖化の防止に貢献する行動の和を広げていく取組。
2-3	広島市	広島市	「ごみ袋持参デー」の推進	ごみを減らすためにできることからはじめようと、市内のスーパーマーケット等で買い物袋の持参を呼びかけている。レジ袋を断ると、お店によってはポイントがなくなるなど、特典もつけている。
2-4	広島市	広島市	家庭用生ごみ処理機等あっせん事業	広島市では、生ごみ処理機等の購入を希望される方に、あらかじめ登録された販売店を紹介し、店頭販売価格からの割引や無料サービス品の提供などの特典つきで購入できるようお手伝いをする「家庭用生ごみ処理機等あっせん事業」を実施。
2-5	広島市	広島市	公共施設生ごみ堆肥化モデル事業	平成13年1月には「循環型社会形成推進基本法」、平成13年5月には「食品循環資源の再利用等の促進に関する法律」(食品リサイクル法)が施行され、国全体として、循環型社会経済システムの構築が急がれる中、本市では平成13年度から区役所の食堂に生ごみ処理機を設置し、生ごみの減量化・資源化を図っている。
2-6	広島市	広島市	ミミズ・EM菌を用いた堆肥化実験の実施	生ごみのミミズやEM菌(有用微生物群)などを使った堆肥化実験を平成18年8月より実施。参加者を募り、各種実験を2ヵ月～1年間実施する。 1年間、各家庭でいずれかを入れた容器に生ごみを捨て、できた堆肥を家庭菜園などに利用してもらいながら、生ごみ量や堆肥の生成量などの報告を受ける。 また、公募のモデル地区(約30世帯)に、1日当たり30キログラムの生ごみを処理できる大型生ごみ処理機を10月に設置し、住民が6ヵ月間生ごみを持ち寄り、生成された堆肥の活用を図る。
3	横川商店街振興組合・牛田商店街振興組合	広島市	リサイクルまちづくり推進モデル事業	ごみの減量化・資源化事業に取り組む商店街をモデル地区に認定のうえ、その事業費の一部を補助することにより、地域における市民・事業者の主体的な取り組みを促す。(実験検証)

(広島県 つづき)

4	府中市	府中市	「エコ・ショップ府中」認定制度を導入	府中市は、ごみの減量化やリサイクルに積極的に取り組んでいる店舗を対象にした「エコ・ショップ府中」認定制度を導入する。「環境にやさしい店」として市民に広くPRし、取り組みを後押しする。買い物袋やかご持参の推進。空き缶、空き瓶などの店頭回収の実施など9項目の基準を設定。市が申請書の内容を審査し、1項目以上をクリアした店を認定する。
5	尾道市	尾道市	廃食油をBDFに再生 ごみ収集車の代替燃料	平成18年度から家庭から出る廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料(BDF)に再生する事業を開始。 平成17年12月から試験的に取り組んでおり、ごみ収集車2台に使用して支障は出ておらず、6月まで試行を続け問題がなければ7月から本格スタートする。 回収範囲は同市の旧市内を対象とし、旧市内にある資源回収ステーション(320カ所)に出される廃食油入りのペットボトルを民間の収集業者が回収(月間約3000L)、2500～2600LのBDFが製造される。
6	庄原市	庄原市	バイオマスタウン 構想	農畜産業の生産活動から発生する資源及び豊富な森林資源の有効活用を図るため、「土づくりを基本とした資源循環システム」と「木質バイオマスを有効に利活用した資源循環システム」の構築に取り組む。 ・目標:廃棄物系92%,未利用44%
7	北広島町	北広島町	バイオマスタウン 構想	菜の花ECOプロジェクトの推進、生ごみ、家畜糞尿、木材、刈草、資源作物等を活用した産業振興のまち北広島町を目指す。 ・目標:廃棄物94%,未利用42%
8	福山市	福山市	ごみの減量化・リサイクルの推進	資源循環型社会の形成を目指し、「3R」の視点を踏まえ、市民・事業者・行政が一体となり協働して、ごみの減量化を図るとともに、リサイクルの推進に取り組む。 2003年3月の福山市廃棄物減量等推進審議会の答申を受け、2004年度から5ヵ年計画で「ごみ減量大作戦」として各種の施策を実施。 継続中の事業に加え、2006年8月からはエコショップ協議会による拠点回収を開始し、事業者と一体となって、ごみの減量化、リサイクルの推進を図る。

(6) 山口県

事業主体・施設名		事業場所	題目	取組み概要
1-2	山口県 環境生活部	県内全域	総合的複合型森林バイオマスエネルギー地産地消社会システムの構築	【平成17年度「バイオマスエネルギー」地域シス化実験事業/NEDO】 山口県は、平成17年度にNEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)のバイオマスエネルギー地域システム化実験事業の採択を受け、山口県全域を対象として、地域特性や産業特性を活かしながら、森林バイオマスの収集運搬から、エネルギーへの転換と利用までの「エネルギー地産地消社会」システムの構築にむけた実証・実験を実施する。
1-2	山口県環境生活部	県内全域	食品系有機性廃棄物の資源循環プロジェクト	県では、生ごみを資源として有効利用し、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を図るため、山口県循環型社会形成推進基本計画における重点プロジェクト(食品系有機性廃棄物の資源循環プロジェクト)として生ごみリサイクルの取組を進めている。 本県独自の生ごみリサイクルプロジェクトである「Food&Green リサイクルシステム」において、エコ堆肥を活用して生産されたFGR農産物が本格的に生産されることから、これの普及拡大を図るため、FGR農産物を使った料理の試食及び利用に向けた協議を実施。
2	山口県 森林組合連合会	岩国市	間伐材より 木質ペレットを製造	県内の木質ペレット燃料製造施設を完成、2005年12月より稼働開始した。 九州・山口地区では最初の施設で、錦川流域の森林間伐材や製材廃材を原料に木質ペレット燃料を製造、県内の施設(県林業指導センター、本郷村山村留学センターほか公共施設)に供給する。 直径約6mm、長さ約1cmの円筒状に固め、ペレットに加工。間伐材3300tを原料に、年間約1500tを生産できる。 県内には錦町の清流の郷、憩の家、ふるさとセンターなど県東部に5つの施設が平成18年度中に整備される見込みで、これらの施設での温泉加盟・給湯、暖房などに向け販路を広げる予定。
3	岩国市中通商店街	岩国市	商店街から発生した生ごみを地域でリサイクル	商店街から出される生ごみを、提携農家と共同してリサイクルしている。 生ごみでできた有機肥料は、提携農家で使用、栽培され、できた野菜は、中通商店街の中の「ゆうき工房」で販売されている。 その他、組合員の中でリサイクルについての勉強会を実施している。
4	宇部市 やまぐちエコ市場事務局	県内全域	バイオ燃料でBDFバス 快走	山口県宇部市は2008年3月から、市北部の小野地区を中心に運行しているコミュニティーバス1台の燃料を軽油から、食用廃油でつくった「バイオディーゼル燃料」(BDF)に切り替えた。市によると、定期的に運行するバスを100%BDFで走らせるのは全国初。また、BDFは市内の知的障害者更生施設でつくっており、使用することで福祉にも寄与する。
5	周南市	周南市	緑のリサイクル事業	「世界に誇れるリサイクル都市 周南」の実現を目指し、ごみの減量化、再資源化を推進し、「緑のリサイクル事業」を新たに実施し、循環型社会の形成に向けた取組を推進。 さらに、「リサイクルプラザ」の建設に着手するとともに、ごみの排出抑制や再利用の推進、排出量に応じた負担の公平化などを目的に、ごみ処理有料化制度の導入について、引き続き検討を進める。

参考資料

- 1) 中国四国地域のバイオマス利用取組み事例 / 中国四国農政局ホームページ(平成19年11月)
<http://www.chushi.maff.go.jp/joho/genchi/19baio/index.htm>
- 2) 農林漁業現地情報 / 中国四国農政局ホームページ(平成18年12月～平成19年11月)
<http://www.maff.go.jp/chushi/index.html>
- 3) 中国四国農政局, 中国経済産業局, 中国四国地方環境事務所のメールマガジン
/ 各省庁のホームページより(平成18年1月～平成20年3月)
<http://chushikoku.env.go.jp/>
- 4) 中国四国農政局, 中国経済産業局, 中国地方整備局, 環境省(中国四国地方環境事務所)の報道発表資料
/ 各省庁のホームページより(平成18年1月～平成20年3月)
- 5) 月刊環境ジャーナル / 有限会社ソフトアイ(平成17年1月～平成20年3月)
<http://www.ecoja.jp/>
- 6) 環境関連企業として県で認定された事業所 / 県の環境・商工労働部局のホームページより

3 - 2 . 地域での取り組み（環境NPO法人）

3-2. 地域の取組み(環境NPO法人)

(1) 鳥取県

	岩美あくていぶカンパニー	代表者	前嶋 伸一
住所	岩美郡岩美町大字牧谷690-20	電話番号	0857-72-2660
URL	http://www.e-iwami.jp/ia/	事業費	約2,300万円 (500万円以上～1,000万円未満)
会員数	-	認証年月日	2002/7/24
活動分野	・海岸・山林等の景観保全，新エネルギー研究，リサイクル等の環境保全事業 ・グリーンツーリズムに関わるまちおこしの推進を図る事業 ・地域資源の開発・販売を活用した事業 等		
活動内容	・岩美町廃食油精製試験運転事業（H16年度） 岩美町所有の敷地内に6ヶ月間廃食油精製装置を設置し，住民・企業等に持ってきていただいた廃食油を，岩美あくていぶカンパニーが廃食油精製装置で精製。その改質燃料を，試験車両，行政車両等に入れて試験運転を実施。 ・いわみ環境ネットワーク会議（H17年度） H16年度に実施した事業について，岩美町の住民・自治会・NPO・学校・事業者等の環境に興味のある人々と岩美町での環境事業，活動計画を検討し実現可能なプログラムを作成。		

	鳥取県エコタウン2020	代表者	吉村 元男
住所	鳥取市永楽温泉町505	電話番号	0857-38-6771
URL	-	事業費	約170万円
会員数	個人会員：30名	認証年月日	2002/4/16
活動分野	・エコタウンから循環型地域社会を実現するための調査・研究 ・実践活動，地域支援，NPO，大学・研究機関との連携 ・環境保全活動などの受託研究 等		
活動内容	○天ぷら廃油の有効活用【平成15年度，16年度環境コミュニティ・ビジネスモデル事業】 ・市民エネルギー会社と市民乗合バス会社の立上げ，運行事業 公共交通輸送基盤の脆弱な地域において，天ぷら廃食油を精製した燃料（BDF）で走るコミュニティバスを運行する「市民乗り合いバス会社」を立ち上げることを念頭に，会員制のバス運行事業を展開 ・若葉台グリーンカーシェアリング（H15.10～H16.2） 家庭から出る天ぷら油等を回収・精製し，車の燃料に活用，車を地域住民で共同利用するシステムを実験 ○生ごみ発酵によるメタンガスを活用した町づくりの実証試験（H15.4～） 平成15年4月から鳥取市津ノ井・生山地区で生ごみ発酵によるメタンガスを活用した町づくりの実証試験に取り組んでおり，廃棄物のない循環型社会の実現を目指して，同法人が鳥取環境大学や大学周辺の農家等と連携し，工場・農家・学校・住宅等が混在する実社会で幅広く住民に参加を呼びかけて地域ぐるみの活動として推進。		

	未来守りネットワーク	代表者	奥森 隆夫
住所	境港市大正町38番地	電話番号	0859-47-4330
URL	http://www2.sanmedia.or.jp/sakimori/	事業費	約150万円
会員数	個人会員：30名，法人会員：28団体	認証年月日	2004/4/22
活動分野	・藻場再生による中海浄化活動 ・水中動植物の調査・保護活動 ・家庭でのEM利用の推進 ・石鹸使用の推進		
活動内容	・藻場再生による中海浄化活動 美しい中海，漁業資源の豊富な中海を取り戻すべく，コアマモ・アマモ場を復活させる活動を実施 ・EM利用促進による水質改善への取組み等の事業		

	エコパートナーとっとり	代表者	大野木 昭夫
住所	米子市昭和町25-1	電話番号	0859-32-3308
URL	http://www.sanin-gc.co.jp	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2006/5/16
活動分野	・新エネルギーの普及啓発・導入促進事業 ・新しい環境技術の研究開発事業 ・自然エネルギーの研究調査事業 ・循環型社会の形成・支援事業 等		
活動内容	・中海再生・農業活性化プロジェクト(環境改善・資源循環サイクルの構築)【平成18年度環境コミュニティ・ビジネスモデル事業】 下水道が整備されていない地区の河川，湾において大量に蓄積しているヘドロを肥料原料として有効活用を図り，悪臭の発生抑制，水質改善を図るとともに，当該肥料を用いた花木・草花の栽培も合わせて実施。 ・廃食油からのバイオディーゼル燃料（BDF）精製事業 同市富益町の社会福祉法人「もみの木福祉会」（内田健二郎理事長）と共同で，1日に100Lの使用済みてんぷら油などの廃食油を約6時間かけて精製して約90 Lのバイオディーゼル燃料（BDF）を製造。H18.9月末まで試運転し，製造したBDFは障害者施設の「もみの木園」の送迎車などに使用。 今後品質検査などを重ね，H18.10月から軽油の代替燃料として販売する予定。		

(2) 島根県

	しまねバイオエタノール研究会	代表者	和泉 敏太郎
住所	松江市千鳥町15番地	電話番号	-
URL	-	事業費	-
会員数	個人会員：16名	認証年月日	2007/2/8
活動分野	・環境の保全を図る活動・社会教育の推進を図る活動・経済活動の活性化を図る活動		
活動内容	・バイオエタノールの経済的で効率的な製造方法の研究開発 ・地元企業・農業関係者と一緒にバイオエタノール製造に関する事業を行う。		

	里山バイオマスネットワーク	代表者	福田正明
住所	松江市岡本町1086番地	電話番号	-
URL	-	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2007/8/20
活動分野	・環境保全・まちづくり・子どもの健全育成・経済活動の活性化		
活動内容	地球温暖化防止に貢献し、明日を担う子供たちに明るい未来を引き継ぐための環境づくりに寄与することを目的とする。 ・里山から生まれるバイオマス資源の循環利用を率先実行		

	斐伊川流域環境ネットワーク	代表者	小谷 武
住所	松江市春日町22-1	電話番号	0852-20-0060
URL	http://fish.miracle.ne.jp/hiikawa	事業費	(1,000万円以上1億円未満)
会員数	個人会員：239名，法人会員：40団体	認証年月日	1999/7/13
活動分野	・斐伊川流域の人々と共に環境の保全を図る事業 等		
活動内容	・菜の花プロジェクト 地元農業者，地元製油業者，地元研究者，自治体，斐伊川くらぶが連携した取組みで，斐伊川流域の休耕田に遺伝子組換えのないナタネを植え景観作りと農地の有効活用をはかる。取れた種から安全な地元産の食用油を作って食べる。廃油は集めてBDF燃料としてリサイクル。 ・宍道湖ヨシ再生プロジェクト 宍道湖の水質浄化と健全な水生動植物の生態系を取り戻すため，産・官・学・民が協働して竹ポットによるヨシの植栽活動を広域的かつ長期的に実施。		

	コスモ銀河計画	代表者	藤原 一利
住所	仁多郡奥出雲町下横田136-2	電話番号	0854-52-0010
URL	http://www2.crosstalk.or.jp/galaxy/	事業費	(100万円以上1000万円未満)
会員数	個人会員：10名，法人会員：3団体	認証年月日	2003/5/7
活動分野	・有用微生物の活用を中心とした，地域住民に対する有機廃棄物の資源化や自然循環型農業の普及などに関する事業		
活動内容	・堆肥化施設の設置 お店などから出る食糧残渣など有機廃棄物を内城菌で分解処理及びたい肥化し，農地に還元して健康な土づくりを行う。安全でおいしい農産物を作り食卓に提供。 ・各種研究会・研修会の開催，シンポジウム等での発表		

	川と湖いきいき神西	代表者	系賀 忠夫
住所	出雲市神西沖町1687-11	電話番号	0853-43-1218
URL	-	事業費	(100万円以上1,000万円未満)
会員数	個人会員：34名	認証年月日	2002/12/17
活動分野	・神西地域の自然環境の維持・保全，水質浄化等に関する支援事業 等		
活動内容	・神西湖周辺の美化活動 毎月1回，地区内30カ所から古紙・アルミ缶など約4トンの資源ごみを回収。 ・神西湖バイオガーデン運営 約3,000平方メートルの敷地に，神西湖に流れ込む十間川から水を引き，草や野菜の根による生物ろ過方法と，天然ゼオライトによる物理ろ過方法で水を浄化し，神西湖に流す（出雲市が整備し，維持管理を川と湖いきいき神西が実施）。		

	緑と水の連絡会議	代表者	高橋 泰子
住所	大田市大田町大田376-1	電話番号	0854-82-2727
URL	http://www.iwami.or.jp/ohgreen/	事業費	1000万円以上1億円未満
会員数	個人会員：70名，法人会員：10団体	認証年月日	2003/6/11
活動分野	・農林漁業者とともに里地・里山特有の文化的景観および生物多様性の保全の実現のための事業等		
活動内容	・平成18年12月「認定NPO法人」として認定 組織運営及び事業活動が適正であるとして国税庁長官が認定するものであり，中国地方（広島国税局管内）のNPOでは初認定。 ・地元産バイオマスエネルギーの活用による地球温暖化防止実践活動 全国に先駆けて太田町の施設（大田町グループホーム七色館）にバイオマス・チップボイラー設備を設置し，フルタイム稼働。 ・食品の残渣物を有効利用した堆肥の製造，販売（マイクロベース） ・バイオマスシンポジウム等での事例発表		

	ふるさと弥栄ネットワーク	代表者	佐々本 芳資郎
住所	浜田市弥栄町三里38番地	電話番号	0855-48-2912
URL	-	事業費	(500万円未満)
会員数	個人会員25名	認証年月日	2001/1/18
活動分野	・有機農業の認証を通じた地域の再生システムづくり事業 ・三隅川流域の資源を活用した環境保全型の領域活性化事業 等		
活動内容	○三隅川流域の生態系を守る環境保全型の流域活性化事業 ・（旧）弥栄村銘木マップの作成 旧村の中にある銘木や巨木をマップに落とし村民に周知することで，自然の偉大さや木の持つ魅力を村の共有財産とし，自然環境を守る住民意識を啓発。 ・環境NPOと（INEOASA）との交流 ・上流の弥栄村から下流の三隅町までの地域に生活する方と共に，山林保全活動や環境調査活動などを実施		

(3)岡山県

	土壌環境再生支援機構	代表者	小林 昇
住所	岡山市内山下2-11-26	電話番号	086-226-0159
URL	http://www.npo-serso.jp/	事業費	-
会員数	個人会員：15名，法人会員：2団体	認証年月日	2004/3/10
活動分野	・土壌および地下水汚染等の調査・対策に関する普及・啓発等事業		
活動内容	・情報発信型土壌環境関連セミナー企画 会員による講師や外部講師を招いての出前セミナーを企画している。 ・セミナー，講演会の提供および出版物等を通じた啓発 ・「法律」「技術」面での専門的立場からの相談，助言，指導		

	おかやまエネルギーの未来を考える会	代表者	広本 悦子
住所	岡山市南方1丁目6-7	電話番号	086-232-0363
URL	http://enemira.milkcafe.jp/	事業費	(100万円未満)
会員数	個人会員：100名，法人会員：3団体	認証年月日	2002/6/14
活動分野	・自然エネルギーを普及し，省エネルギーを推進することによって，地球環境を保全し地球温暖化を防止して，持続可能な社会の実現を目指すための事業		
活動内容	・自然エネルギー学校を開校し，自然エネルギーの普及啓発および環境教育を行う人材を育成する（オプション企画として1泊2日のエコツアーを実施） ・省エネルギー・自然エネルギーに関する調査・研究，情報収集や小水力発電の可能性調査 ・講演会を開催し，省エネルギー・自然エネルギーの普及啓発 ・市民共同発電所2号機設置事業 ・ペレット・ペレットストーブの普及啓発 ・省エネアドバイザーを養成し，個人対象の小エネ相談所を開設		

	岡山県環境整備協会	代表者	田代 修平
住所	岡山市東古松1-2-25	電話番号	086-236-0013
URL	-	事業費	(500万円未満)
会員数	個人会員：15名，法人会員：10団体	認証年月日	2003/2/21
活動分野	・自然エネルギーに関する事業 （促進の普及啓発，一般県民への補助等）		
活動内容	・新エネルギー施設の自治体への設置促進事業 ・河川改修に伴う魚巢ブロック等の普及活動 ・ダイオキシン規制法により未稼働施設の整備		

	岡山自然エネルギー環境協会	代表者	兼安 靖
住所	倉敷市西富井1076	電話番号	086-435-0567
URL	-	事業費	(100万円以上1,000万円未満)
会員数	個人会員：4名，法人会員：2団体	認証年月日	2003/2/21
活動分野	・自然エネルギーを利用した生活環境の創造に関する事業 （普及啓発，県民への補助等）		
活動内容	・各自治体の住宅用太陽光発電補助金創設に依頼 ・新エネルギー導入促進事業の提案 ・保育園などへの新エネルギー導入促進事業を提案 ・各種団体開催のイベントへの出展による普及促進		

	21世紀の真庭塾	代表者	中島 浩一郎
住所	真庭市開田630-1	電話番号	0867-44-4028
URL	-	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2002/10/31
活動分野	・循環型社会の実現に向けた住民意識の啓発，広報に関する事業		
活動内容	・銘建工業，ランデス，ピーエムディなど地元企業の社長等が参画しているNPO法人 ・資源循環型社会形成に向け「木質資源活用産業クラスター構想」を推進 ・地元の木質バイオマス資源を活用し新産業創出や循環型社会の実現に向けた普及活動や情報発信を積極的に実施 ・地域協同実施排出抑制対策推進モデル事業（H17年度：環境省） 農家ペレットを利用したエネルギー代替を実施し，市民・事業者が省エネ活動を実践し，全活動の二酸化炭素削減量を認定する仕組みを構築し，そのノウハウをマニュアル化することによりペレット等の木質バイオマスエネルギー普及を促進。		

(4)広島県

	e&g研究所	代表者	村田 民雄
住所	福山市霞町4 - 1 - 25	電話番号	084-924-4435
URL	http://ww41.tiki.ne.jp/~e-and-g/	事業費	500万円以上～1,000万円未満
会員数	個人会員：50名	認証年月日	2001/3/26
活動分野	・リサイクル・廃棄物・地球温暖化防止に関する事業		
活動内容	ドイツとの繋がりを生かし、日本がもっとも必要とする環境政策の充実に向けて、提言できる研究。 ・PR・環境啓発事業 ・環境政策研究事業		

	広島EM普及協会	代表者	宮野 元壮
住所	三原市古浜2丁目7-10	電話番号	070-5042-5624
URL	http://jabjab.org/EM/	事業費	448万円
会員数	個人会員：90名，法人会員：8団体	認証年月日	2002/4/11
活動分野	・EM（有用微生物群）技術の活用を通じ，普及啓発活動を展開		
活動内容	・EM活性液の販売・普及啓発 ・EM活用・普及に関するセミナーの開催 ・EMを活用している団体(自治体・市民団体・学校・農家)への技術指導 ・「大田川ジャブジャブ大作戦」の実施（H15.9～） EMを利用した太田川水系・京橋川を中心とした浄化活動。		

	自然エネルギー安芸府中.com	代表者	津田野 剛
住所	府中町鹿籠2丁目17番28号	電話番号	082-286-3190
URL	-	事業費	-
会員数	個人会員：10名	認証年月日	2004/12/8
活動分野	・自然エネルギーの普及啓発事業		
活動内容	・地域コミュニティによる小型太陽光発電の普及 ・市民共同小型太陽光発電システムを企業・住民等と検討。 ・地域コミュニティによる小さな循環型社会形成（廃食油回収） 家庭の廃食油を回収し，ゼロBDFをつくり発電機等の燃料に利用。 ・企業との連携による環境ビジネスモデルを実践 持続可能な地域循環型社会形成への提言，実行，事業化。		

	広島県環境保全創生委員会	代表者	中原 健治
住所	広島市中区小町1-20	電話番号	082-545-5800
URL	-	事業費	1,000万円以上1億円未満
会員数	個人会員：12名，法人会員：9団体	認証年月日	2001/10/17
活動分野	・エネルギー関係ビジョン等策定業務等		
活動内容	・エネルギー関係ビジョン等策定業務 大崎上島，倉橋新エネルギービジョンの策定（H16） 生名村，大垣町新エネルギービジョンの策定（H15） ・環境実態巡視・美化業務 ・環境学習会の開催		

②①	広島循環型社会推進機構	代表者	岡田 光正
住所	広島市中区東千田町1丁目1番89号	電話番号	082-542-7082
URL	http://home.hiroshima-u.ac.jp/~tsuka/	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2005/7/11
活動分野	・広島県におけるリサイクルの取組みを飛躍的に前進させるため、実態に詳しい産業界と大学の英知をマッチングし、優良技術の開発や普及拡大の取組みを進める		
活動内容	・循環型社会形成推進技術研究開発事業 広島県内大学等の技術力・研究成果と産業廃棄物処理業界等の関連企業が熟知する現場の実態を結集し、産学両者の連携・共同による循環型社会への転換に向けた基盤研究を推進する事業。 ・事業者・技術者向けの教育事業 廃棄物の処理・管理、リサイクル事業等に取り組む事業者や現場で活躍する技術者の方々を対象とした教育事業。 (H17年度環境関連技術習得講座等) ・講演会事業 循環型社会形成に寄与する先進的な研究や事業・活動を行う大学・研究機関、事業者等を講師とした講演会の開催(年4回程度)。		

②②	瀬戸内海環境会議	代表者	佐藤 荒夫
住所	広島市中区銀山町8-4-101	電話番号	082-543-4155
URL	http://www.setonaikai-e-c.net/	事業費	1,000万円以上1億円未満
会員数	個人会員：37名	認証年月日	2003/10/29
活動分野	・環境の保全を図る活動・まちづくりを図る活動・経済活動の活性化を図る活動		
活動内容	・環境保全・産業振興等に有効な資源循環完結型システムの情報発信・人材の育成 (瀬戸内海環境フォーラムの毎年開催、その他各種セミナーの開催) ・資源循環型・環境保全型商品の研究開発・仲介斡旋販売 (シャボン玉 E M 石鹸の共同開発(シャボン玉石けん(株)、(株) E M 研究機構)、E M 洗剤の企画・マーケティング((株)ツ-IL化成と提携)) ・ビジネスモデル研究開発とそのコンサルティング		

②③	瀬戸内里海振興会	代表者	山本 卓曹
住所	広島市中区上八丁堀8番23号	電話番号	082-298-1221
URL	http://www.satoumi.org/	事業費	1,000万円以上1億円未満
会員数	個人会員：44名、法人会員：11団体	認証年月日	2004/2/19
活動分野	・アサリ、アマモをテーマにした環境共生について市民と共に考える取組みを推進するための「里海」の創生を目指し活動		
活動内容	・代替材の利用促進(石炭灰を用いた漁場環境改善試験) 底質改良材(Hiビーズ)による漁場環境改善実証試験(H14.2～) 新素材(NAコンクリート)を用いた魚礁による漁場環境改善実証試験(H14.2～) ・アサリ・アマモ育成試験、モニタリング事業(H17年度) 実験干潟(Hiビーズと浚渫土を混合した代替覆砂材を使用)にアサリとアマモを移植し、定期的なモニタリングにより、代替覆砂材がアサリとアマモの生息に及ぼす効果を評価 ・広島湾再生シンポジウムの開催(H18.12)		

㊤	ちゅうごく環境ネット	代表者	福本 健
住所	広島市中区八丁堀3番1号	電話番号	080-1948-0723
URL	http://cknet.s75.xrea.com/	事業費	1,000万円以上1億円未満
会員数	10名(役員)	認証年月日	2004/8/31
活動分野	・ 具体的な環境教育プログラムや全国の環境活動に関する情報の提供 ・ 各組織の事業連携の機会や協力体制の構築に関する事業		
活動内容	・ 中国地方における環境情報の収集と普及 ・ 環境省との協働による「中国環境パートナーシップオフィス」の運営 ・ 環境教育プログラムの開発と促進 【平成16年度広島市水辺の市民活動促進助成事業】 水上交通への菜の花燃料活用と水辺の環境学習プログラムの開発。 環境にやさしい廃食油精製燃料（BDF）を広島市河川における水上交通の燃料として活用。 広島市と大朝町の小学校の連携により、廃食油精製燃料を使用した水上タクシーによる水辺の環境学習の実施。（チーム雁木、INE OASAの共同事業） ・ 環境保全活動や環境教育活動の相談及び支援		

㊥	瀬戸内ガラスサイエンスセンター	代表者	松本 富士雄
住所	大竹市西栄2丁目7番2号	電話番号	0827-52-8636
URL	-	事業費	-
会員数	個人会員：22名	認証年月日	2004/2/2
活動分野	・ 不用ゴミとして排出される廃棄ガラスの再利用に関する研究開発事業（産学官民共同事業）		
活動内容	・ 排ガラスを利用したフィルターの開発研究 ・ ガラスアート作品の製作、販売 ・ 排ガラスの利用法の検討		

㊦	中四国木材資源リサイクル協会	代表者	佐藤 光利
住所	廿日市市木材港北9番11号	電話番号	0829-32-5211
URL	http://www.wood-r.com/index.html	事業費	-
会員数	法人会員：19団体	認証年月日	2003/5/12
活動分野	・ 中四国の産業廃棄物中間処理業者19社で構成 ・ 廃木材を中心とする建設廃材のリサイクル推進を目指して活動 ・ 月1回の委員会、研究会活動		
活動内容	隔月1回の定例会 ・ リサイクル技術の研究 / 産業廃棄物業者に対する法律の調査・研究 ・ マテリアル / サーマル市場動向データ蓄積 協会のリサイクル活動PR ・ 協会のリサイクル商品の展示会出展 ・ 各種エコフェスタ等への出展・展示 ・ 講演・セミナー・シンポジウム等の開催 ・ 環境・リサイクル等に関するセミナー等 ・ 先進企業の視察・各種研修会の開催 ・ リサイクル事業等の先進事例の現地研修		

②⑦	森のバイオマス研究会	代表者	早田 保義
住所	庄原市七塚町562番地	電話番号	0824-73-0721
URL	http://www7a.biglobe.ne.jp/~biomass/	事業費	～500万円未満
会員数	17名(役員)	認証年月日	2003/7/17
活動分野	・県北地域に大量に存在する森林バイオマスの有効利用に関する調査研究		
活動内容	【平成17年度バイオマス利活用優良表彰（農林水産省農村振興局）】 ・森林バイオマスの利用方法の調査研究（ペレット化によるペレットストーブ、ボイラーでの熱利用、チップ化によるバイオマスボイラーでの熱利用・コージェネ利用） ・ペレットストーブの共同開発 ・日鋼設計㈱、広島県商工労働部との協働で広島型ペレットストーブ「ペレトープ」を開発 ・バイオマスボイラー開発事業 ・広島県環境関連産業創出推進協議会と庄原市、森のバイオマス研究会会員企業が協働して家庭用小型バイオマスボイラーを開発 ・ペレットストーブの導入、普及啓発 ・公共施設・民間へのペレットストーブの導入		

②⑧	資源をむだにしない生活を考える 庄原市民の会エコ燃料グループ	代表者	吉方 明美
住所	庄原市上原町1852番地6	電話番号	0824-72-5129
URL	http://www12.ocn.ne.jp/~yosikata/	事業費	-
会員数	個人会員：41名	認証年月日	2006/8/18
活動分野	・廃食油を活用したBDF燃料の製造活動事業		
活動内容	・廃食油の回収事業及びBDF燃料製造事業（H17.9～） - 市内の飲食店や学校の給食調理場、家庭などから回収した廃食油を原料に、庄原市のリサイクルプラザの装置を利用して1,000L/月前後のBDFを製造、市のごみ収集車の燃料に活用している。 ・リサイクル講座事業(H18年度事業) - はぎれ、ペットボトルやガラス、牛乳パックなどの利用で小物やステンドグラスなどによりみえらせる講座を開催。		

②⑨	INE OASA	代表者	保田 哲博
住所	北広島町大朝2487	電話番号	0826-82-3950
URL	http://www.e-jyan.jp	事業費	-
会員数	個人会員：27名、法人会員：3団体	認証年月日	2001/11/6
活動分野	・空き農地を利用した『資源循環型リサイクルのまち』づくりへの取り組み		
活動内容	○菜の花プロジェクトの実施 - 空き農地を菜の花畑にすると共に、廃食油を回収し二酸化炭素（CO₂）の排出の少ない軽油の代替燃料を作る、という2つのプロジェクトに取り組んでいる。 ・菜種作付け事業 ・菜種油回収・販売事業 ・廃食油回収事業 ・BDF燃料製造事業 町のスクールバス、路線バスに利用		

③⑩	環境調査改善研究会	代表者	三好 康彦
住所	庄原市七塚町562番	電話番号	08247-4-1758
URL	-	事業費	500万円未満
会員数	-	認証年月日	2007/5/11
活動分野	・環境の保全を図る活動・社会教育の推進を図る活動・まちづくりの推進を図る活動		
活動内容	環境改善を目指し持続可能な循環型社会の形成に寄与することを目的。 ・環境の調査活動 ・企画・出版・講演等を通じて発信する事業		

③⑪	町をきれいにする会	代表者	有本 正
住所	廿日市市串戸六丁目10番3号	電話番号	0826-82-3950
URL	-	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2007/6/7
活動分野	・環境の保全を図る活動・子どもの健全育成を図る活動・災害救援活動		
活動内容	青少年の健全育成を行い、公共の福祉の増進及び社会的マナーや規範意識の向上等を図り、地域社会に寄与することを目的。 ・「ゴミ」等の清掃及び啓発活動 ・青少年に自然の大切さや自分達の置かれている状況を体験活動		

(5)山口県

③②	ふるさと里山救援隊	代表者	田中 照敏
住所	大島郡周防大島町大字久賀4883番地	電話番号	090-7505-0522
URL	-	事業費	-
会員数	個人会員：73名	認証年月日	2005/9/27
活動分野	・周防大島の里山及び竹林を中心とした里山再生による情報発信及び意識啓発に関する諸事業		
活動内容	・里山再生のための竹林整備 島内10数カ所の竹林を伐採して整備 整備林の一部は「モデル竹林」として残し、竹を伐採したエリアに広葉樹を植樹 ・竹を伐採し、堆肥や粉炭に加工するため、粉砕機でチップ化 ・将来はバイオマス発電も視野に入れて活動		

③③	地球環境を良くする会	代表者	橋本 典昭
住所	山口市佐山860番地	電話番号	083-988-0518
URL	なし	事業費	500万円未満
会員数	個人会員：15名	認証年月日	2003/9/18
活動分野	・環境改善を目的に、一般市民に対するEM技術の普及啓発		
活動内容	・EMを活用したプール清掃 ヘドロなどを分解するEMを活用した環境に負荷をかけず清掃を行う取り組みを山口市の市民プールで実施 ・EMによる生ゴミ堆肥化 平成4年から小学校の給食残渣を興洋産業(株)で回収、肥料化し、学校花壇、一般農家で利用 ・EMの普及啓発活動 講習会・講演会の実施		

③④	山口環境資源ネットワーク	代表者	村田 秀一
住所	宇部市小松原町2丁目4-17	電話番号	0836-46-4466
URL	-	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2003/11/17
活動分野	・山口県の環境資源における調査研究、政策提言、普及啓発		
活動内容	・産学官連携活動（竹資源有効活用コンソーシアム）の実施 ・資源有効活用シンポジウムin山口の開催 国内に豊富にある竹を有用な循環型資源として利用可能であることを広く理解してもらい、竹資源の有効活用を進めるため、活用の現状と今後を見極めながらネットワーク化を図る。		

③⑤	産業創造支援ステーション	代表者	深川 勝之
住所	宇部市大字川上582番地	電話番号	0836-33-3350
URL	http://e-sangyo.net/xoops/	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2006/11/21
活動分野	環境等に関する産業を創造する個人・団体に対する支援事業 ・地域振興のためのビジネスモデルの構築 ・自然と共生できる循環型社会における「新しい価値」の創造 ・環境教育を通じた人材の育成		
活動内容	・地域交流を目的とした「青空教室」の開催 ・マイクロバブルや気体溶解技術の普及 ・紙管をリサイクルした復興支援ハウスの開発 製紙工場から廃棄物として焼却処理されている外径10cm、長さ175cmの紙管を使用し、紙でできた家（ペーパー・ハット）を試作。		

③⑥	環境みらい下関	代表者	坂本 紘二
住所	下関市古屋町一丁目18番1号	電話番号	0832-52-7220
URL	http://www.kankyo-mirai.jp/	事業費	1,000万円以上～3,000万円未満
会員数	個人会員：25名(役員)，法人会員：28団体	認証年月日	2003/5/14
活動分野	・ごみの減量・リサイクルに関して，市民自らが活動するための機会を創出 ・行政・企業と協働して資源・エネルギーの循環を考えたまち「しものせき」を推進		
活動内容	・環境イベントの開催 下関エコフェスタ2005，サマー・キッズエコフェスタ2007 ・リサイクル教室の開催 廃食油石けん，生ごみ堆肥化等に関するもの ・環境講座の開催 地球温暖化とエネルギーの問題，燃料電池，風車，環境循環型プラスチック等 ・不用品・作品提供・販売 粗大ごみとなった家具・自転車などを修理再生・販売 廃食油の石けん，古布でのぞうり・小物などのリサイクル作品等の販売		

③⑦	e小日本きくがわ	代表者	林 哲也
住所	下関市菊川町田部155-7	電話番号	0832-88-1111
URL	-	事業費	0～100万円未満
会員数	個人会員：10名	認証年月日	2005/5/10
活動分野	・地域住民・行政・企業が協働し資源・エネルギーを効率的に利用・節約し，循環させるまち「e小日本きくがわ」の推進に寄与する活動		
活動内容	・古紙回収システムの構築 町内の公民館に回収ボックスを設置し新聞古紙を回収し，回収古紙を町内の断熱材工場の原料（セルロースファイバー）に再活用。回収の対価として町内で利用できる地域通貨（エコロ）を発行し，町内の各種施設・サービスの対価として利用してもらうことで，地域活動の活性化，および町全体の地域経済拡大効果を図る。 ・野外環境教室，エコ教室の実施		

③⑧	山川海の田万川住民フォーラム	代表者	澄川 隆俊
住所	萩市大字中小川611番地	電話番号	-
URL	-	事業費	100万円未満
会員数	個人会員：60名	認証年月日	2005/11/11
活動分野	・田万川流域及び沿岸地域の環境改善に関する事業 ・循環型社会づくりに向けての活動		
活動内容	・有機微生物群（EM）による河川水質（田万川流域環境）の改善活動		

③⑨	里邑	代表者	田中 和夫
住所	萩市大字片俣1017番地	電話番号	08388-8-0765
URL	http://www.satomura.or.jp/index.htm	事業費	-
会員数	-	認証年月日	2006/1/5
活動分野	・森林ボランティア活動促進事業 ・バイオマスの有効利用の研究・啓発 ・有機無農薬栽培の研究・啓発		
活動内容	・かぐや姫を探索プロジェクト 竹の伐採により荒れ果てた竹藪を整備された竹林に変えるとともに，伐採竹等を炭化し，農地に撒いたり，水路の流末に置き浄化した水を河川に放流する。 ・菜の花で車を走らせようプロジェクト 「菜の花」を栽培し，その菜種油を学校給食などに使用した後に発生する廃油をバイオディーゼル（BDF）に精製，ディーゼル車の燃料に使用する。		

参考文献

1) NPO法人の認証状況 / 各県庁のホームページ (平成20年3月時点の認証NPO)

鳥取県 : / 鳥取県協働推進室ホームページ

/ <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=28006>

島根県 : 島根県NPO活動推進室 / 島根県ホームページ

/ <http://www.shimane-furekan.or.jp/npo/index.htm>

岡山県 : ゆうあいセンター / 岡山県ボランティア, NPO活動支援センター

/ <http://www.youi-c.com/>

広島県 : ひろしまけんNPOボランティア活動ガイド / 広島県県民文化室ホームページ

/ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/category/1169607197420/>

山口県 : NPO法人の申請手続き・認証状況 / 山口県県民生活課ホームページ

/ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12100/kenkatu/npo.html>

2) NPO法人データベース NPO法人広場 / <http://www.npo-hiroba.or.jp/>

3) 平成18年版環境NGO総覧オンラインデータベース

/ <http://www.erca.go.jp/jfge/index.html?main=NGO/html/main.php>

4) 各NPO法人のホームページ (平成20年3月現在)

3 - 3 . 地域での取り組み（環境任意団体等）

3-3. 地域の実践(環境任意団体等)

(1) 鳥取県

	鳥取EM普及協会	代表者	石原 重美
住所	鳥取市今町2-285	電話番号	0853-23-4923
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：60名		
活動分野	水・土壌の保全，リサイクル・廃棄物		
活動内容	EM（有用微生物群）を利用した，環境破壊や健康被害を改善するための活動 生ごみの資源化		

	東郷湖メダカの会	代表者	山本 庸生
住所	東伯郡湯梨浜町藤津650	電話番号	0858-32-2189
URL	-	事業費	—
会員数	-		
活動分野	水・土壌の保全，美化清掃		
活動内容	以下の活動を通じた水環境保全の普及啓発活動 メダカ池や周辺里山の整備 東郷湖の水質浄化 湖岸の清掃等		

	米子地区環境問題を考える企業懇話会	代表者	高松 毅
住所	米子市吉岡373 王子製紙(株)米子工場内	電話番号	0859-27-4986
URL	http://www.kigyounkonwakai.com/	事業費	～100万円未満
会員数	法人会員：27団体		
活動分野	美化清掃，自然保護，リサイクル・廃棄物，		
活動内容	弓ヶ浜・皆生・日吉津海岸美化清掃 米子水鳥公園内「こちどり」の繁殖地の保全 使用済み割り箸の回収運動 ペットボトルのキャップ回収運動 全国割り箸サミット開催		

	彦名地区チビ子環境パトロール隊	代表者	向井 哲朗
住所	米子市彦名町4530-2	電話番号	0859-29-3974
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：13名		
活動分野	環境全般		
活動内容	環境に関する親子勉強会 使用済み割り箸・廃食油を回収資源にする活動等		

	牛乳パック再利用を考える境港市民の会	代表者	石橋 文夫
住所	境港市上道町2009-1	電話番号	0859-44-6857
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：5名		
活動分野	美化清掃，まちづくり，リサイクル・廃棄物，		
活動内容	牛乳パックを一ヶ所に集め，業者に回収を依頼し，リサイクルを推進		

(2) 島根県

	社会環境改善の会(異業種の会)	代表者	たつみ りゅういち
住所	浜田市国分町1981-26	電話番号	0855-28-1546
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：8名		
活動分野	森林の保全・緑化，水・土壌の保全，騒音・振動・悪臭対策，地球温暖化防止		
活動内容	地元の川の汚濁防止活動 生ゴミ堆肥化 竹炭製作販売 太陽光発電5.2kwを会員2名取付け。竹炭製作の指導。		

	EUTの会(エコレンジャー海はたからものの会)	代表者	川神 裕司
住所	浜田市内村町608-5	電話番号	0855-28-1546
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：20名		
活動分野	水・土壌の保全，美化清掃，環境教育，リサイクル・廃棄物		
活動内容	廃食油を石鹼としてリサイクル活用 EMを河川や海に投入することによる水質浄化，ヘドロの除去 住民の一斉清掃やボランティア活動		

	環境ネットあおの会	代表者	牛尾 ちえの
住所	益田市乙吉町イ454	電話番号	0856-23-1234
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	-		
活動分野	水・土壌の保全，消費・生活，まちづくり，有害化学物質		
活動内容	ゴミの減量やリサイクルの推進 地域のまつりに於けるゴミの発生抑制指導		

	さくら草の会	代表者	山鳥 和子
住所	益田市美都町山本1531-1	電話番号	0856-52-2720
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：12名		
活動分野	水・土壌の保全，美化清掃，まちづくり，リサイクル・廃棄物		
活動内容	再生ハガキ作り 廃油利用の粉・固形石けん作り		

(3)岡山県

	岡山の緑と水と空気を守る連絡会	代表者	小川 洋 , 河重 寛子
住所	岡山市藤崎429	電話番号	086-277-0388
URL	-	事業費	~ 100万円未満
会員数	個人会員：50名		
活動分野	自然保護 , リサイクル・廃棄物		
活動内容	児島湖の水質改善問題に関する活動		

	リサイクル赤とんぼ	代表者	大塚 真弓
住所	岡山市藤田253	電話番号	086-296-2813
URL	-	事業費	~ 100万円未満
会員数	個人会員：20名		
活動分野	環境全般		
活動内容	小学生対象の環境教育の実践 資源ゴミの回収 , 分別後 , 再利用再活用を図る活動		

	リサイクル社会をめざす市民の会	代表者	羽場 頼三郎
住所	岡山市福富西2-8-19	電話番号	086-265-0651
URL	-	事業費	~ 100万円未満
会員数	個人会員：150名		
活動分野	リサイクル・廃棄物		
活動内容	ビン・カンの自主的回収 フリーマーケットの実施		

(4) 広島県

	環境市民ネット松永	代表者	国竹 卓美
住所	福山市松永町1-24	電話番号	0849-33-5796
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：20名		
活動分野	水・土壌の保全，美化清掃，自然保護，環境教育		
活動内容	松永湾の3～5ヶ所の生物調査，水質土壌調査を1年に2～3回実施 干潟，岸，道路などの清掃活動を1年に10回程度実施 EM菌によるヘドロ浄化活動の実施。（ほぼ毎日）		

	こぶの会	代表者	桑田 真弓
住所	福山市草戸町4-16-5	電話番号	084-923-2265
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：5名		
活動分野	消費・生活，環境教育，リサイクル・廃棄物		
活動内容	ペットボトルのリターナブルビンへの移行・デポジットへの提言 ペットボトル，びん等資源の回収 小学校等の環境学習の講師		

	ごみ5R推進本舗	代表者	落合 真弓
住所	福山市三吉町5-1-33	電話番号	084-924-2431
URL	http://park12.wakwak.com/~natsu_co/index.html	事業費	100万円以上1000万円未満
会員数	個人会員：62名，法人会員：20団体		
活動分野	消費・生活，環境教育，まちづくり，リサイクル・廃棄物		
活動内容	「家族環境小学校」の開催による地縁の団体と市民団体，企業，行政をネットワークし，地域の環境保全意識の向上を計る。 スーパーのエコ度調査等グリーンコンシューマの育成 ごみ現場の視察，取材		

	ローズ・クリーンサークル本部	代表者	森迫 清之
住所	福山市坪生町南1-1-5	電話番号	0849-48-2723
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	個人会員：100名		
活動分野	環境全般		
活動内容	毎月2回の定例日に資源回収分別処理 発生ごみ分別減量化実践 小中学校，各種団体，行政に事例発表，体験にもとづく環境学習 行政企業に実践より得た省エネ，環境改善の提案意見具申		

	エコローズ企画	代表者	木村 卓弘
住所	福山市箕沖町107-2 福山市リサイクルプラザ内	電話番号	084-954-2619
URL	http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/recycleplaza/index.html	事業費	100万円以上1000万円未満
会員数	個人会員：23名		
活動分野	消費・生活，環境教育，地球温暖化防止，リサイクル・廃棄物		
活動内容	環境問題に関する情報紙の発行 リサイクル体験講座を通し，ゴミ3Rの啓発 リサイクルプラザ見学者への対応 リサイクル品の作成，修理		

	環・太田川	代表者	篠原 一郎
住所	広島市安佐北区口田3-21-9	電話番号	082-842-6414
URL	http://hiroshima.cool.ne.jp/kan_oitagawa/	事業費	100万円以上1000万円未満
会員数	個人会員：300名，法人会員：3団体		
活動分野	森・川・海の交流		
活動内容	水環境（水環境浄化についての現状と課題等）に関する月刊誌を毎月発行 年に数回，学習会，現地見学会を開催		

	ひろしま地球環境フォーラム	代表者	白倉 茂生
住所	広島市中区基町10-52 広島県循環型社会推進室内	電話番号	082-228-2111(2952)
URL	http://www1a.biglobe.ne.jp/ecoforum/	事業費	1,000万円以上1億円未満
会員数	法人会員：307団体		
活動分野	環境全般		
活動内容	地球環境に関する講演会，セミナー 環境配慮型施設やリサイクル施設の視察会の開催 地域における環境学習や実践活動の促進，支援 県民，事業者等の自主的な廃棄物抑制や環境負荷の軽減を推進する為の活動		

(5) 山口県

	岩国市リサイクルプラザエコフレンズいわくに	代表者	島津 教恵
住所	岩国市平田2-12-30	電話番号	0827-32-5371
URL	http://www.city.iwakuni.yamaguchi.jp/html/ecofriends/index.htm	事業費	100万円以上1000万円未満
会員数	個人会員：209名，法人会員：5団体		
活動分野	消費・生活，環境教育，まちづくり，リサイクル・廃棄物		
活動内容	リサイクル講座・体験学習開設 不用品フリーマーケット事業 家具・自転車等の修理・再生販売 廃油石けん製造・販売		

②①	防府市環境衛生推進協議会	代表者	國弘 保郎
住所	防府市寿町7-1 防府市生活環境課内	電話番号	0835-25-2172
URL	-	事業費	1,000万円以上1億円未満
会員数	個人会員：41,600名		
活動分野	美化清掃，地球温暖化防止，まちづくり，リサイクル・廃棄物		
活動内容	ごみの減量分別収集とリサイクルの推進 水環境保全活動の推進 省資源，省エネルギー運動の推進		

②②	やまぐちエコ倶楽部	代表者	吉村 京
住所	山口市大字大内御堀489-8 山口市リサイクルプラザ内	電話番号	083-927-7122
URL	http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/	事業費	100万円以上1000万円未満
会員数	個人会員：70名，法人会員：10団体		
活動分野	消費・生活，環境教育，地球温暖化防止，リサイクル・廃棄物		
活動内容	市が実施している家庭ごみの分別収集への市民の理解と協力のための情報提供 リサイクル講座 フリーマーケット おもちゃの病院，衣類の整理販売，調査研究事業 年一回，山口市との共催によるエコパークまつりの開催		

②③	榎野川の源流を守る会	代表者	田村 茂照
住所	山口市仁保下郷205 岡秀夫様方	電話番号	090-4148-2692
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	-		
活動分野	森林の保全・緑化，水・土壌の保全，自然保護		
活動内容	四季の森公園として整備作業に従事したボランティアに地域通貨フシノを発行し，以来流域全域にわたる環境ボランティアに発行し続けている。		

②④	宇部環境国際協力協会	代表者	中西 弘
住所	宇部市中央町1-10-32 エビスビル3F	電話番号	0836-36-3199
URL	http://www.ieca.biz/	事業費	100万円以上1000万円未満
会員数	個人会員：350名，法人会員：80団体		
活動分野	環境全般		
活動内容	市民の環境意識啓発のための環境国際セミナー開催 市内企業が持つ環境技術の調査，関係機関へのPR 姉妹都市，友好都市との環境技術の情報交換		

②⑤	しものせき竹取物語	代表者	西村 文廣
住所	下関市古屋町一丁目18番1号	電話番号	0832-52-7220
URL	http://www.geocities.jp/taketori2006/	事業費	-
会員数	個人会員：60名		
活動分野	森林の保全・緑化，自然保護		
活動内容	竹林の整備や竹の有効利用 (不良竹の伐採や竹炭作業等)		

②⑥	秋芳町環境衛生推進協議会	代表者	岡崎 幸夫
住所	美祢郡秋芳町秋吉5335-1	電話番号	0837-62-1907(126)
URL	-	事業費	～100万円未満
会員数	-		
活動分野	美化清掃，リサイクル・廃棄物		
活動内容	廃食油を利用したのセッケン作り 生ごみ処理容器の斡旋		

参考文献

- 1) NPO法人データベース NPO法人広場 / <http://www.npo-hiroba.or.jp/>
- 2) 平成18年版環境NGO総覧オンラインデータベース
/ <http://www.erca.go.jp/jfge/index.html?main=NGO/info.html>
- 3) 各環境任意団体のホームページ（平成20年3月現在）

4 . インフラ

4 - 1 . インフラ

(再資源化関連施設：各種リサイクル法関連)

4-1. インフラ(再資源化施設:各種リサイクル法関係)

4-1-1. 容器包装リサイクル関係【民間の再生処理事業者】

日本容器リサイクル協会の登録再生処理業者を掲載(平成18~20年度)

(1)鳥取県

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
	因幡環境整備株式会社 (いなばエコ・リサイクルセンター)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	鳥取市船木118-1	0857-38-4181

(2)島根県

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
	株式会社島根再資源化研究所 (本社工場)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	出雲市武志町640	(株式会社イズコン本社) 0853-23-2633

(3)岡山県

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
	環境開発事業協同組合 (常高工場)	PETボトル	ペレット フレーク化	倉敷市常高82-2	086-428-7320
	水島エコワークス株式会社(本社工場)	プラスチック製 容器包装	ガス化	倉敷市水島川崎通1	086-447-3255
	坂田砕石工業株式会社(本社工場)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	久米郡久米南町山手645	0867-28-2811
	杉岡建設株式会社 (リサイクルセンター)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	新見市新見368-4	0867-72-0615
	株式会社エスアイケイ ウェステックリブら岡山工場	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	新見市土橋3198-1	0867-74-9711

(4)広島県

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
	日本合繊株式会社(御領工場)	PETボトル	ペレット フレーク化	福山市神辺町下御領1360-1	084-925-5522
	株式会社エフピコ (福山リサイクル工場)	プラスチック製 容器包装	トレイの 材料リサイクル	福山市箕沖町127-2	084-957-2301
	JFE環境株式会社(福山原料化工場)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル 高炉還元 コークス炉	福山市箕沖町107-8	084-981-3160
	株式会社正和クリーン (尾道PETボトル再生工場)	PETボトル	ペレット フレーク化	尾道市長者原1丁目 220-7	0848-48-4570
	(有)すずか(三原工場)	ガラスびん	ガラス製容器	三原市西野5丁目22-3	0848-64-8002
	株式会社広島リサイクルセンター (第1工場・第2工場)	ガラスびん PETボトル プラスチック製 容器包装	ガラス製容器 以外 ペレット、フレーク化 材料リサイクル	三原市久井町下津1126	(本社) 082-567-2510
	株式会社本田春荘商店 (西風新都営業所)	紙製容器包装	選別	広島市安佐南区伴南2丁目 4-24	082-849-0113
	株式会社ティ・エム・シー (リサイクル工場)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	広島市安佐北区可部南 2-15-25	082-815-6234
	株式会社コーヨー(リサイクルセンター)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	広島市安佐北区安佐町大字 久地2854-5	082-837-3666
	株式会社タイヨー (第2,第3リサイクルプラント)	紙製容器包装 プラスチック製 容器包装	固形燃料化 材料リサイクル	広島市安芸区船越南5丁目 11-1	082-824-0110

(5) 山口県

番号	事業者	再生資源	用途	住所	電話番号
	(株)山口リサイクル(本社工場)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	岩国市周東町下須通 513-1	0827-84-5560
	周南総合リサイクル(株) (下松支店)	紙製容器包装	選別	下松市末武中1234-1	0833-41-7570
	帝人ファイバー(株) (徳山事業所徳山原料重合工場)	PETボトル	ポリエステル 原料	周南市由加町1-1	0834-25-4555
㉑	(株)トクヤマ(南陽工場)	紙製容器包装	固形燃料化	周南市御影町1-1	0834-21-4892
㉒	日立建設(株) (宇部瀝青工場リサイクルセンター)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	宇部市二俣瀬区田ノ小野	0836-62-0066
㉓	(株)広島企業 (宇部テクノリサイクルセンター)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	宇部市大字山中字甲石 700-13	0836-62-6230
㉔	(株)イーユーピー(宇部事業所)	プラスチック製 容器包装	ガス化	宇部市大字藤曲字昭和開作 2575-6	0836-36-0620
㉕	共英リサイクル(株) (ガス製造施設)	プラスチック製 容器包装	ガス化	山陽小野田市小野田字港 6289-159	0836-81-5388
㉖	(株)トヨシステムプラント (菊川工場)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	下関市菊川町大字久野723-8	0832-87-2855
㉗	(株)原弘産(エコネット)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	下関市幡生宮の下町26-1	0832-53-8771
㉘	(有)ヤマウチ(豊田工場)	ガラスびん	ガラス製容器 以外	下関市羽山町22-23	0832-22-0273
㉙	クリエート産業(有) (プラスチック再生事務所)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	下関市彦島西山町2丁目1-23	0832-61-4567
㉚	(株)リング(リサイクルセンター)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	阿武郡阿武町大字奈古3626	08388-2-3233
㉛	(有)萩新栄(減容化施設)	プラスチック製 容器包装	材料リサイクル	萩市大字椿東無田ヶ原2917	0838-22-5237
㉜	宇部興産株式会社(宇部セメント 工場、伊佐セメント工場)	紙製容器包装	固形燃料化	宇部市大字小串1978-96	0836-31-2111

参考資料

1) 日本容器包装リサイクル協会の再生処理事業者(平成18～20年度)

/ 容器包装リサイクル協会ホームページ

<http://www.jcpra.or.jp/recycler/index.html>

4-1-2. 容器包装リサイクル関係 【公共のリサイクルセンター・プラザ】

市町村の資源化施設のうち、処理能力10t/日以上、且つ、年間処理量1000t/年以上の施設を掲載。

(1) 鳥取県

③③	東部環境クリーンセンター	市町村・事務組合	東部広域行政管理組合
住所	鳥取市伏野2220	電話番号	0857-59-1802
処理能力(t/日)	82	資源回収量(t/年)	7,114
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成9年

③④	境港市リサイクルセンター	市町村・事務組合	境港市
住所	境港市渡町119-6	電話番号	0859-45-8626
処理能力(t/日)	10	資源回収量(t/年)	839
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成7年

③⑤	西部広域行政管理組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	西部広域行政管理組合
住所	西伯郡伯耆町口別所630	電話番号	0859-68-4071
処理能力(t/日)	69	資源回収量(t/年)	12,877
処理対象物	紙類 金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ その他		
処理内容	選別，圧縮梱包，その他	使用開始時期	平成9年

(2) 島根県

③⑥	西持田リサイクルプラザ	市町村・事務組合	松江地区広域行政組合
住所	松江市西持田町621	電話番号	0852-31-6120
処理能力(t/日)	16	資源回収量(t/年)	2,345
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成10年

③⑦	川向リサイクルプラザ	市町村・事務組合	松江地区広域行政組合
住所	松江市竹矢町1439-5	電話番号	0852-38-8060
処理能力(t/日)	64	資源回収量(t/年)	12,028
処理対象物	紙類 プラスティック 布類		
処理内容	圧縮梱包	使用開始時期	平成14年

③⑧	出雲リサイクルセンター	市町村・事務組合	出雲市外6市町広域事務組合
住所	出雲市西神西町1732-3	電話番号	0853-43-3741
処理能力(t/日)	72	資源回収量(t/年)	6,560
処理対象物	紙類 ガラス類		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成8年

③⑨	雲南市飯南町事務組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	雲南市飯南町事務組合
住所	雲南市木次町里方1369-39	電話番号	0854-42-3391
処理能力(t/日)	13	資源回収量(t/年)	611
処理対象物	金属類 ガラス類 プラスティック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成16年

(3) 岡山県

④⑩	岡山市東部リサイクルプラザ	市町村・事務組合	岡山市
住所	岡山市西大寺新地453-5	電話番号	086-944-7122
処理能力(t/日)	27	資源回収量(t/年)	5,977
処理対象物	紙類 金属類 ガラス類 ペットボトル 布類 不燃ごみ 粗大ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成13年

④⑪	岡山市新保資源選別所	市町村・事務組合	岡山市
住所	岡山市新保687-3	電話番号	086-234-9550
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	2,976
処理対象物	紙類 ガラス類 ペットボトル 布類		
処理内容	選別	使用開始時期	平成4年

④⑫	倉敷市資源選別所	市町村・事務組合	倉敷市
住所	倉敷市水島川崎通1-18	電話番号	086-447-4850
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	2,713
処理対象物	ガラス類		
処理内容	選別	使用開始時期	平成8年

④⑬	吉備路クリーンセンター	市町村・事務組合	倉敷市
住所	倉敷市真備町箭田481	電話番号	0866-98-3774
処理能力(t/日)	10	資源回収量(t/年)	2,043
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 布類 その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成2年

④⑭	津山市資源化センター	市町村・事務組合	津山市
住所	津山市横山648-1	電話番号	0868-22-1439
処理能力(t/日)	30	資源回収量(t/年)	2,762
処理対象物	紙類 金属類 ガラス類 プラスティック 不燃ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	昭和62年

④⑮	岡山県西部衛生施設組合井笠広域資源化センターリサイクルプラザ施設	市町村・事務組合	笠岡市
住所	笠岡市平成町105	電話番号	0865-66-4788
処理能力(t/日)	27	資源回収量(t/年)	3,923
処理対象物	紙類 ガラス類 ペットボトル プラスティック 布類		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成12年

④⑥	津山圏域東部衛生施設組合	市町村・事務組合	勝田郡
住所	勝田郡奈義町上町川186	電話番号	0868-36-2215
処理能力(t/日)	20	資源回収量(t/年)	843
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 ペットボトル プラスティック その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	圧縮梱包，その他	使用開始時期	平成9年

④⑦	高梁地域事務組合リサイクルプラザ	市町村・事務組合	高梁地域事務組合
住所	高梁市落合町阿部2527-1	電話番号	0866-21-0530
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	1,628
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 ペットボトル プラスティック		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成11年

(4) 広島県

④⑧	広島市西部リサイクルプラザ	市町村・事務組合	広島市
住所	広島市西区商工センター7丁目7-2	電話番号	082-501-2600
処理能力(t/日)	90	資源回収量(t/年)	18,630
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 布類 その他資源ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成9年

④⑨	広島市北部資源選別センター	市町村・事務組合	広島市
住所	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	電話番号	082-838-2667
処理能力(t/日)	50	資源回収量(t/年)	10,496
処理対象物	金属類 紙類 ガラス類 布類 その他資源ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成2年

⑤⑨	広島市植木せん定枝リサイクルセンター	市町村・事務組合	広島市
住所	広島市安佐北区安佐町大字筒瀬2031	電話番号	082-838-3930
処理能力(t/日)	25	資源回収量(t/年)	1,339
処理対象物	その他		
処理内容	ごみ堆肥化, ごみ飼料化	使用開始時期	平成11年

⑤①	福山市リサイクル工場	市町村・事務組合	福山市
住所	福山市箕沖町107番地2	電話番号	084-954-2619
処理能力(t/日)	170	資源回収量(t/年)	11,277
処理対象物	ペットボトル プラスティック 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成12年

⑤②	庄原市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	庄原市
住所	庄原市是松町20-25	電話番号	0824-72-1398
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	973
処理対象物	その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ その他		
処理内容	選別, 圧縮梱包, その他	使用開始時期	平成17年

⑤③	大竹市不燃物処理資源化施設	市町村・事務組合	大竹市
住所	大竹市東栄3丁目4	電話番号	08275-2-5101
処理能力(t/日)	11	資源回収量(t/年)	1,845
処理対象物	ペットボトル その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成元年

⑤④	はつかいちリサイクルプラザ	市町村・事務組合	廿日市市
住所	廿日市市宮内西鎗出3860	電話番号	0829-39-0266
処理能力(t/日)	24	資源回収量(t/年)	1,262
処理対象物	その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	平成13年

⑤⑤	江田島市リレーセンター(中継施設)	市町村・事務組合	江田島市
住所	江田島市江田島町鷺部4丁目1-13	電話番号	0823-42-2113
処理能力(t/日)	45	資源回収量(t/年)	953
処理対象物	その他資源ごみ 可燃ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	圧縮梱包	使用開始時期	平成14年

⑤⑥	府中町清掃事務所	市町村・事務組合	府中町
住所	安芸郡府中町八幡4丁目1-1	電話番号	082-286-3267
処理能力(t/日)	15	資源回収量(t/年)	366
処理対象物	金属類 ガラス類 その他資源ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別，圧縮梱包	使用開始時期	昭和56年
⑤⑦	再資源選別処理場	市町村・事務組合	三原広域市町村圏事務組合
住所	三原市久井町坂井原焼御堂1358-82	電話番号	0847-32-7262
処理能力(t/日)	30	資源回収量(t/年)	3,033
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別	使用開始時期	平成5年

(5) 山口県

⑤⑧	下関市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	下関市
住所	下関市古屋町1丁目18-1	電話番号	0832-52-7220
処理能力(t/日)	72	資源回収量(t/年)	5,374
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスティック		
処理内容	選別, 圧縮梱包, その他	使用開始時期	平成15年

⑤⑨	宇部市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	宇部市
住所	宇部市大字沖宇部字沖の山5272-5	電話番号	0832-52-7220
処理能力(t/日)	39	資源回収量(t/年)	5,752
処理対象物	金属類 ガラス類 直接搬入ごみ 紙類 プラスチック ペットボトル		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成19年

⑥⑩	山口市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	山口市
住所	山口市大内御堀489-8	電話番号	083-927-7122
処理能力(t/日)	20	資源回収量(t/年)	2,366
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスチック		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成8年

⑥⑪	岩国市リサイクルプラザ	市町村・事務組合	岩国市
住所	岩国市平田2-12-30	電話番号	0827-32-5303
処理能力(t/日)	59	資源回収量(t/年)	5,120
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル プラスチック 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成11年

⑥⑫	周南市徳山リサイクルセンター	市町村・事務組合	周南市
住所	周南市大字戸田1800番地	電話番号	0834-83-2749
処理能力(t/日)	20	資源回収量(t/年)	1,067
処理対象物	金属類 ガラス類 ペットボトル		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	平成5年

⑥⑬	周南東部環境施設組合後畑後畑不燃物埋立 処分場	市町村・事務組合	光市
住所	光市大字岩田1412	電話番号	0820-48-2442
処理能力(t/日)	38	資源回収量(t/年)	2,023
処理対象物	金属類 ガラス類 その他資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直接搬入ごみ		
処理内容	選別, 圧縮梱包	使用開始時期	昭和58年

参考資料

1) 廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理実態調査結果(平成17年度) 施設整備状況

/ 環境省ホームページ

http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/index.html

4-1-3. エコタウン中核施設

(1) 岡山県

A	㈱日本リサイクルマネジメント	事業概要	木質系廃棄物の炭化リサイクル施設
住所	倉敷市水島川崎通1-14-1	電話番号	03-3816-0113
対象物	建設系廃木材，剪定枝等	処理能力	処理計画量：約18,000 t/年 再生品生産量：約4,000 t/年
再生品	高品位炭・活性炭 二次製品：植木鉢，猫砂 インターロッキングブロック等	事業開始時期	平成17年度
事業内容	県内の建設系廃木材，梱包資材，使用済みカキ筏等を「内燃式高温連続炭化炉」を用いて，安全でかつ均質な高品位炭，活性炭を製造するとともに，高品位炭と地域で処理課題となっている廃棄物等を混合させて，高付加価値の炭二次製品を製造する。 また，建設廃木材収集システムの構築，高品位炭を活用した児島湖の浄化活動等，地域ぐるみでの利用推進体制（リサイクルネットワーク）を構築している。		

B	菱陽ケミカル㈱	事業概要	廃スプレー缶のリサイクル施設
住所	倉敷市松江4-5-1	電話番号	086-457-3100
対象物	スプレー缶・ムース缶	処理能力	処理計画量：1,000 t/年 再生品生産量：240 t/年 燃料ガス製造業：100 Nm ³ /H
再生品	アルミ，スチール，燃料ガス	事業開始時期	平成16年度
事業内容	製薬・化粧品会社から発生する廃・在庫スプレー缶・ムース缶を，窒素ガスシールを用いた「廃カセットガス缶・エアゾール缶処理装置」と焼却施設・廃熱回収ボイラ・発電施設を用いて100%リサイクルを行う。 再生品は工業原料として鉄鋼業者等に販売し，そのうち燃料ガスは自社及び関連会社でサーマルリサイクルを行う。		

C	三菱化学㈱(水島事業所)	事業概要	塩素廃液のリサイクル施設
住所	倉敷市潮通3-10	電話番号	086-457-2101
対象物	廃油（塩化タール），廃酸，廃アルカリ	処理能力	再生品生産量：20,000 t/年
再生品	35%塩酸	事業開始時期	平成16年度
事業内容	塩化ビニル等の製造工程等で発生する有機性塩素化合物や塩素系化合物を含む廃液を高温焼却炉に吹き込み，塩酸を回収する。 塩酸は，工業原料の製品塩酸として化学メーカー等に販売する。		

D	水島エコワークス㈱	事業概要	倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設
住所	倉敷市水島川崎通1丁目14-5	電話番号	086-447-3255
対象物	倉敷市の一般廃棄物，産業廃棄物	処理能力	処理能力：555 t/日
再生品	精製合成ガス，スラグ，メタル，硫黄 金属水酸化物，混合塩	事業開始時期	平成17年度
事業内容	倉敷市においてPFI方式で整備運営するごみ処理施設であり，倉敷市の一般廃棄物及び下水道汚泥，産業廃棄物を同時に処理する。 導入する施設は「ガス改質型ガス化熔融炉」であり，廃棄物から金属水酸化物，混合塩等の再資源化が可能な副産物を回収するとともに，ガスを改質し，コンビナートで利用するため，廃棄物の最終処分を不要とする完全リサイクルを目指した再資源化技術である。		

E	三乗工業(株)	事業概要	化学繊維スクラップの 再資源化技術によるリサイクル施設
住所	総社市井尻野100番地	電話番号	0866-93-2301
対象物	自動車用フロアカーペット屑 不織布屑，シート屑等	処理能力	処理計画量：1,800 t/年
再生品	自動車内装内，建設資材，梱包材	事業開始時期	平成15年度
事業内容	化学繊維（自動車用カーペット，不織布，シート）スクラップに相溶化剤（熱可塑性エラストマー）を投入し，加熱混練・圧延しシート状に加工する。 材料の混合比の調整により，弾性率，衝撃率，耐寒熱温度を上げ，また，不織布や再生オレフィン系フィルムを張り合わせるにより高付加価値化し，梱包資材から自動車部品，建設資材を製造する。		

(2)広島県

F	福山リサイクル発電㈱	事業概要	RDF発電・灰溶融施設
住所	福山市箕沖町107-8	電話番号	084-920-2480
対象物	可燃性一般廃棄物	処理能力	RDF処理能力：314 t/日 発電量：約20,000kW
再生品	電気	事業開始時期	平成16年4月
事業内容	RDFを燃料として発電するとともに、灰を溶融スラグ化し、路盤材等へ有効利用する施設。 可燃性の一般廃棄物のうち、リサイクル可能なものを除去したごみを、市町村でRDF（ごみ固形燃料）化し、これを発電に利用。 発電の過程で発生するRDFの焼却灰は、高温により溶融（溶かすこと）し、冷却したガラス質の固化物（いわゆる溶融スラグ）にした上で、土木資材等への活用を図る。		

G	㈱エコログ・リサイクリング・ジャパン	事業概要	ポリエステル含有混紡衣料品リサイクル施設
住所	福山市草戸町3-12-5	電話番号	084-924-8509
対象物	使用済み混紡繊維製品	処理能力	処理能力：600 t/年
再生品	ポリエステル再生ペレット	事業開始時期	平成15年4月
事業内容	天然繊維と化学繊維からなる混紡繊維を酵素により分解し、各々繊維関連製品等へリサイクルする施設。 これまで、分離技術がないためリサイクルが困難とされていた天然繊維とポリエステルの混紡繊維製品について、酵素反応を利用して、天然繊維部分を分解・分離し、分離されたポリエステルの再生原料化を行う。		

H	JFEスチール㈱(福山原料化工場)	事業概要	使用済みプラスチック高炉原料化施設
住所	福山市箕沖町113番地	電話番号	084-981-3160
対象物	使用済みプラスチック	処理能力	処理能力：70,000 t/年
再生品	高炉原料（還元剤）	事業開始時期	平成12年4月
事業内容	容器包装プラスチックを中心とした使用済みプラスチックを破碎・造粒して、製鉄所の高炉で使用する還元剤（コークス代替）を製造する施設。 大量で安定したリサイクルが可能であり、資源・エネルギー利用効率が高く、省エネルギー・省資源化が図れる、二酸化炭素の排出が軽減でき、地球温暖化対策になる、再商品化と製品利用を一貫して行うことができるなどの特徴がある。		

I	㈱エフビコ(福山リサイクル工場)	事業概要	食品トレーリサイクル施設
住所	福山市箕沖町127-2	電話番号	084-953-0001（本社秘書室）
対象物	発泡スチロール製食品トレー	処理能力	処理能力：360 t/月
再生品	発泡スチロール製食品トレー（エコトレー） 教材用エコグッズ	事業開始時期	平成5年2月
事業内容	使用済み発泡スチロール製食品トレーを、再び発泡スチロール製食品トレーにリサイクル。スーパーマーケットの店頭回収ボックスを設置し、消費者との接点を初めて設けるなど、生産者・包材問屋・販売者、消費者が四者一体で展開する独自の方式で、全国に普及しているリサイクルシステムの1つである。 食品トレーを配送した帰り便で発泡スチロール製食品トレーを回収する。		

J	日本合繊(株)(御領工場)	事業概要	ペットボトルリサイクル施設
住所	福山市神辺町下御領1360-1	電話番号	084-925-5522 (総務部)
対象物	使用済みペットボトル	処理能力	処理能力：6,000 t/年 (16時間/日稼働時)
再生品	フレーク	事業開始時期	平成12年4月
事業内容	ペットボトルを繊維等となる再生原料にリサイクルしている。 容器包装リサイクル法に基づいて、指定法人である(財)日本容器包装リサイクル協会の委託を受け、再商品化事業を行っており、市町村から、使用済みペットボトルを引取り、再生(フレーク)加工し、資源の有効利用に取り組むとともに、効率のよいリサイクルシステムを進めている。		

K-1	(株)オガワエコノス	事業概要	ごみ固形燃料化(RPF)施設
住所	府中市鶴飼町字大段原800-113	電話番号	0847-45-2998 (企画室)
対象物	古紙、木くず、廃プラスチック類	処理能力	処理能力：12,000 t/年
再生品	R P F	事業開始時期	平成15年3月
事業内容	家庭や事業所等から排出される再生利用が困難な古紙、木くず、混合系廃プラスチック類を破碎・成型し、R P F (ごみ固形燃料)に再生している。 比較的水分の少ない系廃プラスチック類、古紙、木くずを対象とすることで、カロリーの高い固形燃料を製造することができる。 破碎機と押出成形機からなる簡易な構造であり、乾燥工程が無いのでR P F 製造に必要なエネルギー量が少ないほか、排水処理の問題も発生しないなど、環境面においても優しい施設である。		

K-2	(株)オガワエコノス	事業概要	食品残渣堆肥化施設
住所	府中市本山町530-85	電話番号	0847-41-5804
対象物	食品残さ(生ごみ)	処理能力	堆肥製造量：300 t/年
再生品	エコ堆肥	事業開始時期	平成15年2月
事業内容	地元の事業所から出る国内産木材のカナクず、農家のもみ殻、スーパーや飲食店、給食センターから出る調理くず等の生ゴミを利用し、堆肥を製造している。 堆肥の特徴としては、使い続けると土にいい微生物を増殖させて土が団粒構造になり、保肥力、保水力を向上させるほか、バチルス菌等を多量に含んでいるため作物の病気に対する抵抗力を高める等、土壌改良に効果がある。		

L	イオネスケミカル(株)(三原製造所)	事業概要	フロン破壊・代替フロン再生施設
住所	三原市円一町1丁目1-1	電話番号	0848-67-5230
対象物	フロン類(CFC, HCFCなど) 代替フロン類(HFC), ハロン類	処理能力	分解処理能力：1,300 t/年 (分解効率99.999%以上) 代替フロン(HFC - 134 a) 再生能力：50 t/年
再生品	HFC-134a, 塩化カルシウム フッ化カルシウム	事業開始時期	平成8年 代替フロン再生施設：平成11年
事業内容	回収されたフロン類(CFC, HCFCなど)を分解するとともに、副産物を製鉄所の流動化剤(フロン類の原料)等で再利用する施設。 また、代替フロン(HFC)の分解のほかに、依頼者の指示により、蒸留・精製した上でリサイクルも実施している。		

M-1	(有)すずか	事業概要	ペットボトルリサイクル施設
住所	三原市西野5-22-3	電話番号	0848-64-8002
対象物	廃プラスチック類 (主にペットボトル)	処理能力	処理能力：3 t/日
再生品	P E T フレーク	事業開始時期	平成10年11月
事業内容	ペットボトルを繊維・シート等の原料となる再生樹脂へリサイクルする事業を実施している。 回収したペットボトルをホッパー投入し、選別、振動ふるい、破碎工程を経てP E T フレークを製造する。		

M-2	(有)すずか	事業概要	ガラスリサイクル施設
住所	三原市西野5-22-3	電話番号	0848-64-8002
対象物	ガラスくず及び陶磁器くず [※] (ガラスびん等の混合物)	処理能力	処理能力：76 t/日
再生品	ガラスカレット	事業開始時期	平成8年6月
事業内容	ガラスびん等を細かく砕いて砂と混合し、土木資材へリサイクルする事業を実施している。 ガラスびんを破碎し、粒度の調整を行った上で、下水道工事等で使用される埋め戻し砂の代替品として再生する。 リサイクル率が低い有色ガラスびんをリサイクルする有効手段として期待されている。		

(3) 山口県

N	山口エコテック(株)	事業概要	ごみ焼却灰のセメント原料化施設
住所	周南市晴海町7-46	電話番号	0834-21-2200
対象物	ごみ焼却灰	処理能力	処理能力：50,000 t/年
再生品	セメント原料	事業開始時期	平成14年4月
事業内容	山口県内のごみ焼却施設から排出される焼却灰をセメント工場の受入基準に適合するよう前処理して再資源化する施設。ここで処理された焼却灰は、(株)トクヤマ南陽工場及び宇部興産(株)宇部工場の両工場において、ポルトランドセメントの原料としてリサイクルされる。		

O	帝人ファイバー(株)(徳山事業所)	事業概要	ペットボトルからペットボトルへの原料化施設
住所	周南市由加町1-1	電話番号	0834-25-4555
対象物	廃ペットボトル	処理能力	処理能力：30,000 t/年
再生品	高純度ポリエステル原料	事業開始時期	平成14年4月
事業内容	通常石油から作られるPET樹脂原料のジメチルテレフタレートを使用済みPETボトルなどのポリエステル製品からケミカルリサイクル技術で回収している。 また、PETボトルから回収したジメチルテレフタレートをさらに化学反応させることによってPETボトル用樹脂にリサイクルする「ボトルtoボトル」の技術を世界で初めて開発した。		

P	(株)イーユーピー	事業概要	廃プラスチックのガス化による化学工業原料化施設
住所	宇部市大字藤曲字昭和開作2575-6	電話番号	0836-36-0620
対象物	廃プラスチック類	処理能力	処理能力：30,000 t/年
再生品	アンモニア等	事業開始時期	平成13年度
事業内容	低温ガス化炉と高温ガス化炉から構成される二段ガス化プロセスにより、廃プラスチックは熱分解・部分酸化されて、再商品化製品である水素・一酸化炭素ガス(アンモニア等の化学製品の基礎原料)を生成する。 また、廃プラスチックは種類を問わず、塩ビも分別することなく処理可能であり、原料中の塩素は塩化アンモニウム(肥料の原料)等にリサイクルできる。		

参考資料

1) エコタウン中核施設

岡山エコタウンプラン / 岡山県庁ホームページ(生活環境部循環型社会推進課)

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=30

びんごエコタウン構想 / 広島県庁ホームページ(ecoひろしま)

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/i/i5/bingo/toppage/toppage.htm>

やまぐちエコタウン基本構想の概要 / 山口県庁ホームページ(やまぐちの環境)

<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/>

2) 各施設の概要：各企業のホームページ

4-1-4. 自動車・家電リサイクル関連施設・リサイクルポート

(1) 自動車リサイクル関連施設

平成19年4月現在

記号	分類コード	県	施設名	所在地	電話番号
Q	1	岡山県	エコシステム岡山(株)	岡山市海岸通1丁目3番2	086-262-9020
R	2	岡山県	平林金属(株)(港工場)	岡山市新築港1-22	086-277-2371
S	2	岡山県	(株)ヒラキン	倉敷市玉島乙島字新湊8252-17	086-446-1165
T	1	岡山県	(財)岡山県環境保全事業団	倉敷市水島川崎通地先	086-440-0666
U	1	岡山県	水島エコワークス(株)	倉敷市水島川崎通1丁目1-1, 14-5	086-447-3255
V	2	岡山県	(株)カンガイ(新湊工場)	倉敷市玉島乙島字新湊8252-3	086-526-2121
W	3	岡山県	ダイワスチール(株) (水島事業所)	倉敷市水島川崎通1丁目	086-447-4224
X	1	広島県	(株)カムテックス(福山工場)	福山市箕沖町107-5	084-954-6700
Y	1	広島県	広島ガステクノ(株)	安芸郡海田町明神町2番118号	082-822-0180
Z	1,3	山口県	共英製鋼(株) (山口事業所)	山陽小野田市大字小野田6289-18	0836-83-6171

分類コード

1	特定再資源化物品の再資源化認定(法28条認定)を受けたASRリサイクル施設
2	特定再資源化物品の再資源化認定(法28条認定)を受けたASR減量、減容固化施設
3	全部再資源化認定(法第31条認定)を受けた解体自動車全部利用者

(2) 家電リサイクル関連施設

記号	分類コード	県	施設名	所在地	電話番号
AA	-	岡山市	平林金属(株) (港工場, 御津工場, 岡山工場)	(港工場)岡山市新築港1-22 (御津工場)岡山市岡山市御津高津120-13 (岡山工場)岡山市下中野377	(港工場) 086-277-2371 (御津工場) 0867-24-0505 (岡山工場) 086-241-6943

(3) リサイクルポート

記号	名称・指定日	概要
a	徳山下松港 (平成15年4月)	・徳山下松港は、山口県の瀬戸内海沿岸のほぼ中央に位置する特定重要港湾で、背後には石油・化学等の基礎素材型企業群がコンビナートを形成しており、リサイクル事業や技術開発を積極的に行っている。 ・同港では、主に「高炉スラグ、石炭灰等のセメント原料化リサイクル」などの事業が行われており、さらに「ごみ焼却灰のセメント原料化リサイクル」「廃プラスチックのセメント原料化リサイクル」「ペットボトルを主とするポリエステル製品の原料化リサイクル」などの事業が進展中である。また、新たに循環型社会形成に向けて資源循環の拠点づくりや廃棄物最終処分場を整備する「T-10埋立」や「N-7埋立」事業が計画されている。
b	宇部港 (平成15年4月)	・宇部港は、山口県の西南部に位置する重要港湾で、徳山下松港と同様に背後に立地する石油・化学等の基礎素材型企業群が積極的なリサイクル事業を実施している。 ・同港では、主に「高炉スラグ、石炭灰等のセメント原料化リサイクル」や「鉄屑のリサイクル」「廃プラスチックのガス化リサイクル」などの事業が行われており、さらに「建設木くずのエネルギーリサイクル」などの事業が計画されている。また、資源循環の拠点づくりや廃棄物最終処分場を整備する「東見初埋立」事業を実施している。

参考資料

- 1) 自動車リサイクル関連施設：自動車メーカーからの委託を受けた事業者リスト
／経済産業省ホームページ／自動車リサイクル法(平成19年4月)
<http://www.meti.go.jp/policy/automobile/index.html>
- 2) 家電リサイクル関連施設／家電リサイクル法施行状況(平成16年度実績) 家電リサイクルプラント一覧
／環境省報道記者発表(平成17年4月)
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7079>
家電リサイクルの取り組み／(財)家電製品協会
http://www.aeha.or.jp/action_of_recycling/plant/index.html
- 3) リサイクルポート：リサイクルポート指定港配置図
／国土交通省港湾局環境整備計画室資料

4 - 2 . インフラ

(再資源化関連施設：新エネルギー製造・利用施設)

4-2. インフラ(再資源化施設:新エネルギー製造・利用施設)

4-2-1. RDF製造施設

(1) 島根県

A	雲南エネルギーセンター	市町村・事務組合	雲南市・飯南町事務組合
所在地	雲南市加茂町三代1331-1	電話番号	0854-49-6332
処理対象物	可燃ごみ，直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	30
処理量(t/年)	7,751	燃料製造量(t/年)	4,456
使用開始年度	平成11年	供給先の利用状況	燃料用
事業内容	家庭や事業所から発生し分別収集された可燃ごみを受入れ，破砕，乾燥，選別，成形工程を経て，クレヨン状の固形燃料(RDF)を製造。 町の施設の冷暖房の燃料として使用。		

(2) 広島県

B	福山市ごみ固形燃料工場	市町村・事務組合	福山市
所在地	福山市箕沖町107-7	電話番号	084-957-4866
処理対象物	可燃ごみ	処理能力(t/日)	300
処理量(t/年)	87,966	燃料製造量(t/年)	47,838
使用開始年度	平成16年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	福山市内の家庭や事業所等から排出される燃やせるごみを、乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。 製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

C	府中市クリーンセンター	市町村・事務組合	府中市
所在地	府中市鶴飼町74-2	電話番号	0847-43-7144
処理対象物	可燃ごみ、直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	60
処理量(t/年)	9,125	燃料製造量(t/年)	4,123
使用開始年度	平成14年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	府中市内の家庭や事業所等から排出される可燃性の一般廃棄物を、乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。 製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

D	甲世衛生組合ごみ固形燃料化施設 エコワイズセンター	市町村・事務組合	甲世衛生組合
所在地	世羅郡世羅町大字川尻字権現山784-32	電話番号	0847-22-3006
処理対象物	可燃ごみ	処理能力(t/日)	16
処理量(t/年)	3,515	燃料製造量(t/年)	1,836
使用開始年度	平成10年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	御調町、久井町、世羅町内の家庭や事業所等から排出される可燃性の一般廃棄物を、選別・乾燥・圧縮成型して、固形燃料(RDF)化。 製造したRDFは、福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

E	RDF(ごみ固形燃料)製造施設 エコセンターはつかいち	市町村・事務組合	廿日市市
所在地	廿日市市宮内3860	電話番号	0829-39-0266
処理対象物	可燃ごみ、処理残渣	処理能力(t/日)	102
処理量(t/年)	22,659	燃料製造量(t/年)	13,101
使用開始年度	平成16年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	日本初となるRDF(ごみ固形燃料)製造施設とコージェネシステム(499kW×2台)を併設した施設として、2004年3月に竣工。 製造したRDFは福山リサイクル発電所へ発電用燃料として供給。 天然ガスコージェネで発電した電力は施設内に供給され、排熱は冷暖房や給湯、施設内の熱風炉・脱臭炉の各燃焼空気として利用。		

F	大竹市ごみ固形燃料化施設 夢エネルギーセンター	市町村・事務組合	大竹市
所在地	大竹市東栄3-3	電話番号	0827-52-5101
処理対象物	可燃ごみ，直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	42
処理量(t/年)	7,941	燃料製造量(t/年)	4,291
使用開始年度	平成15年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	従来，燃やしていたごみを適当な大きさに砕いたあと乾燥させ，消石灰を混ぜ合わせて製造。 製造したRDFは，福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

G	クリーンセンターじんせき	市町村・事務組合	神石広域事務組合
所在地	神石郡神石高原町階見1254-1	電話番号	08478-9-3121
処理対象物	可燃ごみ	処理能力(t/日)	11
処理量(t/年)	1,048	燃料製造量(t/年)	454
使用開始年度	平成14年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	神石郡内の家庭や事業所等から排出される可燃性の一般廃棄物を，選別・乾燥・圧縮成型して，固形燃料（RDF）化。 製造したRDFは，福山リサイクル発電株式会社の発電用燃料として使用。		

H	町営東城クリーンセンター ごみ固形燃料化施設	市町村・事務組合	庄原市
所在地	庄原市東城町久代1671-2	電話番号	08477-2-0214
処理対象物	可燃ごみ，直接搬入ごみ，粗大ごみ	処理能力(t/日)	19
処理量(t/年)	1,892	燃料製造量(t/年)	990
使用開始年度	平成14年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	福山リサイクル発電(株)の燃料として利用。		

(3)山口県

I	周南市ごみ燃料化施設 フェニックス	市町村・事務組合	周南市
所在地	周南市臨海町1	電話番号	0834-61-0333
処理対象物	可燃ごみ，直接搬入ごみ，粗大ごみ	処理能力(t/日)	48
処理量(t/年)	9,393	燃料製造量(t/年)	4,689
使用開始年度	平成11年	供給先の利用状況	燃料用
事業内容	旧新南陽市，鹿野町の可燃ゴミを原料として固形燃料（RDF）を製造。 東ソー(株)セメント工場で燃料として利用。		

J	クリーンセンター響	市町村・事務組合	豊浦豊北清掃施設組合
所在地	下関市豊浦町大字宇賀3528-12	電話番号	0837-76-0321
処理対象物	可燃ごみ，直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	28
処理量(t/年)	5,504	燃料製造量(t/年)	2,499
使用開始年度	平成12年	供給先の利用状況	燃料用
事業内容	旧豊浦・豊北町の家庭から出るごみの固形燃料化施設。 宇部興産に逆有償（500円/t）で引き渡している。		

K	カルストクリーンセンター	市町村・事務組合	美祢地区衛生組合
所在地	美祢郡秋芳町大字岩永下郷追拳	電話番号	0837-62-1306
処理対象物	可燃ごみ，直接搬入ごみ	処理能力(t/日)	28
処理量(t/年)	6,972	燃料製造量(t/年)	4,480
使用開始年度	平成11年	供給先の利用状況	発電用
事業内容	宇部興産(株)伊佐セメント工場で利用。		

参考資料

1) 廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理実態調査結果（平成17年度）施設整備状況

/ 環境省ホームページ

http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/index.html

2) ごみゼロ社会を目指す廃棄物と環境の専門誌ZERO （2005年 No.182～2007年 NO.221）

/ 編集・発行 オフィスゼロ

4-2-2 . RPF製造施設

(1) 鳥取県

L	鳥取県リサイクル協同組合 (施設場所: (有)山陰クリエート)	所在地	米子市大篠津町3013-1 (山陰クリエート: 米子市和田町2162-1)
電話番号	0859-25-1117 (山陰クリエート: 0859-25-1121)	対象物	紙くず, 木くず, 廃プラスチック類
URL	http://www.sanin-create.jp/		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成17年4月
事業内容	鳥取県内の産業廃棄物処理業者4社(有)山陰クリエート, (有)サカイ環境整備, (株)クラエー, (有)ショーワ興産)により鳥取県リサイクル協同組合を設立。 同組合では, 今まで処分場等で埋立や焼却していたリサイクルが困難な古紙や廃プラスチックを混ぜて固形燃料(RPF)を製造, 王子製紙米子工場に供給している(混合比プラスチック類50%, 木・紙等50%)。		

(2) 島根県

M	三光(株)江島リサイクル工場	所在地	松江市八束町江島1128-105
電話番号	0852-76-3586	対象物	廃プラスチック, 木くず, 紙くず, 生ごみ等
URL	http://www.sankokk-net.co.jp/company/		
製造能力(t/h)	2.5	使用開始年度	平成13年4月
事業内容	廃プラスチック, 木くず, 紙くず, 生ごみ等を固形燃料化し, その焼却熱を利用したサーマルリサイクル(発電)を実施。 RPFは王子製紙米子工場に供給している。		

N	アースサポート(株)	所在地	松江市八幡町882-2
電話番号	0852-37-2890	対象物	古紙, 木くず, 廃プラスチック
URL	http://www.earth-support.jp/		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成17年8月
事業内容	廃プラスチックや古紙, 木くずを細かく破碎, 加熱・圧縮し, 固形燃料にする。熱量は石炭やA重油と同程度の6000カロリーある。 RPFは王子製紙(株)米子工場発電用ボイラー施設の燃料として全量販売している。		

(3) 岡山県

O	(株)西日本アチューマツクリーン RPF赤磐工場	所在地	(本社)岡山市藤原50-1 (工場)赤磐市山口2131-4
電話番号	086-272-8042(本社) 086-957-4919(工場)	対象物	紙, 木, 繊維くず, 廃プラスチック
URL	http://www.e-nac.co.jp/		
製造能力(t/h)	2.0	使用開始年度	平成17年7月
事業内容	紙や木, 繊維くずと廃プラスチックを原料に, これを混合させ加圧, 加熱後, 成形。 RPFは, 王子製紙米子工場や, 神戸製鋼所加古川製鉄所など3工場に供給する。		

P	(株)オガワエコノス 岡山工場	所在地	勝田郡勝央町太平台89-8
電話番号	0868-38-0530	対象物	廃プラスチック類, 木くず, 紙くず, 繊維くず
URL	http://www.o-econos.com/		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成17年2月
事業内容	廃プラスチックや木くず, 紙くずなどをブレンドして固形燃料(RPF)化。 岡山県内を中心に企業から収集したプラスチックや木くず, 紙くずなどから金属などの異物を取り除いた後, 破碎, 練り合わせを行い棒状のRPF(直径35mm, 長さ5~10cm)に加工する。 1000t/月の製造量を見込み, 製品のRPFは全量王子製紙米子工場に出荷する。		

Q	(株)内海清掃 南倉敷リサイクルセンター	所在地	倉敷市児島稗田町2667-5
電話番号	086-474-8855	対象物	廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 繊維くず, ゴムくず
URL	http://www.kct.ne.jp/~naikai/		
製造能力(t/h)	-	使用開始年度	-
事業内容	廃プラスチック類を主とした高カロリー廃棄物は, 圧縮固化処理されてRPF(固形燃料)として製紙会社, セメント会社などで燃料として利用。		

(4) 広島県

R	(株)オガワエコノス 鷗飼工場	所在地	府中市高木町502-10
電話番号	0847-45-2998	対象物	廃プラスチック類，紙くず， 木くず，繊維くず
URL	http://www.o-econos.com/		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成15年1月
事業内容	広島県が進める「びんごエコタウン構想」の一つで，RPFの事業化は県内初。 原料は，同社が広島県東部の企業から集めた産業廃棄物。破砕したプラスチックと，木くず，古紙を重量比6対4で混ぜ合わせ，圧縮・成形し，RPFを製造。 当初は天王製紙川之江工場(愛媛県川之江市)に月間200トンを出荷，ボイラー燃料に利用する。		

S	(株)クリエイティブ エコリサイクルポートin広島	所在地	東広島市豊栄町大字乃美字熊之懸2671
電話番号	082-420-3370	対象物	プラスチック類， 機密書類等の古紙，木材
URL	http://www.eco-recyclport.co.jp/		
製造能力(t/h)	3.0	使用開始年度	平成17年10月
事業内容	プラスチック類，機密書類等の古紙，木材を異物選別除去や破砕工程を経てRPPWF成形機に投入，直径数cmの円筒状固形燃料を製造。 製造したRPFは自家発電燃料として大手工場を中心に需要が急速に高まっている。 一貫した処理システムなので伝票管理が容易で，システム行程で不要な残渣がでないののでゼロ・エミッション対応が可能。		

T	(有)金本商会 広島事業所	所在地	広島市安佐北区大林町字台 443番
電話番号	082-818-4385	対象物	廃プラスチック，木材，古紙
URL	http://www.kanemoto-shokai.com/		
製造能力(t/h)	12t/日	使用開始年度	平成18年5月
事業内容	紙・プラスチックの廃棄物を破砕し，「木くず，紙くず，繊維くず」30～40 %と「廃プラスチック」60～70 % に混合、金属類を選別し，成型の段階を経てRPFを製造。 山口事業所よりRPF原材料の破砕処理まで行なわれたものが，送られてきている。 RPFは製紙工場のボイラー燃料として納入している。		

参考資料

- 1) 循環・環境クラスター企業 取組事例集 2007-2008 / 中国経済産業局 / 平成19年1月
- 2) 月刊環境ジャーナル / 有限会社ソフトアイ (平成17年4月～平成19年12月の内容)
<http://www.santecinc.co.jp/>
- 3) 中国地域環境関連マップ2007 / (財)ちゅうごく産業創造センター，中国経済産業局 / 平成19年3月
- 4) 各事業所のホームページ

4-2-3. バイオマス発電施設

(1) 鳥取県

	(有)山水園 メタン発酵処理施設	所在地	西伯郡大山町加茂2946
電話番号	0859-54-2195	出力(kw)	2,100
URL	http://www.hanshinchikusan.co.jp/	燃料	家畜ふん尿
事業内容	メタンガスを精製し、ガス発電により電気と蒸気エネルギーに変換。変換したエネルギーを農場内利用することにより電力費の軽減を図る。(農場利用電力料の約30%) 豚舎から出る糞尿を埋設型汚水導入管を通し、直接密閉式の処理施設に移動させメタン発酵させることで悪臭や水質汚濁を防ぎ環境に配慮。 分離脱水した固形物は堆肥にし、ホームセンターで委託販売、または直接農家へ販売。		

	王子製紙(株) 米子工場	所在地	米子市吉岡373
電話番号	0859-27-3112	出力(kw)	99,000
URL	http://www.ojipaper.co.jp/	燃料	黒液, RPF
事業内容	RPFなど廃棄物を燃料とする発電施設を建設。新エネボイラー導入で化石燃料からの燃料転換を図る。 古紙や廃プラスチックを固めたRPFを主に、廃タイヤを細かくしたタイヤチップ、建築廃材などの木質燃料を使い、出た灰は路盤材などに再利用される。		

(2) 島根県

	ライト工業(株) 島根営業所 出雲バイオマスエネルギープラント	所在地	出雲市小境1700-8
電話番号	0853-67-9381(島根営業所)	出力(kw)	47
URL	http://www.raito.co.jp/	燃料	木質バイオマス(木くず、剪定枝等)
事業内容	2006年8月より稼働の本プラントは木くずや剪定枝などの木質バイオマス資源を高温・高圧でガス化し、水素を50%以上含んだガスを精製。熱・電気エネルギーに変換させ、水素エネルギーや電気を回収する。 1日当り(8時間稼働)電機が912kwh, 水素が530Nm3。水素エネルギー事業は、水素精製技術を持つ岩谷産業などとタイアップして取り組む。		

(3) 岡山県

	(株)クラレ倉敷事業所	所在地	倉敷市酒津1621
電話番号	086-422-0580	出力(kw)	13000(昼間), 9000(夜間)
URL	http://www.kuraray.co.jp/	燃料	木質バイオマス(建設廃材等)
事業内容	建設廃材などの木くずを発電プラントの燃料として利用するバイオマス発電を2004年に稼動。 発電プラントには、木くずを搬送するコンベヤーや金属類を取り除く磁選機、貯蔵するサイロ(300立方メートル)などを設置。 木くずは建築系の解体くずで、NPO法人・中四国木材資源リサイクル協会員で、破砕量も多く品質管理にも理解のある近隣工場の3社から供給を受ける。		

	岡山県総合畜産センター	所在地	久米郡美咲町北2272
電話番号	0867-27-3321	出力(kw)	9.8
URL	http://www.pref.okayama.jp/norin/chikusanse/chikusanse.htm	燃料	家畜ふん尿、生ゴミ
事業内容	家畜排泄物と家庭など生ごみの一部を湿式メタン発酵方式によりバイオガスを製造し、コジェネ装置により発電および熱利用の実証試験を実施。 メタン発酵後の残渣は固形物を圃場に還元しているが、消化液については施設内の水処理施設で河川放流できるレベルまで浄化。		

	銘建工業(株) 本社工場	所在地	真庭市勝山1209
電話番号	0867-44-2693	出力(kw)	1,950
URL	http://www.meikenkogyo.com/	燃料	木質バイオマス(自社で発生する製材工場残材・林地残材)
事業内容	原材料の加工工程で発生するプレーナーチップ(1日110トン)を20トン木屑焚きボイラーで燃焼し、木質バイオマス発電1950kw/hにて本社工場電力全てを賄い、更に蒸気は工場機械や木材乾燥そして工場内暖房に利用している。 また、平成15年4月にRPS法が施行され余剰電力1200kw/hをエコ電力として売電している。		

(4) 広島県

	パーキテック(株)	所在地	広島市東区戸坂千足2-10-17
電話番号	082-567-2211	出力(kw)	28
URL	http://www.parchitec.co.jp/whats.htm	燃料	鶏糞
事業内容	鶏糞を燃やして得られる排熱や蒸気を利用し糞の乾燥や洗卵、自家発電、鶏舎の床暖房などに利用。ボイラーには小型貫流ボイラーの採用により、980 k Pha、伝熱面積10m ² 以下。排熱ボイラーを設けて蒸気の倍増を図る。		

	(株)カムテックス	所在地	福山市箕沖町107-5
電話番号	084-954-6700	出力(kw)	5,000
URL	http://www.kamtecs.co.jp/	燃料	固形廃棄物 (汚泥、廃プラスチック類等)
事業内容	大型焼却施設(固形物焼却炉)では、焼却熱を高効率で回収してサーマルリサイクル(発電: 5,000KW)を行い、更に焼却後の燃えがらは、熔融によるマテリアルリサイクル(道路舗装ブロック原料、セメント原料、埋戻し材等の土木資材等に利用できる熔融スラグの生産)を行っている。		

	帝人テクノプロダクツ(株)三原製造所	所在地	三原市円一町1-1-1
電話番号	0848-63-3115	出力(kw)	4,800
URL	http://www.teijin-technoproducts.co.jp/top/top.html	燃料	木質バイオマス、廃タイヤ、RPF
事業内容	バイオマス、リサイクル燃料(木質バイオマス、廃タイヤ、RPF等)を利用する循環流動層ボイラーを新たに設置、新設ボイラーから発生させる蒸気は既設のタービン発電機を利用して発電に利用する。 木質バイオマスを年間5万t、廃タイヤ・RPF等を年間1.2万tを利用。バイオマス、リサイクル燃料の比率は従来の石炭消費量の36%。		

	大洋興産(株)	所在地	三原市大和町大草1934
電話番号	0848-48-5356	出力(kw)	約30
URL	-	燃料	豚ふん尿
事業内容	メタンガスを中温発酵方式で利用するため、ふん尿混合汚水(処理能力は1日当たり30立方メートル)をタンクに入れて発酵させ、その過程で発生したメタンガスを発電機や発酵タンクを加温するボイラー燃料として利用。		

	中国木材(株) 本社工場	所在地	呉市広多賀谷3丁目1番1号
電話番号	0823-71-7142	出力(kw)	5,000
URL	http://www.chugokumokuzai.co.jp/	燃料	木質バイオマス
事業内容	2005年3月より本社工場にて樹皮や木くずを燃料にするバイオマス発電施設を稼動。 輸入前に海外ではがしている丸太の樹皮(約10万tのうち約6万t)を、本社工場に丸太ごと 持ち込み燃料に使用、工場に出た木くずも含めて燃料に使用。発電能力は5000キロワットであ り、本社工場で昼間使う電力の6割を賄える。 乾燥剤を製造するために必要な蒸気も有効活用できる。		

	(株)ウッドワン 本社工場	所在地	廿日市市木材港南1-1
電話番号	0829-32-3333	出力(kw)	4,600
URL	http://www.woodone.co.jp/	燃料	木質バイオマス
事業内容	自社で発生する月間約3千トンの木くずをバイオマスエネルギーとして発電の燃料に利用、全 使用電力の約50%をまかなっている。 ウッドワンでは、経済産業省よりバイオマス発電所の認可を受け、電力会社への売電を実施 している。		

(5) 山口県

	日本製紙(株) 岩国工場	所在地	岩国市飯田町2-8-1
電話番号	0827-24-6222	出力(kw)	159,000
URL	http://www.np-g.com/	燃料	木質バイオマス, RPF
事業内容	木くず廃材を主な燃料とするバイオマス発電設備を08年2月に導入予定である。 工場内で発生する木くずや木質の建築廃材(26万t/年), 紙と廃プラスチックを混ぜたRPF(7万t/年)などを燃やし, 発生させた蒸気で発電する。 電気は工場内で使い, 工場の消費電力の4分の1を賄う。		

	(株)岩国ウッドパワー 岩国発電所	所在地	岩国市大字長野1805-7
電話番号	0827-39-0567	出力(kw)	10,000
URL	http://www.fesco.co.jp/iwp/	燃料	木質バイオマス
事業内容	木質バイオマスを活用し新エネルギー電気を供給。設備の中心となる循環流動層ボイラーは木質チップの持つエネルギーをより高い燃焼効率で引き出し, 貴重な資源である木質チップを無駄なく活用している。 起動・停止時の起動用燃料以外は, 事業所内で使用する運搬車両や発電所内の照明・熱源など, 所内のエネルギーにも化石燃料を使用せず, バイオマス由来の電気を利用。		

	(有)鹿野ファーム	所在地	周南市大字兼山清涼寺1950
電話番号	0834-68-3617	出力(kw)	30
URL	http://www.kanofarm.com/	燃料	豚のふん尿
事業内容	豚のふん尿から発生させたメタンガスを燃料にする畜産バイオマス発電設備を本社近くの農場に06年3月より稼働。 家畜の糞尿, 食品廃棄物が分解される過程で発生するバイオガス(メタンガス)を用いて, 発電機及び給湯ボイラーを運転し, 得られた電気及び熱を牧場内で利用する(発酵槽や豚舎の加温等)。 発酵後の残りは堆肥に利用する。		

	(株)トクヤマ	所在地	周南市御影町1-1
電話番号	0834-31-7760	出力(kw)	145,000
URL	http://www.tokuyama.co.jp/	燃料	木質バイオマス(建設廃材等)
事業内容	2007年より木質バイオマス进行自家発電に導入。 出力14万500kwの東2号発電所の近くに, チップ約600tを保管できる施設や供給する設備を建設し, 燃料の石炭に重量比で3%のチップを混ぜる混焼発電に取り組む。 建設廃材などをチップ化したものを, 石炭とあわせてミル(粉碎機)で微粉化し, ボイラーで燃やして蒸気をつくり, タービンを回して発電する。		

	宇部興産(株) 伊佐セメント工場	所在地	美祢市伊佐町大字伊佐4768
電話番号	0837-52-1212	出力(kw)	57,150
URL	http://www.ube-ind.co.jp/japanese/index.htm	燃料	木質バイオマス
事業内容	県内及び近隣県の間伐材や建設廃木材をチップ化し, 自家発電用燃料の一部として石炭に代替して利用する「廃木材チップ燃料化設備」を, 宇部工場(破碎施設)と伊佐工場(自家発電ボイラ-投入施設)に整備, 平成16年4月から本格的に稼働。		

参考資料

- 1) 循環・環境クラスター企業 取組事例集 2007-2008 / 中国経済産業局 / 平成19年1月
- 2) 月刊環境ジャーナル / 有限会社ソフトアイ (平成16年4月～平成20年2月の内容)
<http://www.santecinc.co.jp/>
- 3) 中国四国地域のバイオマス利用取組み事例 / 中国四国農政局ホームページ (平成19年11月)
<http://www.chushi.maff.go.jp/joho/genchi/19baio/>
- 4) 中国地域環境関連マップ2007 / (財)ちゅうごく産業創造センター 中国経済産業局
/ 平成19年3月
- 5) 各事業所のホームページ

4-2-4 . 廃棄物発電施設

(1) 鳥取県

	米子市クリーンセンター	所在地	米子市河崎3280-1
電話番号	0859-32-2141	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ		
処理能力(t/日)	270	処理量(t/年)	54,314
発電能力(kw)	4,000	発電効率(%)	21.0
総発電量(MWh)	21,397	使用開始年度	平成14年

(2) 島根県

	出雲エネルギーセンター	所在地	出雲市芦渡町廻田2383-1
電話番号	0853-23-9225	処理方式	回転式
対象廃棄物	可燃ごみ		
処理能力(t/日)	218	処理量(t/年)	59,262
発電能力(kw)	3,690	発電効率(%)	16.0
総発電量(MWh)	18,138	使用開始年度	平成14年

(3) 岡山県

	岡山市東部クリーンセンター ごみ焼却施設	所在地	岡山市西大寺新地453-5
電話番号	086-944-7071	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	450	処理量(t/年)	110,125
発電能力(kw)	12,100	発電効率(%)	19.0
総発電量(MWh)	39,422	使用開始年度	平成13年

②①	岡山市岡南環境センター	所在地	岡山市豊成1-4-1
電話番号	086-233-7490	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	220	処理量(t/年)	58,264
発電能力(kw)	1,700	発電効率(%)	6.0
総発電量(MWh)	8,909	使用開始年度	昭和54年

②②	岡山市当新田環境センター	所在地	岡山市当新田486-1
電話番号	086-246-5145	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	300	処理量(t/年)	73,289
発電能力(kw)	1,960	発電効率(%)	5.0
総発電量(MWh)	13,836	使用開始年度	平成6年

②③	総社広域環境施設組合 吉備路クリーンセンター	所在地	倉敷市真備町箭田481
電話番号	0866-98-3774	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ，粗大ごみ		
処理能力(t/日)	180	処理量(t/年)	29,786
発電能力(kw)	198	発電効率(%)	5.0
総発電量(MWh)	594	使用開始年度	平成10年

②④	倉敷市水島清掃工場	所在地	倉敷市水島川崎通1-1-4
電話番号	086-448-1311	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	直接搬入ごみ，粗大ごみ，し尿処理残渣		
処理能力(t/日)	300	処理量(t/年)	96,307
発電能力(kw)	1,900	発電効率(%)	7.0
総発電量(MWh)	15,868	使用開始年度	平成6年

(4) 広島県

②⑤	福山リサイクル発電	所在地	福山市箕沖町107-8
電話番号	084-920-2480	処理方式	シャフト炉式ガス化溶隔炉
対象廃棄物	R D F		
処理能力(t/日)	314	処理量(t/年)	-
発電能力(kw)	20,000	発電効率(%)	28.1
総発電量(MWh)	-	使用開始年度	平成16年

②⑥	クリーンセンターくれ(第3工場)	所在地	呉市広多賀谷3丁目9-2
電話番号	0823-74-9106	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ		
処理能力(t/日)	380	処理量(t/年)	85,570
発電能力(kw)	7,000	発電効率(%)	15.0
総発電量(MWh)	14,364	使用開始年度	平成14年

②⑦	安芸クリーンセンター	所在地	安芸郡坂町字亀石山1322-8
電話番号	082-885-2538	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ, 粗大ごみ, ごみ処理残渣, し尿処理残渣		
処理能力(t/日)	130	処理量(t/年)	33,611
発電能力(kw)	1,300	発電効率(%)	11.0
総発電量(MWh)	5,295	使用開始年度	平成14年

②⑧	広島市中工場	所在地	広島市中区南吉島1-5-1
電話番号	082-249-8517	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ, その他, 直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	600	処理量(t/年)	145,416
発電能力(kw)	15,200	発電効率(%)	17.0
総発電量(MWh)	43,509	使用開始年度	平成15年

②⑨	広島市南工場	所在地	広島市南区東雲3-17-1
電話番号	082-285-6690	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ, 直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	300	処理量(t/年)	58,013
発電能力(kw)	1,400	発電効率(%)	5.0
総発電量(MWh)	10,628	使用開始年度	昭和63年

③⑩	広島市安佐南工場	所在地	広島市安佐南区沼田町大字伴 字赤迫3990
電話番号	082-848-1114	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ，ごみ処理残渣		
処理能力(t/日)	200	処理量(t/年)	39,887
発電能力(kw)	500	発電効率(%)	3.0
総発電量(MWh)	3,042	使用開始年度	昭和57年

③⑪	広島市安佐北工場	所在地	広島市安佐北区可部町中島1460-1
電話番号	082-815-1881	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ，ごみ処理残渣		
処理能力(t/日)	200	処理量(t/年)	54,689
発電能力(kw)	1,100	発電効率(%)	5.0
総発電量(MWh)	6,257	使用開始年度	平成2年

(5) 山口県

③②	恋路クリーンセンター	所在地	下松市大字河内340
電話番号	0833-43-2636	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ，粗大ごみ		
処理能力(t/日)	330	処理量(t/年)	65,514
発電能力(kw)	1,900	発電効率(%)	7.0
総発電量(MWh)	8,836	使用開始年度	平成7年

③③	山口県中部環境施設組合清掃工場	所在地	山口市大内御堀496
電話番号	083-927-0020	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ，し尿処理残渣		
処理能力(t/日)	110	処理量(t/年)	66,172
発電能力(kw)	1,900	発電効率(%)	9.0
総発電量(MWh)	11,835	使用開始年度	平成10年

③④	宇部市環境保全センター	所在地	宇部市大字沖宇部5272-5
電話番号	0836-31-3664	処理方式	流動床式
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ		
処理能力(t/日)	198	処理量(t/年)	55,796
発電能力(kw)	4,000	発電効率(%)	18.0
総発電量(MWh)	20,408	使用開始年度	平成14年

③⑤	下関市奥山工場	所在地	下関市大字井田378
電話番号	0832-56-5389	処理方式	ストーカ式(可動)
対象廃棄物	可燃ごみ，直搬搬入ごみ，ごみ処理残渣		
処理能力(t/日)	400	処理量(t/年)	100,539
発電能力(kw)	4,980	発電効率(%)	10.0
総発電量(MWh)	25,182	使用開始年度	昭和55年

参考資料

- 1) 廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理実態調査結果(平成17年度) 施設整備状況
/ 環境省ホームページ

http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/index.html

4 - 3 . インフラ（教育・研究機関）

4 - 3 . インフラ (教育・研究機関)

4-3-1 . 教育・研究機関の概要

● 大学等教育機関

(1) 鳥取県

	所属団体	所在地	電話番号	URL
	鳥取大学	鳥取市湖山町南4丁目101	0857-31-5007	http://www.tottori-u.ac.jp
	鳥取大学地域 共同研究センター	鳥取市湖山町南4丁目101	0857-31-6707	http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp
	鳥取環境大学	鳥取市若葉台北1丁目1番1号	0857-38-6700	http://www.kankyo-u.ac.jp

(2) 島根県

	島根大学	島根県松江市西川津町1060	0852-32-6100	http://www.shimane-u.ac.jp/
	島根大学 産学連携センター	島根県松江市北陵町2番地	0852-60-2290	http://www.crc.shimane-u.ac.jp/
	松江工業高等専門学校	島根県松江市西生馬町14-4	0852-36-5111	http://www.matsue-ct.ac.jp/

(3) 岡山県

	岡山大学	岡山市津島中1丁目1番1号	086-252-1111	http://www.okayama-u.ac.jp/
	岡山大学 地域共同研究センター	岡山市芳賀5302番地	086-286-8002	http://www.okayama-u.ac.jp/user/crc/index_crc.html
	岡山理科大学	岡山市理大町1-1	086-252-3161	http://www.ous.ac.jp/
	津山工業高等専門学校	岡山県津山市沼624-1	0868-24-8200	http://www.tsuyama-ct.ac.jp/

(4) 広島県

	広島大学	東広島市鏡山1丁目3-2	082-422-7111	http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html
	広島大学 産学連携センター	東広島市鏡山3丁目10-31	082-421-3631	http://www.vbl.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/
	県立広島大学	庄原市七塚町562番地	0824-74-1000	http://www.hiroshima-pu.ac.jp/
	広島工業大学	広島市佐伯区三宅2-1-1	082-921-3121	http://www.it-hiroshima.ac.jp/
	近畿大学	東広島市高屋うめの辺1番	082-434-7000	http://www.hiro.kindai.ac.jp/
	広島国際学院大学	広島市安芸区中野6-20-1	082-820-2345	http://www.hkg.ac.jp/html/
	福山大学	広島県福山市東村町985 - 1	084-936-2111	http://www.fukuyama-u.ac.jp/
	広島市立大学	広島市安佐南区大塚東3丁目4番1号	082-830-1500	http://www.hiroshima-cu.ac.jp/
	広島経済大学	広島市安佐南区祇園5丁目37-1	082-871-1000	http://www.hue.ac.jp/
	広島修道大学	広島市安佐南区大塚東1-1-1	082-848-2121	http://www.ob.shudo-u.ac.jp/jimuhp/info/index.html
	呉工業高等専門学校	呉市阿賀南2丁目2-11	0823-73-8400	http://www.kure-nct.ac.jp/

(5) 山口県

	山口大学	山口市吉田1677-1	083-933-5000	http://www.yamaguchi-u.ac.jp/index.html
	山口大学地域共同 研究開発センター	宇部市常盤台2丁目16番1号	0836-85-9951	http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp/
	山口県立大学	山口市桜島3-2-1	083-928-0211	http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/
	徳山工業高等専門学校	周南市大字久米3538	0834-29-6200	http://www.tokuyama.ac.jp/
㊦	宇部工業高等専門学校	宇部市常盤台2丁目14-1	0836-31-6111	http://www.ube-k.ac.jp/

● 研究機関

(1) 鳥取県

	所属団体	所在地	電話番号	URL
A	鳥取県衛生環境研究所	東伯郡湯梨浜町南谷526-1	0858-35-5411	http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3565
B	鳥取県産業技術センター	鳥取市若葉台南7丁目1-1	0857-38-6205	http://www.toriton.or.jp/~T-sgc/
C	鳥取県中小家畜試験場	西伯郡南部町北方633	0859-66-4121	http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=43013

(2) 島根県

D	島根県産業技術センター	松江市北陵町1番	0852-60-5140	http://www.shimane-iit.jp/
E	島根県水産技術センター	浜田市瀬戸ヶ島町25-1	0855-22-1720	http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/

(3) 岡山県

F	岡山県工業技術センター	岡山市芳賀5301	086-286-9600	http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kougi/index.html
G	岡山県総合畜産センター	久米郡美咲町北2272	0867-27-3321	http://www.pref.okayama.jp/norin/chikusanse/chikusanse.htm
H	岡山県環境保険センター	岡山市内尾739-1	086-298-2681	http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kanpo/kanpo.htm
I	岡山セラミックスセンター	備前市西片上1406-18	0869-64-0505	http://occ.optic.or.jp/

(4) 広島県

J	農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター	福山市西深津町6-12-1 (本所)	084-923-4100	http://wenarc.naro.affrc.go.jp/
K	広島県立西部工業技術センター	呉市阿賀南2丁目10-1	0823-74-0050	http://www.seibu-kg.pref.hiroshima.jp/
L	広島県立食品工業技術センター	広島市南区比治山本町12-70	082-251-7431	http://www.syokuhin-kg.pref.hiroshima.jp/
M	広島県立東部工業技術センター	福山市東深津町3丁目2-39	084-931-2400	http://www.toubu-kg.pref.hiroshima.jp/
N	広島市工業技術センター	広島市中区千田町3丁目8-24	082-242-4170	http://www.itc.city.hiroshima.jp/
O	広島県産業科学技術研究所	東広島市鏡山3丁目10-32	082-431-0200	http://www.sankaken.gr.jp/
P	産業技術総合研究所中国センター	呉市広末広2-2-2	0823-72-1111	http://unit.aist.go.jp/chugoku/

(5) 山口県

Q	山口県産業技術センター	宇部市あすとぴあ4丁目1-1	0836-53-5050	http://www.iti.pref.yamaguchi.jp/
---	-------------	----------------	--------------	---

4-3-2. 大学等における研究者一覧

(1) 鳥取県 鳥取大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
赤尾 聡史	工学部 社会開発システム工学科 環境計画	助教	環境技術・環境材料 土木環境システム	・有機性廃棄物からのL-乳酸生成
原 豊	工学部 応用数理工学科 予測工学	助教授	風車工学・流体工学 自然エネルギー 光計測	・住環境に適合する風力発電機の開発 ・住環境を配慮した小型風車に関する研究 ・小型風車用発電機の開発
細井 由彦	工学部 社会開発システム工学科 環境計画	教授	土木環境システム	・湖の水質保全に関する研究
林 農	工学部 応用数理工学科	教授	流体工学 エネルギー学	・先端技術風車の研究開発 ・風力エネルギー利用技術に関する研究 ・砂漠化防止・砂漠緑化を支援する技術の研究開発
築瀬 英司	工学部 生物応用工学科 生物反応工学	教授	生物機能 バイオプロセス 応用生物化学	・環境汚染物質をターゲティングする生体触媒デザイン
西守 克巳	工学部 電気電子工学科 電気電子機器工学	教授	電気電子機器システム工学 計測・制御工学	・太陽光発電エネルギー技術の開発 ・電力エネルギー機器システムの開発
矢島 啓	工学部 土木工学科 河川・海岸	准教授	気象・海洋物理 陸水学 水工水理学	・湖沼・ダム貯水池における水環境問題 ・河川における水環境問題
近藤 康雄	工学部 機械工学科 生産環境システム	准教授	原子力学 環境影響評価 環境政策	・循環型生産システムに適合した製品設計支援システム ・循環利用対応型技術開発
田熊 勝利	農学部 生物資源環境学科 環境共生科学	教授	農業土木学 農村計画学	・土壌流亡に伴う濁水の処理 ・砂丘地土壌の物理性改良 ・塩類土壌の流亡特性
長澤 良太	農学部 生物資源環境学科 環境共生科学	講師	地理学・図書館情報学 人文社会情報学 環境動態解析	・リモートセンシングによる地域環境の解析
山本 定博	農学部 生物資源環境学科 国際乾燥地科学	准教授	土壌圏の保全 乾燥地農業	・火山灰土壌(黒ボク土)の生成と分類 ・堆肥化・炭化による未利用有機性廃棄物の有効利用
本名 俊正	農学部 生物資源環境学科 国際環境科学	教授	土壌圏の科学 乾燥地農業 土壌化学	・黒ボク土(Andosol・火山灰土壌)及び乾燥地土壌の生成・分類と農業生産性の向上 ・未利用有機物の堆肥化・炭化による資源化と地域循環型農業の形成 ・土壌生態系をめぐる酸性雨と地下水汚染の影響および環境評価の研究
田川公太郎	地域学部 地域環境学科 循環型環境学	准教授	熱工学 化工物性・単位操作 エネルギー学	・地域住環境に適応した垂直軸風車に関する研究

鳥取環境大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
吉村 元男	環境デザイン学科	学科長 教授	ランドスケープデザイン 地域ゼロエミッション	・エコロジールandscapeデザイン ・地域発ゼロエミッション
合田 素行	環境政策学科	教授	農業政策 農業環境政策 農村開発	・地域開発の可能性 ・地域におけるバイオマスの活用
岡崎 誠	環境政策学科	教授	環境政策 大気・水質保全	・運輸部門の地球温暖化対策について ・文理融合型の環境政策学のあり方について
鷲見 育亮	情報システム学科	教授	デジタル回路 アナログ回路 マイコン制御技術	・小型風力発電システムに関連する研究開発
衣川 益弘	環境政策学科	教授	ISO14001 環境監査 安全衛生	・ISO14001の効果的運用の研究 ・水の性質と浄化に関する研究 ・はんだの再生に関する研究
増沢 陽子	環境政策学科	准教授	環境法 環境政策	・環境リスク管理における情報手法活用の在り方 ・EU化学物質政策における予防原則具体化過程
石川 真澄	環境政策学科	准教授	環境経済学	・経済的手法による環境政策手段の研究 ・鳥取地域における循環型産業連携の可能性に関する研究 ・持続可能な観光活動に関する研究

(2) 島根県
島根大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
上園 昌武	法文学部 法経学科	准教授	科学技術史 経済政策	・地球温暖化防止政策の制度設計
関 耕平	法文学部 法経学科	講師	財政学 地方財政論 廃棄物政策論	・廃棄物政策における公共部門の役割
竹山 光一	生物資源科学部 地域開発科学科 生物環境情報工学講座	教授	水管理・水質浄化 自然エネルギー利用 環境情報ネットワーク 雨水利用	・自然エネルギーを用いた水環境の浄化と環境情報ネットワークに関する研究
小池浩一郎	生物資源科学部 生態環境化学科 森林環境工学講座	教授	森林統計学 森林環境評価学	・森林環境情報 ・バイオマスエネルギー
相崎 守弘	生物資源科学部 生態環境化学科 生態環境工学講座	教授	水圏生態工学	・生物機能を活用した水域の環境改善
増永 二之	生物資源科学部 生態環境科学科 生態環境工学講座	教授	化学生態学 土壌圏生態工学	・土壌(植物系における養分動態とその生態学的機能) ・土壌生態系の機能を利用した水環境改善
相崎 守弘	生物資源科学部 生態環境科学科 生態環境工学講座	教授	水圏生態工学	・生物機能を活用した水域の環境改善
佐藤 利夫	生物資源科学部 生態環境科学科 生態環境工学講座	教授	環境応答生物学 環境衛生工学	・免疫学的安全性の高い環境低負荷型 ・水の殺菌・浄化技術の開発 ・多機能性水質浄化材の開発
山口 啓子	生物資源科学部 生態環境科学科 生態環境工学講座	准教授	貝類学 水圏生態工学	・貝類・ベントスを使った水圏環境復元
増永 二之	生物資源科学部 生態環境科学科 生態環境工学講座	教授	化学生態学 土壌圏生態工学	・土壌を用いた水処理システムの研究
宗村 広昭	生物資源科学部 地域開発科学科 地域環境工学講座	准教	水文環境工学	・流域の水利用に係わる開発と環境保全との調和に関する研究
吉延 匡弘	総合理工学部 材料プロセス工学科 資源循環プロセス工学	准教授	リグノセルロース バイオマス変換 未利用材活用 廃材再資源化 高吸水性ポリマー	・廃木材および食品残渣の堆肥化
泉 照之	総合理工学部 電子制御システム工学科 計測システム工学	教授	機械システム 電力・電気機器工学	・ロボット・マニピレータを省エネルギー化するための計測と制御 ・太陽光発電システムのための計測と制御の研究
西野 吉彦	生物資源科学部 生物資源教育研究センター	教授	林産科学 木質工学	・エネルギーとしての森林資源活用に関する研究 ・保存処理木材が環境に与える影響
阿久戸敬治	産学連携センター	教授	電気化学 無機化学 機能材料科学 知的財産	・身の回りの自然エネルギーを吸収して自己再生する 新概念二次電池に関する研究 ・環境・IT・材料系(環境調和型)機能材料の創成に関する研究
北村 寿宏	産学連携センター	教授	金属生産工学 社会システム工学 安全システム	・廃木材の木炭としての有効利用 ・環境調和型新製鉄プロセスに関する研究

松江工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
門脇 健	機械工学科	教授	内燃機関・熱工学	・混合燃料液滴列の蒸発・燃焼に関する研究 ・バイオマス燃料による熱電併給に関する研究 ・短形容器内熱対流の渦構造に関する研究
宇野 和男	環境・建設工学科	教授	土木環境システム 土木計画学	・土木計画のための地域分析 ・水環境の多変量解析 ・産業廃棄物を活用した植生実験
高田 龍一	環境・建設工学科	教授	コンクリート工学	・コンクリートの凍結融解劣化診断手法に関する研究 ・廃ガラスに起因するアルカリ骨材反応の抑制方法に関する研究 ・未利用資源のコンクリートへの有効利用に関する研究
小島 肇	環境・建設工学科	教授	土木材料 コンクリート工学	・山砂（花崗岩類の風化堆積土から製造）を用いたコンクリートの性質の研究 ・鋳物廃砂を用いたコンクリートの性質の研究

(3) 岡山県
岡山大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
三宅 通博	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座	教授	環境技術・環境材料 環境関連化学 無機材料・物性	・使用済みニッケル水素2次電池をモデルケースにした環境にやさしい資源循環プロセスの構築
難波 徳郎	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座	准教授	無機工業化学 環境無機材料化学	・低環境負荷型セラミックス材料の開発
松田 元秀	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座	准教授	無機材料・物性 構造・機能材料 無機化学	・環境浄化やクリーンエネルギー関連材料の開発
アズハ・ウッ ディン	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座	准教授	環境反応工学	・エネルギー資源の循環のための触媒の開発
笹岡 英司	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座	教授	環境技術・環境材料 環境関連化学 無機材料・物性	・環境保全のための触媒・吸着剤の開発
小野 芳朗	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	教授	土木環境システム 科学社会学・技術史 環境影響評価・環境政策	・廃棄物処分所の有害物質の安全・安心保障 ・一般・産業廃棄物・バイオマスの複合処理・再資源化プロジェクト ・固体・ガス状試料の安全性評価システムの開発
藤原 健史	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	教授	環境システム工学 廃棄物工学	・循環型社会形成を目指した廃棄物マネジメントに関する研究
シクダール・ アショク	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	准教授	環境システム工学	・廃棄物処理計画に対するシステム解析の適用に関する研究
綾野 克紀	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	准教授	土木材料・施工 建設マネジメント	・環境負荷低減を目指した建設材料の開発
阪田 憲次	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント学講座	教授	土木材料・施工 建設マネジメント	・コンクリート材料のリサイクルに関する研究
比江島慎二	大学院環境学研究所 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	准教授	環境技術・環境材料 構造工学・地震工学 維持管理工学	・風力エネルギーとその周辺技術に関する研究
阿部 宏史	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	教授	都市・地域計画学 交通計画学 環境計画学・測量学	・循環型社会の計画を支援する経済分析手法の開発と応用
松井 康弘	大学院環境学研究科 資源循環学専攻 廃棄物マネジメント講座	准教授	環境システム工学 廃棄物工学	・循環型社会の形成に向けた公共政策の国際比較研究 ・廃棄物のライフサイクルアセスメント ・環境行動に関する社会心理学的アプローチ
佐藤 豊信	大学院環境学研究科 生命環境学専攻 環境生態学講座	教授	農業経済学	・中山間地域の農地資源の保全・管理における最適社会システムの開発
駄田井 久	大学院環境学研究科 生命環境学専攻 環境生態学講座	講師	-	・地域資源の効率的利用システムの開発に関する研究
竹下 祐二	大学院環境学研究科 社会基盤環境学専攻 都市環境創成学講座	准教授	地盤工学	・地下水の調査・解析手法・地盤の浸透特性値の計測法 ・産業副産物の地盤工学的有効利用 ・産業副産物の有効利用に関する研究
沖 陽子	大学院環境学研究科 社会基盤環境学専攻 農村環境創成学講座	教授	作物学 雑草学	・富栄養化の進んだ閉鎖水系における浚渫ヘドロ及び水生雑草を活用した干潟造成の研究 ・バイオマス資源の再生化に関する研究
田中 勝	廃棄物マネジメント 研究センター 廃棄物計画・開発部門	教授	廃棄物工学 廃棄物処理マネジメント	・循環型社会への戦略的廃棄物マネジメント ・廃棄物マネジメントに関する研究
竹内 文章	保険環境センター 環境安全部門	准教授	化工物性・移動操作 応用生物化学環 境影響評価・環境政策	・鉄酸化細菌の生化学と廃液処理及び土壌処理等への応用 ・循環型社会構築のための情報提供システムの開発 ・粉粒体状の資源・廃棄物の取り扱いに関する研究
稲葉 英男	自然生命科学研究 支援センター	副学長	-	・環境調和型革新的エネルギー転換法の開発

岡山理科大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
田中 三男	理学部 生物科学科	教授	生物工学・酵素工学 応用微生物学	・植物性バイオマスの有効利用に関する研究
野上 祐作	理学部 生物科学科	教授	化学物質の環境動態解析	・水汚染物質の動態解析
飯田 隆彦	工学部 電気電子システム学科	教授	電力工学 電気機器工学 電子機器	・太陽光発電システムの研究 ・風力発電システムの研究
笠 展幸	工学部 電気電子システム学科	准教授	省エネルギー 燃料電池	・環境改善によるQOLの向上 ・新エネルギー用高効率発電システムの開発
金枝 敏明	大学院 工学研究科	教授	加工学・精密加工学 マイクロエンジニアリング	・地域社会とのコラボレーションによるQOL向上の — 体的アプローチ
井上 堅太郎	総合情報学部 社会情報学科	教授	環境学 環境政策 環境情報 国際環境協力	・日本の環境政策とその形成過程に関する研究
猶原 順	技術科学研究所 環境工学部門	教授	食品科学 環境影響評価・環境政策	・促進酸化処理法による環境汚染物質の分解・無害化 に関する研究

津山工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
藤原 敏	工学部 機械工学科	教授	構造・機能材料 材料加工・処理	・環境・ゴミ処理問題とリサイクル ・未利用資源の有効利用

(4)広島県
広島大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
加藤 純一	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	教授	応用微生物学 環境バイオテクノロジー 生体触媒	・微生物の環境浄化機能の解明
黒田 章夫	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	教授	生物・生体工学 応用微生物学	・活性汚泥からのリンのリサイクル
西尾 尚道	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	教授	生物化学工学 応用微生物 環境生物工学	・嫌氣的廃水処理及びエネルギー生産 ・特殊環境微生物による有用物質生産 ・余剰汚泥の乾式メタン発酵プロセスの開発 ・水素・メタン二段発酵プロセスの開発 ・微細藻類の培養と有用物質生産に関する研究
柿園 俊英	大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻	教授	応用微生物学 微生物育種	・微生物燃料電池を用いたバイオマスからの直接発電システムの開発 ・持続可能型代替エネルギー生産法としてのバイオソーラーセルの開発
松村 幸彦	大学院工学研究科 機械システム工学専攻	教授	超臨界流体技術 伝熱工学	・超臨界流体を用いたバイオマスおよび有機廃棄物の有効利用
堀尾 斉正	産学連携センター	教授	産学連携事業	・バイオマス利用に関する地域との連携手法の実証 (バイオマスプロジェクト研究活動)
福井 国博	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	化学工学一般 複合材料・物性 反応・分離工学	・各種焼却灰を原料とするフィリップサイトの選択合成 ・マイクロ波加熱を利用した廃棄物の再資源化
中井 智司	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	環境保全 土木環境システム 環境動態解析	・CCA処理木材の再利用
村川 三郎	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	教授	建築環境・設備 都市計画・建築計画	・都市内の水環境評価に関する研究 ・都市居住環境の快適性評価に関する研究
荒木 秀夫	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	構造工学・地震工学 建築構造・材料	・産業廃棄物を利用した用いた鉄筋コンクリート部材の開発研究
日比野 忠史	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	海岸工学	・北～西太平洋での水位振動と日本沿岸域での水環境 ・瀬戸内海における物質循環に関する研究 ・河岸に堆積した有機泥の処理
河合 研至	大学院工学研究科 社会環境システム専攻	准教授	土木材料 力学一般	・コンクリートの環境負荷評価
岡田 光正	大学院工学研究科 物質化学システム専攻	教授	環境保全 環境動態解析	・有害化学物質の起源とその挙動に関する研究 ・土壌・地下水汚染対策技術 ・生物活性炭・オゾン・膜分離による水処理に関する研究 ・土壌・地下水汚染対策技術
石塚 悟	大学院工学研究科 機械システム工学専攻	教授	熱工学 化工物性・移動操作 社会システム工学	・環状火炎によってバイオマスから発生した低発熱量のガスを安定して効率よく燃焼する研究
西田 恵哉	大学院工学研究科 機械システム工学専攻	准教授	熱工学	・バイオディーゼル関連技術 (バイオマスプロジェクト研究活動)
河合 幸一郎	大学院 生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻	准教授	水産学一般 環境動態解析 生態	・生物指標を用いた環境評価
河野 憲治	大学院 生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	教授	土壌肥科学 植物環境分析学 土壌微生物学 草地学	・土壌微生物バイオマスリンの動態と添加有機物との関連 ・土壌微生物バイオマスの環境浄化能に関する研究 ・添加有機物の無機化と植物への養分供給との関連
山本 民次	大学院 生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	教授	水圏環境学 環境動態解析	・閉鎖性海域の水質・底質環境改善に関する研究 ・浅海域環境改善のための鉄鋼スラグの利用 ・海洋生態系における物質循環に関する研究 ・海洋生態系の利用による地球温暖化対策 ・鉄鋼スラグを栄養源とした海産藻類の光合成利用による大気中二酸化炭素の削減技術の開発
長岡 俊徳	大学院 物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	准教授	生物生産化学 植物栄養学・土壌学 生物有機化学	・土壌微生物群集構造による土壌環境影響評価
中根 周歩	大学院 生物圏科学研究科	教授	生態学・環境科学 環境動態解析 広領域	・森林生態系をめぐる炭素循環・収支の解析 ・大気汚染(酸性雨・霧を含む)と森林衰退 ・森林土壌の森林及び農地土壌の改良材開発

(広島大学つづき)

谷田 創	大学院 生物圏科学研究科 附属瀬戸内圏フィールド 科学教育研究センター	教授	畜産学・草地学 応用動物科学	・バイオマスに関する農学的アプローチ (バイオマスプロジェクト研究活動)
正岡 淑邦	大学院 生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻	教授	植物栄養学 土壌学	・バイオマスに関する農学的アプローチ (バイオマスプロジェクト研究活動)
早瀬 光司	総合科学研究科 環境科学部門 社会文明研究	教授	環境パフォーマンス評価 有機地球化学 社会地球化学	・環境監査と環境パフォーマンス評価の確立に関する研究 ・海洋フミン物質の蛍光特性と動態 ・循環型低エントロピー社会の構築
白浜 博幸	産学連携センター	准教授	高分子合成 高分子構造 機能・物性・材料	・エコおよびバイオマテリアルとしての生分解性高分子
藤井 博信	自然科学研究支援開発センター	特任教授	-	・水素エネルギー社会の実現を目指した水素貯蔵機能の開発

県立広島大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
四方 康行	生命環境学部 環境科学科	教授	地域環境マネジメント	・地域環境マネジメントの研究
中村 健一	生命環境学部 環境科学科	教授	環境生化学 環境適応生化学 微生物運動論	・干潟河口及び河川環境の生科学的解析と環境保持に関する研究
西村 和之	生命環境学部 環境科学科	教授	環境衛生工学	・有機性廃棄物や生活廃水の処理・資源回収技術の開発とその安全性の評価に関する研究
三好 康彦	生命環境学部 環境科学科	教授	排水処理技術 廃棄物処理技術 大気汚染防止技術	・中山間知域における環境の現状と環境改善技術に関する研究
阪口 利文	生命環境学部 環境科学科	准教授	生物工学・応用微生物学 バイオセンサー 環境計測	・環境バイオテクノロジー
増田 泰三	生命環境学部 環境科学科	准教授	植物栄養環境学	・植物栄養成分の機能解明と有効利用および養分循環に基づく栄養環境保全
三苫 好治	生命環境学部 環境科学科	准教授	有機化学・環境保全化学 環境分析化学	・環境制御システムの構築に関する研究
崎田 省吾	生命環境学部 環境科学科	講師	土木環境システム	・埋立処分削減を目的とした焼却残渣の環境安全な有効利用に関する研究

広島工業大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
猪上 憲治	工学部 電気・デジタルシステム工学科	教授	電気機器	・自然エネルギーを利用した単独自家発電システムに関する研究
橋詰 健一	工学部 知能機械学科	教授	伝熱工学	・未利用エネルギーの有効活用に関する研究
宋 相載	工学部 知能機械学科	教授	生産システム工学 生産管理工学・工学教育	・省資源・循環型生産システムの設計・開発・運用法 ・生産・物流システムの最適化・知能化・統合化に関する研究
石井 義裕	工学部 都市建設工学科	准教授	水工学・流体力学	・地下水・土壌汚染の浄化対策
今岡 務	環境学部 地球環境学科	教授	環境衛生工学	・水環境に関わる環境影響制御技術とゼロエミッションの研究

近畿大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
芦田 利文	工学部 生物化学工学科	教授	無機材料工学	・シリカ系廃棄物の水熱処理を用いた有効再利用
杉山 一男	工学部 生物化学工学科	教授	高分子合成化学 高分子機能化学	・廃プラスチック類のリサイクルに関する研究
野村 正人	工学部 生物化学工学科	教授	応用化学・合成化学 天然物有機化学	・有機性廃棄物の発酵分解消滅システムの開発
伊藤 一明	工学部 生物化学工学科	教授	環境工学	・微量化学物質の環境動態 ・クロマトグラフ法の高機能化 ・廃水の高度処理
玉木 伸茂	工学部 機械工学科	准教授	機械工学・熱工学 噴霧工学・燃焼工学	・省エネ型・低公害廃油燃焼バーナーの実用開発
樹野 淳也	工学部 機械工学科	講師	システム制御工学 ロボット工学	・独立型太陽電池システムのアプリケーション ・太陽電池駆動型農作業ロボットの開発

広島国際学院大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
佐々木 健	工学部 バイオリサイクル学科	教授	環境影響評価・環境政策 生物機能 バイオプロセス	・光合成細菌による有機性廃棄物からの低毒性農薬の生産 ・光合成微生物によるバイオリメディエーション

福山大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
矢田 順三	機械システム工学科	教授	熱工学 エネルギー工学	・各種サイクルの作動流体の熱物性の研究 ・自然エネルギー利用技術の研究
大川 秀郎	生命工学部 応用生物科学科	教授	-	・残留性有機汚染物質の簡易モニタリング方法の開発
倉掛 昌裕	生命工学部 応用生物科学科	准教授	応用生物化学 生物有機化学・食品科学	・酵素法による農産・都市廃棄物の有用物質への変換
溝上 恭平	海洋生物工学科	講師	応用微生物学 発酵食品学	・バイオマス資源のエネルギー変換
富田 武満	建築・建設学科	教授	地盤工学	・産業廃棄物の安定化と有効利用に関する研究 ・地盤汚染の浄化・修復に関する研究
尾島 勝	工学部 建築・建設学科	教授	河川工学・地下水工学	・河川水質の浄化
田辺 和康	工学部 建築・建設学科	准教授	環境地盤工学	・産業廃棄物の有効利用
宮地 功	工学部 建築・建設学科	准教授	建築設計・建築意匠	・地球環境建築について

広島市立大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
中島 正博	国際学部国際学科	教授	環境影響評価 環境政策	・発展途上国における水資源の利用管理の制度改革に関する評価
矢野 卓雄	情報科学科	教授	バイオシステム工学	・再生可能なバイオエネルギーの生産

広島経済大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
川村 健一	ビジネス情報学科	教授	国際技術マネジメント サステナビリティ評価 サステナブル	・持続可能な地域づくりの評価指標の研究 ・社会循環論の計画 ・サステナブルコミュニティの計画と実施 ・欧米の都市政策の研究 ・エコビレッジの計画と研究

広島修道大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
時政 昴	人間環境学部 人間環境学科	教授	環境経済学 資源経済学	・環境経済学に関する研究 ・中国の環境問題に関する研究
森嶋 彰	人間環境学部 人間環境学科	教授	環境工学	・日本の公害経験・循環型地域社会に関する研究
長谷川 弘	人間環境学部 人間環境学科	教授	環境影響評価 環境政策	・環境的価値の経済評価手法に関する研究

呉工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
森脇 武夫	環境都市工学科	教授	地学工学	・廃棄物処理場跡地の有効利用に関する研究

(5) 山口県
山口大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
藤井 克彦	農学部 生物機能科学科 環境生化学講座	助教授	応用微生物学 生物環境 生物資源科学	・新規微細藻類を活用した環境調和型・アスタキサンチン生産法の開発 ・木質バイオマスの熱分解を利用したガス燃料生成法に関する研究
今井 剛	工学部 社会建設工学科 生態都市工学講座	教授	土木環境システム 環境保全	・高電圧印可による全く新しい電磁エネルギーを利用した廃水処理法の開発に関する研究 ・余剰汚泥を微生物資源として用いた有機性廃棄物のコンポスト化に関する研究
南 和幸	大学院 医学系研究科 応用医工学系	教授	設計工学・機械要素 知能機械学・機械システム 医用生体工学・生体材料学 トライボロジー	・次世代バイオ・カーボン材料と機械システム
山崎 鈴子	理学部 生物・化学科 化学コース	教授	光化学	・光触媒上での反応機構の解明 ・光触媒を用いた環境汚染物質の分解・無害化
兵動 正幸	工学部 社会建設工学科 開発基礎工学講座	教授	構造工学・地震工学 地盤工学・海洋工学 資源開発工学	・石炭灰の有効利用 ・古タイヤチップの地盤材料としての利用
中田 幸男	工学部 社会建設工学科 開発基礎工学講座	助教授	地盤工学	・石炭灰のリサイクル

山口県立大学

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
井生 文隆	国際文化学部 プロダクトデザイン研究室	教授	プロダクトデザイン	・環境のための素材活用・生活用品のプロダクトデザイン・フィンランドのデザイン
伊原 靖二	生活科学部 生活環境科学研究室	教授	生活排水浄化・再利用 水 質汚染防止 吸着処理・水質調査 生体関連化学・分子認識 環境関連化学	・河川の水質調査と河川環境の評価方法に関する研究 ・環境阻害物質の除去技術開発に関する研究 ・環境ホルモンと生体レセプターモデルとの相互作用及びその電子状態解明に関する研究 ・環境阻害物質の除去技術開発に関する研究

徳山工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
門脇 重道	機械電気工学科	教授	環境技術論 C A D教育	・地球環境と共存しうる技術システムの検討
大成 博文	土木建築工学科	教授	水理学 流体力学	・閉鎖水域における水質浄化
伊藤 尚	機械電気工学科	教授	材料工学	・セラミックス材の急速凝固処理による材質改善 ・自然エネルギーを利用したものづくり教育

②宇部工業高等専門学校

研究者名	学部・学科・専攻	職名	専門分野	研究課題(関連項目のみ)
村上 定瞭	物質工学科	教授	環境機能工学	・生活・産業廃水の処理技術の開発 ・廃棄物の資源化・リサイクル技術の開発 ・環境水の浄化技術の開発
中野 陽一	物質工学科	准教授	化学工学 生物反応工学 環境科学・教養化学	・人工干潟・藻場造成技術に関する研究 ・マイクロバブルを用いた水処理技術に関する研究 ・閉鎖性水域の水質浄化に関する研究
山崎 博人	物質工学科	准教授	高分子化学 有機化学 材料有機化学	・微生物固定化担体法による新規環境浄化技術に関する研究 ・シクロデキストリンをもちいた環境共生型高分子材料の開発と応用 ・フェニルグリシン誘導体による高性能キラル固定相の開発

参考資料

- 1) 研究者検索システム / 研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)ホームページ
/ 独立行政法人科学技術振興機構 (平成20年3月現在)
<http://read.jst.go.jp/>
- 2) 各大学・高専のホームページ内の研究者検索システム (平成20年3月現在)
(ex. 広島大学...広島大学研究者総覧)

4-3-3. 研究機関における研究内容一覧

(1) 鳥取県

A: 鳥取県衛生環境研究所

事業名	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
廃棄物・再生材の科学特性及び、環境安全性に関する研究	環境化学室 共同研究 国立環境研究所	-	再生資材から有害物質がどのように環境中に溶出するのかを明らかにし、安全性の評価方法のあり方についても検討する。 安心安全なリサイクル材の利用促進を図る。	H17～19

B: 鳥取県産業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
未利用バイオマスの有効利用についての研究	酒づくり科	西尾	未利用バイオマス(ずく梨・梅酒・リキュール残さい・ラックョウ皮など)を再利用する方法について検討する。	H17～18
高分子系廃棄物のケミカルリサイクル技術の開発と高機能化に関する研究	無機材料科	菊井	高分子系廃棄物を化学原料として、熱分解法による再資源化・高機能化を図り、ケミカルリサイクル技術の確立を検討する。	H15～17
光発電プラスチック技術に関する研究	応用電子科	草野	光を受けて発電するプラスチック発電シートを開発するための基礎的な研究を行う。	H17～19
新規合成反応による機能性材料(キチン・キトサン化合物)の開発	有機材料科	吉田 山本 佐藤	様々なキチン・キトサン化合物を合成し、工業原料・医薬品原料・化粧品原料としての利用可能性を検討する。 また、酵素を用いたキチン・キトサン化合物の製造方法を検討する。	H15～17
高温高压水を用いた県産バイオマスの利用技術に関する研究	有機材料科	佐藤 谷岡 京盛	県産スギ材の圧密加工による高強度化、木質廃棄物のボード化、キチン・キトサンの工業分野への活用(化粧品、医薬等)、海藻類に含まれるフコイダン、アルギン酸からオリゴ糖を調製、抽出する方法の確立を目指す。	H17～19
ベニズワイの高付加価値化技術の開発(境港お魚まいもんプラン支援事業)	食品技術科	小谷	ベニズワイ原料の鮮度保持技術(温度管理、黒変防止)と加工工程中に生じる廃棄物を有効利用する技術(煮汁のエキス化)を検討する。	H17～18
縫製裁断くずの再利用技術に関する研究	生産システム科	門脇	裁断くずの微細化、成形化、固形化技術を検討し、再物質化又は燃料などのエネルギー源としての再利用技術について研究する。	H17～18

C: 鳥取県中小家畜試験場

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
ねぎ残渣と畜ふんの混合堆肥化試験	環境 養鶏研究室	庄野 俊一	切断したねぎ残渣に牛糞及び少量の乾燥鶏糞を混合して堆肥化を行い、混合堆肥を肥料・土壌改良剤として有効利用することを検討する。 また、畜ふんに対してねぎ残渣の混合割合が堆肥発酵状況、混合堆肥の腐熟度、堆肥化過程における悪臭の発生状況、混合堆肥の肥効成分にどのように影響するか試験を実施する。	H17

(2) 島根県

D: 島根県産業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
ゼオライトを用いた遺伝子工学用試薬の開発	環境技術グループ	-	県内産を中心とする天然ゼオライトを利用して、臭化エチジウムの処理材料およびDNA精製材料などの遺伝子工学用試薬の開発を実施する。	H18～20
革新的高含水有機性廃棄物の固液一括処理システムの開発	環境技術グループ	-	大規模畜産農家・食品加工業などにおいて排出される、固体と液体が混合した含水率の高い有機性廃棄物を一括して処理可能なシステムの開発研究を行う。 高濃度酸素富化条件下での電気分解による高度水処理技術と高温好気法による有機固体の発酵分解処理技術を適用することにより、固液一括処理システムを構築、長期間の実証試験による性能評価や基礎試験による性能向上などにより、実用可能なシステムを開発する。	H17～18
ゼオライト触媒を利用した有機塩素化合物の処理技術の開発	環境技術グループ	-	ゼオライト触媒による効率的かつ経済性に優れた有機塩素化合物の処理技術を開発を目指す。	H15～18
ゼオライトと電子線を用いた環境浄化技術の開発	環境技術グループ	-	電子線照射とゼオライトを組み合わせることにより、環境浄化用新規材料の創製を行う。 開発材料としては、電子線照射時の異臭防止フィルム・可視光応答型光触媒・抗菌性テフロン皮膜があり、ゼオライト巨大結晶の電子デバイスとしての適用可能性も検討する。 また、新規な環境浄化技術としてゼオライトと電子線照射による有機塩素化合物の処理技術を開発する。	H14～18

E: 島根県水産技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
バイオマスの付加価値向上技術の開発	漁業生産部	井岡 久	県内バイオマスを利用した養魚介類用餌料の開発試験を行う。 また、低未利用水産物・残渣ミールなどの低価格タンパク源を利用した高機能性餌飼料の研究開発を行う。	H16～18

(3) 岡山県
F: 岡山県工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
高度安全環境対応型ブレーキ用極限性能エラストマーの実用化開発	有機材料	-	カーボンナノファイバーの複合化によるセルレーション技術で作製したHPE材料を自動車用ブレーキ部品に応用し、高度安全環境対応型ブレーキを提供することを目指す。CNF/エラストマー複合材の工業的製法を確立するための加工条件、CNFの分散評価技術の確立を目指す。	H20
セルロース系バイオマスの分散型超高効率エタノール生産システムの開発	食品技術	-	セルロース系バイオマス素材(小麦ふすま・米ぬか・もみがら)を基質として、固体培養により生成される糸状菌由来の複合酵素(セルラーゼ系酵素:セルロースを低分子化セルロース、セロオリゴ糖、グルコースにまで分解する)により、効率的にエタノールが生産できるシステムを構築し、バイオマスの効率的利用を図る。	H20
バイオマス製品の有効利用に関する技術開発	繊維・新素材	-	室内空気環境を向上させる性能を有する炭製品を開発するために、吸放湿性、VOC・臭気吸着性の測定法を開発し、炭製品の性能を評価する。	H20
環境対応型無機系粉体の高機能化	繊維・新素材	-	VOC(揮発性有機物)吸着機能を有する無機系多孔質粉体の開発を目的として、表面処理技術により細孔径分布や吸着性を制御した多孔質粉体を作製し、水蒸気の吸放湿性やVOCガスの吸着・除去性能を調査する。	H20

G: 岡山県総合畜産センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
亜酸化窒素・メタンの発生抑制方法の検討 - 豚ふん堆肥化過程から発生するアンモニア、亜酸化窒素及びメタン濃度の研究	-	白石 誠 脇本 進 滝本 英二 小林 宙 長田 隆	家畜ふん尿の堆肥化に伴う環境負荷ガス発生状況の把握を目的に、肥育豚舎から搬出されるふん尿の堆肥化を行い、発生するアンモニア・亜酸化窒素・メタンの実態を調査して揮散量を推定する。 また、初発水分を変更することによる発生抑制効果について検討する。	H16～20
高熱性微生物を活用した堆肥化処理技術の検討	環境衛生科	-	堆肥生産において製品の差別化や品質向上を図るため、堆肥の発酵温度を上昇させ、高い水分蒸散効果を持つ高熱性微生物を用いることにより、衛生的で取り扱いやすい堆肥の生産技術確立を目指す。 また、より一層堆肥の広域流通を図るため、高熱性微生物により生産した堆肥のペレット化(成型技術)についても検討する。	H17～19

H: 岡山県環境保険センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
バイオ技術による廃棄物の再資源化に関する研究	水質第一科	-	循環型社会形成に向けて、廃棄物の再資源化とクリーンエネルギーの利用促進のため、バイオ技術を利用して家庭の台所廃棄物などから水素ガスを発生させるための条件設定などを行う。	-

I: 岡山セラミックスセンター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
耐火物のリサイクル技術の開発	-	-	コークス炉使用後珪石煉瓦、不定形耐火物解体屑など産業廃棄物として処分されている材料のリサイクル技術の開発を目的に研究。 用途:耐火物原料としてリサイクル。建築材料等への活用。	H18

(4) 広島県

J: 農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
閉鎖系水系の水質保全を目指した環境負荷推定モデルの構築と負荷低減管理技術の開発	広域農業水系保全研究チーム	志村 もと子	閉鎖系水域における農業系・生活系・工業系に由来する環境負荷流出実態の解明と時系列モデルの開発を行う。	H18～22
中山間・傾斜地における環境調和型野菜花き生産技術の開発	環境保全型野菜研究チーム	奥野 林太郎	環境ストレス制御による省力的栽培技術、機能性資材の利用による生長制御と害虫防除技術・環境調和型生産技術の農家への導入条件を解明と導入効果の評価を行う。	H18
カバークロップ等を活用した省資材・環境保全型栽培管理体系の開発	カバー・クロップ研究近中四サブチーム	大谷一郎 亀井雅浩 伏見昭秀	省力管理型草種のマルチ等の抑草資材を利用した畦畔法面への植栽・管理技術の開発を行う。 草種の生態的特性を活用した畦畔法面植生の省力管理技術の開発を行う。	H18～19
都市厨芥を乾燥・脱脂して製造したリサイクル飼料の肥育豚への給与	飼養技術部・環境保全グループ	-	軟脂豚の発生が懸念されている学校給食の食べ残しやコンビニエンスストアの廃棄弁当等からつくられる飼料について研究する。 飼料製造工程での脱脂処理により粗脂肪含量の低減を図るとともに、脱脂した飼料を肥育後期の豚に給与し、豚用飼料としての利用性を検討する。	H18
高圧通気マットによる乳牛排泄物の堆肥化	酪農・環境グループ	-	高圧空気を微量吐出するノズルを装着したマットを堆肥盤に敷くことで、確実に通気できる「高圧通気マット方式堆肥化方法」を開発する。	H18

K: 広島県立西部工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
広島県独自の有機性資源循環システムの開発	環境分野	-	有機性廃棄物の種類、量、性状等に応じた広島県独自の低コストで持続的なカスケードリサイクルを実現するため、乾式メタン発酵技術を活用し、低コストで効率的なアンモニア除去方法を開発する。	H18～20
水耕ネギの全面栽培ベッドと低棟施設による5割増収・低コスト化技術の開発	ライフサイエンス（農工連携）	-	水耕ネギ栽培において、通路を無くし、施設内全面を栽培ベッドとすることによる収穫量増加と、施設を低棟とすることによる施設費の大幅なコスト低減を目標とした栽培施設と栽培管理技術を開発する。	H19～20
環境対応型小型ロータリーエンジンの開発	地域新生コンソーシアム事業	-	軽量化、低振動化を目的に、小型空冷アルミニウムロータリーエンジンの設計・評価・材料開発に取り組み、産業用無人無線操縦小型ヘリコプターを試作して、航続距離や空撮などの作業精度向上を実証する。	H18～19
広島湾流域圏環境再生研究～太田川から広島湾までの自然再生をめざして～	情報技術部	宮野 忠文 佐野 誠 長谷川 浩治 馬場 祥宏	瀬戸内海を代表する藻場で、高度成長期の沿岸部の開発によってその多くが消失したアマモ場の保全・修復のため、人工衛星画像等の解析により、藻場の分布状況を把握する。	H16～18
広島県独自の有機性資源循環システムの開発	資源環境技術部	樋口 浩一 今村 邦彦	有機性廃棄物の種類、量、性状等に応じた広島県独自の低コストで持続的なカスケードリサイクルを実現するため、産科研西尾プロジェクトの乾式メタン発酵技術を活用し、低コストで効率的なアンモニア除去方法を開発する。	H18～20
ポリ乳酸樹脂の高性能化と自動車部品への適用	材料技術部	田平 公孝 小島 洋治 宮崎 克也 花ヶ崎 裕洋	再生可能な資源を原料とするポリ乳酸樹脂を、射出成形し機械部品として使用可能とするため、耐熱性や耐衝撃性などの性能を改善するとともに、自動車部品などへの適用、実用化を図る。	H16～18

L: 広島県立食品工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
広島県独自の有機性資源循環システムの開発	生物機能開発部	角川 幸治 坂井 智加子	有機性廃棄物の種類、量、性状等に応じた広島県独自の低コストで持続的なカスケードリサイクルを実現するため、産科研西尾プロジェクトの乾式メタン発酵技術を活用し、低コストで効率的なアンモニア除去方法を開発する。	H18～20
食品廃棄物のエネルギー変換に関する技術開発	生物機能開発部	今村 邦彦 樋口 浩一	-	H16～18
乳酸菌利用による食品廃棄物リサイクル技術	生物機能開発部	-	-	H17

M: 広島県立東部工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
食品廃棄物のエネルギー変換に関する技術開発	生活技術部	橋本 田中	水の除去が不要な、嫌気性菌による油脂分解と水熱処理によるエネルギー化技術を開発する。さらに双方の前処理として食品廃棄物の磨砕技術を確立する。	H16～18
水耕ネギの培地廃棄量ゼロと省力・多収・低コスト化技術	産業デザイン部	橋本 中村 横山 岡野 古川	広島県で増加している水耕ネギ栽培において、使用可能な培地を用いた育苗法、播種から収穫まで一貫して使用する条播きトレイ、作業者が移動せず定植・収穫できる栽培管理器具をデザイン開発する。 人間生活工学を導入した作業性の定量評価技術を構築する。	H16～18
広島県独自の有機性資源循環システムの開発	生活技術部	橋本 寿之 青山 進 田中 聖子	有機性廃棄物の種類、量、性状等に応じた広島県独自の低コストで持続的なカスケードリサイクルを実現するため、産科研西尾プロジェクトの乾式メタン発酵技術を活用し、低コストで効率的なアンモニア除去方法を開発する。	H18～20
グリーストラップ浮上廃油の処理技術	生活技術部	橋本 寿之	飲食店などの排水処理として設置されるグリーストラップに浮上している廃油は、ゲル状で腐敗し易く、悪臭を発生するため、現状では液状(泥状)のまま産業廃棄物として焼却処理されている。そこで、グリーストラップ浮上廃油を有効利用するため、簡易的に粒状化する技術を開発。粒状化させることで広範囲から運搬・回収することが可能となり、燃料等に加工することも容易となる。	-

N: 広島市工業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
環境にやさしい木材保存処理技術	木質資源利用技術研究会	-	地域企業が互いに木材利用技術の知見を広め、木材資源を幅広く有用な製品に変換するための技術開発および研究をする。	H19
加熱ロール機を用いた木質・プラスチック複合体の試作	-	三宅 裕行 世良 英美	剪定枝葉の有効利用方法を模索する試みの一環として、未乾燥の剪定枝葉とポリエチレンとを加熱ロール機を用いて混練し、木質・プラスチック複合体を試作した。 実験の結果、原材料を20分間混練してロールギャップを調整することで、剪定枝葉の重量比が50重量%で厚さと強度が均一な板状の複合体を得ることができた。	H16
木質資源利用技術研究会	-	-	地域企業が互いに木材利用技術の知見を広め、木材資源を幅広く有用な製品に変換するための技術開発および研究に取り組んでいる。 平成18年度は「環境にやさしい木材保存処理技術」をテーマとした調査・研究を実施 ・講師招聘および先進地調査 ・平成16年度から開始している「木材の加熱処理(木材の耐久性向上)」、「木質/プラスチック混合成形(木材資源の有効利用)」の実験を進め、製品化に取り組む。 ・先端科学技術研究所・バイオマス活用技術研究会のメンバーと交流を図り、関心のある研究について共同で取り組む。	-

0:産業技術総合研究所中国センター

研究テーマ	担当部署	担当者名	研究内容	研究期間
燃料電池用電極触媒の開発	ユビキタスエネルギー研究部門 新エネルギー媒体研究部門	栗山 信宏 (リーダー)	水素等の新エネルギー媒体を用いて発電を行う固体高分子形燃料電池 (PEFC) の性能を上げるために、電極触媒の研究を行う。(燃料極に関しては、CO被毒に強い電極触媒の開発。酸素極に関しては酸素活性化能の高い電極触媒の開発)	H19
生物由来原料を用いる化学製品・製造技術の開発	環境化学技術研究部門	相羽誠一	石油からバイオマスへの長期的な資源転換を視野に入れ、再生可能な生物由来原料を利用した化学製品の製造技術の基盤構築に努めるとともに、速やかに市場に導入されやすい化学製品の開発を進める。	H19
環境負荷を極小化し快適な生活を支える新材料技術	環境化学技術研究部門	関屋章	低環境負荷と省エネルギー性を考慮した大型冷凍機用冷媒選択(吸収式より10%省エネ)、温暖化物質排出を極小化したCVD チャンバー洗浄剤 開発などのフロン代替材料開発を目指す。	H19
大気環境改善を実現し省エネルギーに貢献する次世代ディーゼル技術	環境化学技術研究部門	浜田 秀昭	エンジン燃焼改善、排ガス処理、燃料選択の面からの総合的な対策技術の開発を行う。還元剤としてインフラ構築が不要な燃料起源のものをを用いた高性能NO _x 除去触媒の開発を行う。	H19
エタノール・ETBE製造の研究	エタノール・バイオ交換チーム	澤山 茂樹	艇環境負荷を特徴とする水熱処理、あるいはメカノケミカル処理によって、バイオマスの構成成分であるセルロース、ヘミセルロースおよびリグニンを活性化、低分子化、さらには成分分離することによって容易にエタノール等液体燃料に交換できる環境調和型の前処理技術について研究開発を行っている。	H19
BTL-FTディーゼル製造の研究	BTL触媒チーム	村田 和久	実験室レベルでバイオマスから液体燃料を連続的・効率的に製造するプロセスの開発に取り組んでいる。	H19
バイオマスシステムの研究	バイオシステム技術チーム	美濃輪 智朗	バイオマスシステムのプロセスシミュレーター技術の確立、基盤となるデータベースを構築し、バイオマスシステムシミュレーターを開発を行う。	H19
バイオマスからのクリーンガス生産	循環バイオマス研究ラボ	美濃輪 智朗	木材などを高温高压の水蒸気と二酸化炭素吸収剤と反応させて、水素、メタンなどのクリーンなガスを生産する。 特徴としては、水素濃度90%以上のクリーンガスを収率89%(水素・メタンの理論収率)で生産できる。	-
木質系バイオマスの熱化学的なエネルギー変換技術の開発	循環バイオマス研究ラボ	花岡 寿明	物質エネルギーに変換可能な唯一の再生可能資源である木質系バイオマスから、軽油代替燃料であるジメチルエーテル(DME)へのトータルプロセス(バイオマスガス化-ガス精製-DME製造)の開発・効率化を行った。 その結果、木質系バイオマスからCO ₂ を排出せず水素やメタンといったクリーンガスのみを製造するプロセスについて、理論収率の90%が得られる反応条件を突き止めた。	-
海洋性生物に由来するバイオガラスの人工的製造方法の検討	循環バイオマス研究ラボ	村上 克治	海洋に生息する動物の一種である海綿に由来するガラス物質を新規な金属吸着剤等として利用するために、人工的に当該ガラス物質を製造する方法について研究した。 このガラス物質は、吸着剤1g当たり20mg以上の有害金属を吸着することができ、90%以上の回収率で吸着金属を回収することが可能である。	-
有機スズ化合物分解剤、その製造方法、及びそれを用いた有機スズ化合物の分解方法	循環バイオマス研究ラボ	井上 宏之	従来船底や漁網の防汚塗料として用いられている有機スズ化合物は、海洋生物に対して強い毒性を持つ上に、難分解性であるため、大きな社会問題となっていることから、シェードモナス等の細菌が生産するシデロフォアに見つけられた新規な触媒機能を用いた有機スズ化合物分解剤の製造技術を開発。 当該方法は、中性・低温で分解できるため、従来の方法に対して環境に優しいという長所がある。	-

産業技術総合研究所中国センター（つづき）

微生物固定化担体を用いた生態毒性物質の分解・除去技術	循環バイオマス研究ラボ	滝村 修	海洋微生物のうち、カドミウム・ヒ素などの重金属を高濃度に蓄積する微細藻類ドナリエラ、トリフェニルスズなどの有機スズ化合物の分解物質を分泌するグラム陰性細菌シュドモナスを、高い濃度で固定化することにより処理効率を高めた環境汚染物質分解・除去技術である。 このような、微生物を用いた汚染物質の分解・除去は、吸着剤を用いた従来の化学的方法などに比較して、生態系に対して負荷が低く、高度処理が可能である。	-
重金属イオン捕捉剤の製造方法	循環バイオマス研究ラボ	滝村 修	水中環境を改善するためには水中の重金属イオン量を減らす必要があり、当該重金属イオン捕捉剤は単細胞緑藻ドナリエラから抽出したリン酸縮合体を用いて水中の重金属イオンを高効率に捕捉するものである。 この方法ではスラッジが発生することなく、捕捉した重金属は薬品を使うことなく容易に回収できる。	-
シデロフォアを利用した有機スズ化合物の分解法の開発	循環バイオマス研究ラボ	滝村 修	独自に単離した有機スズ分解菌の分泌するシデロフォアによる有機スズの分解機能やその特性を解明し、その機能を固定化した菌体を用いて効率的な有機スズ化合物等の低減化法を開発。 有機スズ化合物は防汚塗料の原料として使用されてきたという経緯があるが、近年、有機スズ化合物による環境汚染が社会問題化しており、本研究において開発した手法を用いることにより有機スズの低減化を図ることが可能である。	-
沿岸海洋環境技術に関する研究	沿岸海洋研究グループ	星加 章	沿岸生態系の研究、およびアマモ場移植・造成、流況制御等による環境修復技術の開発研究（フィールドを主体とした現地検証実験による実用化）を実施。	-
カキ殻付着生物を利用した、水質浄化技術および生物生産力向上技術の開発に関する研究	循環バイオマス研究ラボ	三島 康史	カキ殻表面は生物の宝庫とも言え、一種の浅場（藻場や干潟）と同じ機能を有している可能性がある。このため、カキ殻付着物に着目し、水質浄化と生物生産力の向上を目指した研究を行っている。 更に、カキ殻付着物を海洋未利用バイオマスと捉え、その有効利用についても検討している。	-

P：広島県産業科学技術研究所

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
有機性排水・余剰汚泥の高効率嫌気性処理システムの開発	広島大学先端物質科学研究科	西尾 尚道	産業排水・一般下水を処理するため、嫌気性処理システム（乾式嫌気消化装置+嫌気性排水処理装置）の研究開発を行う。現在、広く採用されている活性汚泥と比較して発生する汚泥量や運転コストの大幅な低減を目指す。	H14～17

(5) 山口県
Q: 山口県産業技術センター

研究テーマ	担当部局	担当者名	研究内容	研究期間
多孔質建材の吸音特性評価に関する研究	材料技術部	斉藤孝義 橋本雅司	県内で生産・産出される自然材料・副産物(農業副産物, 窯業系産業副産物, 石灰, 木竹材など)を使用した住宅建材の開発及び多機能化による高付加価値化(断熱性能, 調湿性能, 吸着性能, 浄化性能, 吸音性能)を行う。	H19
アオコ用凝集剤の開発	材料技術部	有村一雄 橋本雅司 前英雄	湖沼等の富栄養化に伴い発生するアオコの回収・除去を目的として, 水面に浮遊しながらアオコに対して凝集効果を有する凝集剤の開発を行う。	H18 ~ H19

参考資料

- 1) 研究者検索システム / 研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)ホームページ
<http://read.jst.go.jp/>
- 2) 研究者の研究内容: 各研究機関のホームページ (平成20年3月現在)

5 . 情報交換システム（マッチングシステム）制度

5. 情報交換システム(マッチングシステム)制度一覧

(1) 鳥取県

	鳥取県廃棄物情報交換システム	事務局	鳥取県生活環境部循環型社会推進課
電話番号	0857-26-7565	URL	https://db.pref.tottori.jp/Rnet-e-touroku.nsf/RegPage?OpenPage
設立年月日	平成16年度	会員数	24社
会費	無料(会員登録)		
概要	鳥取県内で発生する廃棄物の排出・受入に関する情報をインターネット上で登録し、排出事業者と処理事業者をネット上で引き合わせるもの。 事業者が廃棄物の排出情報や受入情報を県のホームページ上に掲載し、廃棄物の有効利用を促進するものである。		

(2) 島根県

	産業廃棄物処理業者検索システム	事務局	島根県環境生活部廃棄物対策課
電話番号	0852-22-6151	URL	http://www.pref.shimane.jp/section/haitai/sangyo/search/search.html
設立年月日	-	会員数	-
会費	無料(登録・斡旋)		
概要	島根県内の産業廃棄物の適正な処理、及び再利用を促進することを目的に、産業廃棄物処理に関する島根県許可業者の情報を提供している。 また、同サイトでは、産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、埋立処分、再生利用・資源化等に関する相談や処理業者の紹介を行っている。		

	島根再資源化施設情報検索システム	事務局	島根県土木部技術管理課
電話番号	0852-22-6014	URL	http://www.chusankan.jp/recycle/
設立年月日	-	会員数	-
会費	無料(登録・斡旋)		
概要	このシステムは、建設リサイクル法で定める特定建設資材廃棄物(「コンクリート塊」「アスファルト・コンクリート塊」「建設発生木材」)を入れ、再資源化を行う島根県内の施設情報をインターネット上で公開し、建設工事発注者及び受注者の皆様が工事現場付近における受入可能施設検索を補助し、建設リサイクルの促進とさらなる建設リサイクル法の実効性確保を目的とするもの。		

(2)岡山県

	循環資源マッチング制度	事務局	岡山県循環資源総合情報支援センター ((財)岡山県環境保全事業団)
電話番号	086-298-1225	URL	http://junkan.okix.jp/okayama3/contents/html/index.htm
設立年月日	平成18年5月26日運用開始	会員数	70社
会費	無料（登録・斡旋）		
概要	循環資源（廃棄物）を提供する事業者と循環資源を利用する事業者をインターネットを介してマッチング（斡旋）することにより、循環資源を有効に活用し循環型社会の形式を推進していくものである。 この制度では、「情報の最新性とスピードアップ」、「登録された情報の検索・照会機能の迅速化・多様化」を図る観点からインターネットを活用することを基本としてシステムを構築している。 インターネットを介することにより、県民や事業者が循環資源に関する情報の検索、循環資源の提供者と利用者の登録申請、会員登録された事業者自ら情報の登録・更新・削除等が可能となる。 排出者は県内事業所に限るが、処理事業者は県外からも受け入れる。		

(3)広島県

	ひろしま産廃ネット	事務局	(社)広島県産業廃棄物協会
電話番号	082-247-8499	URL	http://www.hiro-sanpai.or.jp/pages/index.html
設立年月日	昭和59年6月18日	会員数	正会員:418社,賛助会員:24社,計442社
会費	正会員（収集・運搬）：入会金20,000円、会費36,000円/年 正会員（中間処理・最終処分）：入会金30,000円、会費60,000円/年 賛助会員：入会金15,000円、会費30,000円/年		
概要	広島県内の産業廃棄物を取りまく環境をよりよくしていくため、県民・産業廃棄物排出事業所・処理業者へ情報発信を実施している。 産業廃棄物処理業者検索システムにより、廃棄物の発生場所・種類に応じた処理業者を検索することができる。 また同サイトでは、産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、埋立処分、再生利用・資源化等に関する相談や処理業者の紹介を行っている。		

	ウエストグリーンネット	事務局	ウエストグリーンネット
電話番号	082-545-7656	URL	http://www.west-green.net/index.html
設立年月日	平成18年4月21日	会員数	正会員28社、賛助会員1社(H19.10現在)
会費	正会員・サポート会員：70,000円/年、賛助会員：50,000円/年、学会会員：無料		
概要	廃棄物処理の広域連携を掲げる中国経済産業局の意向を受ける形で、産業廃棄物のリサイクルを広域で促進していくために、情報交換や技術開発で連携する「ウエストグリーンネット」が発足。 ウエストグリーンネットでは、主にリサイクル事業者、セメントメーカーなどの取組み・情報を「ネット」を通じて排出企業に対し周知啓発・広報を行うことでマッチングを図る。 入会の条件に「ISO14001又は環境省のエコアクション21の取得」や「自社ホームページでの処理施設や処理状況公開」があげられている。		

	(社)中国地域ニュービジネス協議会	事務局	(社)中国地域ニュービジネス協議会
電話番号	082-221-2929	URL	http://www.cnbc.or.jp/
設立年月日	平成8年7月23日（社団法人化）	会員数	626社（H20.2現在）
会費	入会金無料，正会員：1口6万円/年，個人会員：1口3万円/年		
概要	新産業・ニュービジネス創出や広域的なネットワーク作りなどを会員に実現してもらうことを目的に設立。 中国経済産業局・中小企業基盤整備機構をはじめとした地域内の自治体・支援機関・大学等との連携，および（社）日本ニュービジネス協議会連合会と全国各地のニュービジネス協議会との連携による全国に広がるネットワークを積極的に活用している。 新産業・ニュービジネスの創出に当たっての様々な課題に対して，適切なアドバイスや会員・外部経営資源（人・モノ・資金・技術）とのコーディネート，マッチング，有益な仕組み・情報，または，人脈づくりのための各種出会いの場を提供している。		

	中国地域バイオ産業推進協議会	事務局	中国経済産業局地域経済部次世代産業課 (財)ちゅうごく産業創造センター
電話番号	082-241-9927	URL	http://www.ciicz.jp/bio/h16biosangyohp.html
設立年月日	平成16年10月21日	会員数	49社(H19.10現在)
会費	無料		
概要	バイオ関係の研究を行っている大学等，地域の研究会・交流会などの団体及び行政を連携したネットワークを作り，これをもとにバイオ 関連シーズを掘り起こし，広く中国地域の企業ニーズとのマッチングを図って事業化につなげていく支援を行うとともに，大学発ベンチャー創出のための支援を行うことにより中国地域発のバイオ産業クラスターの創出を目指す。		

(4) 山口県

	やまぐちエコ市場	事務局	やまぐちエコ市場事務局 (山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課)
電話番号	083-933-2992	URL	http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/ecoichiba/index.php
設立年月日	平成18年5月15日	会員数	316社(H19.3現在)
会費	入会金無料，年会費：10,000円/年		
概要	山口県が支援する形で，県の臨海工業地帯の大手メーカーとリサイクル事業者など約230社が参加する「やまぐちエコ市場」を開設。 廃棄物の排出先と受入れ側の需給情報をインターネット上に一元化し，情報や技術を交換する。企業間の連携で事業創出を目指すほか，同時にホームページで公開することにより全国的な広がりが期待される。 また，事業化促進・技術相談商談会・交流会・情報交換会・展示会等の企画・開催なども行っている。		

(5) その他

	リサイクルワン	事務局	(株)リサイクルワン（所在地：東京）
電話番号	03-3464-3566	URL	http://www.recycle1.com/
設立年月日	平成12年	会員数	1500社（H18.5現在）
会費	無料（登録料） ○排出企業...無料会員：無料，プレミアム会員：60,000円/年 ○再生・処理企業...リサイクル会員：300,000円/年，処理企業会員：300,000円/年		
概要	国内初の廃棄物・リサイクル資源の電子取引市場。 2000年，リサイクルワンは日本で初めて，排出企業，処理・リサイクル企業，リサイクル資源ユーザーを結びつける電子取引市場の運営をスタートさせる。 インターネット上に集結した「問題解決ネットワーク」の総力を挙げて，最適な解決策を提示する仕組みを構築し，顧客の環境課題の解決を図る。 ネットワークを活用して，廃棄物・リサイクルから，土壌汚染，アスベスト，CO2削減まで幅広い環境課題に対応している。ネットワークの拡充により，あらゆる環境問題に対してワンストップのサービスを提供している。		

	エコウェブネットドットコム	事務局	(株)船井総合研究所（所在地：東京）
電話番号	03-6212-2933	URL	http://www.eco-webnet.com/
設立年月日	-	会員数	5000人以上
会費	無料（バナー広告のみ有料）		
概要	隠れた「エコ企業」「エコ製品」「エコ技術」を発掘し世の中に広めて，ビジネスマッチングを応援することを目的として開設。 環境ビジネスポータルサイトであり，エネルギー・廃棄物処理・リサイクル・水・土壌・エコグッズ等，最新の環境技術・環境ビジネス情報を提供している。 自社のエコ製品・技術を広めたい場合にはメーカー登録を行うことで，毎週のメルマガ等でエコ製品・技術を紹介，掲示板では企業アピールを行うことができ，優れたエコ製品・技術を探している企業から連絡を受けることができる。 一方，優れた環境製品や環境対策技術を探している場合にはユーザー登録を行うこともできる。登録することで，毎週のメールマガジンで，環境ビジネス関連情報を得ることができる。		

	産廃web	事務局	(株)船井総合研究所（所在地：東京）
電話番号	03-6212-2933	URL	http://www.sanpai-web.com/
設立年月日	-	会員数	-
会費	無料（バナー広告のみ有料）		
概要	産業廃棄物処理業者を排出事業者が検索し，直接処理依頼できるビジネス情報マッチングサイト。 リサイクル・処理企業登録（産業廃棄物処理業者が対象）することで，新規顧客から直接廃棄物処理依頼を受けられる。また，自社サイトへの誘導ができ，優良企業として認知されるなどのメリットがある。 排出企業登録（排出事業者が対象）することで，メールマガジンにより無料で環境ビジネス関連情報を得られる。 マッチングサービスにて具体的アクセス後には双方ともに事後評価を確認する等，廃棄物処理ビジネス市場拡大を目指し，優良事業者のサポートをしている。		

	建設副産物情報センター (建設副産物情報交換システム)	事務局	財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター
電話番号	03-3505-0410	URL	http://www.recycle.jacic.or.jp/index.html
設立年月日	平成14年4月	会員数	15,774
会費	国・公団・事業団：157,500円／年，都道府県・政令市：31,500円／年 市町村・特別区・排出事業者：8,400円／年，処理業者：無料		
概要	公共工事発注者，排出事業者，処理業者の声を聞き，建設副産物の適正処理・再利用に係わる情報提供およびシステム改良・普及活動を行っている唯一の機関。 建設副産物情報交換システムは，工事発注者，排出事業者（建設工事の施工者等），および処理事業者（再資源化施設等）間のリアルタイムな情報交換により，建設副産物に係わる需給バランスの確保・適正処理の推進・リサイクルの推進を目的としたシステムである。 また，本システムの活用によって，建設リサイクル法等に基づく各種書類作成の省力化，建設副産物実態調査の効率化が図れる。		

	建設副産物情報センター (建設発生土情報交換システム)	事務局	財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター
電話番号	03-3505-0416	URL	http://www.recycle.jacic.or.jp/index.html
設立年月日	平成11年4月	会員数	1,488
会費	初期費用：無料 民間公益企業・公社等外郭団体・都道府県政令市：52,500円／年		
概要	建設発生土情報交換システムは，建設残土が発生する建設工事，および埋土等土砂を利用する建設工事を対象に，設計から積算，発注，施工，完了に至る事業の各段階において，建設発生土の工事間利用に関する情報を工事発注担当者に提供し，建設発生土のリサイクルを推進することを目的としたシステムである。 また，公共工事土量調査の入力・集計機能も有しており，本システムの活用によって，公共工事土量調査の効率化が図れる。		

6 . 環境関連企業

6 - 1 . 環境関連企業（廃棄物リサイクル分野）

6- 1.環境関連企業 (廃棄物リサイクル分野)

(1)鳥取県

①	㈱クラエー	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	倉吉市鴨川町32-1	電話番号	0858-28-0608
URL	-	資本金(万円)	4,300
業種	廃棄物処理業, 建設業	従業員数(人)	72
項目	発泡スチロールのプラスチック製品の原料化		
実施内容	・発泡スチロールを高熱で溶融し, 減容ブロック化したものをプラスチック製品の原料として再利用。 ・その他下水汚泥等の有機汚泥を脱水処理, 堆肥化し, 有機肥料として再利用する事業も実施している。		

②	フジ化成工業㈱米子工場	分野	リサイクル製品製造
住所	米子市和田町2112	電話番号	0859-28-7151
URL	http://www.fujikasei-kk.com	資本金(万円)	2,450
業種	プラスチック発泡製品製造, ゴム工業	従業員数(人)	45
項目	・廃磁気テープを原料とした加圧加熱成型したパネル (EMパネル) ・自動車のゴム部品等を原料にしたリサイクル防音ゴムマット (おとなしくん)		
実施内容	・廃磁気テープを有効利用できる建材ボードであり, また, 断熱性能, 寸法安定性などの付加価値を持つリサイクル商品。用途においても, その寸法安定性を活かしたバリアフリー畳用芯材 (床暖房用薄畳用芯材など) や防音材など1用途に限らないバリエーションに富んだリサイクル商品である。 ・自動車用ゴム部品や各種ゴム製品の製造工程中に排出される廃ゴムを用いた防音用ゴムマットである。このマットには, 防振効果が付与されており, 遮音効果, 防音効果のある優れたリサイクルゴムマットである。この防音特性が, 木造住宅の2階の音を大幅にカットし, 1階を快適な環境に改善する。		

③	㈱エコマ商事	分野	リサイクル製品製造
住所	米子市和田町2166	電話番号	0859-25-1220
URL	http://www.ecomawood.jp	資本金(万円)	5,000
業種	プラスチック製品開発	従業員数(人)	9
項目	廃プラスチックを利用した新素材「エコマウッド」を用いた簡易型係留施設, 建材, かき養殖筏の開発		
実施内容	・廃棄されたプラスチックのポリプロピレンを利用した100%循環型素材「エコマウッド」を開発。これを用いた簡易浮桟橋等の水上施設や循環型建材, かき養殖筏等も開発している。 ・エコマウッドを用いた浮桟橋は景観性や耐久性に優れ, 自由なサイズが安価にできることから, 係留施設には最適な製品である。		

④	㈱フジコン	分野	リサイクル製品製造
住所	米子市彦名町1460-4	電話番号	0859-29-5200
URL	http://www6.ocn.ne.jp/~fujicon/	資本金(万円)	4,000
業種	コンクリート製品製造	従業員数(人)	10
項目	廃ガラスを用いたリサイクル舗装の開発		
実施内容	・細かく砕いた廃ガラスを砂利などと混ぜ合わせ, エポキシ系樹脂と呼ばれる接着剤を加えて舗装を造る。 ・この舗装は, 「透水性に優れ水溜りができにくい」「適度の滑りがあり歩くのに適している」「色が選べるためデザインが自由」等の長所がある。		

⑤	三光(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	境港市昭和町5-17	電話番号	0859-44-5367
URL	http://www.sankokk-net.co.jp	資本金(万円)	4,800
業種	廃棄物処理業	従業員数(人)	208
項目	ガラスリサイクル軽量発泡体の開発		
実施内容	・ガラスびん・窓ガラス・蛍光管等の廃棄物を原料として、高温焼成・発泡させ軽量骨材「エアストーン」を製造。 園芸・土木・水質浄化など様々な用途で利用されている。		

(2)島根県

⑥	山陰建設工業(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	出雲市神西沖町2334-3	電話番号	0853-43-1113
URL	http://www.sanin-kk.co.jp	資本金(万円)	2,500
業種	総合工事業	従業員数(人)	46
項目	廃ペットボトルを添加し、強度を増した次世代舗装材料の開発		
実施内容	・廃ペットボトルを添加し、強度を増した舗装材を開発。国土交通省の新技术情報提供システム、及び、しまねハツ建設ブランドに認定され、県道を中心に多くの実績がある。 ・現在更に研究を進め、アスファルトを全く使わない廃棄物リサイクル100%の省資源、環境保全型舗装材の開発を進めている。		

⑦	山建プラント(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	出雲市多伎町久村213-8	電話番号	0853-86-3861
URL	-	資本金(万円)	1,500
業種	産業廃棄物処理、建設・舗装工事	従業員数(人)	21
項目	廃プラスチックを利用したアスファルト混合物添加材「エコアス」の開発		
実施内容	・従来のアスファルト改質材の代わりに、廃プラスチックを利用したエコアス（プラントミックス）を使用することで、廃棄物のリサイクルと省資源に貢献。 ・「エコアス（プラントミックス）」を使用した混合物は、通常の改質混合物と比べて耐流動性に優れている。わだち掘れを抑えることでライフサイクルコストの低減を図る。 ・プラントミックスタイプのため、全国どここのアスファルトプラントでもエコアス入りアスファルト混合物の製造が可能である。		

⑧	(株)島根再資源化研究所	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	出雲市武志町640	電話番号	-
URL	-	資本金(万円)	3,500
業種	廃棄物処理業	従業員数(人)	4
項目	廃ガラスびんから発泡骨材（廃ガラス利用多孔質発泡材料）を製造		
実施内容	・廃ガラスびんから発泡骨材（廃ガラス利用多孔質発泡材料）を製造。 ・製造された発泡骨材は、土木資材、水質浄化材、園芸用資材などとして利用される。		

⑨	たてぬい建設事業協同組合	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	出雲市平田町4035	電話番号	0853-63-5005
URL	http://www2.crosstalk.or.jp/tatenui/index.html	資本金(万円)	-
業種	協同組合	従業員数(人)	13社
項目	鋳物工場から排出される鋳物廃砂から道路補修合材を製造・販売		
実施内容	鋳物工場から排出される鋳物廃砂をリサイクルした全天候型再生常温合材「スーパーエコパッチ」を開発, 販売。 合材は, NTN鋳造(出雲市灘分町), ヒラタ工業(出雲市西代町), 前川鋳工造機(出雲市灘分町)から排出された鋳物廃砂と, 砕石, 接着剤のバインダーを混ぜたもので, 道路の欠損部などに充てんし, 平らに敷き詰める。 降雨・降雪の条件下でも使用でき, タイヤに付着することも無く, 砂や石炭などの擁護材は必要ない。		

⑩	アースサポート(株)	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	松江市八幡町882-2	電話番号	0852-37-2890
URL	http://www.earth-support.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	一般廃棄物, 産業廃棄物処理	従業員数(人)	105
項目	機密文書・記録媒体処理システムの導入		
実施内容	機密書類や機密メディアを安全に集荷運搬し, 100%リサイクルするシステム「SSセキュリティBOX」を導入。書類の入った箱をバーコードで1箱ずつ管理し回収車両が処理場に到着するまでGPSで追跡する。回収された機密書類は開封せず溶解されトイレットペーパーへのリサイクルを行う。		

⑪	山陰興業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	出雲市神西沖町2487-5	電話番号	0853-43-0159
URL	http://www.e-skk.co.jp/index.html	資本金(万円)	1,100
業種	産業廃棄物処理業	従業員数(人)	33
項目	ガソリンスタンドや工場等から排出される廃油から低コストの再生燃料油を製造		
実施内容	山陰両県で年間15000キロリットル排出される自動車用廃潤滑油をはじめ, ガソリンスタンドや工場等から排出される廃油を回収し, ダイオキシン発生の原因となる水分固形物を除去し, 重油・灯油と同等の性質をもつ低コストの再生燃料油を製造。 大手製紙会社や旅館などのボイラー等の熱源として供給している。平成16年度のしまねグリーン製品「再生燃料油(B重油相当)」に認定された。		

⑫	㈱アメックス協販	分野	リサイクル製品製造
住所	江津市都野津町2277-33	電話番号	0855-53-0911
URL	-	資本金(万円)	34,500
業種	屋根材等製造販売, 住宅工事	従業員数(人)	150
項目	廃瓦100%で作られた透水・保水性に優れた歩道用平板「セラクレイ」の開発		
実施内容	廃瓦をリサイクルして作られた「セラクレイ」は, 透水・保水性に優れ水たまりが出来にくく, 歩きやすい歩道をつくる。 一枚で1リットル以上の水を蓄えることができ, 夏場に散水すれば打ち水効果が持続し, 涼しさをもたらす。		

⑬	極東工業(株)PC工場	分野	リサイクル製品製造
住所	江津市都野津町2276-2	電話番号	0855-53-0931
URL	http://www.kkn.co.jp	資本金(万円)	
業種	土木建築工事	従業員数(人)	
項目	廃瓦をリサイクルした、プレストレストコンクリート(PC)の実用化		
実施内容	石州瓦の製造過程で生まれる規格外品を用いて、同社の主力製品で橋げた等に使われるプレストレストコンクリートや、盛土を保持する擁壁などの鉄筋コンクリートを試作、実用化。		

(3)岡山県

⑭	平林金属(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	岡山市下中野347-104	電話番号	086-246-0011
URL	http://www.hirakin.co.jp	資本金(万円)	9,980
業種	産業廃棄物処理	従業員数(人)	240
項目	廃家電、自動車のリサイクル 非鉄金属の選別加工		
実施内容	家電リサイクル法施工に伴い、倉敷市の児島港玉島ハーバーアイランドに自動車リサイクルセンターを建設。岡山市西大寺にも非鉄金属の選別加工場を建設。金属やプラスチックの分別装置の開発、製造なども手掛けている。		

⑮	エコシステム山陽(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	久米郡美咲町吉ヶ原1125	電話番号	0868-62-1346
URL	http://www.dowa-eco.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数(人)	34
項目	硫酸ピッチ、フッ素化合物、ダイオキシン含有焼却灰など処理困難な廃棄物の適正処理		
実施内容	硫酸ピッチ、フッ素化合物、ダイオキシン含有焼却灰など処理困難とされる産業廃棄物を安全、確実に処理。溶融型ロータリーキルンの焼却炉で廃棄物を高温で完全燃焼させスラグ化することで重金属を完全に封じ込め、溶出の恐れがない。燃え殻中の鉄くずは磁石により回収・製鉄原料にし、排ガスの熱は廃熱ボイラーにより回収・発電。		

⑯	公協産業(株)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	岡山市城東台西2-1-8	電話番号	086-278-9770
URL	http://www.kokyo.com	資本金(万円)	4,000
業種	再生資源リサイクル、産業廃棄物処理	従業員数(人)	88
項目	不法投棄された硫酸ピッチを経済的に無害化・再資源化する技術の開発		
実施内容	不法投棄で放置されている環境汚染原因のドラム詰め硫酸ピッチを回収し、無害化処理することで、土壌・河川の汚染を防ぎ、且つ、悪臭や亜硫酸ガスの発生を減少させ、環境破壊・大気汚染の抑制に貢献する。 従来の処理方法よりも、安全で且つ経済的処理方法であるため、地方自治体の行政代執行予算を大幅に削減できる。 廃棄物の前処理は特に必要なく、生成する副産物は油分の有無で再資源化を分類し、油分の無いものは肥料原料など、油分を含むものはセメント原材料として利用できる。		

⑪	㈱カンガイ	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	倉敷市玉島柏島769-1	電話番号	086-526-1717
URL	http://www.kangai.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	再生資源回収・卸	従業員数(人)	50
項目	使用済み自動車を中心としたASRIリサイクル		
実施内容	・金属屑を中心とした素材リサイクル事業(ASRIリサイクル事業)を実施。 ・ASRIは水を使って湿式処理・選別を行い、焼却プラントでシュレッダーダストを高温焼却し、減容化並びに再資源化していることが特徴である。 ・毎月5,000トンに相当する使用済み自動車のうち、70%を占める鉄が製鋼原料として製鉄会社などへ、2%の非鉄金属が専門業者へ渡される。残り28%のシュレッダーダストが焼却プラントで焼却されている。		

⑫	菱陽ケミカル㈱	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	倉敷市松江4-5-1	電話番号	086-457-3100
URL	http://www.ryoyochemical.co.jp/	資本金(万円)	2,000
業種	化学工業、産業廃棄物処理	従業員数(人)	100
項目	飲料缶を飲料液が入ったまま破砕機にて破砕し処理		
実施内容	・賞味期限切れ等の飲料缶を飲料液が入ったまま破砕機にて破砕し処理する。 ・容器は各々アルミ、SUS、PETに分別してそれぞれリサイクルし、飲料液は成分によって、破砕前に3種類に分類するリサイクルを実施。 ・ジュースや栄養ドリンクは、蒸留設備で精製水として取り出し、工業用水として再利用、コーヒーは廃棄物焼却設備の温度調整材として利用、COD負荷の少ないお茶や糖分の少ない飲料液は、活性汚泥処理設備で菌の栄養剤として利用を行っている。		

⑬	花田技研工業㈱	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	岡山市芳賀5303-206	電話番号	086-286-9377
URL	http://www.hanada-giken.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	建築材料	従業員数(人)	-
項目	廃棄物質灰の溶融スラグを人工セラミックの原料として活用した着色骨材商品「カラースラグ」の開発		
実施内容	一般廃棄物を焼却灰にし、更に1200℃以上の高温で溶融させた後、冷却・生成。天然の石や砂の代わりになるよう溶融・スラグ化した骨材で、安定し無害化したものをリユース骨材として着色骨材に商品化している。 従来の骨材にない優れた物性(付着性、隠ぺい性、退色性)を持つ。 また、この着色骨材原料を独自の着色技術を用いて製造した景観舗装材「グランドソイル」を製造。		

⑭	明和製紙原料㈱リバースプラザ	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	岡山市青江6-2-11	電話番号	086-225-3947
URL	http://www.rebirthplaza.com	資本金(万円)	5,000(全社)
業種	製紙業、産業廃棄物処理	従業員数(人)	8
項目	機密書類を保管状態のまま粉砕することによる安心・安全リサイクル処理		
実施内容	・機密書類の安全処理に関するお客様のニーズの高まりに対応し、新たに大型機密書類粉砕機を導入。 ・これによりセキュリティールーム内での保存帳票類のファイルごとの粉砕、段ボール箱ごとの粉砕が1時間あたり約3トン処理できるようになった。 ・また機密書類回収専用車両を2トン～7トン車まで幅広く揃え、多くの企業・官公庁様のニーズに対応できる。		

②①	東快産業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	岡山市小串694	電話番号	086-269-2218
URL	-	資本金(万円)	2,000
業種	土木建築材料・プラスチック製品製造、販売	従業員数(人)	17
項目	再生プラスチックを原料とした、天然感覚の木目調で、軽く腐らないプランター開発		
実施内容	・町の景観と家との調和を大切に考え、外観は天然感覚の木目調に仕上げたプランター。主要素材はポリオレフィン系のプラスチックであるので、栽培中の土や肥料、水の共存下でも腐らず長持ちする。 ・屋外での長期の使用による退色を少なくするため耐候性の良い顔料を添加しており、耐用性に優れている。 ・また、環境保全の点で問題のある、鉛・カドミウム等の重金属や難燃剤、抗菌剤を一切含みおらず、フタル酸エステル系可塑剤、トリブチルスズ化合物など水質保全点で問題のある添加物も含んでいない。		

②②	(株)リプロ	分野	リサイクル製品製造
住所	岡山市中畦1186	電話番号	086-298-2281
URL	http://www.ripro.co.jp/	資本金(万円)	1,500
業種	プラスチック製品製造、中間処理	従業員数(人)	36
項目	廃プラスチックからの再生杭製造		
実施内容	・合繊メーカーなど全国の企業から廃プラスチックを購入し、自社開発した破碎から溶融、加工まで一貫して行う設備を活用し、地籍調査や土木工事に使う測量用の杭などに再生している。		

②③	三水工業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	倉敷市福田町浦田501 - 1	電話番号	086-427-7291
URL	-	資本金(万円)	1,250
業種	木工業	従業員数(人)	57
項目	スラグ(鉾さい)や蛍光灯、ガラスくずをブロックなどに再生		
実施内容	・原料混練機やプレス成形機を導入し、JFEスチール西日本製鉄所倉敷地区の高炉スラグ、蛍光灯のガラスくずを混合してプレス形成、歩道ブロックや護岸ブロックを製造。ブロックは保水・透水性に優れている。		

②④	明石被服興業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	倉敷市児島田の口1-3-44	電話番号	086-477-7701
URL	http://www.akashi-hifuku.jp/	資本金(万円)	4,100
業種	縫製加工業、衣料製造・卸	従業員数(人)	983(全社)
項目	再生PET樹脂から得られる繊維を用いたユニフォーム製造		
実施内容	・男女通学服や企業ユニフォーム分野で、国内で生産された再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維と国内で生産された生地を素材として使用した製品を提案している。 ・製品全体重量比で10%以上の再生PETポリエステルを使用。		

⑳	水島エコワークス㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	倉敷市水島川崎通 1丁目14-5	電話番号	086-447-3255
URL	http://www.eco-works.co.jp/	資本金(万円)	230,000
業種	廃棄物処理・リサイクル	従業員数(人)	4
項目	ガス化溶融設備により、一般・産業廃棄物からスラグ・メタル等を回収しリサイクル、可燃性ガスの取り出し		
実施内容	・水島エコワークス(株)を事業主体とする全国初のPFI方式により、倉敷市の一般廃棄物(可燃ごみ、焼却灰)、下水汚泥および水島コンビナートなどから発生する産業廃棄物を同時に処理するサーモセレクト方式のガス化溶融設備を西日本製鉄所倉敷地区で稼働。 ・この設備は、廃棄物を無公害で処理し、スラグ・メタル・可燃性ガスを回収するなど、廃棄物を全て再資源化できる次世代型の画期的なもので、ごみのエネルギーから生まれた可燃性ガスを発電に利用することでCO2削減を図る。		

㉑	内田工業㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	倉敷市松江3-2-46	電話番号	086-456-5888
URL	http://www.uchida-ind.co.jp/	資本金(万円)	11,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数(人)	60
項目	多種多様な廃油から高品質の燃料油を製造		
実施内容	・ガソリンスタンドのエンジンオイルをはじめ、造船や工場の修理に伴い発生する廃油、重油タンククリーニング時に発生する残油等、多種多様な廃油から、水分、スラッジ、その他の不純物を除去し、高品質の燃料油を製造。 ・硫黄、塩素分などを完全分離する、最新の精製システム。		

㉒	三乗工業㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	総社市井尻野100	電話番号	0866-93-2301
URL	http://www.minori-kogyo.co.jp	資本金(万円)	5,800
業種	自動車部品製造	従業員数(人)	159
項目	異種高分子材料の廃材を多種同時にリサイクルする技術を開発		
実施内容	・自動車フロアマット製造工程で発生する端切れをリサイクル原料として利用する技術を開発。 ・本技術の特徴としては、異種高分子材料の分離が不要、異種高分子材料を多種同時に材料として受入が可能となる。		

㉓	晃立工業㈱	分野	リサイクル原料製造
住所	津山市小田中1335-3	電話番号	0868-22-6105
URL	http://www.koritsu.com/	資本金(万円)	3,000
業種		従業員数(人)	20
項目	高品質の人工砂再生を可能にする乾式製砂装置		
実施内容	・乾式製砂装置SUN(Sand Unit Novel)は、天然砂に限りなく近い品質の人工砂生産を可能にする。また微粉の発生が非常に少なく、振群の生産効率を誇る。なお粉碎・分級・防塵を一体処理でき、分級機を別に用意する必要はなく設備投資も低コスト。さらに乾式であるため汚水の発生もなく、環境への配慮も万全である。		

(4)広島県

②9	マナック株	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	福山市箕沖町92番地	電話番号	084-954-3330
URL	http://www.manac-inc.co.jp/	資本金(万円)	175,750
業種	化学工業	従業員数(人)	179
項目	ヨウ素関連製品の開発, 製造, 販売を行う合弁会社を設立し, ヨウ素をリサイクル		
実施内容	原料ヨウ素の日本有数の製造メーカーであり, ヨウ素の無機化合物を中心に, 開発, 製造, 販売を行っている合同資源産業株式会社と総合商社で世界的な情報網を持っている三井物産株式会社とで, ヨード・ファインケム株式会社(合弁会社)を設立。 共同事業により, 原料のヨウ素から新規ヨウ素化合物の効率的な生産体制, 及びそのヨウ素化合物からのヨウ素回収リサイクルシステムを構築することにより, 競争力のある総合的なヨウ素化合物事業を展開する。		

③0	柿原工業株	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	福山市箕沖町99-13	電話番号	084-953-8100
URL	http://www.kakihara.co.jp/	資本金(万円)	9,000
業種	プラスチック加工, 製品製造	従業員数(人)	204
項目	自動車の内・外装などに使われる「樹脂メッキ部品」のリサイクルシステム開発		
実施内容	自動車の内・外装などに使われる「樹脂メッキ部品」のリサイクルシステムを開発。 粉碎して微粉末にした後, 磁石で金属と樹脂に分離する独自方式のため, 品質劣化が少なく再利用がしやすい。 樹脂メッキ部品は, 金属部品に比べ軽く低コストで導入できるため自動車や情報機器などに利用が拡大している。		

③1	ヤスハラケミカル株	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	府中市高木町1080	電話番号	0847-45-3530
URL	http://www.yschem.co.jp	資本金(万円)	178,956
業種	化学工業	従業員数(人)	270
項目	リモネン方式の発泡スチロールリサイクルシステムの開発		
実施内容	オレンジ油の主成分であるリモネンが発泡スチロールを溶解するという性質を利用して, 使用済み発泡スチロールを1/50の容積に溶解減容した後, 再生プラントで高品質のペレットと再生リモネンに分離精製するリサイクルシステムを開発。 本システムにより, 廃発泡スチロールの収集運搬のコストを大幅に低減し, リモネンは98%殆どロス無く繰り返し利用できるため, 資源の有効利用が計れ, 高品質の再生ポリスチロール製品が得られる等今までにない画期的なシステムである。		

③2	イネオスケミカル株三原製造所	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	三原市円一町1-1-1	電話番号	0848-67-5230
URL	http://www.ineosfluor.com/	資本金(万円)	900,000(全社)
業種	化学工業	従業員数(人)	35(全社)
項目	全国一のフロン破壊施設によるフロン類の回収, リサイクル		
実施内容	全国一のフロン破壊施設と世界初の代替フロンの再生施設により, フロン類(CFC, HCFCなど)を回収・分解するとともに, 副産物はフロン類の原料にリサイクルや有効活用する。 代替フロン(HFC)の分解のほかに, 蒸留・精製した上でリサイクルも実施している。		

③③	(株)ガルバ興業 三原工場	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	三原市沼田西町小原字袖掛73-46	電話番号	0848-86-6411
URL	http://www.galva.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	めっき加工	従業員数(人)	58 (全社)
項目	溶融亜鉛メッキ再処理技術の開発		
実施内容	劣化した亜鉛メッキ製品(ガードレール等)をスクラップ処理する事なく再処理し, リニューアルする技術を開発。 ・プラント稼動時に発生する従来であれば, 産業廃棄物となる亜鉛を含む処理液を, 電気分解することにより, 亜鉛を回収し, ピュアな状態に戻した処理液を再利用する。これにより約3割のコストダウンができる。		

③④	(株)広島リサイクルセンター	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	(第一・第二工場)三原市久井町下津1126	電話番号	(第一・第二工場) 0847-32-5225
URL	http://www.h-recyclecenter.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	清掃業	従業員数(人)	151
項目	廃プラスチックからプラスチック原料(PET樹脂, ペレット等)の製造		
実施内容	広島県久井町下津の工場敷地内に廃プラスチックのリサイクルプラントを建設。 樹脂原料として再利用できるようにする廃プラスチック処理施設としては西日本最大級。 ・日本容器包装リサイクル協会を通じ県内各市のほか, 岩国市などで分別収集される包装容器に使われたプラスチックから金属など異物を取り除き破碎, 洗浄, 粒状にする過程を経て, プラスチック樹脂原料としてメーカーに納入する。		

③⑤	三井金属鉱業(株) 竹原製錬所	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	竹原市塩町1-5-1	電話番号	0846-22-5026
URL	http://www.mitsui-kinzoku.co.jp	資本金(万円)	4,212,900 (全社)
業種	非鉄金属製錬	従業員数(人)	2,776 (全社)
項目	鉛含有廃棄物・金銀含有有価物からの鉛・金・銀等の回収技術の開発		
実施内容	既存の鉛溶鉱炉を用い, 鉛含有廃棄物・金銀含有有価物を炉に供用して処理することで, 効率良く鉛・金・銀等を処理し製品化する。 鉛含有廃棄物の処理: 鉛滓類や鉛含有ガラス屑などの他に, 従来処理が嫌われていた鉛と錫の合金も, 鉛・錫にそれぞれ分離して効率良く回収が可能。 金銀含有有価物の処理: 大型の破碎機を導入して各種電子機器類の工基板を粉碎, アルミ・鉄・銅および基板にそれぞれ分離することが可能であり, アルミ・銅は有価物として回収。		

③⑥	ジー・ピー・ダイキョー(株)	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	東広島市八本松町原175-1	電話番号	082-429-0111
URL	-	資本金(万円)	10,000
業種	自動車部品・用品製造	従業員数(人)	1,066
項目	成型FRP製品の不良品を粉碎処理		
実施内容	射出成形品, FRP成形品のあらゆる表面加飾処理技術を保有しており, 製造したFRP製品のうち不良品として排出されたものを粉碎処理するなど, 廃棄物の適正処理, リサイクルを展開している。		

③⑦	㈱熊野技建	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	安芸郡熊野町9344-1	電話番号	082-854-4344
URL	-	資本金(万円)	3,000
業種	土木建設業, 産廃中間処理業	従業員数(人)	55
項目	球状骨材を素材としたマルチング施工の実施と普及		
実施内容	・中央分離帯を含む緑地帯や庭園, 墓地などに自生する雑草の育成防止を図ることを目的として, 建設副産物を原料とする球状骨材を素材としたマルチング施工の実施・普及を図っている。面倒な除草作業に要する経費削減に貢献。 ・無機系汚泥, コンクリート廃材, 石灰灰などを独自の技術により, 混合し再生粒度調整砕石を製造。 ・その他, 建設副産物を原料とした再生骨材EBを使用し, インターロッキングブロックを製造。		

③⑧	河崎運輸機工(株)	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	広島市南区出島2-12-13	電話番号	082-256-3210
URL	http://kawasaki-group.com/un.html	資本金(万円)	5,000
業種	建設業, 産業廃棄物処理	従業員数(人)	20
項目	廃石膏ボードのリサイクル		
実施内容	・広島市安佐南区の八木工場で廃石膏ボードの中間処理許可を取得。 ・工場用地をコンクリート廃材処理エリアと廃石膏ボードエリアに分け, 設備もハルidakto (インパクトクラッシャー) を改造して利用している。		

③⑨	㈱トダットコム	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	広島市安佐北区深川2-1-1	電話番号	082-841-1077
URL	http://www.todadotcom.jp/index.html	資本金(万円)	3,000
業種	コンピューター周辺装置	従業員数(人)	10
項目	パソコンを中心とするOA機器全般について, 機密データの完全消去, リサイクルを実施		
実施内容	・下取りしたPCをリサイクルセンターに集め, 製品や部品の回収と再生を実施。 ・再生された製品は中古市場へ, 部品は保守部品などとして再利用されるほか, リユースできず廃棄となったPCは素材・原料・還元剤などとしてリサイクルする。 ・また, 有害・危険性物質を含む部品は抜き取り, 無害化・安定化の処理を専門業者に委託している。		

④①	砂原組	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	広島市中区平野町1-16	電話番号	082-243-7421
URL	http://www.sunahara.co.jp/	資本金(万円)	9,600
業種	建設業	従業員数(人)	-
項目	高含水率汚泥を緑化基盤材に再生する高含水比汚泥リサイクルシステムを西日本で初めて導入		
実施内容	・高含水比汚泥リサイクルシステム「ボンテラン工法」を西日本で初めて導入。 ・下水道シールド工事や浚渫など土木工事で発注する高含水地汚泥(含有率85~500%)を解砕した古紙, 水溶性ポリマー, 助剤を添加・混合し処理機にかけることにより軽量で, 保水力, 保肥力, 団粒化に優れた土壤材を生成する。 ・同工法は, 国土交通省所管の建設技術審査証明協議会が汚泥処理で唯一, 「建設業最先端技術」の認証を受けたものである。 ・リサイクル土壤材の用途は, 従来から改良土として使われている盛土, 埋戻し材のほか, 緑化基盤材, 屋上緑化用軽量土壌にも最適である。		

④①	(有)ヒノカワ自動車	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	安芸高田市八千代町上根903	電話番号	0826-52-3271
URL	http://www.j-hjb.com	資本金(万円)	600
業種	自動車整備業	従業員数(人)	12
項目	中古車両等の再生販売及び自動車部品リサイクル事業の展開		
実施内容	中古車両等の再生販売及び自動車部品リサイクル事業を手がける。 事業基盤の強化を図るため、自動車部品等のリサイクルについて試験的に取り組み、自動車リサイクルビジネスへの展開を模索。		

④②	(株)アイメックス	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	尾道市因島土生町2293-1	電話番号	0845-22-1240
URL	http://www.eco-imex.co.jp	資本金(万円)	98,400
業種	機械工業	従業員数(人)	367
項目	一般家庭からの生ごみや廃品類を破碎・選別・発酵し減容化を行うリサイクルシステム		
実施内容	一般廃棄物の破碎・選別装置によるマテリアルリサイクル, 土壌改良材化設備による減容を行う循環型廃棄物処理施設を設置。 人口約2,000人の島で発生する一般廃棄物(生ごみ, 紙屑類, ビン・ガラス類, 金属類など燃えないごみ)を分別収集し, 本設備にて破碎・選別・土壌改良材化を行う。 破碎・選別された生ごみ・木屑・紙屑などを発酵ヤードに運搬し, 切り返し装置により攪拌・発酵を約2ヶ月間行った後に, 回転篩機にかけて, 土壌改良材として島内住民に提供している。 破碎・選別された鉄・アルミなどは, 有価物としてリサイクルする。		

④③	東広商事	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	東広島市西条町御園宇718-21	電話番号	082-422-3901
URL	http://www.tokosyoji.com/index.html	資本金(万円)	1500
業種	産業廃棄物処理・リサイクル	従業員数(人)	35
項目	ばいじん, 燃えがらなど産廃4品目の再資源化システムの構築		
実施内容	鉾さい, ばいじん, 汚泥, 燃えがらを成分分析して混合(ブレンド), 再資源化するものであり, セメント原料としてトクヤマ, 製鋼原料として日新製鋼他に納入している。		

④④	(株)広島企業	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	広島市安佐南区大町西1-24-40	電話番号	082-879-2315
URL	-	資本金(万円)	
業種	産業廃棄物処理・リサイクル	従業員数(人)	
項目	廃プラスチックのペレット原料化工場の新設		
実施内容	宇部市の「宇部テクノパーク」に廃プラスチックリサイクル工場を建設。 本工場では, ビニール袋やプラスチックのトレーなどを破碎後, 選別, 洗浄してプラスチック再生製品の原料となるペレットを生産する。		

④⑤	(株)ISC	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	広島市佐伯区五日市中央4-7-24	電話番号	082-921-0110
URL	http://www.isc110.co.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	一般廃棄物, 産業廃棄物処理	従業員数(人)	75
項目	広島地区で初めての機密書類リサイクルシステム(溶解処理)を立ち上げ		
実施内容	・第2リサイクル工場に破砕機, 溶解装置を設置し, 不要になった書類を安全確実に処理し, 適切な機密抹消のできる廃棄処理システムを構築。 ・機密文書の運搬と保管は密閉式のアルミ製バンボックスで施錠して行い, 機密抹消処理は大型シュレッダーと溶解システムで完全抹消した後, 紙ごみとしてリサイクルされる。溶解で使用した排水は, 外部に排出せず循環して再利用する。		

④⑥	大和技研工業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市山手町1100-14	電話番号	0849-51-0443
URL	http://www.urban.ne.jp/home/dgk/	資本金(万円)	4,500
業種	プラスチック加工, プラスチック素材	従業員数(人)	85
項目	容器包装プラスチックと製鉄所から出るスラグを混ぜ合わせたU字溝を開発		
実施内容	・JFEミネラル, および広島リサイクルセンターと共同して, 容器包装プラスチックと製鉄所から出るスラグを混ぜ合わせたU字溝を開発。 ・鉄鋼生産の副産物である高炉スラグを10μmに粉砕し, 廃プラスチックを粒状にしたペレットを均一に混ぜてU字溝として成型するものであり, 廃プラスチック原料のみで作られた製品に比べ強度が増し, 原料コストが下げられる。 ・水田・果樹園・畑・ハウス・造成地の水路や, プランターなどに利用が可能。		

④⑦	(株)エフピコ	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市曙町1-12-15	電話番号	084-953-1145
URL	http://www.fpc.co.jp	資本金(万円)	1,315,000
業種	プラスチック発泡製品製造	従業員数(人)	627
項目	使用済みトレイからリサイクルされるエコトレイの開発		
実施内容	・1990年から開始した消費者・スーパーマーケット・問屋・エフピコの四者一体となった発泡スチロール製トレイのリサイクルシステム。 ・回収した使用済み発泡スチロール製トレイは, 全国6カ所に展開するリサイクル工場で選別・洗浄・粉砕・乾燥・熔融押出の各工程を経てペレット化され, リサイクルペレットとトレイ生産時に発生するロス原料からなるペレットをブレンドして再びトレイに成形する。		

④⑧	福德産業(株)	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市千田町千田2789-1	電話番号	084-955-0806
URL	http://www.fukutoku.com	資本金(万円)	7,000
業種	手袋製造	従業員数(人)	70
項目	PET再生軍手, 衣料再生軍手の製造		
実施内容	・PETボトルから再生された繊維を使用した軍手, および回収された衣料(主にユニフォーム)を反毛し再生PET60%と混合して紡績した衣料再生軍手を製造。 ・PET再生軍手, 衣料再生軍手ともにエコマークを取得している。		

④9	全国伸鉄工業組合広島支部 エコバー産直販売本部	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市鞆町後地26-91	電話番号	084-970-5520
URL	http://www9.ocn.ne.jp/~ecobar/	資本金(万円)	-
業種	鋼材	従業員数(人)	4社
項目	鉄の端材などを原料にしたフェンスや門扉などの製品化		
実施内容	福山市鞆町の伸鉄業者4社(光陽産業株式会社,株式会社笹田商店,八興伸鉄有限会社,鞆鉄工有限会社)でつくるエコバー産直販売本部は,鉄の端材などを原料にしたフェンスや門扉などを製品化。 鉄鋼製品を製造加工するとき出る端材や廃材を裁断し,加熱,圧延して,平鋼・鉄筋鋼・丸鋼などを作り,この「エコバー」を使ってフェンスや門扉,グレーチング,ベンチ,キャンドル台など約30品目を製作している。		

⑤0	電源開発(株)竹原火力発電所	分野	リサイクル製品製造
住所	竹原市忠海長浜2-1-1	電話番号	0846-27-0211
URL	http://www.jpowers.co.jp/	資本金(万円)	152,449(全社)
業種	電気事業	従業員数(人)	2,174(全社)
項目	火力発電所から出る石炭灰を「カリ肥料」として有効利用		
実施内容	電源開発(株)の子会社,(株)電発コール・テックアンドマリーンは,火力発電所から出る石炭灰を有効利用して肥料を作っている安浦工場と磯子工場を集約し,竹原市の電発竹原火力発電所構内に肥料工場を設置。 電発の火力発電所で発生する石炭灰に水酸化カリウム,水酸化マグネシウムなどを加えて焼成する「けい酸カリ肥料」を年間8万トン程度生産する。		

⑤1	(株)フジタ建材	分野	リサイクル製品製造
住所	広島市佐伯区隅の浜2-1-18	電話番号	082-921-1121
URL	http://www.fujitakenzai.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	コンクリート製品	従業員数(人)	36
項目	廃棄物を利用した遮音・吸音・通気・保水・透水性のあるコンクリート製品の開発		
実施内容	廃棄物を利用して遮音・吸音・通気・保水・透水性のある機能的なコンクリート製品を製造。 比重の高い遮音部と連続空隙のある吸音部との組合せで防音性を追及,ポーラスコンクリートで空洞ブロックを成型し,その空洞部分に廃棄物(自動車部品のスポンジゴム,牡蠣殻の竹炭等)を充填して非常に吸音率の高い壁を簡単に作る事が可能となる。		

⑤2	(株)やしき	分野	リサイクル製品製造
住所	広島市西区商工センター1-4-36	電話番号	082-277-5885
URL	http://www.yxy.co.jp	資本金(万円)	2,370
業種	包装資材卸売業	従業員数(人)	30
項目	自社販売商品である食品トレーなどの廃プラスチックを回収し,再商品化した設備機材や建築資材を販売		
実施内容	自社販売商品であるトレーを回収した廃プラスチックを原料に再生する設備器機(エコベンチボックスや,さらに廃タイヤと合わせ再生する弾性・透水性を備えた舗装材(エコラバー)の販売を実施。 その他,通常は焼却処分されるサトウキビの搾りカスやおからを原料にした製品,回収したペットボトルを原料にした製品,ダイオキシンの発生を抑制するポリ製品の提供も実施している。		

⑤3	㈱エネルギー・エコ・マテリア	分野	リサイクル製品製造
住所	広島市中区国泰寺1-3-32	電話番号	082-523-3510
URL	http://www.energia-eco-materia.co.jp	資本金(万円)	30,000
業種	電力業	従業員数(人)	20
項目	中国電力の石炭火力発電所から発生する石炭灰を活用した製品 (Hビーズ、NAクリート)の製造		
実施内容	・「Hビーズ」は、石炭灰・水・セメント等を混合し地盤改良に使用する海砂の代替材として開発。高いせん断強度と排水機能を有していることから、SCPやSD工事に適用可能な材料であり、富栄養化物質の吸着効果を持っているため水質・底質改善材としても活用可能である。 ・「NAクリート」は石炭灰に少量のセメントと塩水を混ぜて締め固めることでコンクリートと同等の強度を持つ固化体。これに比重の高い金属スラグを混入することで比重を自在に変えられる技術を開発、重量が必要となる消波ブロックなどを低コストで製作できる。		

⑤4	極東工業㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	広島市東区光町2-6-31	電話番号	082-261-1207
URL	http://www.kkn.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	建設業、コンクリート製品製造	従業員数(人)	292
項目	廃船などに使われている繊維強化プラスチック(FRP)を骨材に利用したコンクリートを開発		
実施内容	・廃船やユニットバス等に使われている繊維強化プラスチック (FRP)を破砕し、石や砂などの骨材の一部としたコンクリートを開発。 ・FRP置換率20%の水路、高速道路の遮音板、海に沈める魚礁などを作成している。 ・廃FRPは通常の骨材と同じ取り扱いで良く、性能も通常のコンクリートと同等であり、また強度は一般的に用水路などに使われているブロック(24N程度)より高いという特徴を持つ。		

⑤5	キョクトウ高宮㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	安芸高田市高宮町原田500-10	電話番号	0826-59-0022
URL	http://www.kkn.co.jp/link/takamiya/index.html	資本金(万円)	10,000
業種	コンクリート製品製造	従業員数(人)	20
項目	石炭灰を混入したコンクリート二次製品の開発		
実施内容	・環境調和型の加圧流動床方式石炭火力発電所から発生する石炭灰 (PFBC灰)に着目し、この灰を混入したコンクリート製品の実用化に向けて、多方面の協力を仰ぎその製造技術を確立。 ・この技術により、通常のコンクリートと同等の強度・良好なワーカビリティを確保し、良質な製品供給が可能となる。		

⑤6	㈱エコログ・リサイクリング・ジャパン	分野	リサイクル製品製造
住所	福山市草戸町3-12-5	電話番号	084-924-8509
URL	http://www.ecolog.co.jp(準備中)	資本金(万円)	24,000
業種	再生資源リサイクル	従業員数(人)	4
項目	ポリエステルと天然繊維との混合繊維製品のリサイクル技術の開発		
実施内容	・バイオテクノロジーと新技術を用いた繊維製品リサイクル技術。 ・繊維製品の生産過程で生じる余剰資材や着用、使用後不要となった繊維製品を回収し、独自のノウハウを用いてボタン、ファスナー、詰め綿、芯地等に製造する回収・循環型リサイクルシステム。 ・また、リサイクルがより容易に行えるリサイクル対応の繊維製品「エコログ衣料品」等の開発を行っている。		

⑤7	㈱エコノインダストリー	分野	リサイクル原料製造
住所	呉市安浦町安登3350-1	電話番号	0823-85-0056
URL	-	資本金(万円)	1,000
業種	廃棄物再利用製品製造	従業員数(人)	10
項目	エネルギーの枯渇問題、廃棄物の再利用に対応する研究開発		
実施内容	・プロトタイプの水素発生装置、混在する廃プラの油化還元装置の開発を行う。廃プラスチックからオイルを取り出す油化装置の性能向上、油の品質向上を目指す。実験装置は、天然鉱物の自然放射線と触媒の作用で、処理温度が極めて低い画期的なもの。		

⑤8	カムテックス㈱	分野	リサイクル原料製造
住所	福山市箕沖町107-5	電話番号	084-954-6700
URL	http://www.kamtecs.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	産業廃棄物の中間処理事業	従業員数(人)	80
項目	総合廃棄物の処理及びリサイクル		
実施内容	・30年にわたる産業廃棄物処理の実績を基に、ダイオキシン規制の強化に対応した大型焼却施設を完成。さらに、引火性のある小缶類・ドラム缶、スプレー缶及び悪臭物を窒素封入された装置内に完全に破砕処理できる国内初のドラム破砕施設も併せて導入し、環境保全に配慮し、より安全で且つ適正な廃棄物処理を行っている。 ・大型焼却施設では、焼却熱を高効率で回収してサーマルリサイクルを行い、さらに焼却後の燃え殻は、溶融によるマテリアルリサイクルを行う。		

(5)山口県

⑤9	山口エコテック㈱	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	周南市晴海町7-46	電話番号	0834-21-2200
URL	http://www.y-eco.co.jp	資本金(万円)	9,000
業種	化学工業	従業員数(人)	13
項目	セメント工場と一体でごみ焼却施設から排出される焼却灰をセメント原料化		
実施内容	・県内のごみ焼却施設から排出される焼却灰を、セメント工場の受け入れ基準に適合するように前処理して、再資源化する。前処理された焼却灰は、セメント工場に送られ、汎用性の高い「普通ポルトランドセメント」を製造する原料となる。 ・ごみ焼却灰のセメント原料化工程に、全国で初めて脱ダイオキシン処理＋水洗脱塩素処理を採用した。 ・脱水ケーキは、全量セメントキルンに投入し1,400℃以上の高温で処理するので、安定的で無害なリサイクルシステムである。		

⑥0	帝人ファイバー(㈱徳山事業所)	分野	リサイクル原料製造、適正処理
住所	周南市由加町1-1	電話番号	0834-25-4555
URL	http://www.teijinfiber.com	資本金(万円)	1,200,000 (全社)
業種	化学繊維製造	従業員数(人)	895 (全社)
項目	使用済みPETボトルを再びPETボトル用樹脂として再生 (ボトル to ボトル)		
実施内容	【ボトルtoボトル】 ・使用済みPETボトルからポリエステル原料(DMT:テレフタル酸ジメチルおよびEG:エチレングリコール)を回収し、PETボトル用樹脂の原料として最適なTPA(高純度テレフタル酸)に変換。その後EG(エチレングリコール)と反応させてPETボトル用樹脂を生産する。		

⑥1	出光興産(株)徳山工場	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	周南市新宮町1-1	電話番号	0834-21-1100
URL	http://www.idemitsu.co.jp/tokuyama/	資本金(万円)	10,860,000 (全社)
業種	化学工業	従業員数(人)	252
項目	ガソリンなどの製造過程で発生する副生成物の「C4留分」を原料に、ガソリンや溶剤などを精製		
実施内容	国内では初めて、ガソリンなどの製造過程で発生する副生成物の「C4留分」を原料に、ガソリンや溶剤などを精製する実証試験を実施。 新システム「C4留分原料マルチ生産システム研究用装置」では、これまで困難とされていたC4からブテンを抽出し、これをイオウ分の少ないガソリンや灯油、発ガン性が指摘される芳香族を軽減した溶剤など、環境負荷の少ない製品に生まれ変わらせ、ブタンその他の成分も有効活用する。		

⑥2	(株)トクヤマ徳山製造所	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	周南市御影町1-1	電話番号	0834-31-7760
URL	http://www.tokuyama.co.jp	資本金(万円)	2,997,500 (全社)
業種	化学工業, セメント製造	従業員数(人)	2,067 (全社)
項目	セメントキルンにより様々な廃棄物をセメント原燃料としてリサイクル		
実施内容	・可燃性, 不燃性問わず様々な廃棄物をセメント原燃料としてリサイクル(可燃成分は燃料代替, 不燃成分は原料代替)。 ・キルンの燃焼温度は高く, 可燃成分が完全に分解し, 最新鋭の公害防止機器により環境への十分な配慮を行っている。 ・また、キルンの生産能力が大きく, 年中無休で稼働しているため, 大量かつ安定的な受入れ・リサイクルが可能となる。		

⑥3	日立建設(株)	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	宇部市大字妻崎開作720	電話番号	0836-41-5111
URL	http://www.hitachi-kensetsu.co.jp	資本金(万円)	3,600
業種	建設業	従業員数(人)	125
項目	一般家庭等から排出される廃ビンから樹脂舗装・コンクリート2次製品等の細骨材を製造		
実施内容	一般家庭等から排出される廃ビンを「乾式ガラスリサイクル破碎装置」により、ビーズ製品に製造し、樹脂舗装(クリスタルストーン舗装)、アスファルト合材及びコンクリート2次製品の細骨材として自社使用すると共に、販売を実施。 ・ビーズ製品の品質向上を図る為、色選別装置及び焼成装置を開発・導入し、付加価値の高い製品を製造している。他にも、「山口県認定リサイクル製品」として10商品が認定を受けている。		

⑥4	(株)宇部スチール	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	宇部市大字小串字沖の山1978-19	電話番号	0836-35-1300
URL	http://www.ube-ind.co.jp/ubs/	資本金(万円)	100,000
業種	製鋼・製鉄業	従業員数(人)	200
項目	電気炉から出る酸化スラグの利用分野の開拓		
実施内容	・電気炉から出る酸化スラグをコンクリート用骨材等へ利用推進させる。 ・所持している取鍋精錬炉(LF)により製造工程を分離することができるため、電気炉から酸化スラグを取出すことが可能であり、電気炉酸化スラグの用途を開拓している。また、酸化スラグを用いた製品が「山口県認定リサイクル製品」の認定を取得している。		

⑥5	㈱イーユーピー	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	宇部市大字藤曲字昭和開作2575-6	電話番号	0836-36-0620
URL	-	資本金(万円)	49,000
業種	化学工業	従業員数(人)	24
項目	多種多様な廃プラスチックを工業用原料ガスとして利用できる加圧二段ガス化システム【EUP】の開発		
実施内容	・廃プラのケミカルリサイクルとして国内初の本格的な技術を持つ。 塩ビを事前分離することなく、破碎・成形のみの簡易な前処理を施した後、二段ガス化プロセスにより熱分解・部分酸化を行い、水素や一酸化炭素ガスを主体とする工業用原料ガスを製造する。 製品ガスは、隣接する(有)宇部アンモニア工業にてアンモニアの原料等として利用され、将来的には、DME、燃料電池、複合発電用燃料としても利用が考えられる。		

⑥6	共英リサイクル㈱	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	山陽小野田市小野田字港6289-159	電話番号	0836-81-5388
URL	http://www.kyoei-recycle.com/	資本金(万円)	49,500
業種	産業廃棄物処理	従業員数(人)	30
項目	廃自動車、および繊維強化プラスチック (FRP)船のリサイクル事業		
実施内容	・使用済みの自動車の再生処理工場を共英製鋼山口事業所近くの工業団地に建設し、繊維強化プラスチック (FRP)船のリサイクル事業を開始。 ・漁船やプレジャーボートをクレーンで直接投入し、風力や磁力で金属やプラスチックなどを選別。鉄は電炉で再生し、非鉄は外部に販売。残りはガス化と溶融炉で一酸化炭素ガスなどの燃料に変え、固形物の溶融スラグは路盤材などとして販売している。		

⑥7	共英製鋼㈱山口事業所	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	山陽小野田市大字小野田6289-18	電話番号	0836-83-6171
URL	http://www.kyoeisteel.co.jp/	資本金(万円)	1,851,600 (全社)
業種	鉄鋼工業	従業員数(人)	675 (全社)
項目	感染性医療廃棄物の溶融固化による無害化, 再生処理		
実施内容	・使用済みの医療機器、血のついた脱脂綿やガーゼなどを入れた密閉型の缶を、2000度になる電気炉に缶を丸ごと投入し溶融固化。 ・感染や薬液のリスクは完全に封じ込めることができ、鉄の部分は鉄として再生し、ガラス類はスラグとして路盤材にリサイクルできる効率的な処理システム。		

⑥8	宇部興産㈱	分野	リサイクル原料製造, 適正処理
住所	宇部市大字小串1978-2	電話番号	0836-31-2111
URL	http://www.ube.co.jp	資本金(万円)	5,830,000
業種	化学工業	従業員数(人)	2,913
項目	セメント製造プラントを利用した各種廃棄物をセメント原燃料に代替する廃棄物のセメント再資源化。		
実施内容	・セメント製造プラントを利用した、各種廃棄物をセメント原燃料に代替する廃棄物のセメント再資源化事業を実施。 ・1,500 の高温で廃棄物を焼却するため、通常の焼却炉で対応出来ない物質を焼却・破壊し、灰はそのままセメントにする。		

⑥9	日本スレート㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	周南市相生町2-12	電話番号	0834-32-4608
URL	http://www.g-shield.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	コンクリート製品製造業	従業員数(人)	30
項目	省エネルギーパネルの開発 パネル廃材を再利用した商品の開発、販売		
実施内容	・コンクリートの二次製品として、住宅用P C板を製造。 ・GRC外断熱パネルの開発・製造(デザイン性のあるフェンス、景観商品：Gステップ(敷石)、リサイクル遮音パネル(GSエコパネル))。		

⑦0	㈱サンポリ	分野	リサイクル製品製造
住所	防府市新築地町6-1	電話番号	0835-23-6020
URL	http://www.eco-sunpoly.co.jp/html/	資本金(万円)	3,000
業種	化学製品製造、プラスチック加工	従業員数(人)	73
項目	廃プラスチックを用いたプラスチック製標識杭の製造		
実施内容	廃プラスチックを利用し、地籍調査用杭や測量用・境界用杭など、幅広い用途に用いられているプラスチック製標識杭を製造。 特徴としては、軽量で耐食性があり、曲がりにくい、折れにくい、抜けにくいといった耐久性もある。		

⑦1	小田建設㈱	分野	リサイクル製品製造
住所	阿武郡阿武町大字奈古2856-5	電話番号	08388-2-2520
URL	http://www.y-shoko.com/ask/oda/index.html	資本金(万円)	2,535
業種	建設業	従業員数(人)	72
項目	石炭灰を利用したセラミックスの建設用ボード等の開発		
実施内容	火力発電所等で大量に排出される石炭灰を主原料としたセラミックボード等の製造・販売及び研究開発を実施。 ・セラミックボードの特徴としては、全域にわたり高い吸音率特性に富み、特に低周波域で高い吸音特性が得られる。 ・また、断熱性・耐火性・耐久性に優れた材料であるので、屋内外等での騒音対策にエコロジカルな高機能建材として利用できる。		

⑦2	㈱デコス	分野	リサイクル製品製造
住所	下関市熊野西町6-13	電話番号	0832-55-2020
URL	http://www.decos.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	断熱材製造販売業	従業員数(人)	22
項目	新聞紙を綿状に加工しリサイクルした、木質繊維断熱材「デコスドライ工法」の製造販売		
実施内容	新聞紙を加工してパラフィンとホウ酸・ホウシャを混ぜたセルロースファイバーを溶解させて防燃・撥水性加工したものを、専用の機械でブローイングし壁内に隙間無く断熱する「デコスドライ工法」を開発。 ・セルロースファイバーは、天然素材で、撥水製に富み、火事に強く、なおかつ新聞紙のリサイクルで環境にやさしい」という、まさに時代に適合した理想の断熱材である。		

6 - 2 . 環境関連企業（バイオマスリサイクル分野）

6-2.環境関連企業（バイオマスリサイクル分野）

(1)鳥取県

①	(有)赤碕清掃	分野	木質バイオマス（サーマル利用）
住所	東伯郡琴浦町赤碕1986-2	電話番号	0858-49-2033
URL	-	資本金(万円)	1,000
業種	廃棄物処理業	従業員数(人)	
項目	木質系の副産物等を原料とした固形燃料		
実施内容	鳥取県の木材を使用した環境にやさしい木質ペレットを生産し、ペレットストーブ・ボイラーの燃料として利用している。科学物質をいっさい使用せず、灯油と比較しても大差が無い、再生可能なエネルギーである。		

②	王子製紙(株)米子工場	分野	木質バイオマス（マテリアル利用）
住所	米子市吉岡373	電話番号	0859-27-3112
URL	http://www.ojipaper.co.jp/	資本金(万円)	10,388,000（全社）
業種	製紙業	従業員数(人)	4,617（全社）
項目	割り箸を回収し製紙原料として利用		
実施内容	これまでゴミ(廃棄物)として扱われていた使用済みの割り箸を紙(資源)に生まれ変わらせ、ゴミの減量化を図る。 集めた割り箸の半分以上が紙に、紙にならない残りの木質は発電用ボイラーの燃料(エネルギー)になる。 割り箸10 kg(2,500人分・5,000本)でティッシュペーパー15箱分に相当する再生紙が製造できる。		

③	甲陽ケミカル(株)境港工場	分野	食品・畜産廃棄物利用（マテリアル利用）
住所	境港市竹内団地217	電話番号	0859-45-3086
URL	http://www.koyo-chemical.co.jp/	資本金(万円)	8,088（全社）
業種	水産加工業	従業員数(人)	41（全社）
項目	ベニズワイガニ殻からキチン、キトサン、グルコサミンを製造		
実施内容	水産加工場で身と分離された新鮮なベニズワイガニの殻を原料に、化学処理することによりキチン、キトサン、グルコサミンを製造。 ・食品分野をはじめ医療（人工皮膚）、繊維（抗菌セカイ）、工業材料（無電解メッキ）、農業資材（土壌改良剤）、水処理剤（凝集剤）などさまざまな分野で利用されている。		

④	(有)山陰エコシステム	分野	食品・畜産廃棄物利用（マテリアル利用）
住所	境港市中海干拓団地456	電話番号	0859-47-5700
URL	-	資本金(万円)	3,000
業種	再生資源リサイクル	従業員数(人)	
項目	食品関連業者から排出される食品加工くず（生ごみ）を堆肥化		
実施内容	小売店の売れ残りや外食店の調理くず、食べ残しなどを混ぜて発酵、堆肥を製造する「食品循環資源堆肥化施設」を設置。リサイクル業者として「登録再生利用事業者」に登録認証されている。 ・ここで食品残さは有機質たい肥となり隣接する有限会社岡野農場に販売される。同農場はたい肥を投入して土づくりを行い、できるだけ農薬や化学肥料を使用しない野菜栽培をするエコファーマの認定を受ける等の環境保全型農業に取り組んでいる。		

(2)島根県

⑤	出雲土建(株),出雲カーボン(有)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	出雲市神門町1455-2	電話番号	0853-24-8808
URL	http://www.sumi8.jp	資本金(万円)	1,800
業種	建設業,建築工事	従業員数(人)	7
項目	廃木再生の天井裏除湿炭,床下調湿炭「炭八」の開発		
実施内容	・廃木材をリサイクルした木造住宅等の床下調湿木炭「炭八」を製造。 ・床下調湿木炭「炭八」を敷設することにより床下の湿度を下げ,木材の含水率を約5%低下させるので,カビ・ダニ・シロアリ・ゴキブリ等の住みにくい環境を提供する。これで木造住宅の延命化が図れるため,循環型社会の構築にも貢献できる。 ・この木炭の品質内容は島根大学,森林総合研究所等との共同研究により開発されており,一定の品質・大量生産で従来品よりも低価格を実現している。		

⑥	浜田共同水産加工業協同組合	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	浜田市原井町3050-1	電話番号	0855-23-5322
URL	-	資本金(万円)	-
業種	水産加工業	従業員数(人)	-
項目	魚のアラを収集して,肥料,飼料を製造		
実施内容	・魚のあら(骨,頭,内臓など)を収集し,ミール(飼料,肥料原料など),および魚油を生産。 ・生産物は飼料・肥料業者,マーガリン製造業者等へ提供している。		

⑦	有寺本建設	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	邑智郡邑南町原村561-1	電話番号	0855-83-2300
URL	-	資本金(万円)	2,000
業種	産業廃棄物処理,土木工事	従業員数(人)	32
項目	廃食用油からバイオディーゼル燃料製造		
実施内容	・メチルエステル精製機により廃食用油からメチルエステル燃料を製造し,同社の工事車両に使用。 ・廃食用油から軽油代替燃料を精製利用することで,再生可能エネルギーによる環境への負荷の軽減を図る。		

⑧	宍道湖東部浄化センター	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	松江市竹矢町1444	電話番号	0852-37-0216
URL	http://www.pref.shimane.jp/section/ryuiki_gesuidou/tobu_j/index	資本金(万円)	
業種	浄化センター	従業員数(人)	
項目	下水污泥のメタン発酵による燃料利用		
実施内容	・下水污泥の堆肥化,脱水污泥のセメント原料利用のほか,湿式メタン発酵により消化ガスを生成し,浄化センター内施設の燃料として利用している。 ・濃縮された污泥を密閉された消化タンクに投入し,ボイラーで約37度の温度に保ち,タンク内の嫌気微生物の働きによって污泥の有機物がメタンガス,二酸化炭素,水に分解し,消化ガスが発生させる。消化タンクで発生した消化ガスを脱硫して貯留し,メタンが主成分の消化ガスはボイラーの燃料や,消化タンクの加温に使用されるほか,浄化センター内の各種燃料等としても使用している。		

(3)岡山県

⑨	西日本ダイケンプロダクツ(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	岡山市海岸通り2-5-8	電話番号	086-262-1137
URL	http://www.daiken.jp	資本金(万円)	6,000
業種	土木建築材料製造、販売	従業員数(人)	500
項目	火山灰、スラグを利用したパネル「ダイライト」の開発 廃木材を有効利用した木質ファイバーボードの開発		
実施内容	・ダイライトは、世界で初めて開発に成功した画期的な新素材であり、火山灰やスラグ(製鉄の廃材)など未利用資源と高度なエンジニアリング技術が融合した地球環境に優しい無機質エンジニアリングパネルである。 ・木質ファイバーボードは、廃木材(家屋解体材、製材屑、間伐材など)を有効利用した木質ファイバーボードであり、軽量、廃棄処理が容易で環境にやさしいなどのメリットがある。		

⑩	株ビーエムディー	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	岡山市弓之町2-20	電話番号	086-227-3181
URL	http://bmd.co.jp	資本金(万円)	5,000
業種	製造・小売業	従業員数(人)	27
項目	ヒノキ廃材を利用したペットのトイレの敷砂「ひの木の猫砂」の開発		
実施内容	純粋なヒノキの廃材を主原料に商品化された地球にやさしいペット用トイレの敷砂「ひの木の猫砂」を開発。優れた消臭作用があり、燃やせるので手軽に処分できる。		

⑪	大善(株)	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	岡山市撫川1513	電話番号	086-293-5111
URL	http://www.daizen.ne.jp	資本金(万円)	9,000
業種	段ボールパッキングケース製造業	従業員数(人)	140
項目	木製梱包材に替わる紙製梱包材「エコボード」の生産		
実施内容	・エコロジーが叫ばれ、環境保全が重視されるようになった今、古紙を再生してつくられる低コスト・軽量の輸送・保管容器として段ボールが注目を集めている。こうした需要に応えるために、地球資源の有効利用をはかりながら紙製のハニカムボード「エコボード」を、従来とは異なる独自の技術で製造し、製品の高品質化、強度UPを図った。 ・軽くてしかも大変丈夫であり、紙製なので簡単にリサイクルできるのが特徴である。		

⑫	有ランドスケープタマキ	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	津山市上紺屋町6	電話番号	0868-31-9110
URL	http://www.geocities.jp/landscapetamaki/	資本金(万円)	300
業種	造園業、造園設計	従業員数(人)	5
項目	廃木質を発泡化させ壁材等の建築資材にリサイクル		
実施内容	・発泡建築資材(カレキチ)は植物性資源である木くずや木チップ、剪定枝などを特殊プラントによって液化し、これに発泡硬化剤を加えて高分子化した成形物。発泡原理は植物液化物に含まれる水分と発泡硬化剤が反応し、炭酸ガスを発生させ膨張と硬化が行われる。こうして得られた発泡体は、特性上断熱や保温、防湿効果があり、発泡体であるにも関わらず木の組成を有し、なお且つ有害物質を発生させないことから人体にとってもまた環境にとってもやさしい資材である。		

⑬	㈱第二産業	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	津山市津山口231-3	電話番号	0868-23-3166
URL	http://www.a-do.ne.jp/daini/	資本金(万円)	2,000
業種	建設業, 建築工事	従業員数(人)	18
項目	すぎ・ひのきの樹皮を粉碎加工したE-ソイルを使用した運動場の回収		
実施内容	・すぎ・ひのきの樹皮を粉碎加工した「E-ソイル」(特許申請中)を利用して園庭の改修工事を実施。 ・E-ソイルは、楡皮葺きの屋根が腐りにくいことから発想された商品で、すぎ・ひのきの樹皮の粉碎の仕方を変えることで、グラウンドの改良のみでなく、屋上緑化や法面吹きつけなどにも利用でき、木材市場や製材工場から出る産業廃棄物の減少にも一役買っている。		

⑭	ランデス㈱	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	真庭市開田630-1	電話番号	0867-52-1141
URL	http://www.landes.co.jp/	資本金(万円)	9,000
業種	コンクリート製品製造	従業員数(人)	409
項目	リサイクル材 (木片等) を原料にしたエココンクリート製品の開発		
実施内容	・コンクリートと木材の組み合わせで新たな「木片コンクリート」製品の開発を行うなど積極的に取り組んでいる。 ・コンクリートの原料である骨材に製鉄所から排出される「高炉スラグ」、ごみ処理施設から排出される「一般廃棄物溶融スラグ」等を原料にした製品の普及にも積極的に取り組んでいる。		

⑮	㈱日本リサイクルマネジメント倉敷事業所	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	倉敷市水島川崎通1-14-1	電話番号	086-447-4892
URL	-	資本金(万円)	10,000(全社)
業種	一般機械器具製造業	従業員数(人)	60 (全社)
項目	内燃式高温連続炭化炉を用いた高品位炭製造技術		
実施内容	・開発した「内燃式高温連続炭化炉」は4ゾーンに分かれ、各反応段階ごとに送風ファンを設けているため、最適炭化条件確保のための空気量の調節や温度管理ができ、自動燃焼制御による炭化温度管理も可能となった。 ・さらに、高温炭化を可能とする内燃式と炉体の耐熱・耐火構造の採用も同時にでき、これにより800℃以上の高温により高品位で均質な炭化物を連続して製造することができる。		

⑯	真庭バイオエネルギー㈱	分野	木質バイオマス (サーマル利用)
住所	真庭市木目字大内原1-5	電話番号	0867-44-2693
URL	http://m-b-e.co.jp/index.htm	資本金(万円)	1,000
業種	木質バイオマス製品の販売	従業員数(人)	-
項目	ヒノキや杉を原料にしたペレットの製造・販売		
実施内容	・ヒノキや杉を原料にしたペレットの販売を実施。生産は有ラックに委託している。 ・真庭地域の製材所から集めたヒノキや杉のおがずに、植物を原料とする接着剤を加えてペレット化し、主に公共入浴施設やプールのボイラー燃料用として自治体に売り込む。		

⑬	三井造船㈱	分野	木質バイオマス (サーマル利用)
住所	(中国支社) 広島市中区大手町2-7-10	電話番号	082-248-0311
URL	http://www.mes.co.jp/	資本金(万円)	4,438,495 (全社)
業種	造船業	従業員数(人)	3,699 (全社)
項目	木くずなどを発酵、蒸留してエタノールを製造する実証プラント		
実施内容	・製材業者から出る木くずなどを2～3cmに砕きプラントに投入。発酵、蒸留させて99.5%以上の純度エタノールを製造する木質系バイオエタノールの実証プラントを設置。 ・実証実験では2t/日の原料から250kgの無水エタノールを生産し、実用化に向け製造コストの引き下げ方法を探る。生産したエタノールは、岡山県が公用車の燃料に混ぜて使用、品質を確認する。		

⑭	銘建工業㈱	分野	木質バイオマス (サーマル利用)
住所	真庭市勝山1209	電話番号	0867-44-2693
URL	http://www.meikenkogyo.com/	資本金(万円)	3,780
業種	製材業、木材商、木工業	従業員数(人)	240
項目	自社で発生する製材廃材から木質ペレット燃料の生産		
実施内容	・大量発生のプレーナーチップを使い切る為に、おが屑やかんな屑などの製材廃材や林地残材、古紙といった木質系の副産物、廃棄物を粉碎、圧縮し、成型した木質ペレットを製造。 ・木材の成分であるリグニンを熱で融解し固着させることで成形するので、バインダー (接合剤) の添加は一切必要ない。地域内外へ木質ペレット燃料を安定供給する体制とし、木質ペレット燃料認知普及活動を展開中である。		

⑰	海洋建設㈱	分野	食品・畜産廃棄物利用 (マテリアル利用)
住所	倉敷市児島駅前1-75	電話番号	086-473-5508
URL	http://www.kaiyoh.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	海事工事	従業員数(人)	17
項目	貝類養殖で発生する貝殻を有効利用した人工漁礁「シェルナース」の開発		
実施内容	・カキやホタテ、真珠等の貝類養殖で発生する貝殻を有効利用した人工漁礁「シェルナース」を開発。 ・バイオマスである貝殻を有効利用しており、循環型社会の形成に貢献するとともに、魚介類に対する餌料供給効果に非常に優れ、豊かな海づくりに貢献している。		

⑳	㈱内海清掃 (倉敷市)	分野	食品・畜産廃棄物利用 (マテリアル利用)
住所	倉敷市児島上の町1-9-67	電話番号	086-472-1828
URL	http://www.kct.ne.jp/ naikai/	資本金(万円)	1000
業種	産業廃棄物処理	従業員数(人)	41
項目	有機性残渣高速処理機による飼料・肥料化		
実施内容	【登録再生事業者】 ・生ゴミ・食品廃棄物等を有機性残渣高速処理機「スピーディ・トラッシャー」により短時間で発酵分解させ無機残渣 (難分解の有機物を含む) にして乾燥することで減容・減量し、飼料や肥料にリサイクルする。 ・発酵に伴う臭いはオゾン分解式の脱臭装置で脱臭を行うので悪臭も発生しない。		

②①	有藤野テクノロジー	分野	食品・畜産廃棄物利用 (マテリアル利用)
住所	新見市足見1444	電話番号	0867-74-2657
URL	http://www.fujinotechnology.co.jp/	資本金(万円)	500
業種	飲料, たばこ, 飼料製造業	従業員数(人)	8
項目	雑草抑制効果がある土壌改良有機肥料 (マルチング材) の製造		
実施内容	・本製品を1cm以上の厚みでマルチングする事により雑草を防ぎ, 使用後は敷込みと堆肥として土作りになる。 ・収穫後そのまま土に混ぜ込むだけで, 土作りが出来る。 ・材料は有害な農薬などは使っていないため, 人畜に害がなく, 自然環境にやさしい。		

②②	有西日本テクノ	分野	食品・畜産廃棄物利用 (サーマル利用)
住所	和気郡和気町大中山1325-11	電話番号	0869-93-1414
URL	http://www.wj-techno.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	プラント設計	従業員数(人)	20
項目	食用油に水を混ぜてディーゼル燃料を精製するシステムの開発		
実施内容	・特殊な改質装置でてんぷら油の分子を細分化し, これに水を混ぜディーゼルエンジンのシリンダー内に送り, 高温で水が瞬間的に蒸発すると同時に粒子状の油を放出, 燃焼させるシステム。 ・精製時にアルコールの使用が不要なため, 既存のバイオディーゼル燃料に比べ精製コストを従来手法の4分の1程度に抑制することができる。また硫黄酸化物が発生しないほか, 排ガス中の窒素酸化物も少なく済む。		

②③	株総社技術コンサルタント	分野	食品・畜産廃棄物利用 (サーマル利用)
住所	総社市中央4-22-109	電話番号	0866-93-0493
URL	http://www.s-t-c.jp/	資本金(万円)	1,300
業種	地質調査, 測量	従業員数(人)	9
項目	家庭・事業所から排出される廃食油を回収し, バイオディーゼル燃料を精製		
実施内容	・廃食油を家庭・飲食店など事業所から有償で回収し, 1日に130リットル程度のBDFを精製。 ・廃食油100リットルから約90リットルの燃料が精製でき, 1リットル90円で販売, また総社市の公用車などに燃料として供給している。 ・陸運局で車検証の記載変更をすれば一般のディーゼル車に利用できる。		

(4)広島県

②④	王子製紙(株)呉工場	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	呉市広末広2-1-1	電話番号	0823-74-2211
URL	http://www.ojipaper.co.jp/	資本金(万円)	10,388,000 (全社)
業種	製紙業	従業員数(人)	4,619 (全社)
項目	廃木材チップを製紙原料として利用, 黒液の燃料化 割り箸を回収し製紙原料として利用		
実施内容	・製材残さや建設廃材などのリサイクルチップを受入れ, 製紙原料として利用。 ・繊維質と黒液に分け, 繊維は紙に利用するほか, 黒液を化石燃料に替わる燃料として有効活用している。また, 製品製造工程で出る蒸気も回収。 ・従来であれば捨てられていた使用済みの割り箸を外部から回収し, 製紙原料として利用している。		

⑳	広島ガステクノ(株)	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	安芸郡海田町明神町2-118	電話番号	082-822-0180
URL	http://www.hgt.co.jp	資本金(万円)	4,000
業種	プラント設計	従業員数(人)	18
項目	乾留炭化設備で有機性廃棄物をリサイクル・有効活用		
実施内容	無酸素 (間接加熱) の状態で高温乾留 (600度以上) する24時間連続式の乾留炭化設備であり、石炭をコークス炉で乾留し、乾留ガス (都市ガス) と炭化品 (コークス) を製造・販売してきた都市ガス事業の技術・ノウハウが集約。納入済み設備において、炭化品が第三者に鉄鋼保温材や土壌改良材などの用途として販売されている。水分を含んだ発熱量の低いものから、高発熱量の物まで様々な処理物に対応する。		

㉑	サンヨー緑化産業(株)	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	広島市安佐南区大塚西6-5-10	電話番号	082-849-1000
URL	http://www.sanyoryokuka.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	造園業、土木工事	従業員数(人)	24
項目	建設工事現場で発生した伐採木、伐根材、枝葉等をのり面緑化材料としてリサイクル		
実施内容	リサイクル工法は、ダム・道路・土地開発等の建設工事で発生する膨大な伐採木及び伐根材等を破碎・チップ化し、緑化工の植生基盤材やマルチング資材として、各現場条件にあわせて活用する。地球環境の保全や省エネルギー・省資源化に向けた廃棄物ゼロの工法である。		

㉒	㈱カンサイ	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	広島市佐伯区五日市町石内460	電話番号	082-941-1641
URL	http://www.ekansai.co.jp	資本金(万円)	1,840
業種	産業廃棄物処理、環境技術事業	従業員数(人)	57
項目	未利用有機資源の炭化技術の開発 炭化物を用いた植物活性材「ガード」の開発		
実施内容	従来の炭化装置と比較して容積効率や熱効率が良く、製品の炭素率が非常に高い炭化装置を開発。未利用有機資源 (刈芝、剪定枝等) を炭化物に製造し、更にその炭化物に土壌病害を抑制する機能性物質及び抗菌微生物を吸着させた植物活性材「ガード」を製造。		

㉓	㈱セリオコーポレーション	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	広島市中区東白島町20-3	電話番号	082-511-4141
URL	http://www.serio-corp.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	不動産取引、分譲マンション	従業員数(人)	20
項目	木くずとプラスチックとの混合によるウッドデッキの開発		
実施内容	木材加工の際に排出される木くずの再利用を検討する中で、他所でも排出される木片などと合わせてチップに粉碎、これをプラスチックと混合し加工することで新商品のウッドデッキ「エコリーオD.D」シリーズを開発。天然木ベースのウッドデッキはコーティングが剥がれた後では質感や耐久性に限界があり、またプラスチックの代わりにセラミックを使用した場合は重い上に割れ易く加工が難しいなどの課題が背景にあり、開発に至った。		

②9	笠原産業㈱	分野	木質バイオマス(サーマル利用)
住所	庄原市中本町2-11-25	電話番号	0824-72-1155
URL	-	資本金(万円)	-
業種	木材製品製造	従業員数(人)	-
項目	ペレタイザーによる林地残材、製材残材のペレット化		
実施内容	・NPO森のバイオマス研究会の活動の一環として、ペレタイザーを設置し、林地残材、製材端材やおがくず等を利用してペレットを製造 ・庄原市近辺に設置している約10台のペレットストーブの燃料として利用されている。		

③0	㈱やまみ	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	三原市沼田西町小原字袖掛73-5	電話番号	0848-86-3788
URL	http://www.yamami.co.jp	資本金(万円)	2,700
業種	食品製造業	従業員数(人)	118
項目	豆腐工場から出るおからの再生利用		
実施内容	・国内最大級のおから処理設備(20㏩/日)により、豆腐の製造工程で出るおからを、ペット用ビスケットやトイレ砂の原料として再資源化し、販売。 ・熱風と遠心分離機で水分率を70%からクッキーと同じ程度の10%まで乾燥させ粉末にし、食物繊維の豊富なペット用ビスケットや、可燃ごみとして処理できるトイレ砂の原料として、メーカーと商品化を図った。 ・豆腐製造工場より発生する製品ロス・余剰汚泥等をメタン発酵させバイオマス燃料(メタンガス)を製造し、汚泥乾燥の燃料とする設備の導入を、平成20年3月より試運転の計画中。		

③1	久米産業㈱	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	東広島市河内町入野2130-4(入野工場)	電話番号	0824-37-1980
URL	http://www.eco-kume.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	肥料製造	従業員数(人)	21
項目	木くず、食品廃棄物等を用いて抗菌機能を付加したコンポストを開発		
実施内容	・広島大学との共同により、木くず、食品廃棄物を用いて抗菌作用を付加したコンポストを開発。 ・作物に被害をもたらす複数の土壌病害抑制に貢献する。		

③2	㈱広島水産加工	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	呉市阿賀南6-2-10	電話番号	0823-71-7634
URL	http://www.hiroshimasuisankakou.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	産業廃棄物処理、飼料	従業員数(人)	18
項目	魚さいを加工し良質な魚粉、魚油を製造		
実施内容	・魚さいを再生資源回収トラックが各事業所、各店舗を回り回収し再生工場へ搬入、再生工場では良質な魚粉、魚油へと製造。 ・魚粉は養魚、養鶏等の配合飼料の原料、魚油は食用マーガリンや養鶏等の飼料原料等に使用されている。		

③③	食協(株)	分野	食品・畜産廃棄物利用 (マテリアル利用)
住所	広島市南区松川町5-9	電話番号	082-264-1311
URL	http://www.shokkyo.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	米卸	従業員数(人)	160
項目	無洗米装置から出る副産物「はく離米粉」の飼料化事業		
実施内容	・精米工場で集中的に回収される研ぎ汁に相当する副産物の成分を分析し、幼動物 (特に赤ちゃん豚) の栄養補給源としての有用性を発見。 ・無洗化処理装置メーカー、大手飼料メーカーと共同で飼料原料としての用途開発、製品化、全国流通の事業化を行った。		

③④	双葉三共(株) (竹原市)	分野	食品・畜産廃棄物利用 (マテリアル利用)
住所	竹原市田万里町西小寺1359 (工場)	電話番号	082-426-0748 (工場)
URL	http://www.futaba-sankyo.co.jp/	資本金(万円)	3000
業種	肥料	従業員数(人)	17
項目	微生物による汚泥の発酵処理、肥料化		
実施内容	【登録再生事業者】 ・当社の開発した微生物による汚泥の発酵処理は、汚泥に含まれる有機物と空気中の酸素を微生物に与えて発酵させ、そのとき発生する熱によって汚泥の水分を蒸発させるという方法である。 ・したがって、複雑な施設も必要とせず、エネルギー消費もごくわずかで経済的であるうえに、処理された汚泥は良好な肥料として土地に還元されるという一石三鳥の技術である。		

③⑤	西日本リネンサプライ	分野	食品・畜産廃棄物利用 (マテリアル利用)
住所	広島県安芸郡海田町南つくも町13-35	電話番号	082-822-1141
URL	http://www.toyokanko-g.co.jp/leasekin/	資本金(万円)	5000(全社)
業種	クリーニング、リネンサプライサービス	従業員数(人)	280(全社)
項目	食品残渣の堆肥化リサイクル工場の新設		
実施内容	・北広島町で食品残渣リサイクル工場「北広島エコファクトリー」が稼働。 ・食物性残渣に一定比率の発酵菌を混ぜた後、全長60mの高圧かき拌・発酵減容量槽2ラインで有機肥料化する。 ・日量50トンの残渣処理能力で5トンの肥料を生産。通常工程に比べ4～6倍の速さとなり約10日間で肥料化できる。 ・当面、グループで排出される食品残渣2トンを含めコンビニの弁当工場などの食品廃棄物15トン程度からスタートし、この有機肥料で育てた米・野菜を、グループの飲食店で活用する。		

③⑥	アクセス	分野	食品・畜産廃棄物利用 (サーマル利用)
住所	東広島市安芸津町風早516-8	電話番号	0846-45-5733
URL	-	資本金(万円)	
業種	バイオディーゼル燃料の製造・販売	従業員数(人)	
項目	廃食油を利用したバイオディーゼル燃料の製造・販売		
実施内容	・広島県西部一帯の飲食店などから廃食油を月間2万5000リットル程度無償で回収し、バイオディーゼル燃料を製造 (製造能力 300リットル/日)。 ・製造したバイオディーゼル燃料は、自社所有のダンプなどの燃料として使うほか、残りは一次処理して油脂業者などに転売している。		

③⑦	㈱フロンティアジャパン広島支店	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	広島市西区三篠町3-25-5	電話番号	082-230-9911
URL	http://www3.ocn.ne.jp/~sanpai/	資本金(万円)	-
業種	再生資源リサイクル	従業員数(人)	-
項目	魚廃油、植物廃油(廃天ぷら油)からディーゼル燃料を精製		
実施内容	・魚廃油、植物廃油(廃天ぷら油)からディーゼル燃料を精製する事業を実施しており、広島市内で廃油の回収を行っている。 ・ディーゼル燃料は、硫黄酸化物(Sox)の排出が少ない、窒素酸化物(Nox)、一酸化炭素(CO)、炭化水素(HC)の排出が軽油使用時よりも少ない。黒煙濃度が低く、燃料使用の際にはディーゼルエンジンの改造は不要である。		

③⑧	福山BDFセンター	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	福山市御幸町大字上岩成48	電話番号	084-972-2931
URL	-	資本金(万円)	
業種	再生資源リサイクル、廃油処理	従業員数(人)	
項目	廃食油からBDFの製造		
実施内容	備後一円及び笠岡、井原方面から無料で廃食油を回収し、精製機2台により日量平均200リットルのBDFを製造、トラックや重機用、また個人向けにも販売している。 地元で開かれたリサイクルフェスタなどに積極参加し、市民とのネットワークも拡大して原料の確保に力を入れている。		

(5)山口県

③⑨	永大産業㈱山口平生事業所	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	熊毛郡平生町大字曽根2388	電話番号	0820-56-3221
URL	http://www.eidai.com/	資本金(万円)	328500(全社)
業種	木材商	従業員数(人)	1,423(全社)
項目	木くずを外部から受入れ、パーティクルボード原料として利用		
実施内容	製材工場残材、建築解体材等の廃材をチップ化しパーティクルボードの原料として再利用するマテリアルリサイクルを実践。 廃木材を使った木質ボードは、山口県認定リサイクル製品として認定番号第1号を取得している。 パーティクルボードの素晴らしさはマテリアル利用により「木」をそのまま使う点にあり、木の特性を生かしている製品である。		

④⑩	伊藤緑地建設㈱	分野	木質バイオマス(マテリアル利用)
住所	防府市大字上右田1457-1	電話番号	0835-23-0482
URL	http://www.axis.or.jp/~kankyo/ito/	資本金(万円)	3,600
業種	建設業 木炭製造販売	従業員数(人)	22
項目	高品質と高安全性を有する竹・木炭商品の開発		
実施内容	竹炭・木炭・竹酢液・木酢液等の研究開発を行い、高品質と高安全性を有する竹・木炭商品を開発。 消費者ニーズをベースに炭の新しい使い方を提案。		

④①	飯森木材(株)	分野	木質バイオマス (マテリアル利用)
住所	宇部市大字川上211-5	電話番号	0836-21-9619
URL	http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~iimori/	資本金(万円)	1,000
業種	産業廃棄物処理	従業員数(人)	22
項目	利用価値の少ない樹木の枝葉、伐根をチップ化、堆肥化しリサイクル		
実施内容	・移動式木質破砕機により現場で剪定枝を5～10センチ角に1次破砕し、樹木リサイクルセンターにより2センチ以下の大きさにチップ化、チップを野積みし、発酵が進むよう酸素を入れてチップを切り返すことにより堆肥化する。 ・発酵促進剤(バチルス菌)のみで高温発酵させており、外材や建築解体材も一切入れておらず、安全性が高く肥料としての効果も高い。 ・活性炭素を混ぜ付加価値を付けた木質堆肥『ウッドエコソイル』は、山口県のリサイクル商品に認定されている。		

④②	山口県森林組合連合会	分野	木質バイオマス (サーマル利用)
住所	山口市駅通り2丁目4-17	電話番号	083-922-1955
URL	http://www.ykenshin.or.jp/	資本金(万円)	-
業種	森林組合	従業員数(人)	-
項目	間伐材などバイオマスを固形燃料化するペレット燃料の製造		
実施内容	・間伐材などバイオマスを固形燃料化するペレット燃料の製造施設を岩国市の岩国木材共販所で稼働。 ・直径約6mm、長さ約1cmの円筒状に固め、ペレットに加工。間伐材3300を原料に、年間約1500を生産できる。 ・間伐材は錦川森林組合(岩国市)などの森林組合から7000円/㌦仕入れ、ペレットは35円/kgで販売している。		

④③	中外炉工業(株)	分野	木質バイオマス (サーマル利用)
住所	(本社)大阪市中央区平野町3丁目6-1	電話番号	06-6221-1251
URL	http://www.chugai.co.jp/index.html	資本金(万円)	617,672
業種	燃焼機・燃焼装置製造	従業員数(人)	477
項目	間伐材からのガス化発電、熱利用等の実証試験を実施		
実施内容	・NEDO事業を活用し、山口市にある山口テクノパーク内の建材製造業者の敷地に森林バイオマスガス化発電設備を設置し、間伐材等のガス化発電及び熱利用等の実証試験を実施。 ・県内から供給する間伐材や竹をチップ化してガス化炉により可燃性ガスを抽出し、ガスエンジン発電を行う。電力は、敷地内の製材工場で利用し、熱は木材の乾燥に活用する。		

④④	中国電力(株)下関発電所	分野	木質バイオマス (サーマル利用)
住所	下関市長府港町9-1	電話番号	0832-45-1154
URL	http://www.energia.co.jp/	資本金(万円)	18,552,762 (全社)
業種	電力業	従業員数(人)	10,426 (全社)
項目	燃料の一部を木質バイオマスで代替する木質バイオマス混焼の実証試験		
実施内容	・平成16年12月から平成18年にかけて、下関発電所1号機(出力:17.5万kW、燃料:石炭)において、細かく粉砕した木質バイオマスを石炭と混合してボイラーで燃焼させ、石炭に対する木質バイオマスの混合割合3%(重量比)を目指すという実証試験を行った。 ・実証試験の実施にあたっては、「やまぐち森林バイオマスエネルギー・プラン」に基づくエネルギー地産地消プロジェクトと連携し、山口県から林地残材等の森林バイオマス資源の供給を受けた。 ・結果、石炭専焼時と同様な安定した運転を確認でき、平成19年9月より本格実施を行っている。 ・これにより、木質バイオマスの年間使用量は約2～3万㌧年、CO₂削減量および木質バイオマス発電電力量は約3～4.5万㌧CO₂、0.3～0.5億kW㌧年となった。		

④⑤	㈱宇部衛生工業社	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	宇部市大字妻崎開作1319-1 (本社)	電話番号	0836-41-0377 (本社)
URL	http://www.kirara-ecofeed.jp/ (きららエコフィード)	資本金(万円)	4000
業種	水産加工廃棄物処理, 魚粉・魚油製造販売	従業員数(人)	25
項目	食品や食品残さなどを回収し, 乾燥するなどして養豚・養鶏用飼料を製造		
実施内容	・「エコフィード」は, コンビニ, スーパー, 飲食店, 食品製造業者などから売れ残り食品や食品残さを回収し, 乾燥させるなどして養豚・養鶏用飼料「きららミール」を製造する施設。 ・「きららミール」は, 独自の減圧乾燥方式により生産され, 低温乾燥であるため蛋白, でんぷんや糖質の変質を抑え, 栄養価が高くミネラルを豊富に含んだ飼料である。 ・きららエコフィードは, 食品廃棄物を乾燥させてエコ飼料化するので, 食品関連事業者の「再生利用等」の実施率の向上に寄与できる。		

④⑥	山陽ハイミール㈱(下関市)	分野	食品・畜産廃棄物利用(マテリアル利用)
住所	下関市筋川町20-15	電話番号	0832-32-3288
URL	http://www.s-himeal.com/index.html	資本金(万円)	1000
業種	水産物加工廃棄物処理及び飼料用魚粉, 魚油製造・販売	従業員数(人)	12
項目	魚腸骨処理から配合飼料用魚粉・魚油を製造		
実施内容	水産加工工場及び鮮魚類販売等から排出される, 鮮魚加工廃棄物から高品質の魚粉・魚油等を生産している。 生産した魚粉, 魚油等は配合飼料メーカー各社へ納入する。		

④⑦	やまぐち県酪乳業㈱	分野	食品・畜産廃棄物利用(サーマル利用)
住所	下関市菊川町田部夢団地1	電話番号	0832-88-0500
URL	http://www.yamaraku.co.jp/	資本金(万円)	27,000
業種	乳製品製造	従業員数(人)	157
項目	乳製品廃棄物などをメタン発酵させてバイオガスを製造		
実施内容	本社工場に㈱コプロスが開発したメタン発酵装置を設置し, 工場から出る乳製品廃棄物25㍑日を水で薄め15日程度かけてメタン発酵させてバイオガスを製造。これをビンの洗浄やタンクの殺菌用の蒸気ボイラーの燃料として使用するほか, 再度メタン発酵の熱源として使用する。 一方, メタン発酵残さは, 酵素による再資源化装置により, 堆肥生産の水分調整材として再生利用する。		

6 - 3 . 環境関連企業（環境関連機器製造分野）

6-3.環境関連企業（環境関連機器製造分野）

(1)鳥取県

①	石田工業(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	倉吉市瀬崎町2736	電話番号	0858-23-0111
URL	http://www.ishida.to/	資本金(万円)	2,000
業種	衛生設備工事,給排水設備工事	従業員数(人)	32
項目	冬期においても安定した発酵が可能なコンポスト化システム「スカラベくん」の開発		
実施内容	有機性廃棄物を堆肥化する際に、発酵過程で発生する高温・湿潤のアンモニアガスを吸引し、再び発酵槽へと戻す循環システム「吸気・送気微生物発酵方式」を開発。発酵熱と空気及び適度な水分の循環が微生物の活発な活動を促し、なおかつ窒素成分を逃がすことがないため、良質の完熟堆肥を短期間で製造することができる。 堆肥製造における作業の省力化と発酵の効率化を目的に開発した自走式混合堆積装置「スカラベくん」は、平成14年度の発明協会鳥取県支部長賞を受賞している。		

②	イルカカレッジ(有)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	米子市内町46	電話番号	0859-35-9787
URL	http://www.iluka.co.jp/	資本金(万円)	500
業種	各種コンサルティング事業	従業員数(人)	-
項目	廃食用油をディーゼルエンジンの燃料にする為のろ過装置の研究開発		
実施内容	廃油の出る事業所で、手軽に廃食用油を精製し、その場の電気に変換するためのろ過装置を開発しており、現在鳥取大学医学部にて実証試験を実施。 仕組みは、特殊なろ過フィルターで不純物をろ過した廃食用油に調整剤を入れるだけの簡単なもの。		

③	環境システム(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	米子市西福原1-1-43	電話番号	0859-37-3180
URL	http://www2.sanmedia.or.jp/kankyous/index.htm	資本金(万円)	1,000
業種	機械器具製造	従業員数(人)	-
項目	ダイオキシン対策プラントを中心とした、各種環境装置の販売		
実施内容	焼却炉の最適燃焼条件をコンピューターシミュレーションで解析し、ダイオキシンの発生を抑制する。 排ガス処理は、乾式・湿式いずれの方法でも低減技術を持ち、総合的に低ダイオキシンプラントを実現。 その他、廃棄物無公害処理システムなど環境関連装置を販売しており、各種法規制クリアへの情報知識集約など専門分野に特化している。		

④	(株)細田企画	分野	環境負荷低減機器
住所	西伯郡南部町天萬1937	電話番号	0859-48-3977
URL	http://www.h-circus.com	資本金(万円)	1,000
業種	機械設計,工作機械	従業員数(人)	20
項目	建築廃材の廃石膏ボード分別処理機「プラスターボ」の開発		
実施内容	ハンマーで叩くだけで簡単に内部（紙と紙に挟まれた石膏部）を圧縮破壊できる破壊石膏ボードの特性に基づき、振動・粉塵・騒音が少なく、処理速度が極めて速い分別処理機「プラスターボ」を開発。 現在、リサイクルに適した石膏粉（オプションマシン装着によりできる、不純物を除去した細粒粉）のさらなる用途拡大を目指して、新製品の開発に着手している。		

(2)島根県

⑤	株第一コンサルタント	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	松江市矢田町250-167	電話番号	0852-28-0001
URL	http://www.daiichi-ct.co.jp/	資本金(万円)	5,220
業種	地質調査	従業員数(人)	14
項目	畜糞・汚泥をすばやく無臭・堆肥化する高速発酵システムの開発		
実施内容	・処理物を粒状化してから発酵させる新しい発酵システムを開発。 ・ドラム型装置で汚泥を粒状化して空気の隙間を作り、発酵槽で加温して発酵させるもので、切り返しが不要。 ・電気代が月に数千円と極めて低コストで、臭気もほとんど発生しない。		

⑥	進和産業(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	簸川郡斐川町大字直江町4985	電話番号	0853-72-0679
URL	-	資本金(万円)	8,500
業種	プラスチック加工	従業員数(人)	6
項目	臭いを残さず生ゴミを消滅する循環型の生ごみ処理機の開発		
実施内容	・投入したゴミの98%以上が減容化され、跡形も無く消えるばかりか水分も蒸発するために水抜きの手間もかからない「循環型の生ごみ処理機」を開発。臭いも無く、消費電力も低いのが特長である。 ・装置の中に生ゴミ(水切りして細かくしたもの)を投入すると、内部の特殊翼が攪拌してバイオ資材と混ざり合い、水と炭酸ガスに徐々に分解される。 ・全国的にも高い評価を受け、ホテル・レストランなどの業務用生ゴミ処理機の生産も行っている。		

⑦	有限会社 マルナガファーム	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	江津市敬川2302-2	電話番号	0855-53-1166
URL	http://www.marunaga-feeds.co.jp/profile.html	資本金(万円)	2,500
業種	畜産用飼料の販売、養鶏業、養豚業	従業員数(人)	90(全体)
項目	家畜排泄物の堆肥化(施設の製造、設置)		
実施内容	・平成18年11月に島根県バイオマスの環づくし対策事業(約2分の1助成)を活用し、松川農場(同市松川地区)におがくず発酵床飼育方式により汚水を伴わず悪臭も減少させる肥育専用豚舎と密閉式たい肥化施設を新設。松川農場では、豚舎の敷料に江津市内の製材業者が端材から製造したおがくずを利用している。利用方法は発酵剤とおがくずを混ぜ合わせ厚さ約45センチまで敷詰め、ふん尿を大量のおがくずに吸着、発酵させることで臭気や水分の発生を抑えるものである。 ・1日当たり19トンのふん尿を約0.9トンのたい肥にしている。たい肥化時に発生する発酵熱による臭気と水蒸気は、脱臭槽に吸引させ取り除いている。		

⑧	島根電工株式会社	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	松江市東本町5丁目4番地2	電話番号	0852-26-2833
URL	http://www.sdgr.co.jp/index.html	資本金(万円)	26,000
業種	電力業	従業員数(人)	290
項目	木質バイオマス・ガス発電装置を試作開発、研究・改良		
実施内容	・斐伊川流域林業活性化センター主催の木質バイオマス活用研究会への参画を契機に、木質バイオマス・ガス発電装置を試作開発、研究・改良を継続中。 ・約15分で発電機の起動が可能であり、系統連系で商用電源と接続できる。 ・原料は上質チップを使い、自動供給され、機器類をボックスに収納できる。		

⑨	㈱ミシマ	分野	環境負荷低減機器
住所	松江市大庭町792-15	電話番号	0852-25-2905
URL	http://www.clean-green-mishima.co.jp(工事中)	資本金(万円)	3,800
業種	環境関連機器研究・製造	従業員数(人)	10
項目	汚泥を水と炭酸ガスに分解する有機汚泥発酵分解処理装置の開発		
実施内容	・有機汚泥処理槽に充填した杉のチップ(バイオコロニー)に棲息する微生物の働きによって、投入した汚泥、水、炭酸ガスに分解・消滅する有機汚泥発酵分解処理装置を開発。 ・バイオコロニーが入った分解処理槽で汚泥を微生物によって分解するため、このバイオコロニーが汚泥処理後、肥料として利用でき、さらににおいを分解する微生物の力でほとんど臭気がない。		

⑩	エステック㈱	分野	環境負荷低減機器
住所	八東郡東出雲町揖屋2797	電話番号	0852-52-6100
URL	http://www.stc-jp.co.jp	資本金(万円)	8,200
業種	機械設計	従業員数(人)	29
項目	有害粉塵の飛散を防止し作業者の安全を守りながら試料調製が可能なアスベスト試料前処理装置の開発		
実施内容	・アスベスト分析に必要な試料調製作業を安全に行うためにアスベスト試料前処理装置を開発。 ・グローブボックス式密閉構造の装置内で粗粉碎・微粉碎の工程を連続して行うため、コンタミ防止に不可欠で最も危険な粉塵の飛散を防止しアスベスト暴露から作業者を保護しながら大粒の試験体でも安全に試料調製作業が可能である。		

⑪	カナツ技建工業㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	松江市春日町636	電話番号	0852-25-7761
URL	http://www.kanatsu.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	建設業、建築工事	従業員数(人)	238
項目	平面上に通水層と土壌層をブロック状に交互に配置し、深さ方向に多段積層した汚水処理装置の開発		
実施内容	・平面上に通水層と土壌層をブロック状に交互に配置し、かつ深さ方向にこれを多段に積層した汚水処理装置「高速多段土壌層法」を開発。 ・自然生態系の浄化機能を高密度に集積し、圧縮・コンパクト化した理想的な内部構造を持っており、上層には空気が供給できるようになっている。 ・汚水はこの多段構造を通過する過程で特殊土壌の物理化学的吸着、及び土壌微生物の作用を繰り返し受けて、きわめて良好な水質で透明な処理水にまで浄化される。		

⑫	松江土建㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	松江市学園南2-3-5	電話番号	0852-21-3521
URL	http://www.matsue-doken.co.jp/	資本金(万円)	30,000
業種	地質調査、測量	従業員数(人)	159
項目	水中設置し水圧を利用して作る高濃度酸素水により湖沼やダム湖などの底層の貧酸素状態を解消する水質浄化システム		
実施内容	・酸素を水に効率よく溶解させた高濃度酸素水(水深30m時一溶酸素濃度55mg/L以上)を作る装置。 ・貧酸素状態の湖沼やダム湖などの水域に対して、高濃度酸素水を対象水域に供給し、自然の浄化作用の促進と貧酸素による水質の悪化を防除する。 ・この気液溶解装置(水中型)とポンプは水中に設置し、水圧(水深)を利用するため、溶解効率が高くなり、空気供給でも水深・水温により溶存酸素濃度20mg/L以上が可能になる。これにより、従来型に比べポンプの消費電力は30%以上小さくなる。		

⑬	㈱研電社	分野	水質・土壌浄化機器
住所	出雲市長浜町1372-15	電話番号	0853-28-1818
URL	http://www.kendensha.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	化学工業用機械製造	従業員数(人)	10
項目	目詰まりせずに連続的に固体と液体の分離を行う装置の開発		
実施内容	・目詰まりせずに連続的に固液分離を行う固液分離装置「スリットセーバー」を開発。 ・構造も簡単に軽量コンパクトであり、また本装置は圧搾脱水も可能な仕組みとなっており、簡単に脱水機としても利用もできる。 ・スリットセーバー単体としても利用が可能だが、浄化システムの前処理装置として利用できる。		

⑭	㈱山陰プロスハート	分野	水質・土壌浄化機器
住所	松江市西津田1-9-58	電話番号	0852-28-4134
URL	http://www.neonite.jp/	資本金(万円)	2,900
業種	浄水装置、水処理装置	従業員数(人)	8
項目	排水・汚泥・土壌の凝集・固化・不溶化・有害物分解処理工法の開発		
実施内容	・ネオナイト工法は建設工事を行う際、地表水、地下水、雨水や土砂、セメントや油が混入した排水及び汚泥・汚染土壌や工場から排出される有害物質を含んだ排水・汚泥の浄化を省スペース、低コストで行う技術である。 ・ネオナイト工法は、主に排水処理、汚泥処理、土壌処理、無害化処理に区分される。		

(3)岡山県

⑮	㈱大森機械製作所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	都窪郡早島町22-3	電話番号	086-482-0625
URL	http://www15.ocn.ne.jp/~omoritop/	資本金(万円)	1,000
業種	機械工業	従業員数(人)	12
項目	使用済み蛍光灯をリサイクルする装置「トップグリーン」の開発		
実施内容	・40ワット型の棒状の蛍光灯を1本ずつ投入し、自動的にガラス部分はプレスして両端の金属部分は切断して回収する。 ・破碎ガラスに残る気体状の水銀は吸引機械でタンク(容量20リットル)に送り込み、特殊な薬剤をくぐらせ無害化して放出する。さらに破碎ガラスに細かな振動を加え、表面の蛍光塗料もそぎ落とせる。 ・処理能力は1時間約400本。40ワット型蛍光灯1本からガラス200g、金属は50g回収できる。		

⑯	モリマシナリー㈱	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	赤磐市仁堀東1383	電話番号	086-958-2352
URL	http://www.mori-machinery.co.jp/	資本金(万円)	2,000
業種	精密機械器具製造	従業員数(人)	380
項目	廃棄物を圧縮成形しリサイクルするペレットミル装置の開発		
実施内容	・環境問題への社会的関心が高まる中、廃プラスチック等の廃棄物を圧縮成形しリサイクルするというコンセプトに基づき、MORI-PTN「ペレットミル」を開発。 ・廃プラスチックRPF、都市ごみRDF、カーシュレッダーダスト減容化処理、飼料、肥料、木材ペレットと多岐にわたる用途に利用可能。 ・設計・製造・施工から納入後のメンテナンス、部品・消耗品の管理まで社内で行っており、お客様の細かなニーズに合わせた設計・改良が可能である。		

⑬	萩原工業(株)	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	倉敷市水島中通1-4	電話番号	086-440-0860
URL	http://www.hagihara.co.jp/	資本金(万円)	100,800
業種	機械器具, プラスチック製品	従業員数(人)	422
項目	廃プラスチックを粉碎から溶解, ペレット化する廃プラ再生装置の開発		
実施内容	・粉碎装置部分はドラム缶ほどの大きさで, コンベアーやヒーター付き押し出し機, 造粒装置で構成している。 ・廃プラを高速回転刃で粉碎し, これを自動制御により最適な加熱温度として溶解し, 造粒装置により3mm程度のペレットに加工する。		

⑭	株式会社ヒカリス	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	倉敷市連島町鶴新田2149-9	電話番号	086-444-3776
URL	http://www.hikarissystems.co.jp/	資本金(万円)	1500
業種	自動制御機器	従業員数(人)	21
項目	廃品のエアコンの熱交換器から銅やアルミニウムを回収する装置の開発		
実施内容	・廃品エアコンの熱交換器から銅やアルミニウムを回収する装置を開発。 ・同装置はU字形などに曲がった熱交換器を平らにした後, 両端を切断し, その後, パイプやパイプ周囲のフィンを切断して銅とアルミを回収する仕組みで, 工程ごとに計4台の専用機器を組み合わせたものである。		

⑮	三陽機器(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	浅口郡里庄町新庄3858	電話番号	0865-64-2871
URL	http://www.sanyokiki.co.jp/	資本金(万円)	6,600
業種	農業用機械, 油圧・空圧機器製造	従業員数(人)	110
項目	バイオマスを原料とした機能性炭素材料「スマートカーボン」とその製造装置の開発		
実施内容	・ペレットに造粒した籾殻, 剪定枝, 刈草などの未活用バイオマスを原料として, 「炭(炭化物)」よりもはるかに優れた吸着性能を持つ「活性炭」を開発。 ・特殊機能を持つ活性炭の試作に用いている独自設計の炭化賦活装置は, 原料ペレットを入れ, 完成品を取出すバッチ式の小型製造装置であり, 炭化処理で製造した「炭」を, そのまま同じ反応炉の中で連続して賦活処理することにより「活性炭」に変身させることができる。		

⑯	株式会社アイダ・トレーディング	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	美作市中川337	電話番号	0868-74-7025
URL	-	資本金(万円)	1000
業種	各種省力機械・専用機・搬送装置の設計及び製作	従業員数(人)	12
項目	水中分解方式食品残渣処理装置の開発		
実施内容	・事業所系食品残渣を微生物により水中分解し, 投入量の2~3%にあたる無機物を粒上固形物として排出する食品残渣処理装置を開発。 ・急速に好気分解させるので嫌な悪臭が発生しない, 微生物としてGRAS対応菌を使用しており動植物に対し無害であり, 爆発性・可燃性等の危険なガスが発生しない。てんぷら油・多量の残飯・塩分を含んだ廃棄物も投入可能である, 装置から排水は出ないので排水設備は不要である, 乾燥固形肥料, 液体肥料として活用できる等の特徴がある。		

②①	津山ステンレスネット(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	津山市山下92-1	電話番号	0868-24-0740
URL	http://shinsan.tvt.ne.jp/stainless/index.html	資本金(万円)	
業種	各種ステンレス容器・食品加工用機器等製造	従業員数(人)	8社
項目	投入物の水切りが不要な業務用生ごみ 水中高分子処理装置「メルチャン-KG」の開発		
実施内容	・同装置に生ごみを投入し、破砕機で2～3mm程度に粉砕し分解槽に送られる。分解槽では送られた空気と微生物の働きにより残さの中の有機物を水と二酸化炭素に分解し、分解液は一定量取り出されると同時に外気空気を取り込み電気ヒーターで50～64℃で低温蒸発させる。 ・汚泥の水分がなくなるとバリバリに乾燥し細粒化され殺菌された乾燥残さとしてタンク外に自動的に吸い出される。 ・従来主流の木質チップと一緒にかき混ぜ発酵させるタイプと違い、投入前の水切りが不要で汁物や天ぷら油の処理も可能である。		

②②	備前グリーンエネルギー 株式会社	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	備前市吉永町吉永中885	電話番号	0869-84-9500
URL	http://www.bizen-greenenergy.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	熱サービス事業、省エネルギーサービス事業	従業員数(人)	11
項目			
実施内容	・平成17年度から19年度まで環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の補助を受けて地球温暖化防止のための「グリーン熱サービス事業」及び「省エネルギーサービス事業」を行う。 ・グリーン熱サービス事業では、バイオマス燃料(木質ペレット・薪)を使用した効率的なストーブやボイラーのリースサービスを行う。燃料の木質ペレットは真庭市の製材所から、薪は備前市森林組合からそれぞれ調達している。		

②③	ゼネラル技研(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	瀬戸内市邑久町福山28-13	電話番号	086-942-8284
URL	-	資本金(万円)	4,000
業種	機械設計	従業員数(人)	9
項目	ダイオキシン類・ダストの法令排出基準値をはるかに下回るガス化焼却炉の開発		
実施内容	・多くの廃棄物は、一度ガス化させてから燃焼させると簡単にそして完全に燃焼させることができる。この原理に基づいて「二段燃焼式ガス化焼却炉」が設計された。この焼却炉は、焼却対象物をガスに変える「ガス化室」とガス化室で生成されたガスを燃焼させる「生成ガス燃焼室」の二室を併せ持つパッチ式の焼却炉で、不要物や廃棄物を理想的な形で処理することができる。 ・生成ガスを二次燃焼させ煙の発生がない(無公害)、二次燃焼は生成したガスを使用するため商用燃料を節約できる(経済的)、おき火燃焼により僅かな不燃物しか残らないなどの特徴がある。		

②④	(有)アントレコーポレーション	分野	環境負荷低減機器
住所	倉敷市加須山547-16	電話番号	086-420-0308
URL	-	資本金(万円)	300
業種	福祉用具販売	従業員数(人)	4
項目	微生物による産業汚泥分解、消滅システムの開発		
実施内容	・独自に開発した微生物により、産業汚泥の分解消滅を完全に行う。 ・必要な機械は攪拌機のみと経済的であり、分解・消滅することから、2次処理の手間費用もかからず理想的である。 ・食品、し尿汚泥、下水汚泥等の消滅に成功している。		

②⑤	オゴー開発㈱	分野	環境負荷低減機器
住所	岡山市西市522-1	電話番号	086-241-4187
URL	http://www.ksk-ogo.co.jp	資本金(万円)	3000
業種	総合工事業	従業員数(人)	50
項目	ソーラー、ハイブリッドLED街路灯の開発		
実施内容	・風力・太陽光(または太陽光のみ)のクリーンエネルギーのみを利用した環境に優しい街路灯を開発。 ・ハイパワー白色LEDはランプの寿命切れによる交換作業が不要で、消費電量は蛍光灯の約半分の省エネ型。 ・LED照明の特徴を生かし防犯・防災避難誘導灯として最適製品。		

②⑥	㈱クラレ倉敷事業所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	倉敷市酒津1621	電話番号	086-422-0580
URL	http://www.kuraray.co.jp/	資本金(万円)	8,900,000(全社)
業種	化学繊維	従業員数(人)	2,613(全社)
項目	薬剤使わず余剰汚泥を抑制する排水処理システムの開発		
実施内容	・各種工場の排水処理設備や下水処理場において発生する余剰汚泥を、薬剤等を全く用いることなく大幅に削減する画期的な排水処理システム「ゼクルス」を開発。 ・このシステムは、生物処理槽に微生物固定担体を使用することで処理槽は従来法の1/5程度の省スペースとなる。且つ、汚泥減容槽で有機物濃度を低く制御できるので、微生物自身の自然分解力を促し汚泥増殖を抑制できるため、ほとんど余剰汚泥を引き抜く必要がない。これにより、オゾンや特別な薬品を使用して汚泥の減容を図る必要もなく、設備投資やランニングコストが軽減される。		

②⑦	エンバイロ・テクノ	分野	水質・土壌浄化機器
住所	津山市志戸部416-14	電話番号	0868-25-2044
URL	-	資本金(万円)	5000
業種	各種廃水処理の浄化装置製造	従業員数(人)	3
項目	排水浄化脱臭装置「バイオワーカー」の開発		
実施内容	・有機性の産業排水施設において、排水をバイオリアクター内の内部リアクターと接触培養し、これらの有効菌を増殖活性化し、循環させることによって浄化脱臭する。 ・大幅な維持管理コストの削減、運転管理改善を図る。		

(4)広島県

②⑧	㈱御池鐵工所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市神辺町大字川南396-2	電話番号	084-963-5500
URL	http://www.miike.co.jp/	資本金(万円)	3,000
業種	機械工業、鉄鋼工業	従業員数(人)	120
項目	廃プラスチック、古紙、廃木材のRPF製造機器		
実施内容	・マテリアルリサイクルが困難なプラスチック、古紙、廃木材などを原材料とする固形燃料(RPF)を製造する装置を製造。 ・製材所等から発生するオガ粉を圧縮成形し固形燃料にするオガライト製造プラント以来、一貫して、廃棄物と呼ばれる「未利用資源」をいかに有効活用することが出来るかに挑戦し続け、RPF製造プラントの基本技術である「破碎」・「成形」だけでなく、材料により必要となる、「選別」・「乾燥」のノウハウを蓄積している。		

②9	㈱明和 workshop	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市千田町4-14-12	電話番号	084-955-2122
URL	http://www.kk-miw.com	資本金(万円)	9,000
業種	機械工業, 金属切削加工	従業員数(人)	28
項目	ペットボトルの減容機等のリサイクルシステム開発		
実施内容	・ペットボトルを減容化し、高品質のフレークの基としてリサイクルするペットボトル減容化システムの開発。 ・歯車と歯車の間にペットボトルを喰いにまかせて、スルメイカ状に潰し、出てきたところをカッターでラベル、リング(キャップを取り除いた残り)を切り取りリサイクルしやすくする。 ・また、ラベル、リングを取り除くことにより高品質のフレークの原料になる。		

③0	福山ゴム工業㈱	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市松浜町3-1-63	電話番号	084-921-2311
URL	http://www.fukuyamagomu.co.jp/	資本金(万円)	4,680
業種	ゴム工業	従業員数(人)	190
項目	熱分解法による使用済ゴムクローラからの芯金回収装置に関する研究開発		
実施内容	・中国地域で福山熱煉工業(株)が行っている熱処理技術と広島大学が研究している酸化及び付着物剥離技術を応用して、このテーマについて共同で研究することにより、芯金を元の形のままで回収し、再利用する研究開発を実施。 ・当面ゴム乾留用に改造した約0.5ton-10-15/日規模の装置で実証試験を実施し、装置がゴムの乾留に十分適していることを確認した上で、約2t-10-15/日規模の実機へと展開する予定。		

③1	㈱北川鉄工所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	府中市元町77-1	電話番号	0847-40-0545
URL	http://www.kiw.co.jp	資本金(万円)	864,000
業種	鉄鋼工業	従業員数(人)	1,074
項目	汚泥をリサイクルするモバイル型リサイクルプラント「ベレック」の開発		
実施内容	・モバイル型リサイクルプラント「ベレック」を開発、発売。解砕、混練、造粒の3役をこなす、高含水建設汚泥、掘削土、汚水脱水ケーキなどを路盤材、盛土、土壌改良剤、堆肥などにリサイクルする。 ・プラント本体がコンパクトで、大型トラックごと移動でき、基礎工事が不要で設置や撤去が簡単にできるため一定期間の使用に適する。		

③2	広愛産業㈱	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	三原市宮浦6-5-26	電話番号	0848-60-9821
URL	http://www.koai.jp	資本金(万円)	1,000
業種	産業廃棄物処理業・バイオテクノロジー事業	従業員数(人)	18
項目	バイオごみ処理機と加熱溶融型燃料化装置の組み合わせより、事務所からゴミが消えるシステムを開発		
実施内容	・生ごみ、プラスチック、紙等を同時に分解できる(分解率98%)バイオごみ処理機「K:OAI」と、現在開発中の「加熱溶融型燃料化装置「RMF」」の二つの装置を組み合わせる事で、事務所からゴミが消えるシステムを実用レベルで提供。 ・生ゴミはそのまま自社で培養した土壌菌や納豆菌など約20種類のバクテリアの働きでゴミを分解消滅する装置へ、紙やプラスチック類などは破砕機で粉碎後に投入する。ゴミは分解後、二酸化炭素と水を含む蒸気として放出され、投入量の98%が減容されるため残渣はほとんど残らない。 ・さらに焼却しないためダイオキシンが発生せず、二酸化炭素の発生量抑える。		

③③	㈲和田物産	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	東広島市高屋町高屋東1901-7	電話番号	0824-34-5685
URL	-	資本金(万円)	1,500
業種	環境浄化製品、装置製造	従業員数(人)	-
項目	天然好気性微生物を利用した有機性汚泥の中間処理装置を開発		
実施内容	・天然好気性微生物剤「ライクリーンΣ」利用した有機性汚泥の中間処理装置を開発。 ・「ライクリーンΣ」は、有機、無機化合物を水と炭酸ガスと無機物に分解し、水質浄化、脱臭及び残留性有機有害物質分解等を主目的とした微生物剤であり、活性汚泥とも相性がよく浄化槽の放流水の高度化、余剰汚泥の減容化に威力を発揮する。 ・窒素化合物の硝化過程では、アンモニア酸化細菌であるNitrosomonas(ニトロソモナス属)、Nitrobacter(ニトロバクター属)が窒素を高度化処理する。		

③④	㈱キムラ	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	呉市広多賀谷3-4-9	電話番号	0823-74-3009
URL	http://www.kimura-gr.co.jp	資本金(万円)	2,000
業種	環境機器製造・販売	従業員数(人)	30
項目	廃自動車スクラッププレス機(廃自動車解体支援装置)の開発 ギロチン付きプレス機開発		
実施内容	・自動車リサイクル法に基づくリサイクル率の向上につながるような、高出力・省電力油圧制御技術のスクラッププレス機や独自技術開発による各種自動車解体支援装置を開発。 ・鉄スクラップなどの圧縮と切断の機能を兼ね備えた複合処理機を発売。設置スペースも縦10メートル、横20メートルと場所をとらず省スペース化が図れるほか、処理物が長方形のため運搬ロスがない。		

③⑤	㈱日本製鋼所広島製作所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	広島市安芸区船越南1-6-1	電話番号	082-822-0991
URL	http://www.jsw.co.jp/	資本金(万円)	1,969,423(全社)
業種	製鋼・製鉄業	従業員数(人)	約2,100(全社)
項目	塩素系樹脂を含む混合廃プラスチックを脱塩素化し、ケミカル・サーマルリサイクルとして利用可能なペレット製造システム		
実施内容	・塩素系樹脂を含む混合廃プラスチックを二軸スクリー押出式脱塩素装置を用い熱分解・脱塩素化することにより、高品質なプラスチックペレットにし、高炉還元剤、セメント原燃料やボイラー燃料として利用する技術。 ・廃プラリサイクル率向上、CO2排出量削減に貢献、最終処分場延命化等の導入効果が期待できる。		

③⑥	MHソリューションテクノロジーズ㈱	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	広島市西区観音新町1-20-24	電話番号	082-233-1450
URL	http://www.mhisoltech.co.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	建設コンサルタント、工業用試験機製造・販売	従業員数(人)	500
項目	オフセット印刷機のブランケット洗浄作業時に発生する洗浄廃液を再生し洗浄液として再利用するリサイクル装置を開発		
実施内容	・環境負荷低減をターゲットに、オフセット印刷機のブランケット洗浄作業時に発生する洗浄廃液を再生し、洗浄液として再利用するためのリサイクル装置を開発。 ・廃液中に含まれるインク顔料は正帯電しており、電界を使った分離方法により、正帯電顔料粒子は負極である水表面に電気泳動させ、微細水滴は水滴内の分極による凝集作用で粗大化し重力沈降分離させる。 ・この分離技術は、濾過法による濾布の目詰まりもなく、電気エネルギーも蒸留法の概ね1/40程度と極めて少ないことが特徴である。 ・運転時に騒音・振動・臭気など一切発生せず、環境に優しい装置である。		

③⑦	三建産業㈱	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	広島市中区東千田町1-1-72	電話番号	082-249-2656
URL	http://www.sanken-sangyo.co.jp	資本金(万円)	9,500
業種	築炉工事	従業員数(人)	144
項目	アルミの切り屑をリサイクル製品に変える小型アルミ切粉溶解設備「キリコメルター」の開発		
実施内容	・アルミの切り屑を自社リサイクルして製品に変える小型アルミ切粉溶解設備「キリコメルター」を開発。 ・アルミの切粉を乾燥させ油を飛ばしたものを投入し、渦で巻き込んで燃やさず溶かす。連続して多量に溶解することと高歩留まりの両立が困難と言われていたアルミニウム切粉溶解の分野で、溶湯ポンプを採用することにより、切粉を溶湯の渦に巻き込んで瞬時に溶解する画期的なシステムである。これによって、切粉は溶解中に大気と接触する機会が皆無となり、溶解歩留まりが飛躍的に向上した。“キリコメルター”は2,000kg/hまでの連続自動溶解に最適である。		

③⑧	福山地方鋳物工業協同組合	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	福山市明神町2-6-6	電話番号	084-931-0890
URL	-	資本金(万円)	
業種	鋳物工業協同組合	従業員数(人)	17社
項目	鋳物の製造過程で生じる廃砂をリサイクルする装置の開発		
実施内容	・鋳物の製造過程で生じる産業廃棄物の「廃砂」削減を狙い、廃砂リサイクル機を福山市および学者の協力により開発。 ・中小企業向けの小型機で、投入された廃砂を磁石で鉄と砂に分別する。砂の再利用率はほぼ100%。 ・このリサイクル機の導入により、従来70～95%であった砂のリサイクル率が98%程度にアップする。		

③⑨	㈲矢野鉄工所	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	呉市川尻町小仁方1-25-27	電話番号	0823-87-2748
URL	-	資本金(万円)	580
業種	一般機械器具製造業	従業員数(人)	6
項目	がれき等産廃土のうを地盤改良材や振動・騒音を抑える建設資材として利用できる施工法を確立		
実施内容	・現場で土のうを量産できる土のう作製機「ドノラック」を開発。当該装置を使用して量産された土のうは、道路や鉄道軌道の地盤改良・振動吸収に大きな効果があることを試験施工で実証した。 ・さらに中に詰める材料にがれきや廃ガラスといった産業廃棄物が有効であることを確認。 ・このような特徴を生かし、産業廃棄物の発生現場でドノラックを使い選別、袋詰めし、そのまま地盤改良や振動・騒音を抑える建設資材として使える施工法を確立した。		

④⑩	三蓉エンジニアリング㈱	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	呉市阿賀南2丁目10-1呉ジャンプ・コア5号室	電話番号	0823-76-4669
URL	http://www.sanyoeng.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	廃棄物処理機器製造	従業員数(人)	7
項目	木質ピンチップの大量処理装置の開発		
実施内容	・解体材・物流廃材などより生産される木質ピンチップの用途が、製紙原料・ボード原料に展がるに伴い、より一層品質管理された良質製品の受給に応えるものとして、独自の発想と機構により、ピンチップ中に含まれる、小石・金属片・硬質プラスチックなどの異物を沈降除去し、高品質のチップを効率的に大量処理する装置の開発及び、製品化を行う。		

④①	伸洋産業(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	福山市松浜町4-3-44	電話番号	084-924-6511
URL	http://www.shinyoh.com	資本金(万円)	6,500
業種	廃棄物処理機の製造・販売	従業員数(人)	8(開発要員)
項目	船舶技術駆使の環境機器開発・バイオで汚水を透明水に浄化		
実施内容	・世界唯一のエアレーション可能な水中ポンプ(PAT-P)攪拌と急速分解沈殿バイオの添加で見る見る内に沈殿透明化し、飲料水と間違える程の透明排水となる。		

④②	株サタケ	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	東広島市西条西本町2-30	電話番号	082-420-8625
URL	http://www.satake-japan.co.jp	資本金(万円)	28,000
業種	食品加工用機械、精米機械製造	従業員数(人)	1,110
項目	バイオマスガス化発電システムの開発		
実施内容	・地球温暖化の原因である二酸化炭素の削減のためバイオマスの有効利用の研究・開発を行い、その1つとしてバイオマスガス化発電システムを開発。 ・このシステムは木材や籾殻等のバイオマスをガス化発生炉で不完全燃焼、可燃ガスを発生させ、その可燃ガスを燃焼させエンジンを回して発電するシステムである。 ・高い熱効率(電気へ変換する熱効率は20%以上:木質原料の場合)、クリーンなガス(可燃ガス中のタールが少なく、酢液等の副産物無し)、様々なバイオマスが利用可能(木材、籾殻、竹、きのこ廃菌床、堆肥等)である。		

④③	豊国工業(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	東広島市西条町御園宇6400-3	電話番号	082-493-7005
URL	http://www.hokoku-kogyo.co.jp	資本金(万円)	45,000
業種	鉄鋼工業、駐車場機械装置製造	従業員数(人)	400
項目	鶏糞の処理も可能なメタン発酵システムの開発		
実施内容	・食品廃棄物や畜産ふん尿などを独自技術で効率的にメタン発酵させ、回収したメタンガスを燃料にして、発電や熱利用を行うシステムを開発。 ・2相式メタン発酵システムで、有機物除去率が高く、高効率であり、高濃度廃液の処理に最適である。 ・消化液膜濾過装置で高負荷運転が可能であり、アンモニア制御で発酵阻害を防止、リン資源の回収もでき、排水の再利用で鶏ふんも対応も可能などの特徴がある。		

④④	株愛和	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	呉市阿賀南2-9-39	電話番号	0823-72-5050
URL	http://www11.ocn.ne.jp/~aiwa	資本金(万円)	1,000
業種	環境機械製造	従業員数(人)	30
項目	生ゴミ処理機「マジックボックス」の開発		
実施内容	・SDM菌という色々な微生物が酸素の力を借りて高温で生ゴミを発酵分解し、おもに水と炭酸ガスに分解。 ・マジックボックスでは温度を65℃～80℃程にコントロールし、大腸菌に代表されるような有害菌や病原菌を発酵熱で死滅させている。		

④⑤	日本エコパワー	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	安芸郡府中町鶴江1-22-6	電話番号	082-286-4622
URL	-	資本金(万円)	-
業種	環境保全装置・資材製造	従業員数(人)	-
項目	工業廃油や食用油に水を混ぜ、エマルジョン燃料を精製する装置「エマルくん」の製造		
実施内容	・工業廃油や食用油に水を混ぜ、安価かつ短時間にエマルジョン(ディーゼル)燃料を精製する装置「エマルくん」(商品名)を製造(開発元は岡山のベンチャー企業)。 ・精製法は、生産工程で発生する含水廃油や廃食用油など(50%)に水(50%)を加え、特殊助剤「ED」(0.3~0.5%)を添加、混合かく拌し高速磁場回転させることにより常温で新しいエマルジョン燃料ができていく。 ・この新精製法で、コストを大幅に削減できる上、燃費効率も30%アップする。		

④⑥	パーキテック㈱	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市東区戸坂千足2-10-17	電話番号	082-567-2211
URL	http://www.parchitec.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	機械工業	従業員数(人)	10
項目	鶏糞をボイラー用燃料として活用する画期的なエネルギープラント		
実施内容	・養鶏場から1日にトン単位で排出される鶏糞をボイラー用燃料として活用する画期的なエネルギープラント。 ・小型貫流ボイラーの採用により安全で取扱が容易であり、点火以降の自動運転と省力運転が可能、炉内温度が高く臭気及びダイオキシンの発生がない等の特徴がある。		

④⑦	日鋼設計㈱	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市安芸区船越南1-6-1	電話番号	082-822-7653
URL	http://www.nikkosekkei.co.jp	資本金(万円)	2,500
業種	設計	従業員数(人)	192
項目	木質バイオマス燃料を使用する環境にやさしいストーブの開発		
実施内容	・木質バイオマスペレットを燃料としているため、「カーボンニュートラル」という概念より燃焼しても実質的な地球上の二酸化炭素は増加しない。 ・温風は燃焼室と完全に分離され、ファンより吹出すので、部屋の空気を汚さず、点火・消火時のにおいがない。広島市のグッドデザイン賞エコロジーデザイン部門で奨励賞を受賞した優れたもののストーブ。		

④⑧	富士企業㈱/協同組合リメイク広島	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市佐伯区楽々園4-6-19	電話番号	082-923-0188
URL	http://www.fuji-nt.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	一般廃棄物、産業廃棄物処理	従業員数(人)	230
項目	かき養殖から発生する廃棄物を有効活用するための研究開発		
実施内容	・かき養殖から同時に発生する廃棄物(かき殻、かき殻)を有効活用できる装置として、廃殻を原料とするバイオマスガス発電及び破砕機、牡蠣殻焼成炉、発泡スチロール溶融装置を開発。 ・発泡スチロール溶融装置、廃殻破砕機等はユニット方式とし、養殖現場に持ち込んで使用することもできるよう設計されている。		

④9	株エコミックス・コーポレーション	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市東区上大須賀町1-1広成ビル5F	電話番号	082-568-6746
URL	http://www.ecomix.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	プラント設計	従業員数(人)	-
項目	小型廃棄物ガス化発電「スターミート(Star-Meet)システム」の開発		
実施内容	・高温水蒸気と高温空気を利用して可燃性廃棄物を熱分解し、発生するガスを改質してディーゼルエンジンの燃料として発電する小型の廃棄物ガス化発電システムを開発。 ・従来のシステムと違い、1日の処理量1トン以下の少量処理も可能であり、ダイオキシンなどの有害物質の発生を高温の水蒸気と空気ですべて抑制できる。		

⑤0	中外テクノス(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市西区横川新町9-12	電話番号	082-295-2222
URL	http://www.chugai-tec.co.jp/	資本金(万円)	4,700
業種	建設コンサルタント 電気・電子計測器	従業員数(人)	952
項目	林地残材を圧縮・結束し、減容化および運搬し易く成形する装置		
実施内容	・土場における造材作業の中で、林地残材を圧縮・結束することにより減容化し、運搬し易く成型する装置「林地残材圧縮結束装置」を開発。 ・減容化により輸送効率が向上し、丸太状成型により取り扱いが容易となる。 ・バンドルを山元にストックすることにより、需要に応じた供給が可能となる。 ・林地ストック時に自然乾燥が可能であり、運搬する木質バイオマス重量当りの熱量が向上する。		

⑤1	株ジャパンエスコ	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市南区段原南1-19-12	電話番号	082-250-0140
URL	-	資本金(万円)	-
業種	環境保全装置・資材	従業員数(人)	-
項目	竹を粉に加工して肥料利用する竹植繊化装置の開発		
実施内容	・竹林整備などで切り出した竹を、笹ごとにチップ化、粉状(植繊)にする装置を開発し、製造した粉を肥料に利用する「MMZ農法」を実施。 ・竹の粉碎・植繊化装置は、幅1070mm、高さ900mm、奥行700mmと小型で軽トラ持ち運びができ、価格も従来の10分の1程度に抑えることが可能(処理能力 200kg/h)。 ・竹粉を肥料として土壌表面に散布することで生育を促進させ、従来の有機農法とは異なり根を浅く表層面に広く張らせることが可能となった。これにより絞羽病やフラン病等の病気がなくなり、除草剤など農薬も不要となった。		

⑤2	株センタークリーナー	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市南区出島1-20-3	電話番号	082-254-0003
URL	http://www.ecenter.co.jp/	資本金(万円)	1,120
業種	廃棄物処理業	従業員数(人)	63
項目	生ゴミ処理機の販売・設置および処理後の残渣の回収を実施		
実施内容	・病院や学校、企業の食堂などから出る生ゴミを130℃の高温でスピード減容・強力脱臭する生ゴミ処理装置を販売。 ・処理後の乾燥処理物は弊社が引き取りを行い、「有機肥料」「飼料」として再利用している。		

⑤③	㈱広島環境研究所	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	広島市南区出島1-20-3	電話番号	082-254-0310
URL	http://www.e-hel.com/	資本金(万円)	6,000
業種	環境計量証明	従業員数(人)	6
項目	未利用バイオマスを活用して効率的にガス化して発電する装置の開発		
実施内容	・地域分散型の小型発電システムである本装置は、運転開始から立ち上がりが早く、DSS運転 (Daily Start・Stop・夜間停止) が容易にでき、オンサイトで発電できるよう考案されている。 ・大型システムにみられるようなボイラー方式ではなくダウンドラフト方式であるため、タール分の少ないバイオマスガスを発生させ、直接エンジンに供給、発電することができる。 ・排出される炭 (チャー) は活性炭に近い性質を持っており、排水中の有機物除去等にも利用可能である。		

⑤④	エクセル㈱	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	福山市神辺町旭丘47-6 神辺工業団地	電話番号	084-965-1331
URL	http://www.excel-inc.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	太陽電池企画・設計・製造	従業員数(人)	145
項目	活性炭を使用した空気清浄機		
実施内容	・工場向けの空気清浄器は、特殊性が強いため、市場を考えペットや介護向けの室内でも置ける違和感のない家具調小型の清浄機を製品化した。人体に害がない活性炭を吸着剤として使用している。 ・特長としては、ゴミだけでなく臭いも除去でき、アンモニア臭の消臭は従来比の430倍、地元の府中家具を利用した家具調消臭機である。		

⑤⑤	㈱前川製作所 東広島工場	分野	環境負荷低減機器
住所	東広島市高屋台2-3-40	電話番号	082-491-1828
URL	http://www.mycomj.co.jp/	資本金(万円)	100,000 (全社)
業種	冷凍機	従業員数(人)	3,000 (全社)
項目	低音・微風で稼動する地球環境対応型高効率発電システムの開発		
実施内容	・風力発電はクリーンなエネルギーであり、地球温暖化の原因である二酸化炭素 (CO₂) の排出量を削減する事ができる。 ・また、風車は遠くからも目立ち「地球環境の保護に積極的な会社」のシンボルとしてアピールできる。また、風車をライトアップすることにより、夜間は幻想的な雰囲気をもし出すことができる。 ・その他、景観を損なわずどこでも設置可能、風切音が非常に低く市街地に設置可能、風向きに左右されず能力が一定等の特徴がある。		

⑤⑥	パブコック日立㈱呉事業所	分野	環境負荷低減機器
住所	呉市宝町6-9	電話番号	0846-45-4128
URL	http://www.bhk.co.jp	資本金(万円)	500,000 (全社)
業種	ボイラー製造	従業員数(人)	1,200 (全社)
項目	定置式ディーゼル発電機用排ガス浄化技術 アンモニア分解処理装置		
実施内容	【定置式ディーゼル発電機用排ガス浄化技術】 ・当社が開発した排ガス浄化技術により、定置式ディーゼル発電機から排出される黒煙 (煤) および窒素酸化物を除去することができる。 【アンモニア分解処理装置】 ・アンモニアタンクの定検時等、タンクに残留するアンモニアを気相中にガスとして追出し、触媒により無害な窒素と水に高効率分解する装置である。 ・洗浄操作を必要としないため排水が無く、排水処理装置が不要であり、装置はコンパクトな可搬式で、機器費、人件費の大幅な削減が可能である。		

⑤⑦	マツダ(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	安芸郡府中町新地3-1	電話番号	082-282-1111
URL	http://www.mazda.co.jp	資本金(万円)	15,000,000
業種	自動車製造業	従業員数(人)	20,395
項目	環境にやさしい水素ロータリーエンジン車や、低排出ガス+低燃費車の開発		
実施内容	・水素を燃料とするロータリーエンジン(RE)を搭載したスポーツカー「RX-8」、ミニバン「ブレマシー」を開発。 ・REは燃焼室と吸気室が完全に分かれているので、レシプロエンジンに比べて水素を安全に燃焼できる。 ・新たに開発した「水素RE」は、水素とガソリンを併用することができ、走行中に水素が切れた場合は自動的にガソリンに切り替わる仕組みで、満タンなら水素だけで1000キロの走行が可能。		

⑤⑧	三菱重工業(株)広島製作所	分野	環境負荷低減機器
住所	広島市西区観音新町4-6-22	電話番号	082-291-2112
URL	http://www.mhi.co.jp/hmw/	資本金(万円)	26,560,000(全社)
業種	機械工業	従業員数(人)	1,348(広島製作所)
項目	定置式固体高分子形燃料電池を利用したコージェネレーションシステム		
実施内容	・1kw機として本体容積180リットルという世界最小のコンパクト型家庭用燃料電池を開発。 ・コンパクト化を通じて発電時の熱ロスを抑え、定格時での送電端発電効率が36%、総合熱効率87%という高効率化に目処をつける画期的な装置。 ・都市ガスとLPGを当面の燃料としてだが、当社では灯油、ナフサ、メタノール、それにジメチルエーテルを含む6種類の改質技術を、燃料会社の協力を得て開発しており、多種燃料に対応する技術を有している。		

⑤⑨	広島ガス(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	広島市南区皆実町2-7-1	電話番号	082-252-3023
URL	http://www.hiroshima-gas.co.jp	資本金(万円)	329,000
業種	都市ガス	従業員数(人)	660
項目	環境にやさしい天然ガス自動車の開発		
実施内容	・天然ガス自動車は、不純物を含まないクリーンなエネルギーである天然ガスを燃料として走る自動車であり、環境汚染を招くNOXの排出量が少なく、黒煙はまったく排出せず、粒子状物質もほとんど排出しない。 ・またCO2の排出量はガソリン車と比べて約20~30%低減される。 ・軽自動車、乗用車からトラック、大型バスまで幅広い車種をランナップしている。		

⑥⑩	ケイ・イー・シー	分野	環境負荷低減製品
住所	尾道市美ノ郷町三成1998-2	電話番号	050-3440-2188
URL	http://www.kec-intl.com/	資本金(万円)	-
業種	節電省エネ機器装置開発事業	従業員数(人)	-
項目	待機電力をゼロにカットする節電装置		
実施内容	・待機電力をゼロにカットする節電装置を開発。節電機能以外に遠隔にある機器の電源をオン・オフし、遠隔コントロールする目的でも使用されている。 ・つけるだけで待機電力をゼロにし、電力、二酸化炭素も82%カットできる。 ・発明大賞・考案功労賞受賞・中小企業優秀新技術・新製品賞・優秀賞を受賞している製品。		

⑥①	永和国土環境㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	福山市南蔵王町2-21-27	電話番号	084-924-7402
URL	http://www.ecoeiwa.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	建設コンサルタント、環境保全装置・資材開発	従業員数(人)	25
項目	カキ殻を利用し汚水を高度処理、循環排水を再利用する「アクアメイクシステム」の開発		
実施内容	・汚水をカキ殻で高度処理し、中水として再利用する装置「アクアメイクシステム」を開発。 ・このシステムは、公共水域の富栄養化抑制、絶大な節水効果、立地条件が不問、維持管理が容易で安価等の特徴があり、上水の不要な水洗トイレとして利用可能だけでなく、災害時の避難地においても、独立電源を使用して、水洗トイレが使用可能である。		

⑥②	広和エムテック㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	福山市引野町5-15-9	電話番号	084-943-7734
URL	http://www.kowa-m.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	環境保全装置製造	従業員数(人)	15
項目	浮上油や浮遊物を吸引回収する装置の開発		
実施内容	独自の技術によって浮上油・浮遊物の回収・分離装置、排水処理のための固液分離・油水分離装置を開発。 ・製品の1つである浮遊物回収装置「スクープロボ」は、自動的に液面の変化に追従しながら浮上油や浮遊物を吸引回収する装置であり、波のある水面でも回収が可能、また、油流出事故や廃水処理施設等でも使用可能。		

⑥③	㈱日本総合科学	分野	水質・土壌浄化機器
住所	福山市箕島町南丘399-46	電話番号	084-981-0181
URL	http://www.ntsc.co.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	環境計量証明	従業員数(人)	120
項目	底生微細藻と製鋼スラグからなる環境改善材の開発		
実施内容	製鋼スラグを担体として表面に底生微細藻(珪藻)を増殖させた生態系に配慮した環境改善材を開発。 ・スラグから溶出するリン、ケイ素、鉄、カルシウム等を栄養源として微細藻が増殖、その光合成によって酸素放出を活性化させ、好気性バクテリアによる有機物分解を促進させるもの。 ・ヘドロ(有機汚泥)化した底泥を分解、浄化することによって、生物に悪影響をもたらす貧酸素層や硫化水素の発生を防止する。		

⑥④	向島ドック㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	尾道市向島町864-1	電話番号	0848-44-0001
URL	http://www.dock.co.jp/	資本金(万円)	9,000
業種	造船業	従業員数(人)	147
項目	飛灰、焼却灰中のダイオキシン類消滅装置の開発		
実施内容	・本装置は、無酸素雰囲気下で非加熱物を加熱する容器と、可燃物を含まない灰と金属反応剤とを混合して同容器に供給する装置及び前述の容器から排出された被加熱物を所定の温度にする冷却容器を備えている。 ・加熱容器内部は、中空軸とこれに巻装された羽根で構成されている。被加熱物を攪拌しながらスクリュウコンベアで搬送する。アルカリ金属、希土類などの触媒を使用することにより、脱塩素化処理の高効率化が期待できる。 ・低温加熱方式であり熱消費が少ない、廃熱を利用するため加熱用熱源は不要、ダイオキシン再生成が少なく分解率が高いなどの特徴がある。		

⑥⑤	寿工業(株)広製作所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	呉市広白岳1-2-43	電話番号	0823-73-1135
URL	http://www.kotobuki-ind.jp/	資本金(万円)	4,800 (全社)
業種	鉄鋼工業	従業員数(人)	320 (全社)
項目	省エネ型汚泥遠心脱水装置 超高速嫌気好気水処理システム		
実施内容	【省エネ型汚泥遠心脱水装置「ウィザードプレス」】 ・世界初の直胴型ボウル構造を採用し従来のデカンター型遠心脱水機の限界を超えた最新鋭機を開発。 【超高速嫌気好気水処理システム「ムロクイックリアクター」】 ・嫌気バイオリアクターと好気バイオリアクターのデュアルシステムによる超高速の水処理システムであり、冬季でも超高速水処理が可能である。		

⑥⑥	(株)大田鋳造所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市西区上天満町3-23	電話番号	082-232-8271
URL	http://www.ohdachuzousyo.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	鉄鉄鋳物製造・機械加工	従業員数(人)	50
項目	水を使わず環境汚染のないバイオ消滅式介護用ポータブルトイレ「さらら」の開発		
実施内容	・バイオ技術を応用し、水を使わず環境汚染のないバイオ消滅式介護用ポータブルトイレ「さらら」を開発、製造。 ・バイオの力でトイレトペーパー・排泄物を3～4時間で分解消滅させ、脱臭装置で臭いもシャットアウトする。		

⑥⑦	ラボテック(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市佐伯区五日市中央6-9-25	電話番号	082-921-5531
URL	http://www.labotec.co.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	計量証明	従業員数(人)	40
項目	分析業務の省力化を進めるための自動分析装置を各種製造		
実施内容	・分析技術者の負担を軽減することを目的として、JIS、上水試験法など公定法に準拠した自動分析装置を開発。 ・自動BOD測定装置、ガスオートサンプラー、SS自動測定装置など、多岐にわたる分析項目に対応した装置を製造している。		

⑥⑧	(株)東洋高压	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市西区楠木町2-1-22	電話番号	082-237-6255
URL	http://www.toyokoatsu.co.jp	資本金(万円)	1,000
業種	化学工業用機械製造	従業員数(人)	32
項目	産業廃棄物、工場廃水、ダイオキシン、PCB等の分解装置の開発		
実施内容	・従来のバッチ式処理装置を連続式処理装置として開発。高温・高压下の超臨界状態での反応状況を監視できるセルを搭載、特殊材料（インコネル625、チタンTB35、G12、ハステロイC276・X-22等）を用いることにより、超短時間に分解（ダイオキシン分解は数10秒）、完全無害化（有機物を二酸化炭素、水、無機質へ分解）を実現できる装置である。		

⑥9	㈱共立	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市中区大手町4-6-16	電話番号	082-246-4151
URL	http://www.kyoriz.co.jp	資本金(万円)	10,000
業種	建設業, 建築工事, 土木工事	従業員数(人)	77
項目	水温躍層形成の抑制・底層の貧酸素状態改善を行うコンパクトな水質浄化装置の開発		
実施内容	・水温成層化・貧酸素化・富栄養化等で水質が悪化した湖沼等の閉鎖性水域の水質浄化装置であり, 表層水を底層へ送水, 酸素供給, 表層水と底層水の攪拌混合, 水流発生等の4機能をシンプルな機器構成で同時に行う。 ・稼動部は水ポンプのみであり, コンプレッサー, 酸素ポンプ, 付帯設備工事等を要しないコンパクトな装置である。 ・シンプル・コンパクトな装置であるため, コスト性・メンテナンス性に優れ, 水域特性・状況変化に柔軟に対応でき, 環境にも優しいという特徴がある。		

⑦0	㈱協和機設	分野	水質・土壌浄化機器
住所	福山市新涯町6-10-5	電話番号	084-957-6330
URL	http://www.kyowakisetsu.com/	資本金(万円)	1300
業種	理化学機械器具	従業員数(人)	
項目	ナノバブルを大量に生成する装置「バヴィタス」の開発		
実施内容	・生理活性作用や殺菌作用などの特性をもつナノバブルを大量に生成する装置「バヴィタス」を開発。 ・ナノバブルは, 直径100万分の1mmの泡状となったもので, 水質, 土壌浄化や廃水処理, 配管洗浄, カキ養殖, さらに医療や健康分野での用途開発が進められている。 ・バヴィタスは気液混合気体せん断方式を採用し, ナノバブルと100分の1mmのマイクロバブルが水中に併存するマイクロナノバブル水を効率的に大量生成し, 毎分30～120Lを送り込むことが可能である。		

⑦1	㈲中国メンテ	分野	水質・土壌浄化機器
住所	広島市中区白島九軒町1-3	電話番号	082-222-6767
URL	http://www.ntnet.co.jp/	資本金(万円)	300
業種	清掃業, 塗装, プラント塗装	従業員数(人)	
項目	オゾンを使った廃液・汚泥処理施設の設計・開発		
実施内容	・工場などから出る廃水を, オゾンを使い水中に不純物を残さず, また処理にともなう濃縮廃水や汚泥なども出ない処理プラントを設計, 産業廃棄物処理業者へ設置し, 順調に稼働している。 ・切削油や塗料, 染色材料などを含む, 工場から出る廃液をオゾン処理を通じて無害化, BOD, CODなどの排水基準値をクリアした状態にする。		

(5)山口県

⑦2	㈱力ネヤス	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	下関市菊川町檜崎644-1	電話番号	0832-88-2111
URL	http://www.kaneyasu.co.jp	資本金(万円)	7,106
業種	一般機械器具製造業	従業員数(人)	55
項目	梱包廃材減容機, 紙類圧縮成形機の開発		
実施内容	・梱包廃材減容機は, 新聞梱包材リサイクルのために開発された商品であり, 新聞が印刷所から販売店に配送される際に使用するポリ袋, PPバンドを選別・減容・梱包し, 再生利用の低コスト化を図る。 ・紙類圧縮成形機は, 破碎した古紙を圧縮・減容・成形梱包処理するもので, 圧縮成形した紙は再生利用が可能である。		

⑦③	㈱トヨ・システムプラント	分野	廃棄物リサイクル機器
住所	下関市秋根西町2-2-13	電話番号	0832-56-0080
URL	-	資本金(万円)	5,000
業種	機械製造業	従業員数(人)	18
項目	1台3役の移動式びん・缶・ペットボトル破砕減容特殊車両の開発		
実施内容	・びん・缶・ペットボトルの3種類の廃棄物を1基で破砕減容し、再資源化原料とする全工程を発生現場で特殊車両において行うものである。 ・多拠点、複数品種の廃棄物の再資源化を収集現場で行う事により、リサイクル工程が大きく短縮される事となり、効率的なリサイクルシステムの実現に貢献する。		

⑦④	西日本セラテック㈱	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	周南市浜田1-2-5	電話番号	0834-63-1326
URL	-	資本金(万円)	1,200
業種	薪炭、セラミックス製品・加工	従業員数(人)	2
項目	剪定枝・食品残さ等の連続炭化装置を開発		
実施内容	・廃木材・食品残渣・有機汚泥などを廃棄物とすることなく「バイオマス(炭化物原料)」として活用し、環境汚染物質吸着剤などに有効利用する為の、新方式による炭化リサイクル装置を研究開発。 ・炭化装置は、ダイオキシン吸着剤など従来にない付加価値の高い製品製造が可能であり、安価なプラント価格、自然と廃熱利用による省燃費設計である、などの特徴がある。		

⑦⑤	宇部テクノエンジニア㈱	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	宇部市大字小串字沖の山1980	電話番号	0836-34-3514
URL	http://www.ube-ind.co.jp/techno/	資本金(万円)	13,000
業種	機械修理業	従業員数(人)	266
項目	バイオマス燃焼ボイラー、小型ガス化発電設備の導入		
実施内容	【Binderバイオマス燃焼ボイラー】 ・ヨーロッパにおいて3,000台以上の納入実績を持つオーストリアBinder社の技術に当社の技術を付加した高性能で信頼性の高いバイオマス燃焼ボイラー。さまざまな燃料性状に適した燃焼部を有していることから、各種バイオマス燃料に幅広く対応することが可能である。 【AHT小型ガス化発電設備】 ・バイオマスガス化発電を普及価格で提供できるよう小型パッケージ化し、運転の容易性・安定性を追及したもので、国内需要に最適な製品である。		

⑦⑥	㈱コプロス	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	下関市長府安養寺1-15-13	電話番号	0832-46-0545
URL	http://www.copros.co.jp	資本金(万円)	9,000
業種	建設機械製造業	従業員数(人)	206
項目	地下埋設式のメタン発酵プラント技術の開発		
実施内容	・牛や豚のし尿を発酵させ、発生したメタンガスで発電するなど、世界中で研究・設置がすすんでいる重要な環境対策技術「ケコム・バイオガスプラント」の開発を行う。 ・このプラントは、ケコム工法を応用した発酵設備として開発したものであり、地下での発酵だから臭いが気にならず、景観もよく、温度管理が容易である。 ・また、やまぐち県酪乳業㈱に乳製品廃棄物を使用したメタンガス発酵施設を設置し、2006年12月より稼働している。		

⑦	極東興産(株)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	下関市長府扇町8-10	電話番号	0832-48-4711
URL	http://www.kyokutohkousan.co.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	運搬・食品加工機械製造・据付	従業員数(人)	51
項目	養鶏場から出る鶏ふんを有機肥料化する装置の開発		
実施内容	・従来、高温で焼却するか産廃業者に処理を任せるしかなかった鶏ふんを有機肥料化する装置を開発(処理能力:12~15㌧/日)。 ・鶏ふんは倉庫内で発酵させた後、冷凍機で冷やし熱風で温度を下げながら、湿度15%の粒状にする。低温乾燥するため成分の変性が少なく栄養バランスに優れた有機肥料ができる。		

⑧	住吉重工業	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	下関市長府扇町8-46	電話番号	0832-48-4111
URL	http://www.sumiyoshi-j.co.jp/	資本金(万円)	24,500
業種	機械器具製造	従業員数(人)	50
項目	食品廃棄物を加熱減圧し真空吸入することで飼肥料に再生する装置の開発		
実施内容	・食品廃棄物を加熱減圧し真空吸入することで飼肥料に再生する「Sリサイクルプラント」(商品名)をシリーズ化。 ・システムフローは、100以上の蒸気を、処理槽筒部と攪拌パドルに送り込むことで処理タンク内を間接加熱し、同時に処理タンクを0.5気圧以下に減圧、沸点を35~70に下げる。この熱効率の良い加熱減圧方式で原料の水分をすばやく蒸発させる。 ・焦げ付きが殆どなく、またビタミンやタンパク質などの変質を抑えることができるので、特に飼料化に最適である。投入する原料は売れ残りや食べ残り、食品製造・加工・調理くずなどで、固体、液体いずれも処理が可能。		

⑨	西日本技術開発(有)	分野	バイオマスの有効利用機器
住所	周南市児玉町2-21-4	電話番号	0834-22-5234
URL	http://www.ntd.sc/	資本金(万円)	800
業種	機械工業	従業員数(人)	
項目	木質バイオマス燃料のペレット製造装置の開発		
実施内容	・木質バイオマス燃料のペレット製造装置を開発。プラントメーカーなどと連携して全国販売に乗り出す。 ・装置は自社製品の破砕機と、取り扱っている紙片解繊機を組み合わせたものであり、粗破砕機は筐体内部で刃が回転し、固定刃との間にはさまれた対象物を引きちぎって破砕する。 ・高含水率の木材や竹・ケナフなど、材料を選ばずに破砕できる。		

⑩	株ジャスト東海	分野	環境負荷低減機器
住所	宇部市厚南区上中野	電話番号	0836-44-0550
URL	http://www.just-toukai.co.jp	資本金(万円)	1000
業種	建築工事業の施工・管理・管工事業の施工・管理	従業員数(人)	13
項目	地中の熱を利用して屋根の雪を溶かす「屋根融雪システム」の開発		
実施内容	・山形大学工学部の横山孝男教授と、地中の熱を利用して屋根の雪を溶かす「屋根融雪システム」を共同開発。 ・システムは、地下10~30℃の地下水(常温で約10℃)をポンプでくみ上げて屋根の裏側に循環させ、屋根表面の温度を5℃前後に保ち雪を溶かし、熱伝導率を高める真空の銅製パイプを屋根全体に張り巡らせ、屋根に張ったパネルに伝える。 ・銅製パイプにより、10℃程度の水でも融雪が可能である。		

⑧	新光産業(株)	分野	環境負荷低減機器
住所	宇部市大字際波1440	電話番号	0836-45-1111
URL	http://www.ube-shinko.co.jp/	資本金(万円)	30000
業種	機械工業, 金属加工, 建設業, 鉄鋼工業	従業員数(人)	330
項目	気体溶解量調整装置から発生するマイクロバブルをペット用洗浄機として商品化		
実施内容	・宇部高専と共同開発した気体溶解量調整装置から発生するマイクロバブルが、ペット用洗浄機として初めて商品化された。 ・同社と藤村ポンプ(株)が商品化したもので、洗浄力に優れ、消臭効果もあるため、コインランドリー形式での事業展開を考えている。 ・装置から出る湯が特殊なシャワーヘッドにより、大量のマイクロバブル(50ミクロン以下の気泡)となって噴射される仕組み。		

⑨	海水化学工業(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	防府市大字浜方535	電話番号	0835-22-8105
URL	http://www.kaisuikagaku.com	資本金(万円)	4,800
業種	化学工業	従業員数(人)	45
項目	雨水地下貯留浄化循環システム及び雨水利用システムの開発		
実施内容	・学校や公園、歩道などの公共施設やマンション、戸建住宅などの地下に、雨水を貯めておくための貯水システム「雨水地下貯留浄化循環システム」の開発を行う。 ・本システムは、自然に生息する微生物を利用して水を浄化し、貯めた雨水の水質悪化を防ぐ。また、独自の浄化・殺菌技術を組み合わせることによって、安全・安心な水資源として、トイレ用水、植物への散水や非常用水などに利用することが可能である。		

⑩	(株)内藤工業所	分野	水質・土壌浄化機器
住所	宇部市大字木田614-1	電話番号	0836-62-0048
URL	http://www.naito-kogyosho.co.jp	資本金(万円)	4,500
業種	総合工事業	従業員数(人)	19
項目	ダム湖の流木を集積する流木塵芥集積船の開発		
実施内容	・平成11年にダム湖の流木を集積する専用船を自社開発。平成13年には水環境に配慮する為、同船の駆動を油圧から水圧駆動方式に変える研究開発を実施。 ・広範囲に浮遊する塵芥等を効率よく集積可能、従来の人力による収集方法に比べ安全作業が可能、喫水が浅く(40cm)、湖岸に堆積する塵芥等も容易に回収できる等の特徴がある。		

⑪	中村建設(株)	分野	水質・土壌浄化機器
住所	宇部市大字中山1115-10	電話番号	0836-21-5802
URL	http://nakamura-k.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	総合建設業	従業員数(人)	22
項目	濁水処理システム「ミズコシタロウ」の開発		
実施内容	・濁水処理装置「ミズコシタロウ」は凝集剤が不要な濁水処理装置として国土交通省新技術情報提供システム<NETIS>の認定を受けたフィルター濾過方式による濁水処理装置。		

⑧9	長州産業㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	山陽小野田市大字西高泊大塚1371-7	電話番号	0836-84-1122
URL	http://www.choshu.co.jp/	資本金(万円)	36,000
業種	電気機械器具製造	従業員数(人)	540
項目	半導体の製造過程で発生する廃棄物から有毒なヒ素と希少元素 のガリウムを分離回収		
実施内容	半導体の製造過程で発生する廃棄物から有毒なヒ素と希少元素 のガリウムを分離回収する「希少元素回収装置」を開発。 物質に固有の蒸発温度差を利用して 分別回収する仕組みで、処理後に発生する猛毒のアルシンも大幅に減少する。		

⑧0	日環特殊㈱	分野	水質・土壌浄化機器
住所	下関市山の田東町7-1	電話番号	0832-53-7797
URL	http://www.nikkan-t.co.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	衛生設備、給排水設備工事	従業員数(人)	56
項目	下水処理で発生する汚泥を脱水し120分の1まで減量できるシステムの開発		
実施内容	山口大学との共同研究で、日環特殊(下関市)が、工場などから出る汚泥を燃料に転換する「汚泥減容燃料化システム」の開発に成功。 汚泥から炭化物、活性炭、メタンガスなどをエネルギー源として抽出する仕組みで、全国への販路拡大を本格化している。汚泥の容積を小さくしながら、汚泥に含まれるエネルギーを逃さず、いかに水を効率良くとばすかが課題だった。高速回転ディスクで汚泥微生物の細胞膜を破壊、可溶化してタンパク質や炭水化物、脂肪、水などに微細化。600度の高温で乾留して作る炭化物は発電所や焼却場の助燃材にする。ほかにも、活性炭はダイオキシンの除去剤に、メタンガスは発電などに、水素ガスは燃料電池に活用できる。		

⑧7	㈱ブラウド	分野	水質・土壌浄化機器
住所	下関市山の田東町3-6	電話番号	0832-52-1238
URL	http://www10.ocn.ne.jp/~proud-m/	資本金(万円)	16,387
業種	水処理装置製造	従業員数(人)	14
項目	電気化学処理による排水脱色脱臭・臭気ガス脱臭・空気浄化・滅菌水製造装置の開発		
実施内容	触媒電極を使用した新方式の電気化学処理により、排水の脱色、臭気ガスの脱臭及び浄化処理、衛生管理用の滅菌水製造を行う。 特殊触媒電極を使用しているため、電気効率が早く、且つ電極寿命は3年以上となる。 電流設定を変えるだけで所定の濃度の滅菌水を生成し、ウイルス・病原菌の感染経路を遮断することができる。 滅菌処理装置で生成する有効塩素やその他活性種は酸化力が強く、細菌などの微生物の蛋白質を酸化分解し、死滅させる機能を有する。		

6 - 4 . 環境関連企業（環境調和型製品製造分野）

6- 4 .環境関連企業（環境調和型製品製造分野）

(1)鳥取県

①	大村塗料(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	鳥取市千代水3-87	電話番号	0857-28-7881
URL	http://www.omuratoryo.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	塗料製造・卸	従業員数(人)	13
項目	プラスチックリサイクルを可能にするコーティングシステムの開発		
実施内容	・プラスチックリサイクル時に容易に溶解脱離できる剥離性アンダーコートを開発。 ・アンダーコートとの層間剥離がなく密着性に優れ、意匠性・機能性を具備するトップコートを選択することにより2コート仕様ではあるが効率的なプラスチックのマテリアルリサイクルが可能になった。 また、同時に開発した剥離液の組成は、環境に対し影響がほとんどなく、生分解性を有するものである。		

②	株ジャパン緑化	分野	環境負荷低減製品
住所	鳥取市鹿野町鷺峯234	電話番号	0857-84-6000
URL	http://www.japan-ryokka.co.jp/	資本金(万円)	4,000
業種	建設業・造園工事	従業員数(人)	15
項目	針葉樹皮を原料とした環境保全型建設資材「E-ソイル」の製造		
実施内容	杉や檜の樹皮を特殊加工し、ミネラルコンポストにより表面活性処理された新しい多目的環境保全型建設資材「E-ソイル」を製造。 用途として、緑地の土壌改良材、クレイ（土）系グラウンドの土壌安定材、屋上緑化土壌、法面の厚層基盤材、マルチング材、透水性舗装材など様々な場面で利用可能である。 ・「E-ソイル」の特徴は、殺菌力があるため土壌中の根腐れ菌を抑制し、植栽に適した土壌に改良できること、アオコも発生せず、河川や湖沼を汚染しないこと、細かな繊維が複雑に絡み合う構造から、軽量でも強風による飛散や雨水による流出が起こりにくいなどがある。最近は脱臭や断熱の効果もあることが分かってきた。		

③	用瀬電機(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	鳥取市用瀬町用瀬7-2	電話番号	0858-87-2711
URL	http://www.mochigase.co.jp	資本金(万円)	40,212
業種	電機機械製造業	従業員数(人)	59
項目	ダイオキシン抑制剤「DXNON（デキシノン）」の製造・販売		
実施内容	・カルシウムとマグネシウムが主原料の天然鉱物ドロマイトを独自の製法で加工したダイオキシン抑制素材「DXNON（デキシノン）」を開発。 ・燃焼時に発生する不安定な塩素を瞬時に捕捉して安定した状態となるため、ダイオキシンを強力に抑制する。合わせて、廃棄時には自然分解されるため、環境性も非常に優れた素材である。		

(2)島根県

④	小松電機産業(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	松江市乃木福富町735-188	電話番号	0852-32-3636
URL	http://www.komatsuelec.co.jp/	資本金(万円)	10,000
業種	電気機械器具製造	従業員数(人)	89
項目	省エネに役立つ高速シートシャッターの開発		
実施内容	シートシャッターは、人や車両が近付くとセンサーで感知し蛇腹状のビニールシートが高速で開閉するもの。 ・高度の安全性・機密性を備え、防寒・防風・防塵・防虫性に優れている。 ・中でも、製品保管に温度管理と清潔さが不可欠な食品業界から注目され、国内では50%のシェアを誇るほか、韓国をはじめ海外からも注文が途切れないヒット商品である。		

⑤	株ネオテクノス	分野	水質・土壌浄化製品
住所	松江市八幡町796-34	電話番号	050-3161-2490
URL	http://www5f.biglobe.ne.jp/~neotec/main.htm	資本金(万円)	1,000
業種	汚物処理	従業員数(人)	10
項目	工場排水から有害物質のフッ素を分離する凝集剤「ネオナイトFX」の開発		
実施内容	・「ネオナイトFX」は、マグネシウム、鉄、カルシウムなどを配合、粉末にしたもので、前処理用の凝集剤「FX1」と、フッ素濃度を水質汚濁防止法の省令改正で義務付けられた1リットル当たり8ミリグラム以下まで落す「FX2」の2種類で構成している。現在、主流の消石灰を使った分離法に比べ費用が安い。 ・凝集剤2種類を段階的に排水に投入して攪拌すると、フッ素を含む汚泥が分離、沈殿する。汚泥は産業廃棄物として処理する。		

⑥	株イズコン	分野	水質・土壌浄化製品
住所	出雲市大津町1778-1	電話番号	0853-23-2633
URL	http://merce.webloid.jp/izcon/	資本金(万円)	8,000
業種	コンクリート製品製造	従業員数(人)	231
項目	循環型社会構築に貢献する環境保全・資源循環型コンクリートの開発		
実施内容	・水質汚濁を引き起こす原因物質であるリンを、河川から選択的に除去することができる、リン吸着コンクリートの開発に成功。 ・リン吸着コンクリートの用途をさらに拡大するために、湖沼やダム、流れの緩やかな都市河川などの停滞水域で利用することができる、浮島型リン吸着コンクリートの開発を実施。 ・本製品は、リン吸着材料と軽量の発泡ガラスを利用したリン吸着コンクリートに、専用の浮力体と植物を複合化しており、水質浄化と景観の効果を同時に発揮する。		

(3)岡山県

⑦	森下化学工業(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	瀬戸内市長船町磯上1900	電話番号	0869-26-8550
URL	http://www.marsol.co.jp/	資本金(万円)	15,000
業種	農業用ネット製造卸売業	従業員数(人)	95
項目	焼却灰輸送用フレコンバッグ、高粘度油・吸着材回収ネットの開発		
実施内容	・高粘度油のほか吸着材も回収できる高粘度油・吸着材回収ネットを開発。 ・特徴としては、海上浮遊物一切を短時間・広範囲に回収可能、簡単に海上でバッグ交換ができ連続作業が可能、バッグ交換の際に本体内の浮遊物が外に洩れない、回収から処理場まで他の容器に移しかえずに運搬可能、幅広い船の規模に対応している、などの特徴がある。		

⑧	株池田製紐所	分野	環境負荷低減製品
住所	倉敷市児島唐琴2-4-24	電話番号	086-477-7531
URL	-	資本金(万円)	1,000
業種	紐類製造	従業員数(人)	26
項目	トウモロコシから作られた生分解性繊維を原料とした手提げひも「バイオロープ」、カードホルダーの製造		
実施内容	・2001年から大手合繊メーカーと地球環境に配慮した資源循環型素材の共同開発を行い、トウモロコシから作られた生分解性繊維「プラスターチ」を原料とした環境対応素材での製紐加工技術を確立し、紙袋向け手提げひも「バイオロープ」およびカードホルダーを製造・販売。 ・カードホルダーはネックピース(紐部分)及びカード部分いずれもポリ乳酸を100%近く使用しており、有機資源協会のバイオマークを取得済みである。		

⑨	株グリーンベスト	分野	環境負荷低減製品
住所	倉敷市片島町66	電話番号	086-465-8300
URL	http://www.greenbest.co.jp	資本金(万円)	-
業種	プラスチック発泡製品製造	従業員数(人)	30
項目	製造過程においてフロンガスを用いないIPEPP発泡製品の製造		
実施内容	・ノンフロンのPEPPの発泡製品(フルーツキャップやクッション材など)を製造・販売。 製造過程においてフロンガスを使わないこと、燃やしてもダイオキシンなどの有害物質を発生させない素材で作られているという特徴がある。 ・さらに製造の過程でできた切れ端なども原料として再利用していることや製造する機械を冷却するための水も循環させて使うなど環境に優しい配慮が行われている。		

⑩	豊和株	分野	環境負荷低減製品
住所	倉敷市児島田の口4-4-18	電話番号	086-477-6060
URL	http://www.howa-net.co.jp/	資本金(万円)	1,000
業種	染色整理業	従業員数(人)	250
項目	廃液を極限まで減らした染色技術の開発		
実施内容	・無水染色の研究開発を行い、2001年に岡山県工業技術センター他、4機関と共同で綿やレーヨンなどセルロース系繊維を染色する際に排水を出さない染色方法を確立。 従来の方法は大量の水を消費、排出することで環境負荷と排水処理コストの増大が懸念されていたが、新システムでは高温高圧二酸化炭素を使用するため、廃液を極限まで減少させることに成功。 また、使用した炭酸ガス染料は回収再利用するため、環境に優しい染色方法である。		

⑪	株サンラヴィアン	分野	環境負荷低減製品
住所	浅口郡里庄町新庄3920	電話番号	0865-64-4771
URL	http://www.sunlavieen.co.jp/	資本金(万円)	9,360
業種	菓子製造	従業員数(人)	300
項目	スポンジケーキ用リサイクルトレーの開発		
実施内容	・スポンジケーキ用のリサイクルトレーを、食品容器メーカーの株式会社エフピコ(福山市)と共同で開発。 従来のポリスチレン(PS)に替えて、発泡ポリスチレン(PSP)を原料に使用し、厚みを約5倍にして強度をアップさせた。 使用後はエフピコが構築している回収ルートで回収し、トレーに再生する。		

⑫	大橋化学工業株岡山工場	分野	環境負荷低減製品
住所	勝田郡勝央町太平台40	電話番号	0868-38-4131
URL	http://www.ohashi-chem.com/	資本金(万円)	10,000(全社)
業種	塗料製造・卸	従業員数(人)	200(全社)
項目	各種機能性塗料、溶剤の製造		
実施内容	・高硬度、耐摩耗性、耐擦傷性、耐化学薬品性、耐溶剤性など非常に優れた塗膜性能を持った機能性塗料を開発。 高い生産効率、省エネルギー、環境対策に有利である。		

⑬	(有)植田木工	分野	環境負荷低減製品
住所	真庭市月田7408-1	電話番号	0867-44-3462
URL	-	資本金(万円)	500
業種	木工業	従業員数(人)	5
項目	湿度調整機能及び化学浮遊物質や悪臭を吸着する炭質材の製造		
実施内容	昔から使用されている炭を再処理して炭素商品の応用範囲を広げた環境、健康にやさしい成型炭を製造。木質系炭材を粉碎し環境にやさしい繋ぎ材と攪拌、その後高温高圧処理された成型炭は湿度調整機能及び科学浮遊物質や悪臭を吸着する炭質材に再生される。煮沸又は水洗い可能で再使用でき、強度な衝撃により破損した場合は土壌に返すことができる環境配慮型炭質材である。		

⑭	株猿川	分野	環境負荷低減製品
住所	岡山市当新田484-6	電話番号	086-244-0011
URL	http://www.optic.or.jp/com/sarukawa/sarukawa.html	資本金(万円)	3800
業種	紐類製造	従業員数(人)	50
項目	生分解性プラスチックを原料とした袋の開発		
実施内容	生分解性脂肪属芳香属ポリエステル約70%、植物由来のポリ乳酸約30%の原料を使用して製造する袋を開発。生分解性プラスチックは使用後の処理方法も考えて作られるポリマーであり、このプラスチック製品は、その後の天然高分子と同じように、使用後には微生物の作用で二酸化炭素と水になって自然に還るため、植物由来のポリ乳酸を使うと効果は増大する。		

⑮	中備化工(有)	分野	環境負荷低減製品
住所	浅口市寄島町 3183 - 1	電話番号	0865-54-3231
URL	http://www.optic.or.jp/yori/chuubi/	資本金(万円)	600
業種	プラスチック加工	従業員数(人)	9
項目	生分解性プラスチックを使用したストローの製造		
実施内容	ストローの材料となる生分解性樹脂は、使用後は生ゴミと同様にコンポスト化できる、焼却しても有害物質を発生しないなどという特色があり、地球に優しく環境に負荷をかけないエコロジー素材として注目されつつある。		

⑯	クラレケミカル株鶴海工場	分野	水質・土壌浄化製品
住所	備前市鶴海4342	電話番号	0869-65-8331
URL	http://www.kuraray-c.co.jp/	資本金(万円)	60,000 (全社)
業種	化学工業	従業員数(人)	215 (全社)
項目	ダイオキシンなど有害物質を吸着除去する高機能活性炭の製造		
実施内容	ダイオキシンなど有害物質を吸着除去する高機能活性炭を2004年度に増産。孔の表面積が大きく、吸着能力に優れた円筒状の造粒炭や、孔の大きさを調整し特定の物質が除去できる活性炭など、性能の高い製品に絞って増産している。水質浄化やガソリタンクから漏れる揮発性ガスの吸着など既存用途のほか、添加物を使わない脱色など食品製造分野などの新規分野への活用を検討。		

⑬	岡山セラミックス技術振興財団	分野	水質・土壌浄化製品
住所	備前市西片上1406-18	電話番号	0869-64-0505
URL	http://occ.optic.or.jp/	資本金(万円)	40,000
業種	財団法人	従業員数(人)	-
項目	ケイ藻土を用いた有害物質の吸着能力を高める水質浄化剤「多孔性セラミックス」の開発		
実施内容	蒜山地域に産出されるケイ藻土を使い、水質中のアンモニアなど有害物質の吸着能力を従来の約3倍に高める浄化剤「多孔性セラミックス」を開発。 ・ケイ藻土の主成分であるシリカ30%程度をアルカリ溶液で溶かし、硫酸などを加えて再びシリカを生成して沈殿させると、元のケイ藻土の表面に凹凸の膜を形成、膜には数nm単位の微細な穴が開き、有害物質を吸着する表面積が5～7倍に拡大する。これにより、新開発した多孔性セラミックスのアンモニア除去率は90%近くになり、従来の約3倍の能力がある。 ・生活排水や工業廃水の浄化剤としての活用が期待できる。		

⑭	谷口商会(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	岡山市藤田338-31	電話番号	086-296-5906
URL	http://www.taniguti.co.jp	資本金(万円)	3,500
業種	環境保全装置・資材製造	従業員数(人)	20
項目	路面や河川に流出した環境汚染油「スミレイ」の吸着材の開発、製造、販売		
実施内容	・「ACライト」は路面用の油吸着材で、高温で焼いたスポンジ状の円柱型多孔質セラミックスの油吸着材。油を吸着した後もべとつかず路面散布後も車のスリップの心配がない。また、油を吸着した後は、草地へ撒くと2～3ヶ月でバクテリアにより分解され、土壌改良材の効果もある。 ・「スミレイ」は河川用の油吸着材で、水を吸わず油だけを吸着する。		

⑮	(株)ニューソイルケミカル	分野	水質・土壌浄化製品
住所	総社市富原367-5	電話番号	0866-92-4811
URL	http://ww1.tiki.ne.jp/~n-s-c/	資本金(万円)	1,000
業種	化学工業薬品製造	従業員数(人)	10
項目	廃棄物を無害化・無臭化して再利用する「NSC硬化剤」の開発		
実施内容	・産業廃棄物を無害化、無臭化、固形化する無機系硬化剤「NSC硬化剤」を開発。 ・「NSC土木用」は、現場の土などを使った土木工事に再利用できる。 ・「NSC公害用」は、有害物質を含んだ廃棄物やヘドロ、焼却灰等あらゆるものを無害化したうえで固形化し2次製品などに加工、リサイクルできる。		

⑯	(株)シヨウエイ	分野	水質・土壌浄化製品
住所	美作市古町701-1	電話番号	0868-78-3819
URL	http://www.syoei-okayama.jp/	資本金(万円)	5,000
業種	一般機械器具製造業	従業員数(人)	41
項目	光触媒酸化チタンの用途開発として水質の浄化を目的とした浄化フィルターの開発		
実施内容	光触媒酸化チタンの用途開発として、水質の浄化を目的とした商品を開発。 光触媒の機能を効果的に発揮させるため、基材をカーリング状にすることにより、表面積を確保し、また、数ミクロンのピット形成を基材に施し、酸化チタンをルチル化しない温度で焼成することにより、水中の有機性揮発物の分解を行う。		

②①	日本植生(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	津山市高尾573-1	電話番号	0868-28-0256
URL	http://www.nihon-shokusei.co.jp	資本金(万円)	34,295
業種	建設業,造園業,土木建築材料製造	従業員数(人)	290
項目	水環境に配慮した木炭を利用した植生基材マット「エコステーション」の開発		
実施内容	・「エコステーション」に利用されている機能性木炭は硝酸性窒素を吸着することができ、さらに吸着した硝酸性窒素を植物に還元し、硝酸性窒素を有効に活用できる水環境に配慮した木炭である。 ・間伐材チップで機能性木炭を製造しており、循環型社会にも貢献している。		

②②	アールピーシーコンサルタント(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	津山市高野山西478-3	電話番号	0868-26-5205
URL	http://www.rbc-kk.co.jp	資本金(万円)	4,800
業種	建設コンサルタント	従業員数(人)	24
項目	水質浄化活性石の粉末「バクチャーパウダー」を使用した浄化法の開発		
実施内容	・水質浄化活性石の粉末「バクチャーパウダー」を使用した浄化法は、これまでの水質浄化システムの常識を打ち破った自然浄化法。 ・水量に対し30PPM(重量比)のバクチャーパウダーを散布すると、やがて原生動物が確認できるようになり、これらの微生物は、有機物を分解・摂取して栄養源にするとともに、自らも魚などの餌となり、理想的な食物連鎖が形成される。 ・その結果、富栄養化の原因となる窒素やリンは除去され、「自然浄化法バクチャーシステム」が完成する。		

②③	同和工営(株)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	岡山市築港栄町31-10	電話番号	086-262-9200
URL	-	資本金(万円)	65000
業種	建設業,住宅建設,土木工事	従業員数(人)	
項目	湖沼などの水中に含まれる低濃度のリンを吸着する濾材の開発		
実施内容	・湖沼などの水中に含まれる低濃度のリンを吸着する濾材を開発し、量産化技術を確立。 ・濾材は、特殊粘土をベースに、ろう石などのリサイクル材を加えて焼成し製造。直径10^φ程度の粒状で、表面積は広く、低濃度リンの吸着速度を向上させる。 ・富栄養化の進んだ湖沼などの水質改善のほか、下水処理場や農業集落排水の最終処理で活用可能。		

②④	日本エクスラン工業(株)西大寺工場	分野	水質・土壌浄化製品
住所	岡山市金岡東町3-3-1	電話番号	086-942-9800
URL	http://www.exlan.co.jp/	資本金(万円)	200000(全体)
業種	化学繊維	従業員数(人)	
項目	光触媒の効果で消臭・抗菌機能を高めるアクリル繊維の開発		
実施内容	・光触媒の効果で消臭・抗菌機能を高めるアクリル繊維を開発。 ・光触媒に使うのは酸化チタン。太陽光や蛍光灯の光で酸化還元反応を起こし、においや汚れの原因となる有機物を水と二酸化炭素に分解する。 ・繊維は酸化チタンを練り込んだ層と、直径数十ナノメートルの穴が無数に開いた層による多層構造。繊維の表面積は通常のアクリル繊維の10倍に拡大し、有機物などが吸着しやすくなる。		

(4)広島県

⑳	㈱テックコーポレーション	分野	環境負荷低減製品
住所	広島市中区三川町2-6	電話番号	082-247-1100
URL	http://www.techcorporation.co.jp	資本金(万円)	7,000
業種	環境機器製造販売・販売	従業員数(人)	132
項目	バイオ式生ゴミ処理機「マジックバイオくん」に用いるバイオ菌「バイオテックシリーズ」の開発		
実施内容	・バイオ式生ゴミ処理機「マジックバイオくん」で用いるバイオ菌体「バイオテックシリーズ」は「悪臭の生成を最小限に抑え、有機質を迅速かつ効率良く水と炭酸ガスに分解する」という、高い分解能力による減容を目標に開発された独自の製品である。 ・この「バイオテックシリーズ」には、自然界の土壌に普通に生息する菌の中から選出した特定のバクテリアを特殊培養して配合した精製バイオを使用しているので、環境や人にも安全である。		

㉑	広島化成㈱	分野	環境負荷低減製品
住所	福山市松浜町2-2-11	電話番号	084-922-7210
URL	http://www.hiroshimakasei.co.jp/	資本金(万円)	20,000
業種	ゴムプラスチック製品製造	従業員数(人)	430
項目	環境負荷低減させたゴム製品の製造		
実施内容	・多機能高分子素材であるゴムの可能性に着目し、リサイクル性に優れ環境への負荷を小さくできる製品をつくることを目的として、水を発泡剤として使用した地球に優しい無公害スポンジ製品を開発。 ・プラスチックの成形方法でゴム同等の性能があり、リサイクル可能で環境に負荷をかけない。		

㉒	㈱あべダンボール	分野	環境負荷低減製品
住所	東広島市黒瀬町宗近柳国82-1	電話番号	0823-82-6181
URL	-	資本金(万円)	1,200
業種	段ボール製造	従業員数(人)	25
項目	パルプ素材より製造する保冷容器「バル・クーレ」の開発		
実施内容	・リサイクル可能な保冷容器「バル・クーレ」(商品名)を開発。 ・オールパルプ系素材で構成した完全リサイクル可能でクリーンな次世代保冷容器であり、特徴は発泡スチロール製とほぼ同じレベルの保冷力を有し、耐水処理したパルプモードを内蔵しているので気密性が高く、水も空気も外に出さない。		

㉓	大野石油店㈱	分野	環境負荷低減製品
住所	広島市中区西白島町22-15	電話番号	082-221-9107
URL	http://ohno-group.co.jp	資本金(万円)	3,000
業種	ガソリンスタンド、灯油販売	従業員数(人)	240
項目	酸化チタンを利用した光触媒製品『ミラクルチタン光触媒コート』の開発		
実施内容	・三井鉱山と共同で酸化チタンを利用した『ミラクルチタン光触媒コート』を開発。 ・ミラクルチタンは安全で光触媒効率が高く、また作業が容易であるなど優れた特長を持っている。 ・消臭、抗菌、防汚、防カビに効果があり、建材や応用商品など幅広い範囲で提供している。		

②9	㈱板野紙工	分野	環境負荷低減製品
住所	広島市佐伯区五日市町上河内468	電話番号	082-928-0515
URL	-	資本金(万円)	1000
業種	パルプ・紙・紙加工品製造業	従業員数(人)	13
項目	リサイクル率の高い段ボールを材料としたテーブルや収納棚の開発・発売		
実施内容	・段ボールを材料として、材質、組立方法の工夫を凝らし、リベット、のりなどを使わないテーブル(小型)と収納棚を開発。 ・リサイクル性の良さや、地震などの際も被害を最小限に抑えることができ、ふちの部分も手が切れないように加工している。		

③0	日東製網㈱福山工場	分野	環境負荷低減製品
住所	福山市一文字町14-14	電話番号	084-953-1234
URL	http://www.nittoseimo.co.jp/	資本金(万円)	110250 (全体)
業種	漁具	従業員数(人)	264 (全体)
項目	漁網を応用した網製の買い物用バッグの開発		
実施内容	・漁網を応用した網製の買い物用バッグ「Shopping網(ショッピング・アミーゴ)」を開発。 ・ポリプロピレン製で無結節網を採用。約60kgまで耐久性を持たせた漁網を応用しているため、耐水性にも優れており、2年程度は繰り返し使用が可能である。		

③1	JFEスチール㈱西日本製鉄所福山地区	分野	水質・土壌浄化製品
住所	福山市鋼管町1	電話番号	084-945-4149
URL	http://www.jfe-steel.co.jp/	資本金(万円)	23,960,000 (全社)
業種	製鋼・製鉄業	従業員数(人)	44,579 (連結従業員数)
項目	鉄鋼スラグによる海域環境改善技術(藻場・浅場造成)		
実施内容	・製鉄副産物である鉄鋼スラグを用いた、リサイクル材のみによる藻場・浅場造成技術を確立。 ・海域環境改善効果があり、浚渫土との組み合わせも可能である。 ・炭酸カルシウムによる高い生物親和性がある。		

③2	㈱ワイエスデー	分野	水質・土壌浄化製品
住所	東広島市高屋台1-5-18	電話番号	082-434-1535
URL	http://www.yzd-mira.co.jp/	資本金(万円)	1,500
業種	各種機械部品のメッキ加工と污水处理剤の開発・生産・販売	従業員数(人)	40
項目	あらゆる汚水に対応できる凝集・固定・分離剤の開発・生産・コンサルティング		
実施内容	・天然有機酸を利用することにより、新機構の中世凝集分離剤「ミグレース」を開発。 ・懸濁物質が有機で有水、無機で有水、殆どの汚濁水に対し、効果的な凝集固定分離が可能で、海・川・工場・下水などあらゆる水場面に対応できる。 ・重金属・水溶性重金属に関しても凝集固定分離ができ、更に一度凝集分離したものは再溶解再溶出はほとんど起こらない。		

③③	メンテック㈱	分野	水質・土壌浄化製品
住所	広島市安芸区矢野新町2-3-24	電話番号	082-884-3488
URL	http://www.mentec.co.jp	資本金(万円)	9,675
業種	産業廃棄物処理, 土木建築材料	従業員数(人)	100
項目	泡の力でダストを消す「ダストパスタ」の開発		
実施内容	・粉じん抑制剤により水の表面張力を低下させ、水とダストのなじみを良好にし、泡を成形することによりダストに接触する表面積を数十倍にするという2つの特徴の相乗効果により絶大な粉じん抑制効果を発揮させる。 ・さらに、その使用水量は散水方式の1/10～1/20でよく、ダストを外部へ流出させず公害問題を未然に防止できる。 ・粉じん抑制剤の使用量は使用水量に対して200:1～500:1と極めて少なく経済的な粉塵対策が可能。		

③④	戸田工業㈱大竹事業所	分野	水質・土壌浄化製品
住所	大竹市明治新開1-4	電話番号	0827-59-0083
URL	http://www.todakogyo.co.jp	資本金(万円)	556,200 (全社)
業種	化学工業	従業員数(人)	370 (全社)
項目	高濃度VOC汚染土壌・地下水を短期間で浄化「RNIP」重金属類を固化・不溶化し溶出を抑制「AMH」		
実施内容	・高濃度VOC汚染土壌・地下水を短期に浄化可能な、ナノスケールの高性能ナノ鉄複合粒子「RNIP」と、重金属類を固化・不溶化し、溶出を抑制する無機系酸化粉体「AMH」を開発。 ・「RNIP」は、VOCを短時間で高速分解浄化し、通常の鉄粉の100倍と強い還元性能によりVOCを水素化脱塩素して完全に分解・無害化する。高い浸透性により深層汚染にも対応可能である。 ・「AMH」は、汚染土壌等の重金属類を固定・不溶化して溶出を抑制するもので、マグネシウム、カルシウム、アルミニウム、鉄等から構成された環境に優しい無機系酸化粉体である。		

③⑤	ミサワ環境技術㈱	分野	水質・土壌浄化製品
住所	三次市向江田町4252-2	電話番号	0824-66-2281
URL	http://www.ecomisawa.com/	資本金(万円)	4,000
業種	建設業, 建設コンサルタント	従業員数(人)	55
項目	水質・ヘドロ浄化剤「バイオコロニー」の販売を開始		
実施内容	・バイオコロニーは粉状の水質浄化剤で、水質の悪化した湖沼や港湾、ヘドロの堆積した養殖漁場、干潟などに撒布すると、汚れの原因であるアンモニア、亜硝酸、硫化水素などをバイオコロニーの微生物が吸収分解して水質や底質を浄化し、悪臭も取り除く。 ・化学肥料や農薬で汚染した土壌に撒布すると土中の残留硫化物を微生物が吸収分解して植物の発育促進を補う。 ・好気・嫌気性条件下で活動可能であることから、曝気装置などの設備・維持管理が不要である。		

③⑥	㈱エム・アイ・ダブル	分野	水質・土壌浄化製品
住所	福山市千田町千田4123	電話番号	084-955-5708
URL	http://www.kk-miw.com/miw/	資本金(万円)	
業種	商社	従業員数(人)	
項目	廃アスベストを無害化処理する固化剤の開発		
実施内容	・1976年に発売した土壌改良剤「シュタイン」がアスベストの無害化に効果があるとして需要が急増している。 ・シュタインは元々ダイオキシンや重金属を含む土壌を固化する安定処理剤として販売したものだが、最近のアスベストの無害化処理に大きな効果が見込めることが確認された。 ・現在一般的に実施されているアスベストの処理コストに比べて約3割低減できる。		

(5)山口県

③⑦	萩ガラス工房(有)	分野	環境負荷低減製品
住所	萩市大字椿東1189-453	電話番号	0838-26-2555
URL	http://www.hagi-glass.jp	資本金(万円)	1,000
業種	窯業・土石製品製造業	従業員数(人)	10
項目	ガラス質結合剤による高機能性多孔質セラミックフィルターの研究開発,事業化及び需要開拓		
実施内容	・高機能性を有するセラミック薄膜材を直接表層に焼結付加させることにより,限外濾過領域であるサブミクロンオーダーでの濾過精度を有し,圧力損失が少ない一体型高機能性多孔質セラミックフィルターエレメントを開発。 ・この技術を,薬品を一切使わない上水道用浄化装置用への適用について事業拡大中である。		

③⑧	宇部興機(株)	分野	環境負荷低減製品
住所	宇部市大字善和字大日203-230	電話番号	0836-62-0101
URL	http://www.ubekohki.co.jp/index.htm	資本金(万円)	2,000
業種		従業員数(人)	65
項目	ソーラー発電と発光ダイオード(LED)のベストマッチングシステム		
実施内容	・ソーラー発電と発光ダイオード(LED)のベストマッチング製品。 ・超高輝度白色LEDを最適配置しているため,同一ワット数の白熱電球や蛍光灯を上回る明るさと,非常に発熱の少ない光が得られる。 ・もともと超寿命のLEDを,各種センサーでコントロールすることにより,ランプの寿命切れによる交換作業が不要となった。 ・省エネのため,通常は低照度で点灯し,人体検知センサーが感知した時一定時間(任意タイマー)高照度点灯する。また,照明タイマーで不要な深夜の点灯を停止することができる。		

③⑨	東ソー(株)南陽事業所	分野	水質・土壌浄化製品
住所	周南市開成町4560	電話番号	03-5427-5167 (本社:有機化成品事業)
URL	http://www.tosoh.co.jp	資本金(万円)	4,060,000 (全社)
業種	化学工業	従業員数(人)	2,476 (全社)
項目	キレート化反応により重金属を不溶化させるアミン系有機キレート剤の開発		
実施内容	・従来の有機キレート剤では処理が困難であった,六価クロム,ヒ素を安定的に処理できるアニオン種の六価クロム,ヒ素用の処理剤「TF-10S」を今年新たに開発。 ・TF-10Sは,従来の鉄系剤のように酸性領域での処理が必要無く,アルカリ性領域での処理が可能である。また,処理装置(混練機)の腐食の心配がなく,複数の重金属に汚染された(鉛と六価クロム等)焼却飛灰であっても,有機キレート剤との併用で一度に処理が可能である。		

④①	(有)アセンティー	分野	水質・土壌浄化製品
住所	防府市大字新田246	電話番号	0833-45-2388
URL	http://www.asenthy.com	資本金(万円)	800
業種	環境商品製造販売業	従業員数(人)	4
項目	強力な吸着パワーを持つ100%植物原料の油吸着剤「スノム」の開発		
実施内容	・「スノム」は,植物の殻でできた水を吸わずに油だけを吸着する油吸着分解剤であり,油を瞬時に吸着し,バクテリアが油を食べて水と炭酸ガスに分解する。 ・人畜・植物に無害で金属等への腐食性もなく,無リンの環境対応型の商品である。		

④	マツモト総合企画(有)	分野	水質・土壌浄化製品
住所	山口市小郡花園町1-9	電話番号	083-972-9466
URL	http://www.msk-solution.com	資本金(万円)	300
業種	環境浄化事業	従業員数(人)	10
項目	微生物活性剤による環境浄化システムの開発		
実施内容	微生物活性(馴化)剤(特許申請済み)を使用して汚染排水を効率良く安価で浄化する為のシステムの開発に取り組み、現在厨房排水、酪農排水、池、河川の浄化等に弊社開発商品を使用し、大きな成果を上げている。		

④	宇部マテリアルズ(株)美祢工場	分野	水質・土壌浄化製品
住所	美祢市伊佐町伊佐4611-1	電話番号	0837-52-0175
URL	http://www.ubematerials.co.jp	資本金(万円)	404,700(全社)
業種	化学工業	従業員数(人)	580(全社)
項目	水質浄化、大気汚染防止に寄与する環境関連製品の開発		
実施内容	消石灰、生石灰などを用いた、排ガス処理用消石灰・排煙脱硫剤水酸化マグネシウム等の環境改善材を開発。製品の1つとして、消石灰を主成分に有害物質を吸着する活性炭などの吸着物質、吸着機能を高める触媒(機能向上物質)からできている「ソルバリット」は、ゴミ焼却炉、発電用ボイラー等の排ガス中のダイオキシン等有害物質を除去するものである。		

参考文献

- 1) 循環・環境クラスター企業 取組事例集 2007-2008 / 中国経済産業局 / 平成19年1月
- 3) オンリーワン, ナンバーワン企業 / 中国経済産業局ホームページ (平成19年1月現在)
- 4) 中国四国地域のバイオマス利用取組み事例 / 中国四国農政局ホームページ (平成19年9月)
- 5) 広島発新エネ・省エネ技術のご紹介 / 広島県環境関連産業創出推進協議会 / 平成19年3月
- 6) 月刊環境ジャーナル / 有限会社ソフトアイ (平成17年4月～平成20年3月の内容)
- 7) 中国地域環境関連マップ2007 / (財)ちゅうごく産業創造センター, 中国経済産業局
/ 平成19年3月
- 8) 各省庁 (中国経済産業局, 中国四国農政局, 中国四国地方環境事務所) の
メールマガジンにおいて掲載されている環境関連企業
/ 各省庁ホームページ (平成20年3月までの内容)
- 9) 各県の認定企業 (岡山県: わが社の技, 広島県: 広島県オンリーワン・ナンバーワン製造業等)
/ 各県の商工労働部局ホームページ (平成20年3月現在)

7 . 行政の主な支援制度一覧

7 - 1 . 行政の主な支援制度（国）

7-1. 行政の主な支援制度(国)

(1) 自治体，企業，市民団体など全ての主体を対象とした制度

バイオマス利用の研究開発に関する補助(ソフト事業)

事業名	バイオマス等未活用エネルギー事業調査事業	対象分野	バイオマスエネルギー 雪氷熱エネルギー
対象者	【一般枠】民間企業，地方公共団体等 【バイオマスタウン枠】市町村，東京都特区		
制度概要	バイオマスエネルギー，雪氷熱エネルギー利用に係るデータの収集・蓄積・分析等の事業化可能性調査を行う以下の事業に対して補助を実施 バイオマスエネルギー ・熱化学変換技術（溶融ガス化等），生物化学的変換技術（メタン発酵等），その他新規性のある燃料化システム ・燃料化システムによる燃料利用，又は直接燃焼による熱利用システム 雪氷熱エネルギー ・公共施設などの冷房システム，その他新規性のある冷熱利用システム		
支援内容	・補助額：1,000万円以内（定額）		
窓口	中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課	電話番号	082-224-5713

事業名	「二酸化炭素固定化・有効利用技術等対策事業費補助金(バイオ技術活用型二酸化炭素大規模固定化技術開発)」	対象分野	-
対象者	民間団体等(単独ないし複数の企業，研究組合，公益法人等)		
制度概要	製紙原料に適したユーカリ等を対象にして，遺伝子技術の利用や樹木のゲノム情報・代謝情報の利用といったバイオ技術により，エタノール化に適した高セルロース樹木を効率的に探索し育成するとともに，不良環境地でも効率的に生育して植林できる耐性能力を樹木に付与し，総合的に温暖化対策とエネルギー使用の合理化に資する技術開発。		
支援内容	・補助率：上限額2/3，下限額100万円		
窓口	経済産業省 製造産業局 紙業生活文化用品課	電話番号	03-3501-1089

事業名	地域バイオマス利活用交付金 (ソフト支援)	対象分野	バイオマス
対象者	市町村，農林魚業者，第3セクター，消費生活共同組合，事業共同組合 NPO法人，食品事業者 等		
制度概要	バイオマスタウン構想の策定，バイオマスの変更・利用施設等の一体的な整備等，バイオマスタウンの実現に向けた地域の創意工夫を凝らした主体的な取り組みを支援する。 バイオマスタウン構想の策定 バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築		
支援内容	・交付率：定額1/2		
窓口	農林水産省 農村振興局 整備部地域整備課	電話番号	03-3502-8111

事業名	地域バイオマス利活用交付金 (地域バイオマス利活用推進交付金)	対象分野	バイオマス全般
対象者	地方公共団体，農林漁業者団体，NPO法人，食品事業者等		
制度概要	バイオマスタウン構想の策定，バイオマスの変換・利用施設等の一体的な整備等，バイオマスタウンの実現に向けた地域の創意工夫を凝らした以下のような取組を支援する。 バイオマスタウン構想の策定 バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	中国四国農政局 企画調整室	電話番号	086-224-9400

バイオマス利用施設整備等に関する補助(ハード事業)

事業名	新エネルギー等地域集中実証研究	対象分野	新エネルギー全般
対象者	民間企業，民間研究機関，地方公共団体，大学等		
制度概要	新エネルギーの更なる導入拡大に資するとともに，高品質な新エネルギー導入にも有効な知見を得るため，本実証研究では，変動電源である太陽光発電や風力発電設備とその他の新エネルギー等を適正に組み合わせ，これらを制御するシステムを作ることにより，実証研究地域内で安定した電力・熱供給を行うと同時に連系する電力系統へ極力影響を与えず，かつコスト的にも適正な「分散型エネルギー供給システム」を構築し，供給電力等の品質，コスト，その他のデータの収集・分析を行う。		
支援内容	・補助額：定額（100%委託）		
窓口	NEDO技術開発機構 新エネルギー技術開発部	電話番号	044-520-5270

事業名	バイオマスエネルギー地域システム化実験事業	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	地方公共団体，民間企業，NPO法人等		
制度概要	木質バイオマスをはじめとする国内バイオマス資源の効率的かつ経済的な収集運搬システム，エネルギー転換技術，及びその利用技術，更に残渣処理等を含めた地産地消・地域循環型エネルギー転換システムの実証実験事業を実施。 実証を通じて社会システムならびに技術上の課題抽出と対応を行い，事業終了後も継続運転できる実用システムの実証運転を行い，他の地域への導入普及を促進することにより，バイオマスエネルギー社会システムの構築を目的とする。		
支援内容	・補助額：定額（NEDOとの共同研究）		
窓口	NEDO技術開発機構 新エネルギー技術開発部 バイオマス・廃棄物グループ	電話番号	044-520-5271

事業名	バイオマス等未活用エネルギー実証試験事業	対象分野	バイオマスエネルギー 雪氷熱エネルギー
対象者	地方公共団体，公益法人，民間企業等		
制度概要	対象エネルギー・システムに係る実証試験設備のうち，本共同研究事業として実施することに適しているものについて，その設置・運転に要する費用に対してNEDOが共同研究者として負担する。 バイオマスエネルギー ・熱化学変換技術（溶融ガス化等），生物化学的変換技術（メタン発酵等），その他新規性のある燃料化システム ・燃料化システムによる燃料利用，又は直接燃焼による熱利用システム 雪氷熱エネルギー ・公共施設などの冷房システム，その他新規制のある冷熱利用システム		
支援内容	・補助率：1/2（NEDOとの共同研究）		
窓口	NEDO技術開発機構 新エネルギー技術開発部 バイオマス・廃棄物グループ	電話番号	044-520-5271

事業名	新エネルギー技術フィールドテスト事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	民間企業，各種団体（地方公共団体含む）		
制度概要	2010年度の新エネルギー導入目標達成に向け，新技術を活用したバイオマス熱利用システムの性能・経済性の検証など新エネルギーフィールドテストを実施する。 新技術等を導入した太陽光発電システムの有効性を実証するとともに，本格的普及に向けたシステムの更なる性能向上とコストの低減を促すことを目的として新技術等を導入した太陽光発電システムを試験的に設置し，長期運転を行い，各種運転データを収集・分析する。この結果を導入普及に有用な資料として取りまとめ，関係機関・事業者等に配布することにより，太陽光発電設備の導入拡大を図る。		
支援内容	・補助率：共同研究に係る費用の1/2，研究助成に係る費用の1/2以内（上限あり）		
窓口	NEDO技術開発機構 新エネルギー技術開発部 太陽・風力FTグループ	電話番号	044-520-5273

事業名	地域バイオマス利活用交付金 (地域バイオマス利活用整備交付金)	対象分野	バイオマス全般
対象者	地方公共団体，農林漁業者の組織する団体，民間企業等		
制度概要	バイオマスタウン構想の策定，バイオマスの変換・利用施設等の一体的な整備等，バイオマスタウンの実現に向けた地域の創意工夫を凝らした以下のような取組を支援する。 地域における効果的なバイオマス利活用を図るために必要なバイオマス変換施設及びバイオマス供給施設・利用施設等の一体的な整備 新技術等を活用したバイオマス変換施設のモデル的な整備 家畜排せつ物等有機性資源の利活用に必要ない肥化施設等の共同利用施設等の整備		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	中国四国農政局 企画調整室	電話番号	086-224-9400

事業名	地域バイオマス利活用交付金 (ハード支援)	対象分野	バイオマス
対象者	PFI事業者，第3セクター，消費生活共同組合 等		
制度概要	バイオマスタウン構想の策定，バイオマスの変更・利用施設等の一体的な整備等，バイオマスタウンの実現に向けた地域の創意工夫を凝らした主体的な取り組みを支援する。 地域における効果的なバイオマス利活用を図るために必要なバイオマス変換施設及びバイオマス供給施設・利用施設等の一体的な整備 新技術等を活用したバイオマス変換施設のモデル的な整備 家畜排泄物等有機性資源の利活用に必要ない堆肥化施設等の共同利用施設等の整備		
支援内容	・交付率：定額1/2，1/3以内		
窓口	農林水産省 農村振興局 整備部地域整備課	電話番号	03-3502-8112

循環型社会形成に資するソフト、ハード事業に対する補助

事業名	環境と経済の好循環のまちモデル事業	対象分野	—
対象者	地方公共団体等		
制度概要	環境と経済の好循環を地域発の創意工夫と幅広い主体の参加によって生み出すまちづくりのモデル（自治体が提案した計画）に対し、国からの委託によるソフト事業を行うとともに、二酸化炭素排出量を削減するためのハード整備に必要な経費の一部を国が交付。 地域エコ推進事業 ・選定された地域における具体的な事業計画の策定，地域の各主体が連携する協議体の活動，事業計画に掲げるソフト事業の実施，事業の効果の把握と評価を，国の委託事業として実施する。 地球温暖化を防ぐ地域エコ整備事業 ・選定されたモデル地域において，環境と経済の好循環を目指して行われる代エネ，省エネに係る二酸化炭素排出削減効果を有する具体的なまちづくり事業の実施に要する費用を交付金として交付する。		
支援内容	・補助額：定額（事業費の2/3以内）		
窓口	中国四国地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課	電話番号	086-223-1577(代)

事業名	バイオ燃料地域利用モデル実証事業	対象分野	バイオ燃料
対象者	地域協議会，農業団体等，バイオ燃料製造事業者，E3製造事業者，バイオ燃料供給事業者		
制度概要	国産バイオ燃料の実用化の可能性を示すため，原料調達からバイオ燃料の製造・供給まで地域の関係者が一体となった取り組みを支援。（ソフト事業，ハード事業）		
支援内容	・補助率：ソフト事業...定額, ハード事業...1/2		
窓口	大臣官房 環境政策課バイオマス推進室	電話番号	03-3502-8111

事業名	民間活用型地球温暖化対策下水道事業支援制度	対象分野	下水汚泥
対象者	地方公共団体，民間企業		
制度概要	下水汚泥等の資源化，流通，販売・利用を一体的に捉え，民間企業の有するノウハウを最大限活用することにより，下水汚泥等の資源・エネルギー利用を推進するものである。 計画策定：下水道管理者が民間企業と一体となって行う下水汚泥等の循環利用に関する計画の策定に要する経費を補助。 資源化施設等：策定された計画に基づき，PFI手法により民間事業者が資源化を前提とした下水汚泥等処理施設を建設する際に，地方公共団体への補助を通じてこれを支援。		
支援内容	・ 補助率 1/2（地方公共団体に対して） ・ 補助額：地方公共団体が助成する額の全額又は一部（上限あり）		
窓口	国土交通省 都市・地域整備局 下水道部 下水道企画課	電話番号	03-5253-8111

(2)主に自治体を対象とした制度

バイオマス・新エネルギーの導入、普及啓発等に関する補助(ソフト事業)

事業名	地域新エネルギービジョン策定等事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	地方公共団体，地方公共団体の出資に係る法人		
制度概要	地域レベルでの新エネルギーの普及推進に当たって，取り組みを円滑化するため，地方公共団体等が当該地域における新エネルギーの導入を図るために必要となる以下の調査に要する経費を助成する。 地域新エネルギービジョン策定調査 ・ビジョン策定に必要な新エネルギーに係る基礎データを収集し，これをもとに地域全体にわたる新エネ導入，普及啓発にかかわる基本計画，施策の基本的な方向を作成 - 重点テーマに係る詳細ビジョン策定調査 ・地域新エネルギービジョンに基づき，地域特性を踏まえた重点テーマに係る導入計画を円滑に進めるシステム全体の具体化検討。 - 事業化フィージビリティスタディ調査 ・地域新エネルギービジョンに基づき実施されるプロジェクトで，特にモデル性の高い重要なものの事業化調査		
支援内容	・補助額：定額（上限あり）		
窓口	NEDO技術開発機構 エネルギー対策推進部 普及啓発グループ	電話番号	044-520-5182

事業名	省エネルギー・新エネルギー対策導入促進事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	地方公共団体，大規模工場等		
制度概要	省エネルギー・新エネルギー関連技術の普及に当たっては，他のエネルギー関連技術と異なり，地域特性を十分に踏まえ，地域の実情に応じたきめ細かい取組が必要であることから，企業や地方公共団体等との密接な連携を図りつつ，シンポジウム，合同施設研修会，セミナー等の開催による，新エネルギー導入のための情報提供，指導，普及啓発等を行い，省エネルギー・新エネルギー技術の加速的導入を図る。		
支援内容	・補助額：定額（上限あり）		
窓口	NEDO技術開発機構 省エネルギー技術開発部	電話番号	044-520-5282

バイオマス・新エネルギー施設整備等に関する補助(ハード事業)

事業名	地域新エネルギー導入促進事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	地方公共団体等		
制度概要	新エネルギーの導入を加速的に促進させるため、地方公共団体及び特定非営利活動法人等が、自ら策定した新エネルギー等導入のための計画に基づき実施する「新エネルギー等設備導入事業」に要する経費を補助。 地域における新エネルギー等導入の中長期的計画に基づき実施される事業や普及啓発事業を伴う事業を重点的に支援する。 対象施設は、一定の条件(バイオマス依存率、発電効率、発電出力など)を満足したバイオマス発電、バイオマス熱利用、バイオマス燃料製造施設。		
支援内容	・導入事業 補助率1/2以内または1/3以内 ・普及啓発事業 定額(2,000万円以内)		
窓口	NEDO技術開発機構 エネルギー対策推進部 地域エネルギーグループ	電話番号	044-520-5184

事業名	強い林業、木材産業づくり交付金	対象分野	木質バイオマス
対象者	地方公共団体、森林組合、PFI事業者等		
制度概要	林業の持続的かつ健全な発展と、需要構造の変化に対応した林産物の供給・利用の確保を強力に推進する観点から、川上、川下を通じ、経営や施業の担い手の育成、競争力のある木材産地の形成と地域材の安定的な供給を目的とする。 ・木質バイオマスエネルギー利用の促進：木質バイオマスエネルギー利用施設等のモデル的な整備など		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	林野庁 林政部 経営課	電話番号	03-3502-8048

事業名	循環型社会形成推進交付金	対象分野	廃棄物、バイオマス全般
対象者	地方公共団体等		
制度概要	廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し循環型社会の形成を図ることを目的として、市町村等が循環型社会の形成を進めるために整備する廃棄物処理・リサイクル施設に対して補助を行う(下記～)。 市町村のうち、人口5万人以上、または面積400km²以上の計画対象地域を構成する場合は対象となる。 リサイクルセンター 生ごみリサイクル施設 廃棄物原材料化施設 熱回収施設(発電効率または熱回収率10%以上) 高効率原燃料回収施設(モデル) 施設整備に関する計画支援事業 など		
支援内容	・補助率：1/3(循環型社会形成をリードするモデル施設は1/2)		
窓口	中国四国地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課	電話番号	086-223-1577(代)

事業名	畜産環境総合整備事業	対象分野	バイオマス
対象者	都道府県，市町村，農協，事業指定法人		
制度概要	家畜排泄物施設と堆肥の還元用草地の一体的な整備，畜産資源を活用した景観形成等の整備に加え，バイオガス利用等家畜糞尿の高度化処理施設や水質汚染防止施設等の整備に対し支援する。		
支援内容	・補助率：1/2		
窓口	農林水産省 生産局 畜産部畜産振興課	電話番号	03-3502-5993

循環型社会形成に資するソフト、ハード事業に対する補助

事業名	環境技術実証モデル事業	対象分野	—
対象者	地方公共団体等		
制度概要	環境技術については、有用と思われる技術でも環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために、地方公共団体、企業、消費者等のエンドユーザーが安心して使用することができず、普及が進まない場合がある。 このため、既に適用可能な段階にありながら、普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者（地方自治体等）が客観的に実証する事業をモデル的に実施する。		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	環境省 総合環境政策局 総務課 環境研究技術室	電話番号	03-5521-8297

事業名	次世代技術普及事業	対象分野	燃料電池等
対象者	地方公共団体		
制度概要	次世代の究極の低公害車といわれる燃料電池自動車や、ジメチルエーテル（DME）を燃料としたDME自動車、水素を燃料とする内燃機自動車である水素自動車もついて率先的に導入する事業費の一部を補助。 小中学校等の中規模施設における電源・熱源として利用する燃料電池コージェネレーションシステムに補助。		
支援内容	・補助率：1/3以内		
窓口	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課， 水・大気環境局 自動車環境対策課	電話番号	03-5521-8330

(3)主に企業を対象とした制度

バイオマス・新エネルギーの導入、研究開発等に関する補助(ソフト事業)

事業名	新エネルギーベンチャー技術革新事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	ベンチャー企業，大学・研究機関		
制度概要	2010年以降の継続的な新エネルギー導入普及のための新たな技術オプションの発掘・顕在化を図るため，再生可能エネルギー関連技術の研究開発について，技術課題設定型による提案公募を行うことで，次世代の社会を支える産業群となり得るベンチャー企業等を対象とした新たなイノベーションサイクルの醸成を目指す。 再生可能エネルギー導入促進に資する潜在的な技術オプションの顕在化や，関連産業分野の技術革新による経済性の向上と同時に新たなベンチャービジネスの創出・発展に寄与する技術開発を委託により行う。 潜在的シーズを顕在化するため，FS段階から本格研究への多段階選抜方式による資金活用を図り，技術革新を加速する。 技術課題に対する実現可能性に関する研究の実施及びビジネスプランの作成等 上記が明確なテーマに対する本格的な研究開発，試作品開発の実施		
支援内容	補助額：1,000万円程度/年， 補助額：5,000万円程度/年		
窓口	NEDO技術開発機構 新エネルギー技術開発部	電話番号	044-520-5270

事業名	バイオマスエネルギー高効率転換技術開発	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	民間企業，大学・研究機関		
制度概要	2010年の新エネルギー導入目標の達成に寄与する，2010年頃に実用化が見込まれ，かつ波及効果の大きい要素技術（バイオマス熱利用・バイオマス発電に係わる技術）を開発。 委託先に事業費の一部をNEDOが共同研究という形で負担。 【対象技術分野（案）】 高品質化のための要素技術 小型化・低コスト化のための要素技術 高効率化のための要素技術 環境に配慮した要素技術		
支援内容	・補助率 企業が単独で行う場合：1/2， 企業が大学・公的研究機関と連携して行う場合：2/3		
窓口	N E D O技術開発機構 新エネルギー技術開発部 バイオマス廃棄物グループ	電話番号	044-520-5271

事業名	広域連携等バイオマス利活用推進事業	対象分野	食品バイオマス
対象者	食品事業者等		
制度概要	食品事業者等が都道府県の行政界を越えて行う，広域的な食品廃棄物等のバイオマス利活用システム（収集・運搬・変換等）の構築，並びにバイオマスプラスチックのリサイクルシステム及び国産原材料由来のバイオマスプラスチックの定着のため，食品事業者等が行う啓蒙普及活動，実証試験等について支援。		
支援内容	・補助率：1/2以内		
窓口	中国四国農政局 企画調整室	電話番号	086-224-9400

事業名	地域バイオマス発見活用促進事業	対象分野	バイオマス全般
対象者	民間企業等		
制度概要	地域に眠るあらゆるバイオマスの発見，利用の促進 地域に眠る未利用のバイオマスを発見し，地域によるバイオマスの利活用促進のための普及・啓発活動を支援する。 ・地域のあらゆるバイオマスの実地調査 ・地域バイオマス利活用のための普及・啓発 地域バイオマスの利用の加速化 地域バイオマスの利用を加速化するため，未利用のバイオマスの利用可能性調査，地域の取組の核となる人材の育成等を支援する。 ・未利用バイオマスの利用可能性調査 ・全国におけるバイオマスの利活用のための普及・啓発 ・バイオマス利活用コーディネーター養成		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	農林水産省 大臣官房環境政策課 資源循環室	電話番号	03-3502-8466

事業名	イノベーション実用化開発費助成金 (産業技術実用化開発助成事業) (研究開発型ベンチャー技術開発助成事業) (次世代戦略技術実用化開発助成金事業)	対象分野	石油代替エネルギー
対象者	代替エネルギーの研究を行うもの		
制度概要	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が行うイノベーション実用費や開発費助成金の交付業務の手続きを定め，以ってその業務の適正な処理を図る。		
支援内容	・補助額：定額（事業分野により異なる）		
窓口	NEDO 研究開発推進部	電話番号	044-520-5170

事業名	エコフィード緊急増産対策事業	対象分野	エコフィード
対象者	民間団体		
制度概要	短期間に配合飼料原料としてのエコフィードの生産量と利用料を拡大するとともに，畜産農家にその有効性を広めるため，地域の食品残渣飼料化業者と配合飼料メーカーの両者が連携してエコフィードの生産量を増加させる取組み及び原料の品質確保に必要な集荷体制を構築する取組みに対し支援。		
支援内容	・補助率：定額		
窓口	農林水産省 生産局 畜産部畜産振興課	電話番号	03-3591-6745

バイオマス・新エネルギー施設整備等に関する補助(ハード事業)

事業名	新エネルギー事業者支援対策事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	新エネルギー等の導入事業を行う事業者		
制度概要	「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」に基づき、主務大臣の認定を受けた利用計画に従って新エネルギー導入事業を行う事業者に対し、事業費の一部を補助、金融機関からの借入に対する債務保証の両方またはいずれかを行う。 より環境負荷が少なく、経済制約の高い再生可能エネルギーに支援を重点化するとともに、エネルギーの種別に応じて補助率等の見直しを行い、事業者による導入コスト削減に向けた取組を促す方向で支援する。 対象施設は、一定の条件（バイオマス依存率、発電効率、発電出力など）を満足したバイオマス発電、バイオマス熱利用、バイオマス燃料製造施設。		
支援内容	・補助率：1/3以内 ・債務保証の条件 対象比率：対象債務の90%，保証料率：保証残高の0.2%		
窓口	【補助】資源エネルギー庁 新エネルギー対策課 【債務保証】NEDOエネルギー対策推進部	電話番号	【補助】03-3501-4031 【債務保証】044-520-5180

事業名	地域バイオマス熱利用フィールドテスト事業	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	民間企業等		
制度概要	バイオマス熱利用は技術的には実証段階から実用化段階にあるが、まだ十分に認知されておらず、理解の醸成に努め、利用者のニーズを高める必要がある。バイオマス熱利用システムを実環境に試験的に設置し、バイオマスの供給などを含めたシステムとしての技術の有効性を実証するとともに、目に見える形での導入例を作り出すことで、バイオマス熱利用の導入拡大を図ることを目的とする。 NEDOとの共同研究として、実証価値のあるバイオマスエネルギー利用システムを各地域において熱需要先に適した利用形態・規模で設置し、実証運転を通してバイオマスの運搬・収集、エネルギー変換、エネルギー利用に係わるデータを収集、蓄積、分析、評価しその情報を広く公表する。		
支援内容	・補助率：1/2（NEDOとの共同研究）		
窓口	NEDO技術開発機構 新エネルギー技術開発部 バイオマス・廃棄物グループ	電話番号	044-520-5271

事業名	バイオ燃料地域利用モデル実証事業	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	地域協議会、バイオ燃料製造事業者・供給事業者、農業団体等		
制度概要	国産バイオ燃料の本格的な導入に取り組むため、原料調達から燃料の供給まで、地域の関係者一体となった取組に対するハード・ソフト両面での支援を行う。 【内容】 ・バイオ燃料地域利用モデルの整備と技術実証への支援 食料生産過程の副産物、規格外農産物等を活用して、バイオ燃料の地域利用モデルの整備と技術実証に対する支援を行う。 具体的には、以下の活動に対して助成を行う。 バイオ燃料製造事業者・供給事業者、農業団体等からなる地域協議会における事業計画策定、バイオ燃料普及啓発等【定額】 バイオ燃料製造施設・供給施設の整備【補助率1/2】 バイオ燃料製造施設における技術実証【定額】		
支援内容	・補助率：1/2，もしくは定額（事業内容により異なる）		
窓口	農林水産省 大臣官房環境政策課 資源循環室	電話番号	03-3502-8466

事業名	再生可能エネルギー高度導入地域整備事業	対象分野	新エネルギー全般
対象者	民間企業等		
制度概要	地域の特色あるエネルギー資源を効率的にその地域で地産地消し、CO²削減を地域全体で効率的に実現するモデル地域を整備するため、バイオマスを含む再生可能エネルギーの地域における集中的な導入を行う民間事業者に対し施設整備費の一部を補助するもの。 当該モデル地域を拠点として、先進的な取組を全国に普及させ、再生可能エネルギーの導入拡大につなげる。 【対象事業】 風力、バイオマス等の再生可能エネルギーから発電した電気を供給する事業 バイオガス、副生水素等を都市ガスなどに混合して供給する事業 再生可能エネルギーでコジェネ、熱供給を行う事業や、排熱利用を行う事業 バイオマスから自動車用等の液体燃料を製造し供給する事業等		
支援内容	・補助率：1/2		
窓口	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課	電話番号	03-5521-8330

事業名	廃棄物処理施設における温暖化対策事業	対象分野	廃棄物 バイオマスエネルギー
対象者	廃棄物処理業を主たる業とする事業者等		
制度概要	高効率な廃棄物エネルギー利用施設及び高効率なバイオマス利用施設等の整備事業（新設、増設又は改造）であって、一定の要件を満たすものについて、これに伴う投資の増加費用に対して補助を行い、温暖化対策に資するバイオマスエネルギーの有効活用を推進する。 廃棄物発電施設、バイオマス発電施設 廃棄物熱利用施設、バイオマス熱利用施設 廃棄物燃料製造施設、バイオマス燃料製造施設 ごみ発電ネットワーク事業 熱輸送システム事業		
支援内容	・補助率：1/3または1/2		
窓口	環境省 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課・産業廃棄物課	電話番号	03-5501-3154,3156

事業名	エコ燃料実用化地域システム実証事業	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	民間団体等		
制度概要	大都市圏におけるエタノール3%混合ガソリン（E3）供給システムの確立、及び沖縄宮古島等における地域のバイオマス資源を活用したエコ燃料生産・利用の拠点づくりを支援し、自立的なエコ燃料生産・利用システムの確立を図る。 【事業の内容】 ・E3の製造・流通・販売、E3の品質管理手法の検証、E3の社会的受容性等の検証、必要な設備の整備等、E3利用の拡大のための取組		
支援内容	・補助額：定額（100%委託）		
窓口	環境省地球環境局 地球温暖化対策課	電話番号	03-5521-8330

事業名	エコ燃料利用促進補助事業	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	民間事業者等		
制度概要	廃棄物等からのバイオエタノール製造などエコ燃料の利用に必要な設備の整備について、その費用の一部を補助することによりエコ燃料の製造・利用に取り組む事業者を支援する。		
支援内容	・補助率：1/2		
窓口	環境省地球環境局 地球温暖化対策課	電話番号	03-5521-8330

事業名	地域イノベーション創出研究開発事業	対象分野	新事業・新産業
対象者	企業，試験研究機関（大学，公設試等）		
制度概要	本事業は，地域において新産業・新事業を創出し，地域経済の活性化を図るため，産学官の研究開発資源の最適な組み合わせからなる研究体を組織し，最先端の技術シーズをもとに新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を実施する。		
支援内容	・初年度目1億円以内，2年度目5千万円以内，上限額：1億円/件		
窓口	中国経済産業局 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構	電話番号	03-3502-5530

事業名	ソフトセルロース利活用技術確立事業	対象分野	バイオマス
対象者	民間団体		
制度概要	ソフトセルロース系原料からバイオマス燃料を製造する実証設備を整備し，原料の収集・運搬，バイオ燃料製造，自動車等の技術実証に対する支援を行う。 バイオ燃料製造設備の整備 原料の収集・運搬，バイオ燃料製造，自動車等走行の技術実証		
支援内容	・補助率：定額(1/2相当)		
窓口	環境省 大臣官房環境バイオマス政策課	電話番号	03-3502-8466

循環型社会形成に資するソフト、ハード事業に対する補助

事業名	地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター(起業支援)事業	対象分野	—
対象者	民間企業、公益法人等		
制度概要	温暖化対策ビジネスモデルとして一定のフィージビリティが確認されている事業化可能性、先見性、先進性の高い事業について、本格的なビジネス展開を図るにあたって必要な核となる技術に係る費用(地域におけるパイロット事業の事業費、核となる技術に係る施設整備の経費)の一部を支援する。 本事業によって、エネルギー起源二酸化炭素の排出を抑制する新たな製品や技術の普及を行う、これまでにない新しいビジネスの立ち上げを支援し、市場の上流段階、供給サイドからの地球温暖化対策技術の普及を促進する。		
支援内容	・補助率：1/2		
窓口	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課	電話番号	03-5521-8330

事業名	地球温暖化対策技術開発事業	対象分野	—
対象者	民間企業、独立行政法人等		
制度概要	既存の対策技術に加え、新たな対策技術の開発・実用化・導入普及を進めていくため、基盤的な温暖化対策技術の開発について公募提案を求め、優れた技術開発の実施に係る提案と確実な実施体制を有する民間企業や公的研究機関等を選定し、委託または補助によりこれを実施する。 省エネ対策技術実用化開発分野【委託事業】 再生可能エネルギー導入技術実用化開発分野【委託事業】 都市再生環境モデル技術開発分野【委託事業】 製品化技術開発分野【補助事業】		
支援内容	【委託事業】補助額：定額， 【補助事業】補助率：1/2		
窓口	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課	電話番号	03-5521-8330

事業名	環境技術開発等推進費	対象分野	—
対象者	民間企業、大学・研究機関等		
制度概要	社会的要請や総合科学技術会議における環境分野の検討等を踏まえ、緊急に開発すべき環境技術分野を特定し、独立行政法人、民間企業等において実施される当該分野に係る研究・開発課題を支援することで、環境技術の開発・普及の推進を図る。 具体的には、以下の領域を対象として、国立試験研究機関、独立行政法人、民間企業等から研究・開発課題の提案を募集する。 基礎研究開発(研究開発の期間：3カ年) 実用化研究開発(研究開発の期間：2カ年) 統合型研究開発(研究開発の期間：3カ年) フィージビリティスタディー研究(研究開発の期間：1カ年) アスベスト飛散抑制対策に資する研究開発(研究開発の期間：2カ年) 戦略的研究開発領域(研究開発の期間：3カ年)		
支援内容	・補助額：2,500万円～5,000万円(100%委託) FS研究については3,000万円		
窓口	環境省 総合環境政策局 総務課 環境研究技術室	電話番号	03-5521-8297

事業名	廃棄物処理等科学研究費補助金 廃棄物処理対策研究 次世代廃棄物処理技術基盤整備	対象分野	—
対象者	研究機関に属する研究者個人， 法人		
制度概要	循環型社会形成の推進及び廃棄物に係る諸問題の解決に資する研究並びに次世代型の廃棄物処理技術の開発に関する課題を公募・採択し，評価の高い事業に対し必要経費を補助する。 廃棄物処理対策研究 - 重点テーマ研究：3R推進研究，バイオマス循環利用研究，循環型社会構築社会科学研究等 - 一般テーマ研究：廃棄物の適正処理，循環型社会構築に向けた課題を広く選定 次世代廃棄物処理技術基盤整備 - 循環型社会の推進及び廃棄物の適正処理に関するもので，本事業により実用化が見込まれ，かつ汎用性及び経済効率性に優れ，既に基礎研究，応用研究を終えた段階の技術開発を対象		
支援内容	補助額：1億円以内/年（対象額の100%以内） 補助額：1億円以内/年（対象額の50%以内）		
窓口	環境省 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課	電話番号	03-5501-3154

事業名	未利用木質資源利用地域再生ニュービジネス創出支援事業	対象分野	-
対象者	民間団体		
制度概要	林地残材や間伐材等，未利用森林資源活用のための，エネルギーやマテリアル利用に向けた製造システムの構築を支援。 林地残材等利用計画の策定と評価，新たなビジネスの構築 未利用森林資源活用のための，エネルギーやマテリアル利用に向けた製造システムの構築 導入促進に向けたボイラー利用機器等の改良及び木質ペレットの安全性や燃焼効率等の調査		
支援内容	・補助率：1/2		
窓口	林野庁 研究・安全課 森林環境保全班	電話番号	03-3502-8111

事業名	バイオマスタウン形成促進支援調査事業	対象分野	バイオマス
対象者	民間企業 公益法人		
制度概要	バイオ燃料に関する新技術等を取り込んだバイオマスタウンの形成促進を図るため，農村地域等に適合した経済的な新しいバイオマス利活用システムの開発を行うとともに，技術支援体制の整備等を支援。		
支援内容	・補助金：定額		
窓口	農林水産省 農村振興局 整備部地域整備課	電話番号	03-3502-6338

地域活性化の促進，環境産業振興に関する補助

事業名	中小企業・ベンチャー挑戦支援事業	対象分野	—
対象者	中小企業等		
制度概要	中小企業の優れた技術シーズ，ビジネスアイデアの事業化による創業，新事業展開を促進するため，中小企業者等が行う，実用化研究開発に要する原材料費，機械装置費，技術指導受入費等の経費の一部を補助，事業化活動に要する技術評価，知的財産取得，システム構築等の経費の一部を助成するとともに，ビジネスプランの具体化・実用化に向けたコンサルティング等を一体的に実施。		
支援内容	補助率：2/3以内 補助額：4,500万円以内 補助率：1/2以内 補助額：500万円以内		
窓口	中国経済産業局 次世代産業課 中小企業基盤整備機構 新事業支援課	電話番号	082-224-5680 03-5470-1539

事業名	地域資源活用型研究開発事業	対象分野	—
対象者	大学・研究機関，民間企業等の共同研究体		
制度概要	地域において新産業・新事業を創出し，地域経済の活性化を図るため，地域における産学官の強固な共同研究体を組織して行う，地域に存在する資源（地域資源）を活用した新製品の開発を目指す実用化技術の研究開発への支援を行う。 地域の強みとなりうる地域資源を活用し，他地域の製品との差別化が図られ，地域産業の形成・強化の有効な手段として期待されるような製品の事業化に結びつく技術開発であって，研究開発の要素を持ったプロジェクトが対象となる。		
支援内容	・補助額 初年度：3,000万円以内，2年度目：2,000万円以内		
窓口	中国経済産業局 地域経済部 次世代産業課	電話番号	082-224-5680

事業名	産業技術研究助成事業	対象分野	—
対象者	大学・研究機関等の若手研究者個人又はチーム		
制度概要	産業技術力強化の観点から，大学・研究機関等の若手研究者（個人又はチーム）が取り組む産業応用を意図した研究開発を助成することにより，産業界及び社会のニーズに応える産業技術シーズの発掘・育成や産業技術研究人材の育成を図る，競争的研究資金制度の一つである。 【対象分野】 ライフサイエンス分野， 情報通信分野， 環境分野， ナノテクノロジー・材料分野， 製造技術分野， エネルギー分野， 革新的融合分野， 産業技術に関する社会科学分野		
支援内容	・補助額：定額（事業分野により異なる）		
窓口	NEDO技術開発機構 研究開発推進部 研究助成グループ	電話番号	044-520-5174

事業名	イノベーション実用化助成事業のうち、 産業技術実用化助成事業	対象分野	—
対象者	民間企業及び研究開発型ベンチャー		
制度概要	経済社会の持続的な発展を達成するため、科学技術基本計画において示された重点化指針に対応した技術課題等に係る実用化開発を行う民間企業に対し助成し、その実用化を支援するもの。 これにより、産業技術力を強化し、社会的ニーズに対応する技術課題への重点的な取り組みを促進し、新市場の開拓を可能とする技術開発成果を実用化して社会に普及することを目的とする。 次世代戦略技術実用化開発助成事業（次世代戦略技術枠） 産業技術実用化開発助成事業（産業技術枠） 研究開発型ベンチャー技術開発助成事業（研究開発型ベンチャー枠（単独申請型））		
支援内容	・補助率：1/2以内、2/3以内（事業により異なる） ・補助額：1億円以内／年		
窓口	NEDO技術開発機構 研究開発推進部 実用化助成グループ	電話番号	044-520-5173

事業名	イノベーション実用化助成事業のうち、 大学発事業創出実用化研究開発事業	対象分野	—
対象者	TLO等の技術移転を行う機関、民間企業		
制度概要	大学等における研究成果を活用して、民間事業者と大学等が連携して行う実用化研究を支援することにより、民間事業者による大学等の成果の事業化を促進する。また、研究開発の前段階にある調査事業に対しても、助成を行う。 民間企業と大学間での技術ニーズとシーズが一致する場合に、技術移転機関（TLO）等に民間企業等（資金提供事業者）から研究資金を提供し、その2倍額を限度としてNEDOがTLO等に助成を行うもので、大学の持つ技術の有効利用による新規産業・市場創出を促進する。 科学技術基本計画の重点化指針等に表示されている社会的目標及び技術開発課題を解決するために十分に有効な実用化開発を行うものを対象とする。		
支援内容	・補助率：2/3以内（資金提供事業者の資金提供額の2倍額まで） ・補助額：1,000万円以上（調査事業は200万円以内）		
窓口	NEDO技術開発機構 研究開発推進部 実用化助成グループ	電話番号	044-520-5173

事業名	地域の産学官連携による環境技術開発基盤整備 モデル事業	対象分野	—
対象者	民間企業等		
制度概要	本事業は、地域における産学官連携による環境技術開発の基盤整備に資する支援を行うものである。 地域における環境技術開発人材ネットワークの形成 ・地域環境研究・技術開発セミナーやワークショップを開催し、地域における環境技術開発に対する意識向上と人材育成、研究者等との人的交流の促進と、地域住民への環境研究等に対する啓発普及活動を行う。 地域の資源を活かした産学官連携による地域環境問題の解決と、地場産業を活かした環境技術開発 ・地域固有の環境問題について、問題解決に向けた研究・調査等を行う。 ・地域発の優良技術シーズを実用化する技術開発を行う。 成果の全国への普及 ・産学官連携マニュアルを取りまとめ、シンポジウム等を開催する。		
支援内容	・補助額：定額（100%委託）		
窓口	環境省 総合環境政策局 総務課 環境研究技術室	電話番号	03-5521-8239

事業名	太陽光発電新技術フィールドテスト事業	対象分野	太陽光発電
対象者	民間企業 各種団体等		
制度概要	新技術を導入した太陽光発電システムを試験的に設置し、長期間運転を行い、その有効性について共同研究及び研究助成を行う。 新型モジュール採用型（4kw以上） 建材一体型（4w以上） 新制御方式適用型（4kw以上） 効率向上追求型（10kw以上）		
支援内容	～ 共同研究（NEDO負担1/2） 研究助成（1/2以内と34万円）		
窓口	NEDO 新エネルギー技術開発部	電話番号	044-520-5270

事業名	太陽熱高度利用システムフィールドテスト事業	対象分野	新エネルギー
対象者	民間企業 各種団体(地方公共団体含む)		
制度概要	有効集熱面積が20m ² 以上である下記の太陽熱利用システムの設置・運転にかかる費用をNEDO技術開発機構と設置者が互いに負担して共同研究及び研究助成を行う。		
支援内容	・共同研究：NEDO負担1/2，研究助成：定額		
窓口	NEDO 新エネルギー技術開発部	電話番号	044-520-5270

事業名	地熱発電費補助金補助事業	対象分野	新エネルギー
対象者	地熱発電の設置又は改造に係る事業であって、調査井堀削又は地熱発電の施設の設置事業を行うおとするもの		
制度概要	開発から運転までのリードタイムが長く多額の投資が必要である地熱発電開発の促進を図るため設備の導入費等を補助する。 (1) 調査井堀削事業 抗井堀削，抗井内調査及びこれらの事業に付帯する工事 (2) 地熱発電施設設置事業 抗井堀削，蒸気配管等敷設，発電機等設置，熱水供給施設設置及びこれらの事業に対する工事		
支援内容	調査堀削事業1/2以内 地熱発電施設設置事業1/5以内		
窓口	NEDO エネルギー対策推進部	電話番号	044-520-5180

(4)主に市民団体，NPOを対象とした制度

事業名	風力発電風力フィールドテスト事業	対象分野	新エネルギー
対象者	民間企業 各種団体(地方公共団体)		
制度概要	風況調査事業に対し補助を行う。 風況観測，データの解析と評価，環境条件の概略評価等を行う。		
支援内容	・共同研究：NEDO負担1/2		
窓口	NEDO 新エネルギー技術開発部	電話番号	044-520-5270

事業名	地域協議会代エネ・省エネ対策推進事業	対象分野	風力発電・燃料電池等
対象者	民間団体(地域協議会の構成員)		
制度概要	地球温暖化対策協議会の活動として行う地域における各種代エネ・省エネ対策事業に対して補助を行う。 【事業内容】 1.複層ガラス等省エネ資材導入補助事業 2.民生用小型風力発電システム導入補助事業 3.家庭用小型燃料電池導入補助事業 4.電圧調整装置導入補助事業		
支援内容	・補助率：1/3以内 ただし，複層ガラス等省エネ資材，供給設備については上限額あり。		
窓口	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課	電話番号	03-5521-8330

事業名	バイオマス由来燃料導入実証事業	対象分野	バイオマスエネルギー
対象者	民間団体等		
制度概要	エネルギー安全保障の確保や，地球温暖化問題等の環境制約への対応等のため，バイオマス由来燃料の導入等による輸送用燃料の多様化を図ることとしており，その一環としてバイオマス由来燃料の一つであるETBE（エチル・ターシャリー・ブチル・エーテル）の導入のための実証事業の実施に要する経費を補助する。 具体的には，ETBE混合ガソリンを相当数の給油所に流通させ，漏洩対策の確実性及び常時監視システムの有効性を検証し，かつ，国内の給油所の地盤・地下水等について調査することによりデータベースを構築した者に，その実施に要する経費を補助。		
支援内容	・補助率：1/2以内，補助額：9.5億円以内		
窓口	資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料政策企画室	電話番号	03-3501-2773

事業名	新エネルギー・省エネルギー非営利活動促進事業 (設備導入事業)	対象分野	新エネルギー全般
対象者	民間団体，NPO法人等		
制度概要	新エネルギー・省エネルギーの加速的推進を図るため，営利を目的としない民間団体等が営利を目的とせずに新エネルギー設備を導入する事業に対して補助を行う。 バイオマス発電，バイオマス熱利用，バイオマス燃料製造の各施設のうち，一定の条件（バイオマス依存率，エネルギー回収量）を満足した施設に対して補助を行う。		
支援内容	・補助率：1/2以内		
窓口	NEDO技術開発機構 エネルギー対策推進部 地域エネルギーグループ	電話番号	044-520-5184

事業名	新エネルギー・省エネルギー非営利活動促進事業 (普及啓発事業)	対象分野	新エネルギー全般
対象者	民間団体，NPO法人等		
制度概要	新エネルギー・省エネルギーの加速的推進を図るため，NPOなどの営利を目的としない事業を行う民間団体等が，新エネルギーもしくは省エネルギーの導入促進に資する普及啓発事業を実施する場合に当該民間団体等に対して補助を行う。		
支援内容	・補助率：1/2以内		
窓口	NEDO技術開発機構 エネルギー対策推進部 地域エネルギーグループ	電話番号	044-520-5184

事業名	高機能たい肥活用エコ農業支援事業 (未来志向型技術革新対策事業)	対象分野	畜産バイオマス
対象者	農業者団体等		
制度概要	・広域的な環境保全型農業の取組の推進 たい肥の利用促進のため，たい肥の肥効調整やペレット化などの新たなたい肥生産技術を用いて，畜産地域において，耕種農家のニーズにあった高機能なたい肥生産を行い，耕種地域に供給することにより，広域的に環境保全型農業に取り組むモデル地域を育成。		
支援内容	・補助率：1/2以内		
窓口	中国四国農政局 生産経営流通部畜産課	電話番号	086-224-9412

事業名	バイオマスタウン形成促進支援調査事業	対象分野	バイオマス全般
対象者	民間団体等		
制度概要	バイオマスタウンの全国展開の加速化に向け、農村地域におけるバイオマス利活用の検討の効率化・活性化のための技術情報の提供、農村地域に適した経済的な小規模バイオマス変換システムの実証・普及等の支援を実施。 バイオマス利活用システム技術情報の提供 ・変換施設等の技術詳細情報・動向情報 ・地域条件に応じた利活用システム検討情報 農村地域に適した経済的な小規模バイオマス変換システムの実証、普及 ・既存の農業集落排水施設等と連携して、メタン発酵あるいは木質ガス化利活用を図る小規模一体型システムの開発等 地域における人材の育成 ・バイオマスタウン構想あるいはバイオマス利活用施設整備計画等の作成を担う地域の人材を育成するための研修の実施等		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	中国四国農政局 企画調整室	電話番号	086-224-9400

事業名	食品資源循環形成推進事業	対象分野	食品バイオマス
対象者	民間団体等		
制度概要	食品廃棄物を排出した事業者が、リサイクル肥飼料等を用いて生産された食料を販売・提供している実績及び再生利用等実施率目標の達成等を第三者認証機関が認証する制度の構築に必要な体制・ルール・認証機関の要件等について調査・検討を行う。 再生利用等が難しく、かつ、取組が低調な事業者（食品小売業・外食産業）を対象とした制度の理解促進、食品リサイクル法の趣旨の徹底、再生利用等の取組の働きかけ・啓発を行うとともに、消費者を対象とした食品廃棄物の発生抑制に焦点を当てた普及啓発を行う。		
支援内容	・補助額：定額		
窓口	中国四国農政局 企画調整室	電話番号	086-224-9400

参考文献

- 1) バイオマス全般：バイオマス関係予算概算決定の概要（平成19年12月）
／バイオマスニッポン総合戦略推進会議
<http://www.maff.go.jp/j/biomass/index.html>
- 2) 経済産業省：平成20年度経済産業省予算案の概要（平成19年12月）／経済産業省ホームページ
<http://www.meti.go.jp/press/20071224001/20071224001.html>
- 3) N E D O：平成20年度事業一覧（平成20年3月現在），事業紹介，各部の活動
／N E D Oホームページ
<http://www.nedo.go.jp/>
- 4) 環境省：平成20年度予算（案）の概要，主要新規事項等の概要（平成19年12月）
／環境省ホームページ
<http://www.env.go.jp/guide/budget/h20/h20juten-2.html>
- 5) 農林水産省：平成20年度農林水産予算概算決定の概要（平成19年12月）／農林水産省ホームページ
<http://www.maff.go.jp/j/budget/2008/index.html>
- 6) 国土交通省：平成20年度予算（平成20年1月）／国土交通省ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/yosan/y08.html>
- 7) 中国地域新エネルギーまっぴ2008／中国経済産業局，N E D O／平成20年1月

7 - 2 . 行政の主な支援制度（各県）

7-2. 行政の主な支援制度(県)

(1)鳥取県

事業名	環境立県協働促進事業	対象者	環境保全団体 地域住民団体等
制度概要	県民との協働により環境立県を実現するため、地域住民団体等が実施する自然環境の保全、環境問題の普及啓発などの環境立県に資する活動に対して補助する市町村へ補助する。 (ソフト事業は団体への直接補助も対応)		
支援内容	・補助率：1/2以内 ・補助額：ハード事業50万円以内、ソフト事業30万円以内、 アイ・リング・ストップ 運動10万円以内		
窓口	鳥取県 生活環境部 環境立県推進課	電話番号	0857-26-7205

事業名	バイオ燃料地域導入・利用検討事業	対象者	NPO法人、地域住民団体等
制度概要	B D F が地域に根付いて安定的に継続し、普及することを目指して、地域住民と一体となってバイオディーゼル燃料(B D F)を循環させる地域団体等の活動を支援する。 また他地域に普及し、ひいては循環型社会づくり、水環境の保全、地球温暖化防止を進めることを目的とする。		
支援内容	・補助率：1/2以内、補助額：100万円以内/年		
窓口	鳥取県 生活環境部 環境立県推進課	電話番号	0857-26-7205

事業名	リサイクル技術・製品実用化事業	対象者	企業、研究者
制度概要	循環型社会の形成を促進するため、リサイクル技術や製品の開発・実用化を目的とした研究開発事業等に係る費用を助成する。		
支援内容	・補助額及び補助率 研究開発分野：500万円以内、2/3以内 改良分野：300万円以内、2/3以内 分析・調査分野：50万円以内、1/3以内		
窓口	鳥取県 生活環境部 循環型社会推進課	電話番号	0857-26-7565

事業名	リサイクル製品販売促進事業	対象者	過去鳥取県グリーン商品認定制度により商品認定を受けた事業者等
制度概要	リサイクル技術・製品実用化事業(リサイクル技術共同研究助成事業)で開発・改良された技術・製品及び鳥取県グリーン商品認定制度により認定されたリサイクル製品の販売促進を目的として、県外で開催される展示会・見本市に出典するために必要な経費を助成する。 【対象者】 鳥取県リサイクル技術・製品実用化助成事業又は鳥取県リサイクル共同研究助成事業を活用して、製品又は技術を開発又は改良した者及び鳥取県グリーン商品認定制度により商品認定を受けた者		
支援内容	・補助率：1/2以内、補助額：25万円以内(申請回数は1商品1回限り)		
窓口	鳥取県 生活環境部 循環型社会推進課	電話番号	0857-26-7564

事業名	やる気のある企業支援補助金 企業化支援型 独自技術型	対象者	中小企業等
制度概要	企業化支援型 新商品・新技術の研究開発や企業化等を行う中小企業者等に対し補助金を交付する。 （経営革新計画の承認が必要） 独自技術型 新技術や新製品を開発するための予備的市場調査，技術開発，試作等の経費を補助する。		
支援内容	補助率：1/2以内 補助額：500万円以内，100万円以内，50万円以内（事業により異なる） 補助率：2/3，補助額：100万円以内		
窓口	鳥取県 商工労働部 産業開発課	電話番号	0857-26-7243

事業名	知的財産・ベンチャー発掘支援補助金 産学共同研究型 ベンチャー型	対象者	中小企業等 会社創業予定者
制度概要	産学協同研究型 鳥取県における産業技術の高度化，新産業の創出を図るため，県内外の大学等と共同で研究を行う県内に所在する中小企業者等に対し補助金を交付する。 ベンチャー型 起業家精神を持つベンチャー企業の発掘，育成を支援するため，創業予定者が新たな会社の創業に必要な研究開発を行う場合に補助金を交付する。		
支援内容	・補助率：2/3以内，補助額：300万円以内		
窓口	鳥取県 商工労働部 産業開発課	電話番号	0857-26-7242

事業名	チャレンジ応援資金	対象者	中小企業者
制度概要	独自の技術力や斬新なアイデアなど有し，新しい製品・企画へチャレンジしようとする中小企業者に対して，その事業の新規性・実現可能性・市場性などを目利きし，高い評価を得られた企業に必要な資金を融資する。		
支援内容	・限度額：1億円，融資利率：2.7%，融資機関：10年（据置2年以内）		
窓口	鳥取県商工労働部産業振興戦略総室	電話番号	0857-26-7690

事業名	環境産業支援資金制度	対象者	中小企業，組合等
制度概要	鳥取県内において，廃棄物処理業者等が行う循環型社会の構築に向けた施策の推進に資する施設・設備の整備に対して支援することにより，その健全な育成を図り，循環型社会の構築を推進することを目的として実施。 リサイクル率を大幅に向上させ，県が目指す循環型社会構築に寄与する施設整備に対し金融支援を実施。		
支援内容	・限度額：1億円 ・資金用途：施設・設備の整備費 ・貸付利率：1.78%以内（変動金利） ・貸付期間：10年間以内（据置2年）		
窓口	鳥取県 生活環境部 循環型社会推進課	電話番号	0857-26-7562

(2) 島根県

事業名	産業廃棄物リサイクル施設等整備促進事業	対象者	民間企業等
制度概要	産業廃棄物の循環的な利用を図るとともに、循環型産業の活性化を推進することを目的として、事業者が産業廃棄物の排出抑制、減量化、再生利用に係る施設を新たに整備または改造するために要する費用の一部を補助する。		
支援内容	・補助率：1/2以内		
窓口	島根県 環境生活部 廃棄物対策課	電話番号	0852-22-6151

事業名	資源循環型技術開発事業費補助金	対象者	廃棄物排出事業者等
制度概要	県内における産業廃棄物の発生の抑制、再生利用等による産業廃棄物の減量を促進し、もって産業廃棄物の循環的な利用に関する産業の活性化を図ることを目的として、産業廃棄物の発生の抑制、減量化又は再生利用に関する技術の研究開発、及び産業廃棄物を利用した製品の研究開発を行う場合に、その費用の一部を補助する。		
支援内容	・補助率：2/3以内、補助額：1,000万円以内		
窓口	島根県 商工労働部 産業振興課	電話番号	0852-22-5289

事業名	新製品・新技術創出研究開発助成事業	対象者	民間企業、民間団体等
制度概要	県内企業の競争力強化を図るため、企業が行う新製品・新技術の研究開発、市場調査、販売戦略構築に要する経費の一部を助成する。 共同研究推進枠 事業化・製品化を目指す企業が主催する研究会の経費を支援し、産学連携による共同研究を推進 新製品・新技術創出枠 県内企業が新製品・新技術を商品化するための研究開発経費を助成		
支援内容	・補助率：1/2以内、補助額：50万円～1,500万円（内容により異なる）		
窓口	(財)しまね産業振興財団 技術支援課	電話番号	0852-60-5112

事業名	地域づくり実践支援事業	対象者	民間企業、民間団体等
制度概要	地域づくりを実践する民間団体・グループ等が地域課題の解決や地域活性化のための取り組みとして地域ビジネスなどの実践的活動を行う場合に、必要な経費の一部を助成する。 【対象事業】 地域ビジネス創出，しまね田舎ツーリズム推進，UIターンサポート，定住促進等のコンセプトに基づく事業		
支援内容	・補助率：2/3以内、補助額：100万円～300万円/2年		
窓口	(財)ふるさと島根定住財団	電話番号	:0852-28-0690

事業名	新分野進出等企業支援補助金	対象者	中小企業
制度概要	新分野進出のための新商品を研究開発する際に助成。		
支援内容	・補助率：2/3か補助限度額のいずれか・限度額：300万円～1,000万円		
窓口	島根県商工労働部産業振興課 地域産業創造グループ	電話番号	0852-22-6478

事業名	島根県環境資金	対象者	中小企業等
制度概要	自らの行為に係る環境への負荷の低減のための施設・設備の設置，改善等を行う県内企業に対して融資を行う。		
支援内容	・ 限度額：8,000万円(工場移転は1億円以内) ・ 貸付利率：1.7％ ・ 貸付期間：12年以内(据置2年以内)		
窓口	島根県 商工労働部 経営支援課	電話番号	0852-22-5883

(3)岡山県

事業名	岡山県エコ製品出展支援事業	対象者	岡山県エコ製品を出展する認定事業者
制度概要	岡山県エコ製品の普及を図るため、岡山県エコ製品の認定を受けている事業者（認定事業者）が、県内外で開催される展示会等へ岡山県エコ製品を出展する事業に対して、その経費の一部を補助する。		
支援内容	・補助率：1/2以内 ・補助額：15万円以内（県外開催の場合）、5万円以内（県内開催の場合）		
窓口	岡山県 生活環境部 循環型社会推進課	電話番号	086-226-7306

事業名	木質バイオマス利用開発推進事業 (木質ペレット利用促進モデル事業)	対象者	地方公共団体等
制度概要	製材廃材等木質バイオマスから製造されるペレット燃料の需要を促進し、エネルギー資源を化石燃料からバイオマスエネルギーへ転換を図ることにより、環境と調和した循環型社会の構築を推進することを目的とする。 木質バイオマスの普及に取り組むもうとする地域において、資源循環型社会の構築に向けたモデルとして公共施設等にペレットストーブを設置するための経費の一部を補助する。		
支援内容	・補助率：1/3以内，補助額：13万円以内/基		
窓口	岡山県 農林水産部 林政課	電話番号	086-226-7452

事業名	岡山県バイオマス・チャレンジ支援事業費補助金 (モデル利用事業)	対象者	民間企業，民間団体
制度概要	県内におけるバイオマスを原料とする製品の開発及び需要の拡大を通じた県内産業の振興と資源循環型社会の構築を推進することを目的として、バイオマスプラスチックやバイオマス由来製品のモデル利用に関する事業で、資源循環型社会の形成に資するものについて、その事業費の一部を補助する。		
支援内容	・補助率：1/2以内，補助額：50万円以内		
窓口	岡山県 産業労働部 新産業推進課	電話番号	086-226-7351

事業名	地域ミニエコタウン事業 (循環型社会形成推進モデル事業) 施設整備費補助金 技術開発事業費等補助金	対象者	民間企業等
制度概要	循環型社会の形成を推進すると認められる先進的なリサイクル関係施設などの整備や新たなリサイクル技術の開発，また用途開発やシステム開発などの事業に対して経費の一部を補助する。 【対象事業】 施設整備費補助金 モデル事業として先進的なリサイクル関係施設等の整備に要する経費の一部を補助 技術開発事業費等補助金 モデル事業として先進的なリサイクル技術開発等に要する経費の一部を補助		
支援内容	補助率：1/4以内，補助額：2,500万円以内（岡山市・倉敷市内） 補助率：1/2以内，補助額：5,000万円以内（岡山市・倉敷市以外） 【技術開発・用途開発】補助率：1/2以内，補助額：800万円以内 【その他ソフト事業】補助率：1/2以内，補助額：500万円以内		
窓口	岡山県 産業労働部 新産業推進課	電話番号	086-226-7351

事業名	岡山発！オンリーワン企業育成支援事業	対象者	中小企業・団体、起業予定者
制度概要	新分野への進出や高付加価値製品の開発等のための研究開発意欲がある県内中小企業者を対象として、新技術・新製品の研究開発についての県単独補助制度を設けることにより、他に真似のできない独自の優れた技術を持つ企業（オンリーワン企業）を育成し、多彩でグローバルな経済活動が力強く展開され、希望を持って働ける夢のある社会の実現を目指す。		
支援内容	・補助率：1/2以内、補助額：400万円以内（事業により450万円以内）		
窓口	(財)岡山県産業振興財団 技術支援部	電話番号	086-286-9651

事業名	おかやま・チャレンジプロジェクト支援事業	対象者	中小企業等
制度概要	産学官連携や企業間連携、異業種・異分野連携など、従来の枠組みを越えた連携の下で、県内の企業等が行う、大規模で高度な事業化プロジェクトを支援することにより、重点4分野に特化した新産業・新事業の創出に向けた流れを作り「岡山版産業クラスター」の形成を促進する。 【補助対象分野（重点4分野）】 超精密生産技術分野、医療・福祉・健康関連分野、環境関連分野、バイオ関連分野		
支援内容	・補助率：1/2以内、補助額：1,000万円以内/件		
窓口	(財)岡山県産業振興財団 技術支援部	電話番号	086-286-9651

事業名	共同研究ステップアップ支援事業	対象者	プロジェクトチームの代表者である中小企業
制度概要	産学連携等による共同研究プロジェクトグループが、事業化を指向して行う研究開発事業の開発準備段階を支援する。この委託研究により、研究開発の準備段階を充実させ、国等の大型共同研究開発支援事業での採択を目指す。 【対象分野】 超精密生産技術分野、医療・福祉・健康関連分野、環境関連分野、バイオ関連分野、その他一般分野		
支援内容	・補助額：200万円以内		
窓口	(財)岡山県産業振興財団 技術支援部	電話番号	086-286-9651

事業名	バイオマスプラスチック・カレント補助金	対象者	研究者、企業
制度概要	バイオマスプラスチック製品の開発を促進し県内バイオマスプラスチック関連産業を振興するため、研究者、企業及び団体が共同開発体制で行うバイオマスプラスチック製自動車部品の開発に関し補助する。		
支援内容	・限度額：500万円・補助率：1/2以内		
窓口	岡山県 産業労働部 新産業推進課	電話番号	086-226-7351

事業名	成長企業支援資金「ジャンプ！」	対象者	中小企業、組合
制度概要	医療・福祉・健康，超精密生産技術，バイオ，環境，IT，物流のいずれかの分野に属し成長が見込めるものに対して補助する。		
支援内容	・ 限度額：10,000万円，運転資金5,000万円 ・ 融資期間：設備資金：7年以内，運転資金：5年以内		
窓口	岡山県 産業労働部 経営支援課	電話番号	086-226-7361

事業名	環境対策資金融資制度	対象者	中小企業、組合
制度概要	公害防止施設，省エネルギー施設，自然エネルギー導入施設，およびその他環境対策に必要な装置等を導入する中小企業，組合に対して金融支援を実施。 融資の対象となる項目は以下のとおり。 汚水防止施設等の公害防止施設の整備に必要な資金 公害防止が困難な工場等の移転に必要な資金 省エネルギー施設及び自然エネルギー導入施設の設置に必要な資金 再生資源を原材料として利用する製品の製造に必要な設備の設置等に必要な資金 等		
支援内容	・ 限度額：3000万円 ・ 貸付期間 運転資金...5年以内（据置1年以内），設備...7年以内（据置1年以内） 土地...10年以内（うち据置1年以内） ・ 貸付利率：年1.6%（変動金利）		
窓口	岡山県 産業労働部 経営支援課	電話番号	086-226-7361

(4)広島県

事業名	リサイクル施設整備費助成事業	対象者	民間企業等
制度概要	産業廃棄物埋立税の税収を充て、資源循環型社会への転換を進める上において効果が大きいと認められるリサイクル関係施設等の整備に要する経費の一部を助成する。		
支援内容	・補助率：1/3以内（びんごエコタウンモデル地域内は、3分の1に5%を加えた率以内） ・補助額：1億円以内		
窓口	広島県 環境部 循環型社会推進室	電話番号	082-513-2951

事業名	ひろしま産業創生補助金(ベンチャー枠)	対象者	中小企業等
制度概要	企業が実施する独創的な技術・商品開発を支援し、新規成長産業群の形成を通じて本県産業の活力の創生を目指すため、創業予定者や新事業展開に取り組もうとする中小企業等が行う新製品・新技術に関する研究開発費の一部を助成する。		
支援内容	・補助率：2/3以内，補助額：100万円～400万円/件		
窓口	広島県 商工労働部 新産業振興室	電話番号	082-513-3364

事業名	ひろしま産業創生補助金(連携枠)	対象者	中小企業者から成る共同研究グループ等
制度概要	成長が見込まれ、国際産業拠点形成のために集積が必要な5分野において、即効性が高く、県内産業への良好な波及効果が期待できる研究開発事業を公募し、その経費に対する助成を行う。 【対象分野】 情報通信関連分野， 環境関連分野， 新製造技術関連分野， 医療・福祉関連分野， バイオテクノロジー関連分野		
支援内容	・補助率：1/2以内 ・補助額：1,000万円～1,500万円/件 （情報通信関連，医療・福祉関連分野は500万円～1,500万円/件）		
窓口	広島県 商工労働部 新産業振興室	電話番号	082-513-3364

事業名	ひろしま産業創生補助金(リサイクル枠)	対象者	中小企業者から成る共同研究グループ等
制度概要	産業廃棄物埋立税の税収によりリサイクル枠を設けて、県内における循環型社会の形成に効果が期待できる研究開発を公募し、その経費に対する助成を行う。 【対象分野】 排出抑制 製品の製造工程から排出される廃棄物を抑制する研究開発 減量化 廃棄物の重量又は容量を減少させる研究開発 リサイクル 廃棄物を原料として、新たに社会通念上有価な製品を製造する研究開発		
支援内容	・補助率：2/3以内，補助額：1,000万円～2,000万円/件		
窓口	広島県 商工労働部 新産業振興室	電話番号	082-513-3364

事業名	リサイクル関連研究開発費助成事業	対象者	中小企業
制度概要	廃棄物の発生抑制, リサイクル等について, 即効性が高いと見込まれる研究開発に助成。		
支援内容	・ 補助率: 2/3, 限度額: 2,000万円(下限: 1,000万円)		
窓口	広島県 環境部 循環社会推進室	電話番号	082-513-2951

事業名	エコ事業所支援事業	対象者	中小企業
制度概要	中小企業が行う二酸化炭素や廃棄物の削減等の環境への取り組みを支援することにより, 地球温暖化防止対策や廃棄物対策を促進する。 中小企業が行う二酸化炭素や廃棄物の削減等の環境への取り組みを支援するため, エコアクション21の審査・認証・登録に要する費用の一部を補助。		
支援内容	・ 限度額: 20万円上限 ・ 審査・認証・登録費用の1/2を補助		
窓口	広島県 環境部 循環社会推進室	電話番号	082-513-2951

事業名	びんごエコ団地企業支援事業	対象者	「びんごエコ団地」への立地企業
制度概要	福山市箕沖地区に整備する「びんごエコ団地」にリサイクル施設の集積を促進するための立地支援を行う。		
支援内容	不動産取得税相当額, 土地代金相当額の一部及び施設整備の一部(県営産業団地の支援制度に準じた立地支援助成)		
窓口	広島県 環境部 循環社会推進室	電話番号	082-513-2951

事業名	環境保全資金融資	対象者	中小企業, 組合
制度概要	中小企業者等が, 公害防止施設や地球環境保全施設等を設置・改善する場合に, 県がその事業計画を承認することにより, 必要な資金を取扱金融機関を通じて融資する制度。 融資の対象となるものは以下のとおり。 公害防止施設の設置又は改善, 工場・事業場の建替え又は工場適地への移転, 低公害車等の購入, 地球環境保全に資する施設の設置又は改善, 環境マネジメントシステムの導入, 土壌汚染対策に係る調査, 汚染土壌の除去, 補償, アスベスト対策		
支援内容	・ 限度額: 運転資金: 2,000万円, 設備資金: 5,000万円 ・ 貸付利率: 信用保証無: 1.9%(固定), 1.7%(変動) 信用保証付: 1.6%(固定), 1.4%(変動) ・ 貸付期間: 運転: 5年(据置1年), 設備: 10年(据置3年)		
窓口	事業計画の適否: 循環型社会推進室 融資制度全般: 商工労働部商工金融室	電話番号	循環型社会推進室 :082-513-2951 商工労働部商工金融室 :082-513-3321

(5) 山口県

事業名	地域循環型プロジェクト支援事業	対象者	民間企業等
制度概要	平成16年度から産業廃棄物税を導入し、税収を活用した施策の推進により、廃棄物の発生・排出の抑制やリサイクルの促進などの取り組みを促進しており、これらの取り組みの一つとして、循環型社会の形成を進める上で効果が高いと認められるリサイクル施設等の整備に要する費用の一部を助成する制度を設けている。		
支援内容	・補助率：1/3以内，補助額：3,000万円以内/件		
窓口	山口県 環境生活部 廃棄物・リサイクル対策課	電話番号	083-933-2983

事業名	中小企業成長育成支援補助金	対象者	中小企業
制度概要	承認を受けた経営革新計画に沿って、県の掲げる重点育成4分野(情報通信，環境，福祉・医療，生活文化関連)に新事業展開を行う中小企業に対して，新商品開発事業及びその一環として行う市場調査事業について経費の一部を助成する。		
支援内容	・補助率：1/2以内，補助金：500万円以内		
窓口	山口県 商工労働部 新産業振興課	電話番号	083-933-3143

事業名	地球にやさしい環境づくり融資事業	対象者	中小企業，組合
制度概要	環境保全のために必要な施設（公害防止施設，産業廃棄物処理施設，地球温暖化防止対策施設）を整備する中小企業者（その組合を含む）に必要な資金を融資。 融資の対象となる施設は以下のとおり。 公害防止施設 ばい煙処理施設，粉じん処理施設，汚水等処理施設等 産業廃棄物処理施設 リサイクル処理施設（破碎，溶融成型，油水分離等），ダイオキシン低減施設 産業廃棄物の処理施設・埋立施設，，フロン回収機器等 地球温暖化防止対策施設 低公害車，太陽光発電システム，風力発電システム，省エネルギー改修		
支援内容	・限度額：対象施設により500～3,000万円 ・貸付期間：1,000万円未満：5年以内（据置1年） 1,000万円以上：7年以内（据置1年） ・貸付利率：年2.1%		
窓口	山口県 環境生活部 環境政策課	電話番号	083-933-2690

事業名	やまぐち地域中小企業育成事業 創業・新事業支援 クラスター推進	対象者	中小企業
制度概要	地域資源を活用した中小企業の新規創業や新事業展開の取り組み，中小企業による産業クラスターを形成するための取り組みに助成する。		
支援内容	・助成率：1/2以内・限度額：2,000千円・期間：2年以内 ・助成率：1/2以内・限度額：5,000千円・期間：3年以内		
窓口	(財)やまぐち産業振興財団 技術振興部	電話番号	083-922-9927

事業名	やまぐちエコ市場形成事業 (プロジェクト調査費補助金)	対象者	やまぐちエコ市場会員
制度概要	やまぐちエコ市場の開設による、企業間での連携・協力等を一層強化することによって、産業廃棄物等の再生利用や減量化等に係る新たな事業展開を促進するため、これらに取り組む場合に必要となる調査・検討に要する経費の一部を補助することにより、循環型社会の形成を推進することを目的とする。		
支援内容	・補助率：1/2以内，補助額：200万円以内		
窓口	山口県 環境生活部 廃棄物・リサイクル対策課	電話番号	083-933-2983

参考文献

- 1) 各県の平成20年度当初予算案 / 各県の財政部局ホームページ
- 2) 各県の環境，商工労働部局のホームページ（平成20年3月現在）
- 3) 中国地域新エネルギーまっぷ2008 / 中国経済産業局，NEDO / 平成20年1月